

小平市

小平市子ども・子育て支援に関する

ニーズ調査報告書



令和 6 年 8 月

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	6
第2章 就学前児童調査の結果（就学前児童の保護者）	7
1. 住まいの地域について	9
（1）住まいの地域	9
2. こどもと家族の状況について	10
（1）こどもの年齢	10
（2）こどもの数、末子の年齢	10
（3）調査票回答者	11
（4）回答者の配偶関係	11
（5）子育て（教育を含む）を主に行っている人	11
3. こどもの育ちを取りまく環境について	12
（1）子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人	12
（2）子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境	13
（3）こどもをみてもらえる親族・知人の有無	13
（4）祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況	14
（5）友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	15
（6）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無	16
（7）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先	18
（8）子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート（自由記述）	19
4. こどもの保護者の就労状況について	21
（1）保護者の就労状況	21
（2）就労日数、就労時間	22
（3）家を出る時刻、帰宅時刻	24
（4）フルタイムへの転換希望	26
（5）就労希望	27
（6）就労の準備に必要な支援	29
5. こどもの平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と希望について	30
（1）定期的な教育・保育の事業の利用の有無	30
（2）定期的に利用している事業	31
（3）利用日数、利用時間	34

(4) 利用している教育・保育の事業の実施場所	36
(5) 定期的に教育・保育の事業を利用している理由	36
(6) 定期的に教育・保育の事業を利用していない理由	37
(7) 定期的に利用したい教育・保育の事業	38
(8) 利用したい実施場所	40
(9) 幼稚園の強い利用希望の有無	40
6. こどもの地域子育て支援拠点事業の利用状況と希望について	41
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	41
(2) 今後の利用希望と利用したい回数	42
(3) 利用しない理由	43
(4) 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望	44
7. こどもの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望について	47
(1) 土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯	47
(2) たまに利用したい理由	50
(3) 長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯	51
(4) 長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由	53
8. こどもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用している方のみ）	54
(1) この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	54
(2) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった際の対処方法と日数	55
(3) 父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数	57
(4) 望ましい事業形態	58
(5) 利用したいと思わない理由	58
(6) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したかった日数	59
(7) 仕事を休んで看護できなかった理由	60
9. こどもの不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	61
(1) 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数	61
(2) 利用していない理由	62
(3) 今後の利用希望と利用したい日数	63
(4) 望ましい事業形態	65
(5) 保護者の用事により泊りがけでショートステイを利用する必要、利用目的、宿泊数	65
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（こどもが4歳以上である方）	67
(1) 小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数	67
(2) 小学校高学年（4～6年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数	70
(3) 学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯	73
(4) 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望	74
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	76
(1) 育児休業取得の有無と取得しなかった理由	76
(2) 育児休業取得後の職場復帰	78
(3) 復帰のタイミング	78

(4) 実際の取得期間と希望	79
(5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	80
(6) 短時間勤務制度利用の有無	81
(7) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	82
(8) 1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望	83
12. 子育て全般について	84
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度	84
(2) 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見（自由記述）	85
第3章 就学児童調査の結果（就学児童1年生～6年生の保護者）	89
1. 住まいの地域	91
(1) 住まいの地域	91
2. こどもと家族の状況	92
(1) こどもの学年	92
(2) こどもの数、末子の年齢	92
(3) 調査票回答者	93
(4) 回答者の配偶関係	93
(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人	93
3. こどもの育ちを取りまく環境について	94
(1) 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境	94
(2) こどもをみてもらえる親族・知人の有無	95
(3) 祖父母等の親族にこどもをみてもらっている状況	96
(4) 友人・知人にこどもをみてもらっている状況	97
(5) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無	97
(6) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先	98
(7) 子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート（自由記述）	99
4. 保護者の就労状況	101
(1) 保護者の就労状況	101
(2) 就労日数、就労時間	103
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	104
(4) フルタイムへの転換希望	105
(5) 就労希望	106
(6) 就労の準備に必要な支援	108
5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望	109
(1) 子ども広場や児童館の利用状況	109
(2) 今後の利用希望と利用回数	110
(3) 子育て支援事業・こどもの居場所についての意見（自由記述）	111
(4) 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望	113

6. こどもが病気の際の対応について	115
(1) この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	115
(2) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数	116
(3) 父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数	118
(5) 仕事を休んで看護できなかった理由	120
7. こどもの一時預かり等の利用	121
(1) 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数	121
(2) 利用していない理由	123
(3) 今後の利用希望と利用したい日数	123
(4) 望ましい事業形態	125
(5) 保護者の用事により泊りがけでショートステイを利用する必要、利用目的、宿泊数	126
8. こどもの放課後の過ごし方	128
(1) 放課後を過ごしている場所と日数	128
(2) 放課後の過ごし方の希望	130
(3) 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望	136
(4) 学童クラブ利用者の長期休暇期間中の利用希望	141
(5) 放課後子ども教室の利用希望	142
9. 学童クラブの利用について	143
(1) 学童クラブを利用している理由	143
(2) 学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望	144
(3) 利用していない（していなかった）理由	145
(4) 今後利用したい理由	146
(5) 日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯	147
10. 子育て全般について	148
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度	148
(2) 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）	149
第4章 調査票	153
1. 就学前児童調査票（就学前児童の保護者）	155
2. 就学児童調査（就学児童小学校1年生～6年生の保護者）調査	165

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき、令和6年（2024）年度に策定する「第三期小平市子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
就学前児童の保護者	市内在住の就学前児童をもつ保護者2,000人
就学児童(小学校1年生～6年生)の保護者	市内在住の就学児童をもつ保護者2,000人

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配布・Web回収（一部郵送回収）

調査期間：令和6年2月20日（火）～令和6年3月13日（水）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	2,000	955	47.8%
就学児童(小学校1年生～6年生)の保護者	2,000	992	49.6%

4. 調査項目

就学前児童の保護者

調査項目	
1. 住まいの地域	・ 住まいの地域
2. こどもと家族の状況	・ こどもの年齢、こどもの数、末子の年齢 ・ 調査票回答者、回答者の配偶関係 ・ 子育て(教育を含む)を主に行っている人
3. こどもの育ちを取りまく環境	・ 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人 ・ 子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境 ・ お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 ・ 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況 ・ 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況 ・ 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(施設)の有無、相談先 ・ 子育て(教育を含む)をする上で周囲に望むサポート（自由記述）
4. こどもの保護者の就労状況	・ 保護者の就労状況 ・ 就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻 ・ フルタイムへの転換希望、就労希望 ・ 就労の準備に必要な支援
5. こどもの平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望	・ 定期的な教育・保育の事業の利用の有無、定期的にご利用している事業、利用日数、利用時間 ・ 利用している教育・保育の事業の実施場所 ・ 定期的にご利用している理由、利用していない理由 ・ 定期的にご利用したい教育・保育の事業、利用したい実施場所 ・ 幼稚園の強い利用希望の有無

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

調査項目	
6. こどもの地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業の利用状況、今後の利用希望と利用したい回数 ・利用しない理由 ・各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望
7. こどもの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯、たまに利用した理由 ・幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯、たまに利用したい理由
8. こどもの病気の際の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無、対処方法と日数 ・父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・利用したいと思わない理由 ・父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護しなかった日数 ・仕事を休んで看護できなかった理由
9. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数、利用していない理由 ・今後の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方【調査対象が4歳以上】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年(1～3年生)の間、放課後を過ごさせたい場所と日数 ・小学校高学年(4～6年生)の間、放課後を過ごさせたい場所と日数 ・学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯 ・小学校の長期休暇中の過ごし方の希望
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得の有無と取得しなかった理由 ・育児休業取得後の職場復帰、復帰のタイミング、実際の取得期間と希望 ・短時間勤務制度利用の有無、利用しなかった理由 ・1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望
12. 子育て全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育ての環境や支援への満足度 ・教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援についての意見（自由記述）

就学児童（小学校1年生～6年生）の保護者

調査項目	
1. 住まいの地域	・ 住まいの地域
2. こどもと家族の状況	・ こどもの学年、こどもの数、末子の年齢 ・ 調査票回答者、回答者の配偶関係 ・ 子育て(教育を含む)を主に行っている人
3. こどもの育ちを取りまく環境	・ 子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境 ・ こどもをみてもらえる親族・知人の有無 ・ 祖父母等の親族にこどもをみてもらっている状況 ・ 友人・知人にこどもをみてもらっている状況 ・ 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(施設)の有無、相談先 ・ 子育て(教育を含む)をする上で周囲に望むサポート（自由記述）
4. こどもの保護者の就労状況	・ 保護者の就労状況 ・ 就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻 ・ フルタイムへの転換希望、就労希望 ・ 就労の準備に必要な支援
5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望	・ 子ども広場や児童館の利用状況、今後の利用希望と利用回数 ・ 子育て支援事業・こどもの居場所についての意見（自由記述） ・ 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望
6. こどもが病気の際の対応	・ この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無、対処方法と日数 ・ 父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数 ・ 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護しなかった日数 ・ 仕事を休んで看護できなかった理由
7. こどもの一時預かり等の利用	・ 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数、利用していない理由 ・ 今後の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・ 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数
8. こどもの放課後の過ごし方	・ 放課後を過ごしている場所と日数、放課後の過ごし方の希望 ・ 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望 ・ 学童クラブ利用者の長期休暇中の利用希望 ・ 放課後子ども教室の利用希望
9. 学童クラブの利用	・ 学童クラブを利用している理由 ・ 学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望 ・ 利用していない(いなかった)理由、今後利用したい理由 ・ 日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯
10. 子育て全般	・ 地域における子育ての環境や支援への満足度 ・ 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援についての意見（自由記述）

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、合計が100%を超える場合がある。
- ・クロス集計では分析軸の項目に無回答があるため、全体のnと合計があわない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、またクロス集計の結果を出していない場合がある。
- ・いくつかの調査項目は、前回調査（平成31年3月）および前々回調査（平成26年3月）と経年比較を行っている。
- ・「こども」の表記について
調査報告書の表記については、施設名や法令名等の固有名詞で「子ども」や「子供」とされているものや、出典元が「子ども」や「子供」と表記している場合を除き、原則として「こども」と表記している。
- ・就学前児童の調査結果におけるこどもの年齢は「学齢」で換算し、対象児童の生年月から以下のように区分している。

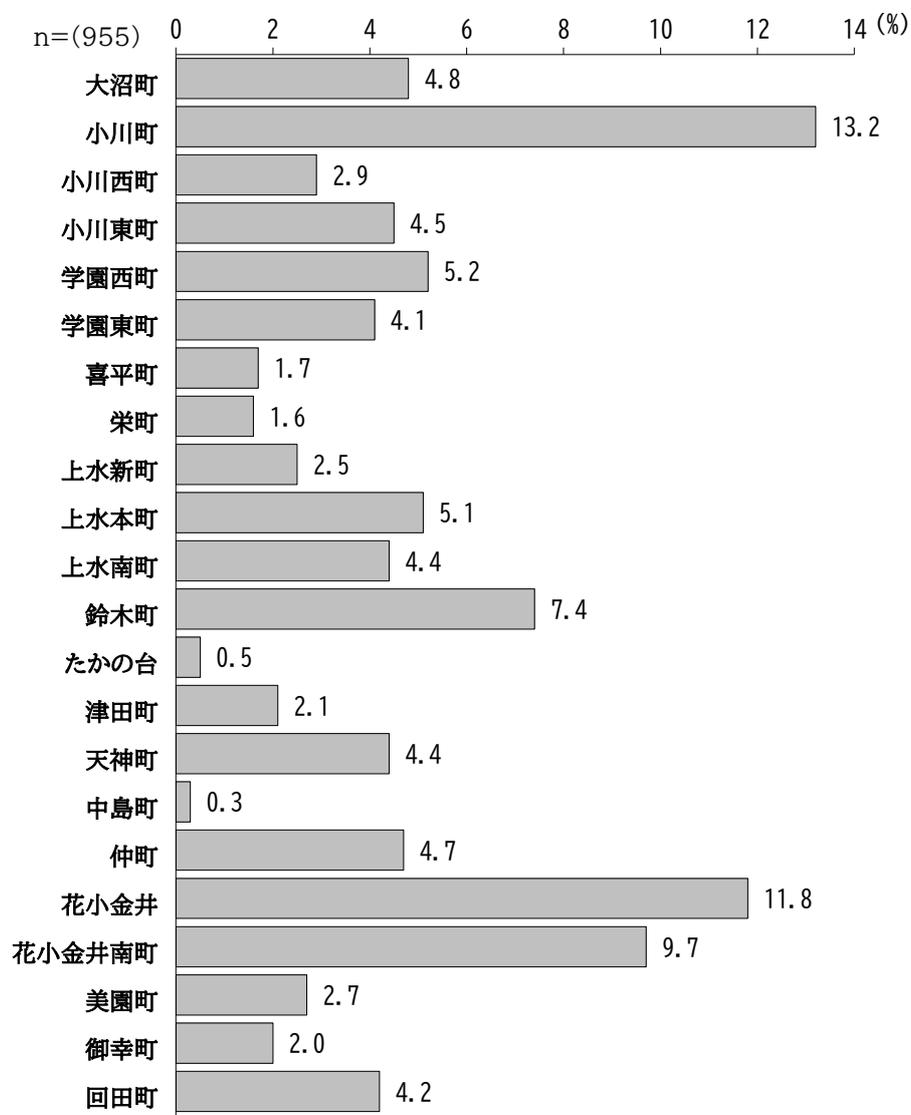
年齢（学齢）表記	調査時実年齢	生年月
令和5年4月以降生まれ	0歳	令和5年4月～
0歳	0－1歳	令和4年4月～令和5年3月
1歳	1－2歳	令和3年4月～令和4年3月
2歳	2－3歳	令和2年4月～令和3年3月
3歳	3－4歳	平成31年4月～令和2年3月
4歳	4－5歳	平成30年4月～平成31年3月
5歳	5－6歳	平成29年4月～平成30年3月

第2章 就学前児童調査の結果 (就学前児童の保護者)

1. 住まいの地域について

(1) 住まいの地域

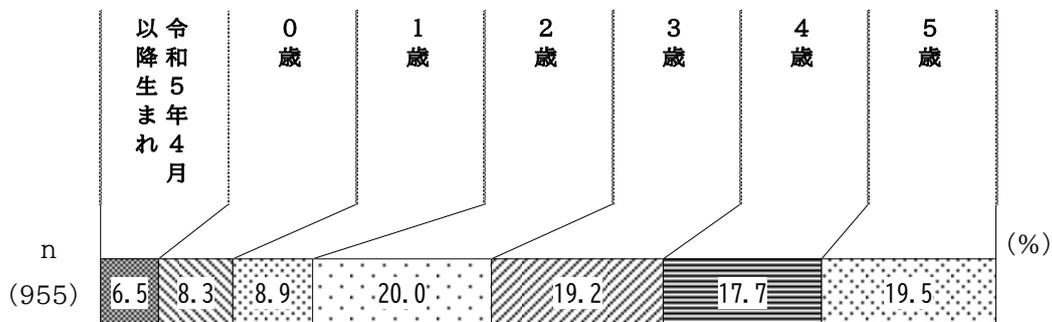
問1 お住まいの地域を1つ選び、丁目があればご記入ください。



2. こどもと家族の状況について

(1) こどもの年齢

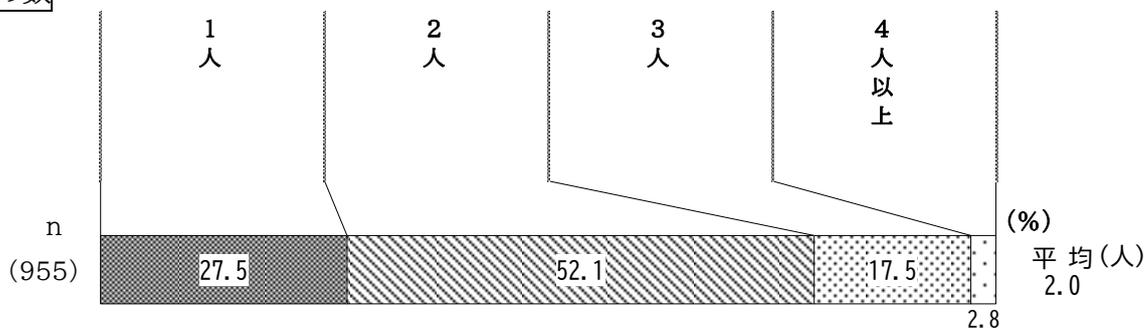
問2 あて名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。



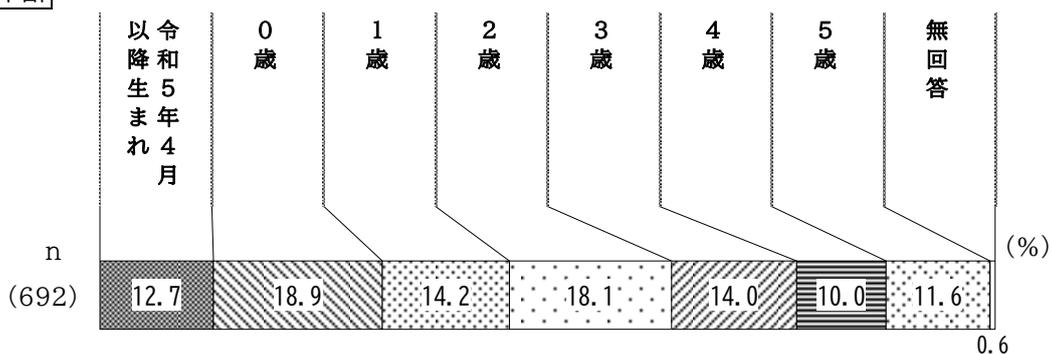
(2) こどもの数、末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

こどもの数

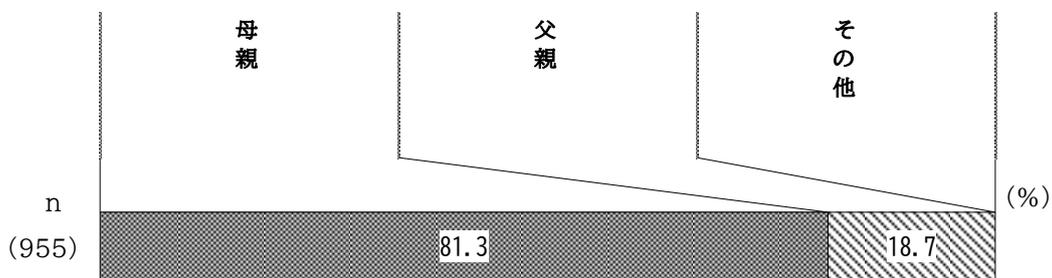


末子の年齢



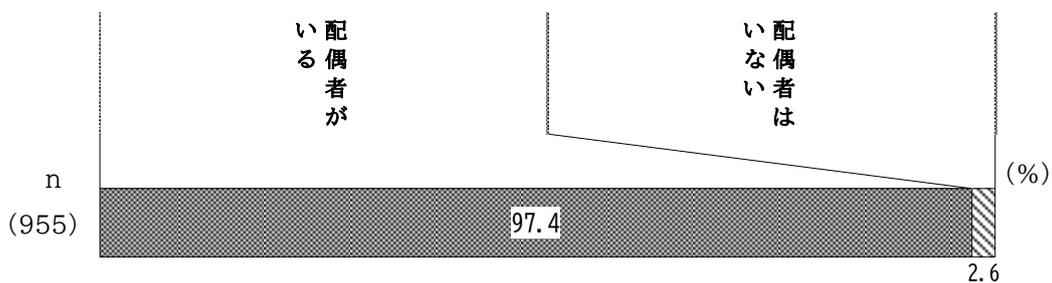
(3) 調査票回答者

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるものを1つ選んでつけてください。



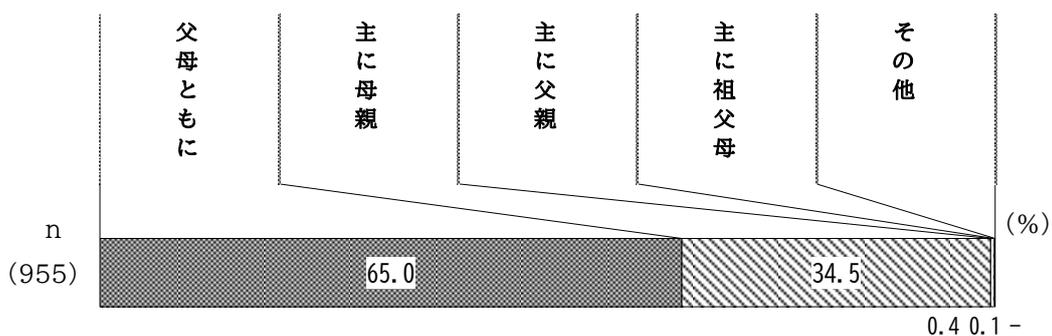
(4) 回答者の配偶関係

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまるものを1つ選んでください。



(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人

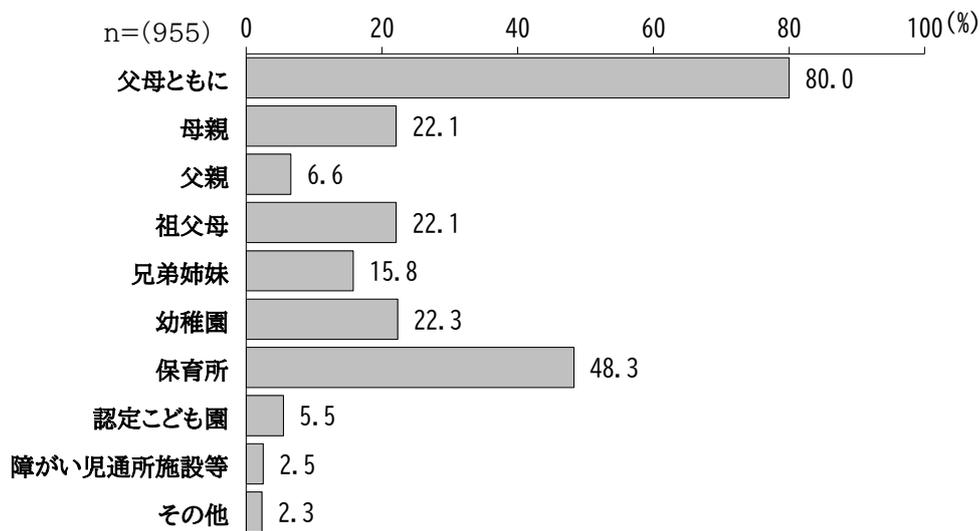
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるものを1つ選んでください。



3. こどもの育ちを取りまく環境について

(1) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人

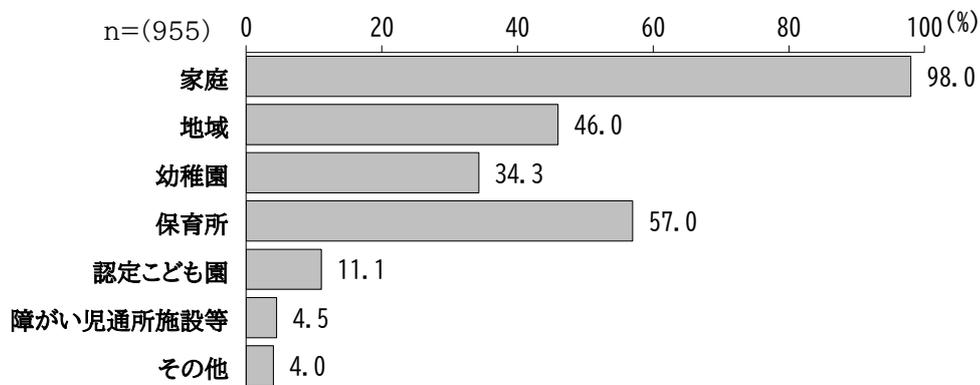
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人は、「父母ともに」が80.0%と高く、これに「保育所」（48.3%）、「幼稚園」（22.3%）、「母親」と「祖父母」（22.1%）が続いている。

(2) 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境

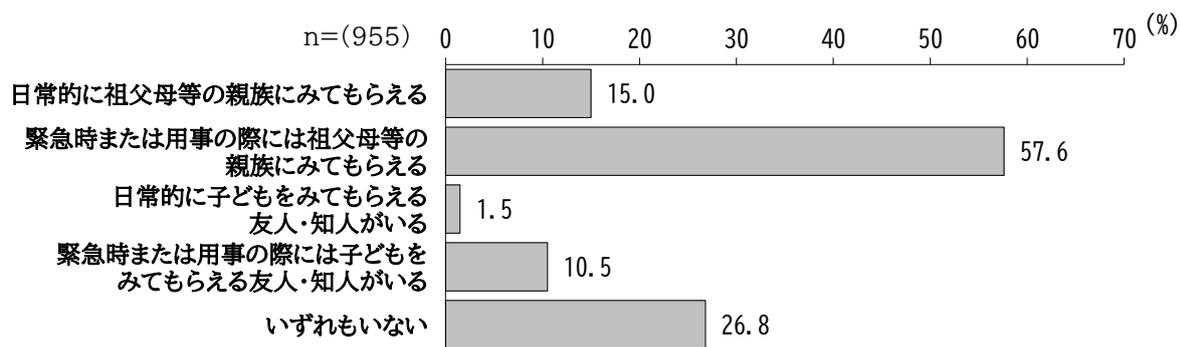
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境をすべて選んでください。【複数回答】



子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境は、「家庭」が98.0%と高く、これに、「保育所」（57.0%）、「地域」（46.0%）、「幼稚園」（34.3%）が続いている。

(3) こどもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

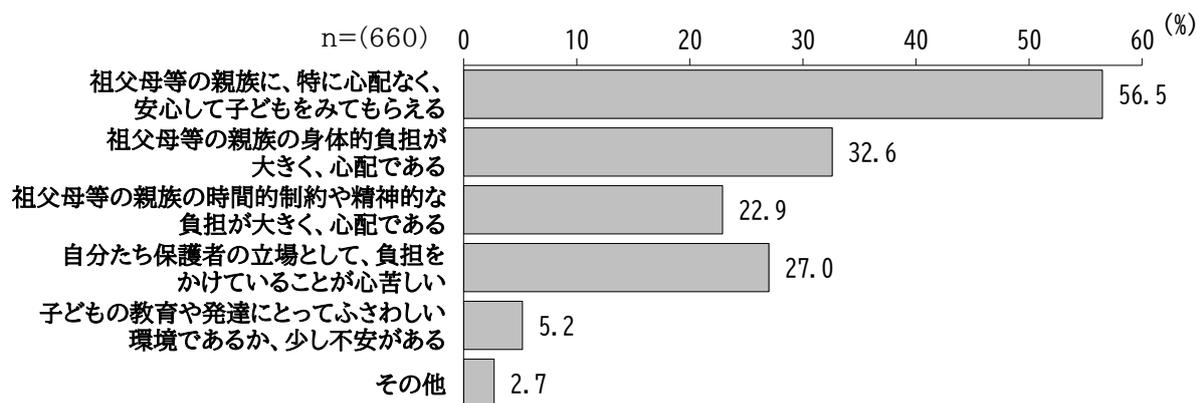


お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.6%と高く、これに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（15.0%）、「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（10.5%）が続いている。一方で、「いずれもない」は26.8%となっている。

(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

【問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方におたずねします。】

問10 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

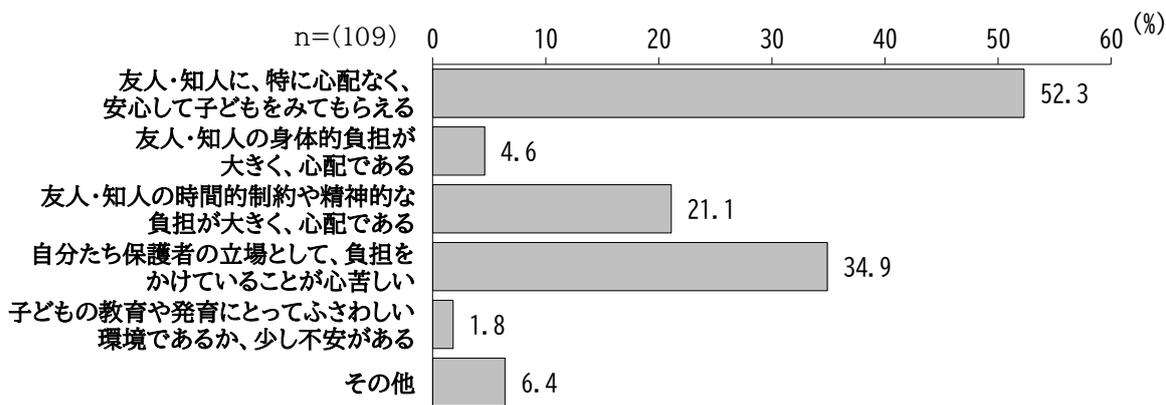


祖父母等の親族にこどもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が56.5%と高いが、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が32.6%、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が27.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が22.9%となっている。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

【問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方におたずねします。】

問11 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

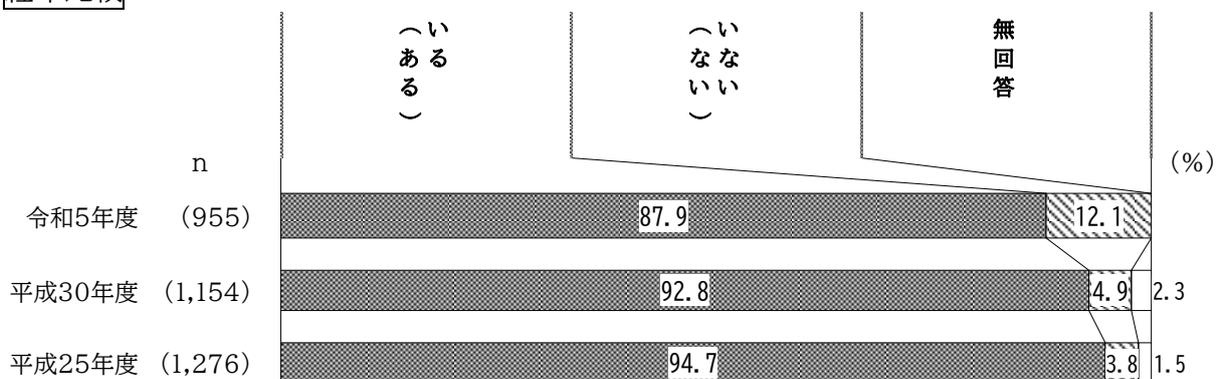


友人・知人にこどもをみてもらっている状況は、「友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が52.3%と高いが、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」との意識も34.9%となっている。

(6) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無

問12 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

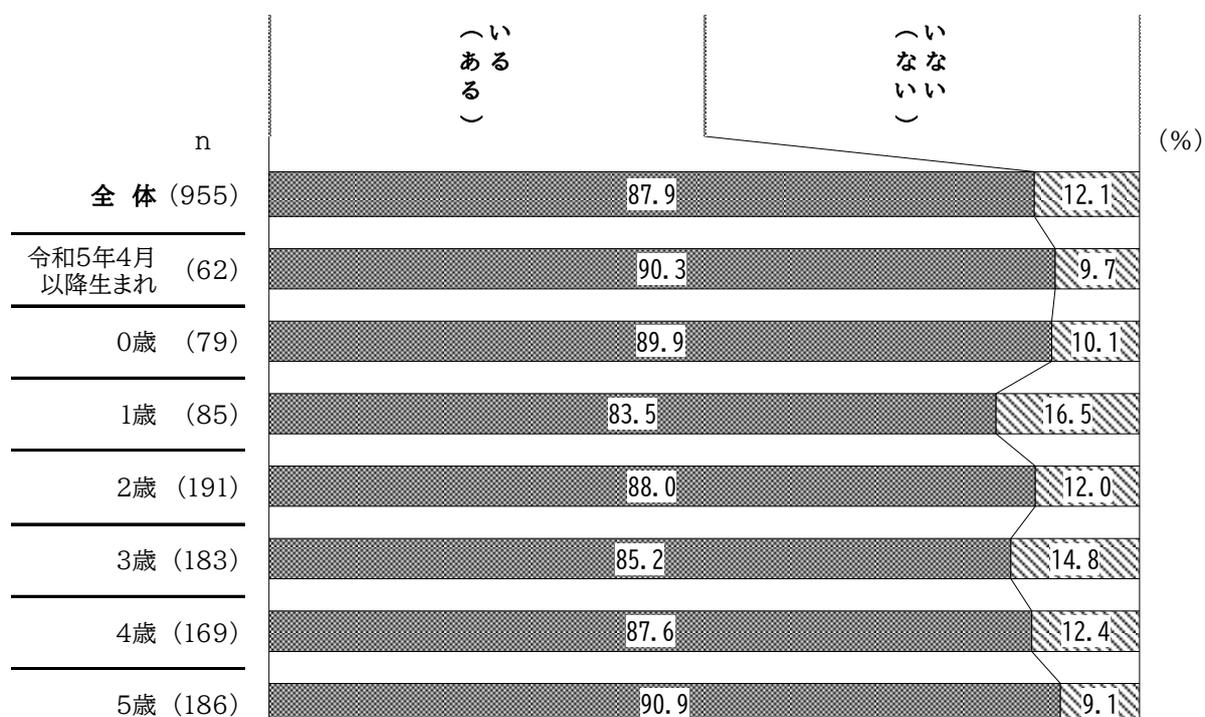
経年比較



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無は、「いる(ある)」が87.9%、「いない(ない)」が12.1%となっている。

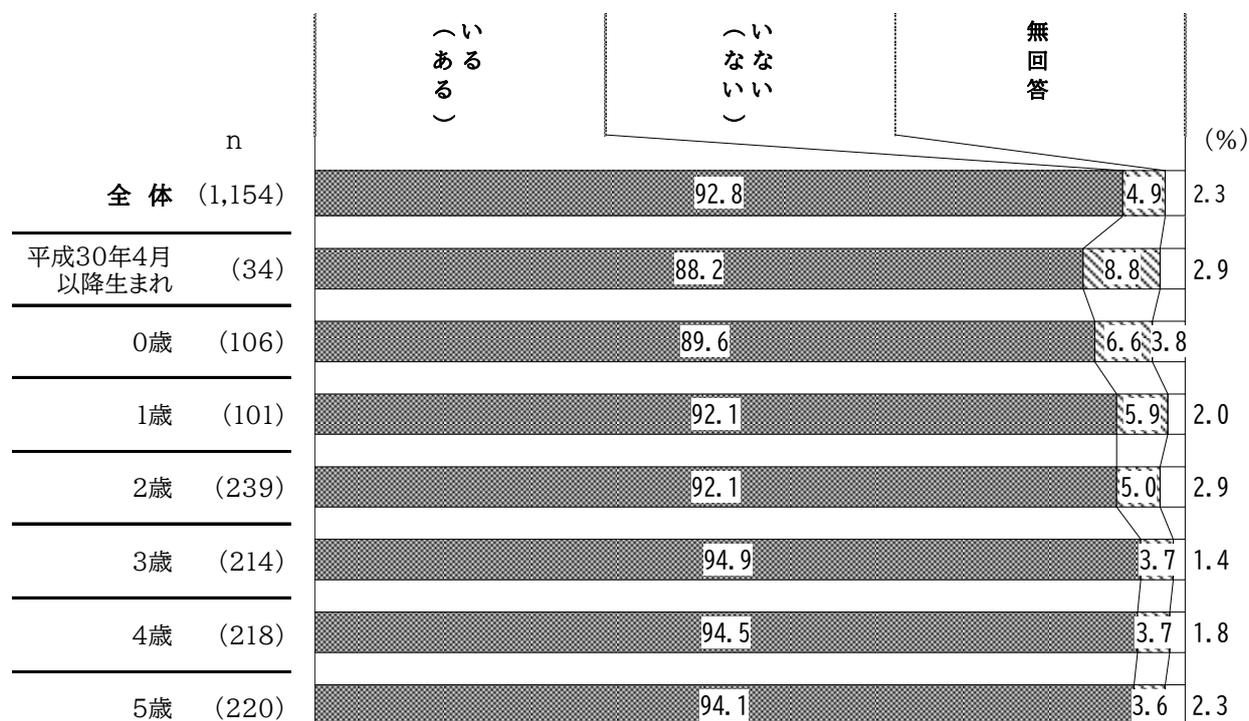
調査結果を経年比較すると、相談できる人（施設）が「いない(ない)」は前回から7.2ポイント、前々回から8.3ポイント増加している。

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無【年齢別】



年齢別にみると、令和5年4月以降生まれ、0歳、2歳、5歳は「いる(ある)」が90%程度となっている。「いない(ない)」が1歳では16.5%、3歳では14.8%となっている。

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無【年齢別】・前回



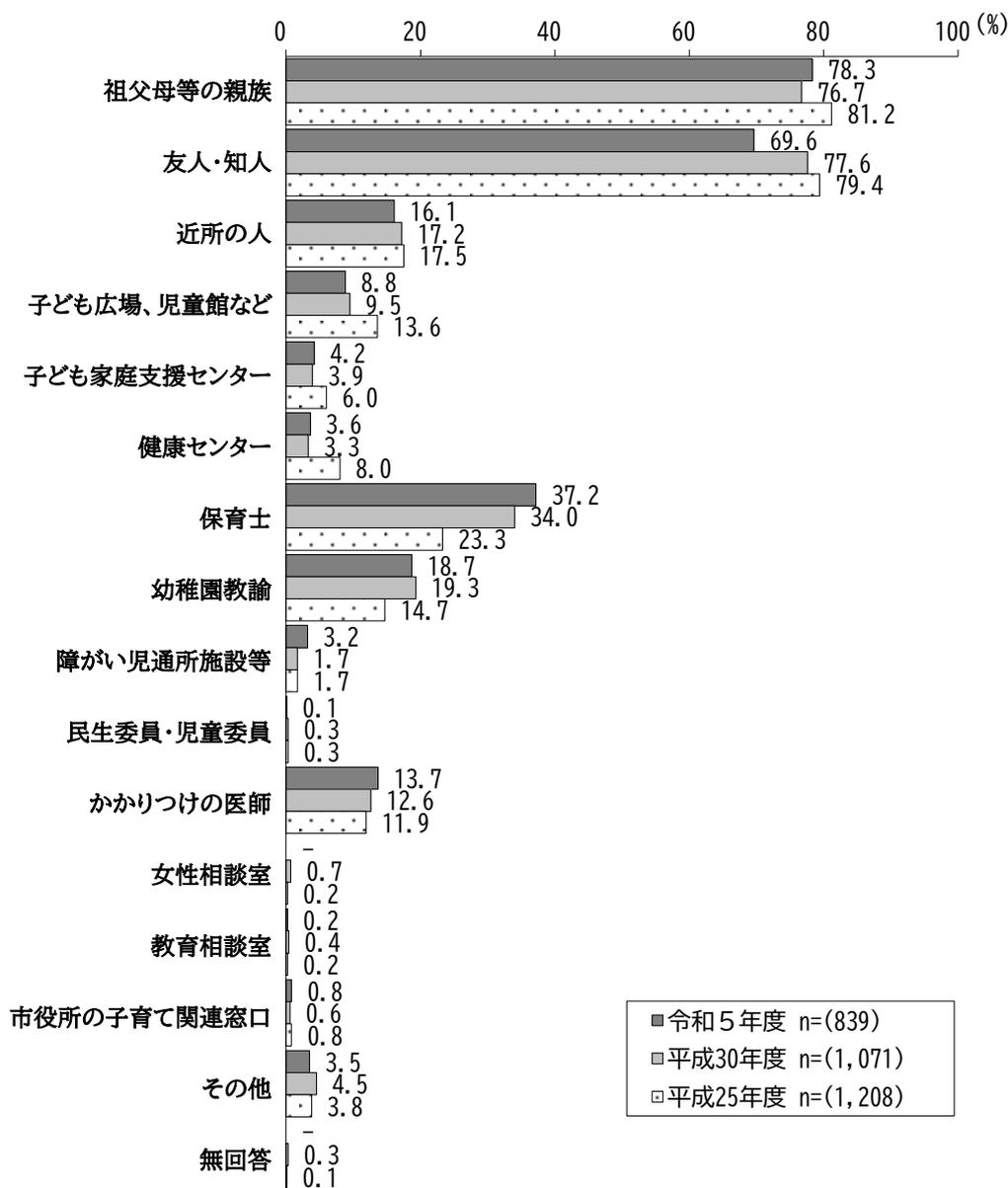
年齢別の調査結果を前回と比較すると、相談できる人（施設）が「いない（ない）」はいずれの年代でも増加しており、特に3歳で11.1ポイント、1歳で10.6ポイント、4歳で8.7ポイントの増加となっている。

(7) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先

【問12で「いる（ある）」を選んだ方におたずねします。】

問13 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

経年比較



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先は、「祖父母等の親族」（78.3%）と「友人・知人」（69.6%）が高く、これらに「保育士」が37.2%と続いている。

調査結果を経年比較すると、相談先は「友人・知人」が前回から8.0ポイント、前々回から9.8ポイント減少している。一方で、「保育士」は前回から3.2ポイント、前々回から13.9ポイント増加している。

(8) 子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート（自由記述）

問14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポートとして、644人から899件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

	(件)
保育事業の支援	429
不定期の様々な預かり事業の充実	184
各種の経済的支援、支出抑制、割引券等のサポート	104
定期的な預かり事業の充実、待機児童解消	60
家事育児代行、送迎サポート	47
市全体としてこどもを預けやすい環境づくり	34
遊び場、居場所、放課後の支援	117
遊び場、居場所の充実	38
子育て関連施設の増設、拡充	31
学童クラブの拡充	20
土日祝、長期休暇、早朝・夜間サポート	18
学習や遊びのサポート	10
医療・健康・福祉の支援	97
病児・病後児保育サポート、体調不良時の対応	62
小児科等医療機関の充実、増設、健康維持のバックアップ	19
障がい児、不登校児の支援	13
子ども食堂の設置	3
情報相談体制	70
子育てサービスや関連施設の情報提供	25
行政での相談、学校でのカウンセリング等、話を聞く機会の充実	45
地域、社会、家族の支援	58
働き方改革促進、社会、家族の理解	45
地域や親族等のサポート	13

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

保護者への支援	31
保護者のリフレッシュサポート	10
産前産後ケア	9
保護者の会、PTA活動の見直しと代替サポート	3
こども・育児用品のリサイクルやレンタル	3
ひとり親家庭支援	3
子育て中の母親の孤立防止支援	3
教育・教育機関への支援	7
学校設備改善、校（園）庭の開放	3
教員の質、増員	2
保育士、保育施設への支援	2
その他の支援	90
イベント、講座、交流、習い事	35
学校や通学路、遊び場の防犯、事故防止	18
子育てしやすいまちづくり（歩道、交通、ベビールーム等）	9
ICTを活用した施設予約、相談や交流等	9
移動支援	3
文化・芸術施設の充実	2
その他（各1件の内容）	14

4. こどもの保護者の就労状況について

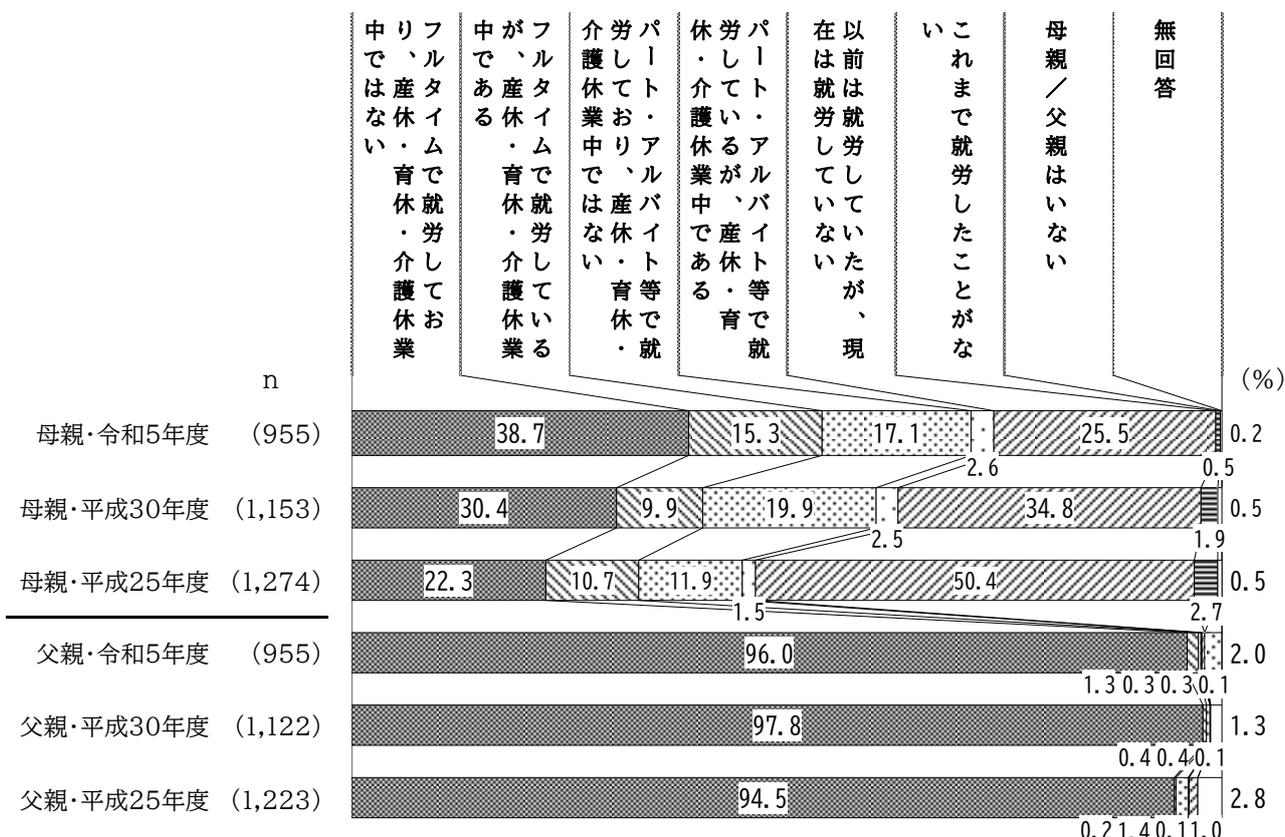
(1) 保護者の就労状況

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおたずねします。

(1) 母親 当てはまるものを1つ選んでください。

(2) 父親 当てはまるものを1つ選んでください。

経年比較



今回調査の母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.7%と高く、これに「以前は就労していたが、現在は就労していない」(25.5%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(17.1%)が続いている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.0%となっている。

調査結果を経年比較すると、母親の就労状況では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が前回から8.3ポイント、前々回から16.4ポイント増加している。「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が前回から5.4ポイント増加している。一方で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は前回から9.3ポイント、前々回から24.9ポイント減少している。

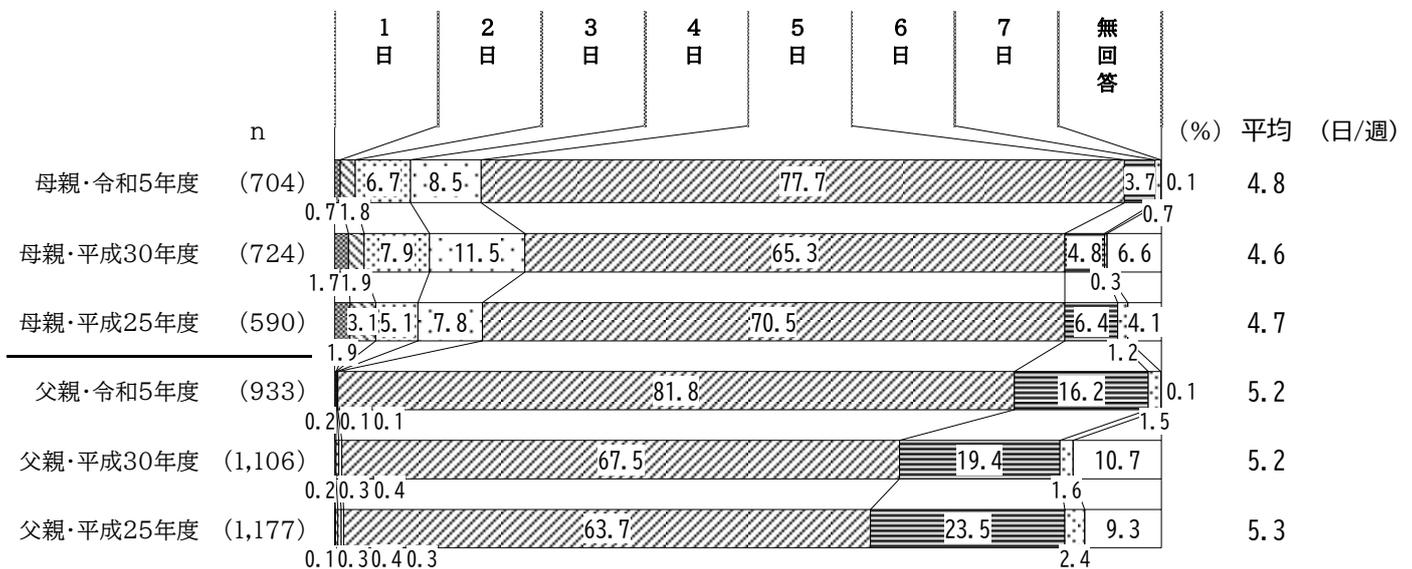
(2) 就労日数、就労時間

【問15の(1)(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問16 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

就労日数／1週当たり・経年比較



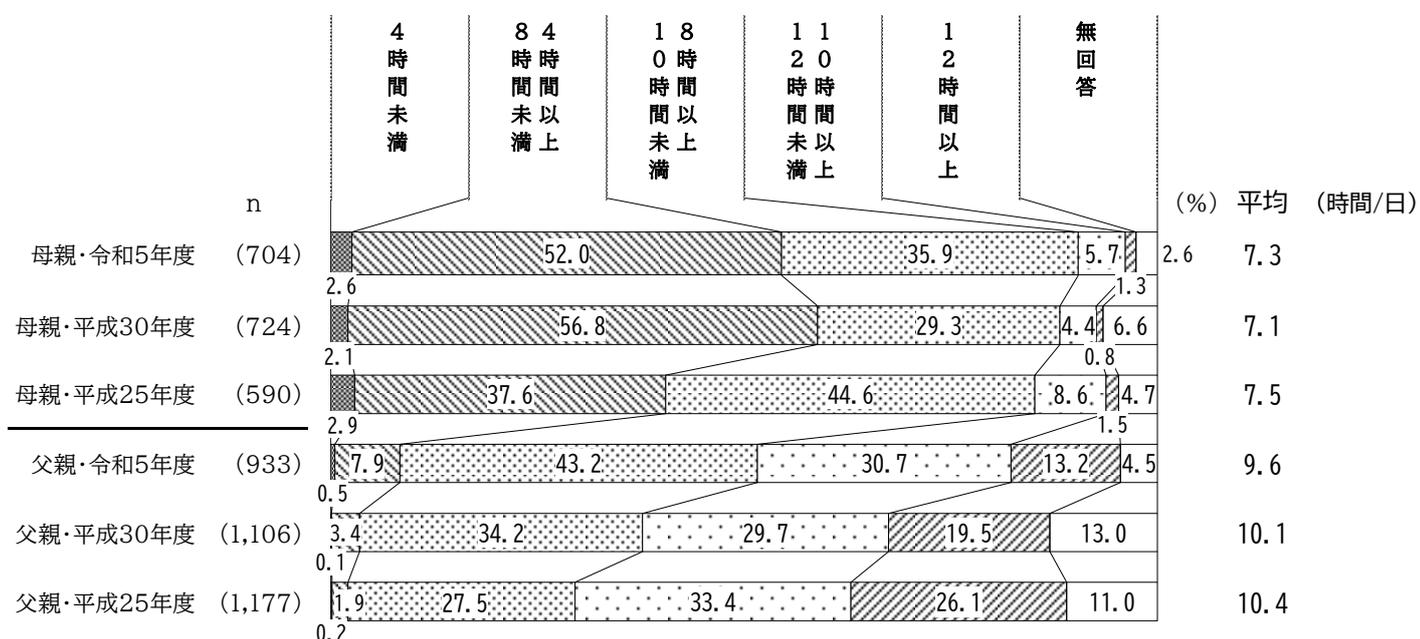
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が77.7%、「4日」が8.5%で、平均4.8日/週となっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が81.8%、「6日」が16.2%で、平均5.2日/週となっている。

調査結果を経年比較すると、母親では「5日」が前回から12.4ポイント増加している。一方で、「4日」は前回から3.0ポイント減少している。

男性では「5日」が前回から14.3ポイント、前々回から18.1ポイント増加している。一方で、「6日」は前回から3.2ポイント、前々回から7.3ポイント減少している。

就労時間／1日当たり・経年比較



母親の1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が52.0%、「8時間以上10時間未満」が35.9%で、平均7.3時間/日となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が43.2%、「10時間以上12時間未満」が30.7%、「12時間以上」が13.2%で、平均9.6時間/日となっている。

調査結果を経年比較すると、母親では「8時間以上10時間未満」が前回から6.6ポイント増加している。一方で、「4時間以上8時間未満」は前回から4.8ポイント減少している。

男性では「8時間以上10時間未満」が前回から9.0ポイント、前々回から15.7ポイント増加している。一方で、「12時間以上」は前回から6.3ポイント、前々回から12.9ポイント減少している。

(3) 家を出る時刻、帰宅時刻

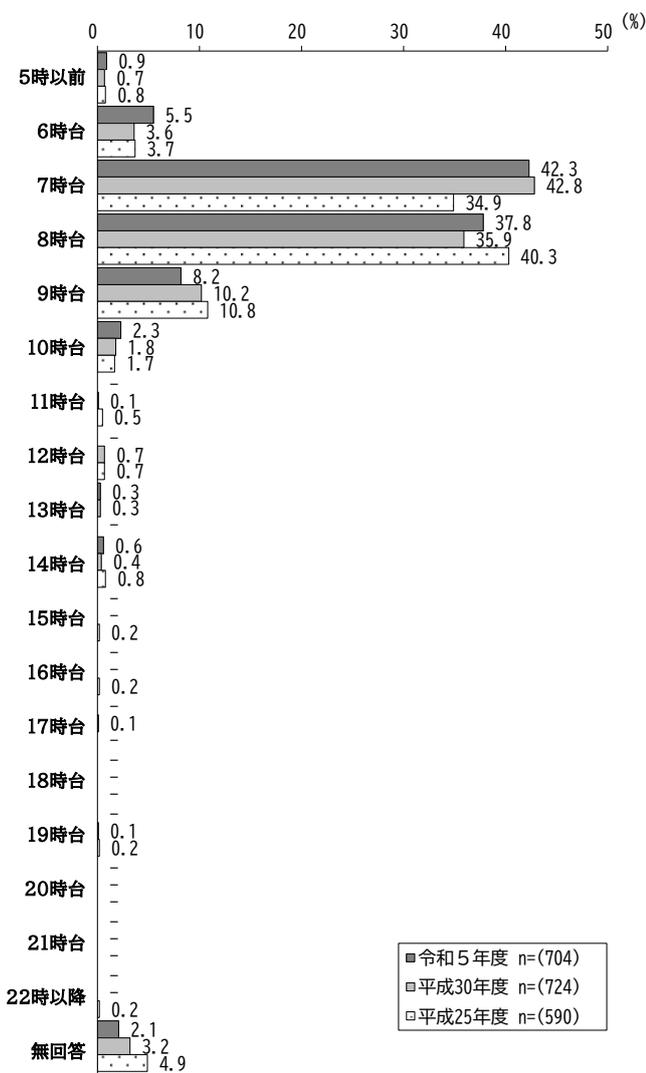
【問15の(1)(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問17 家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

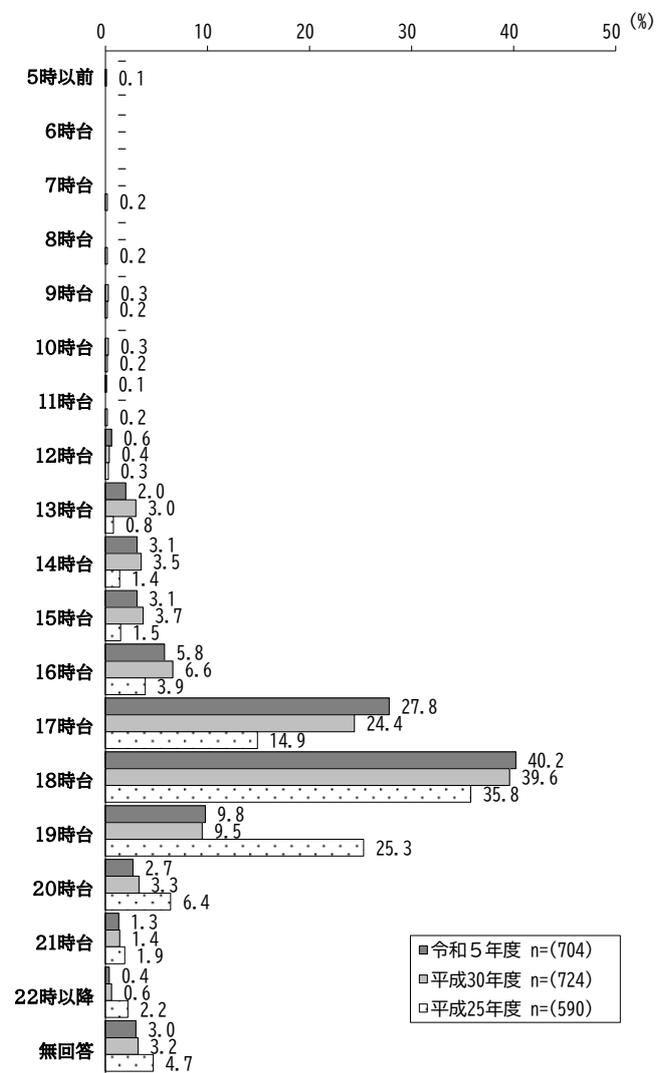
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

母親・経年比較

家を出る時刻



帰宅時刻

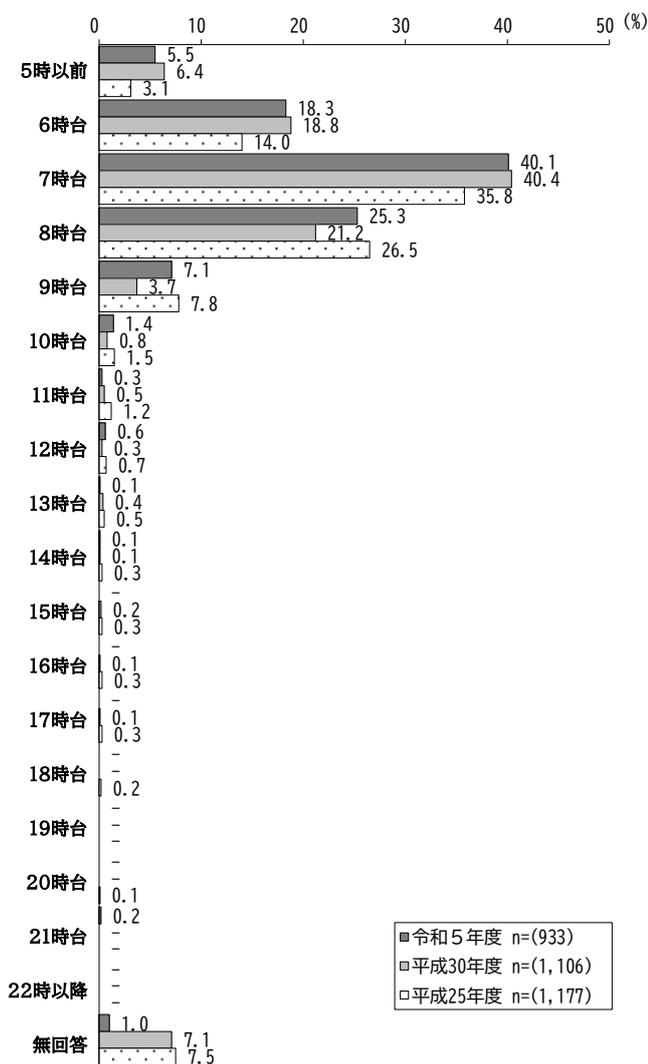


母親が家を出る時刻は、「7時台」が42.3%、「8時台」が37.8%と高くなっている。帰宅時刻は、「18時台」が40.2%、「17時台」が27.8%と高くなっている。

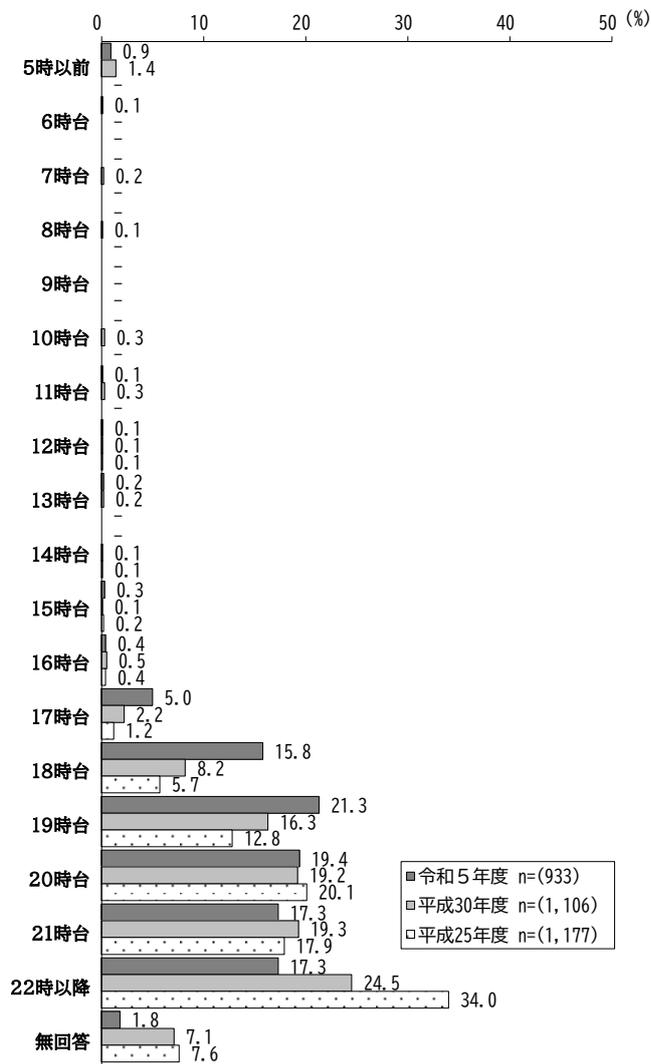
調査結果を経年比較すると、家を出る時刻では「6時台」と「8時台」が前回から1.9ポイント増加し、「9時台」は前回から2.0ポイント、前々回から2.6ポイント減少している。帰宅時刻では「17時台」は前回から3.4ポイント、前々回から12.9ポイント増加している。

父親・経年比較

家を出る時刻



帰宅時刻



父親が家を出る時刻は、「7時台」が40.1%、「8時台」が25.3%、「6時台」が18.3%と高くなっている。帰宅時刻は、「19時台」が21.3%、「20時台」が19.4%、「21時台」と「22時以降」が17.3%、「18時台」が15.8%と高くなっている。

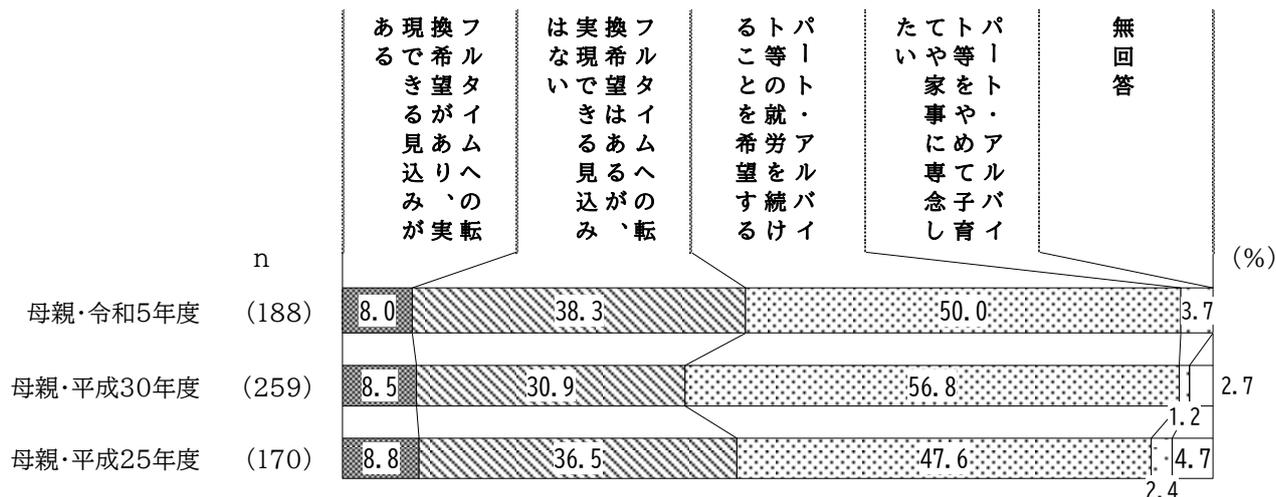
調査結果を経年比較すると、家を出る時刻では「8時台」が前回から4.1ポイント増加、「9時台」が前回から3.4ポイント増加している。帰宅時刻では「18時台」は前回から7.6ポイント、前々回から10.1ポイント増加、「19時台」は前回から5.0ポイント、前々回から8.5ポイント増加している。一方で、「22時以降」は前回から7.2ポイント、前々回から16.7ポイント減少している。

(4) フルタイムへの転換希望

【問15の(1)(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問18 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるものを1つ選んでつけてください。

経年比較



今回調査では、「パート・アルバイト等で就労している」人のフルタイムへの転換希望は、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が50.0%と高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が38.3%と続いている。

※父親は回答者が少ないため、掲載していない。

調査結果を経年比較すると、母親の転換希望では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が前回から7.4ポイント増加している。一方で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は前回から6.8ポイント減少している。

※父親は回答者が少ないため、掲載していない。

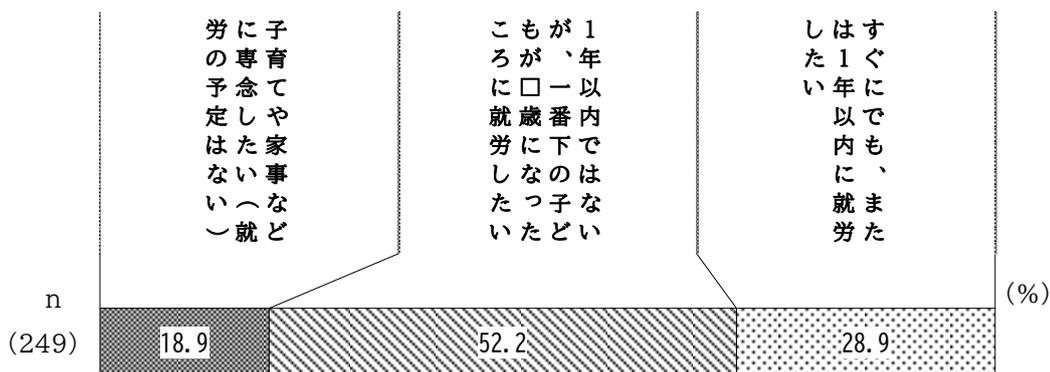
(5) 就労希望

【問15の(1)(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」を選んだ方におたずねします。】

問19 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの、記号それぞれ1つ選び、該当する箇所に数字でご記入ください。

就労希望

母親

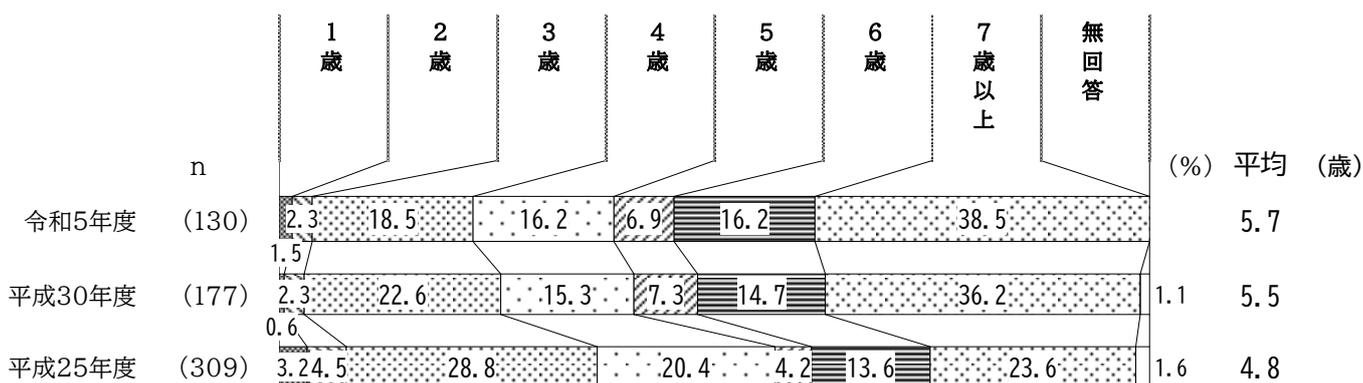


「就労していない、したことがない」母親の就労希望は、「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が52.2%と高くなっている。

※父親は回答者が少ないため、掲載していない。

就労を希望する時期（就労したいと思う末子のこどもの年齢）・経年比較

母親



「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」という母親が就労を希望する時期は、一番下のこどもが「3歳」が18.5%、「4歳」と「6歳」が16.2%、「7歳以上」が38.5%で、平均5.7歳となっている。

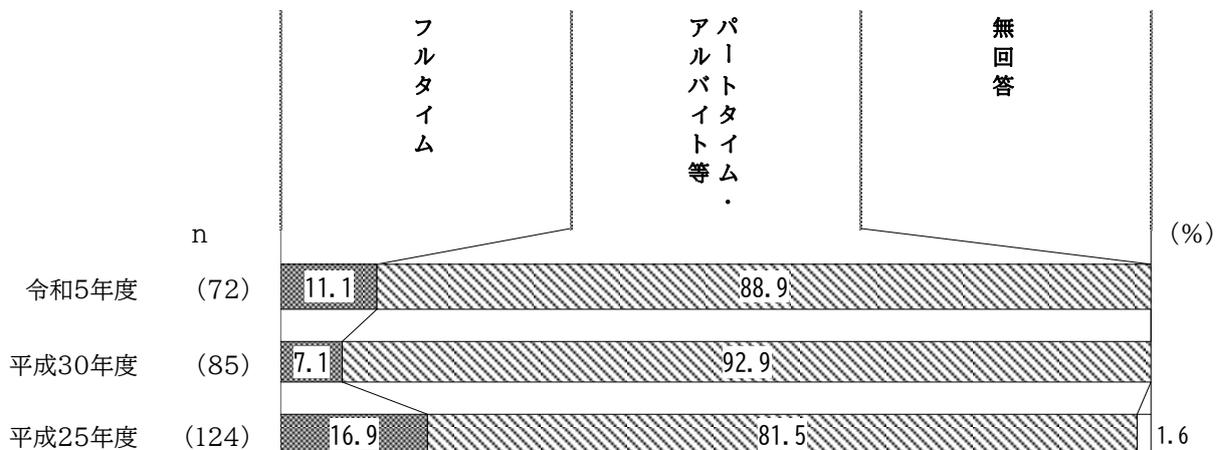
調査結果を経年比較すると、母親では「7歳以上」が前回から2.3ポイント、前々回から14.9ポイント増加している。一方で、「3歳」は前回から4.1ポイント、前々回から10.3ポイント減少している。

※父親は回答者がいないため、掲載していない。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

希望する就労形態・経年比較

母親



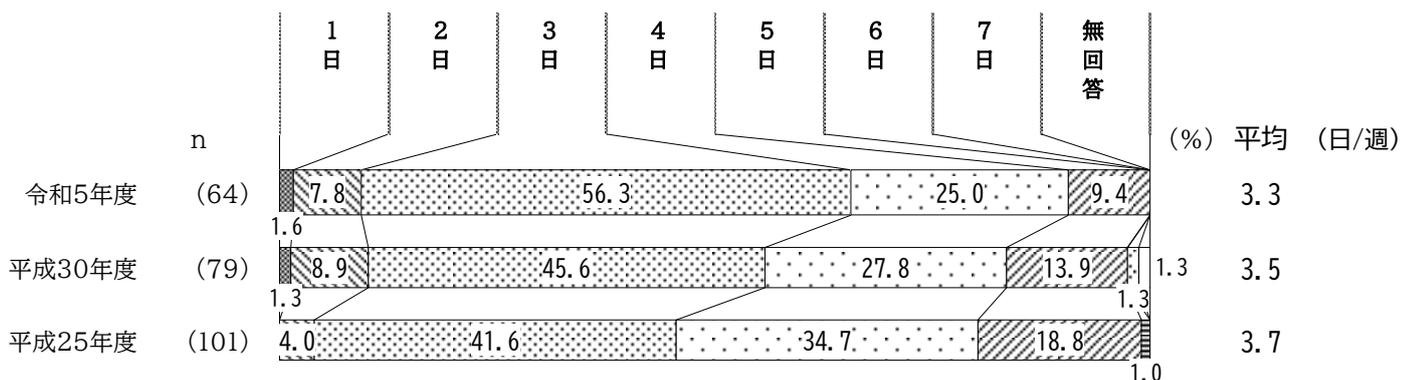
「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する就労形態は、「フルタイム」が11.1%、「パート・アルバイト等」が88.9%となっている。

調査結果を経年比較すると、母親では「フルタイム」が前回から4.0ポイント増加している。一方で、「パートタイム・アルバイト等」は前回から4.0ポイント減少している。

※父親は回答者が少ないため、掲載していない。

パート・アルバイト等で希望する就労日数／1週当たり・経年比較

母親



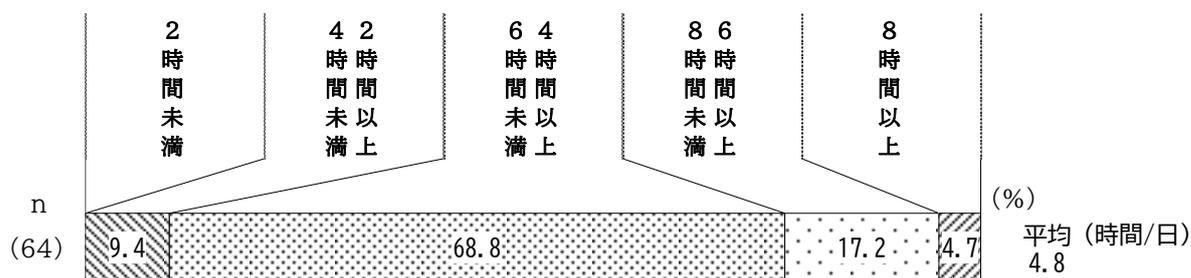
「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が56.3%、「4日」が25.0%で、平均3.3日/週となっている。

調査結果を経年比較すると、母親では「3日」が前回から10.7ポイント、前々回から14.7ポイント増加している。一方で、「4日」は前回から2.8ポイント、「5日」は前回から4.5ポイント減少している。

※父親は回答者がいないため、掲載していない。

パート・アルバイト等で希望する就労時間／1日当たり

母親



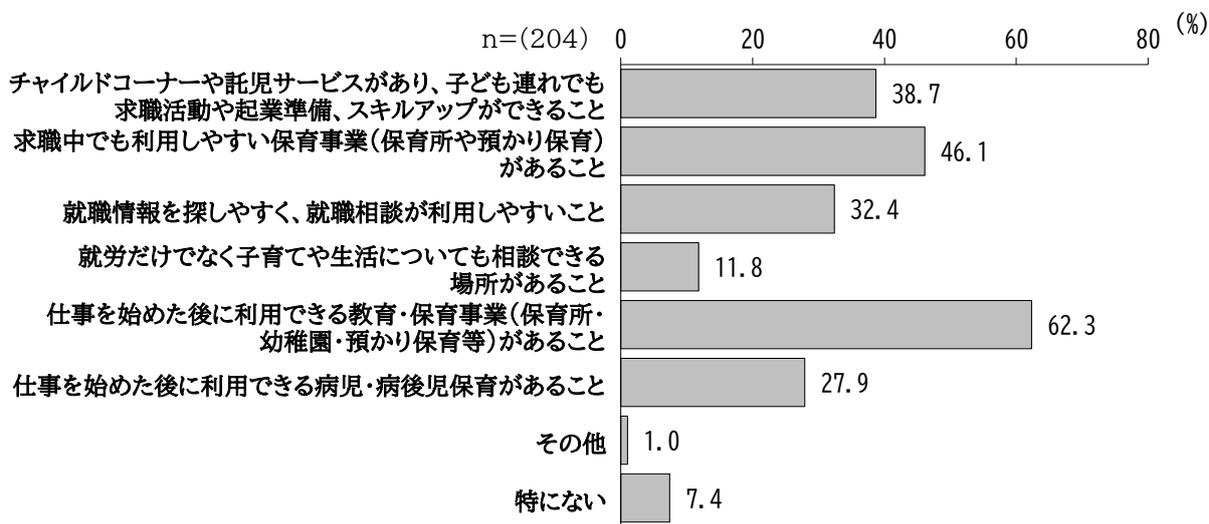
「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する1日当たりの就労時間は、「4時間以上6時間未満」が68.8%と高く、平均4.8時間/日となっている。

※父親は回答者がいないため、掲載していない。

(6) 就労の準備に必要な支援

【問19の(1)(2)で「1年以内ではないが、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」「すぐにでも、または1年以内に就労したい」を選ばれ方におたずねします。】

問19-1 今後、就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号を3つまで選んでください。【複数回答】



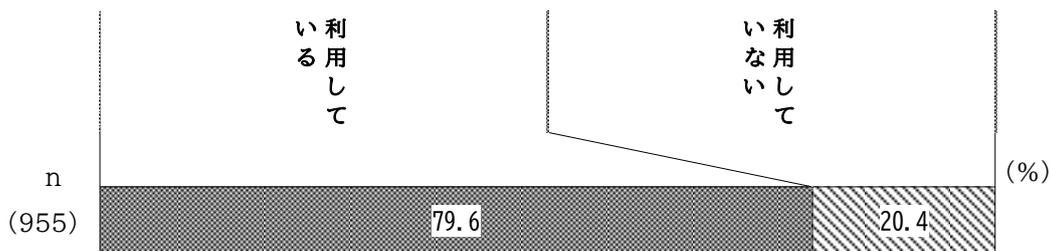
就労を希望している父母が就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援としては、「仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業（保育所・幼稚園・預かり保育等）があること」が62.3%と高く、これに「求職中でも利用しやすい保育事業（保育所や預かり保育）があること」（46.1%）、「チャイルドコーナーや託児サービスがあり、子ども連れでも求職活動や起業準備、スキルアップができること」（38.7%）、「就職情報を探しやすく、就職相談が利用しやすいこと」（32.4%）、「仕事を始めた後に利用できる病児・病後児保育があること」（27.9%）が続いている。

5. こどもの平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と希望について

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、P. 31の問21に示している事業が含まれます。

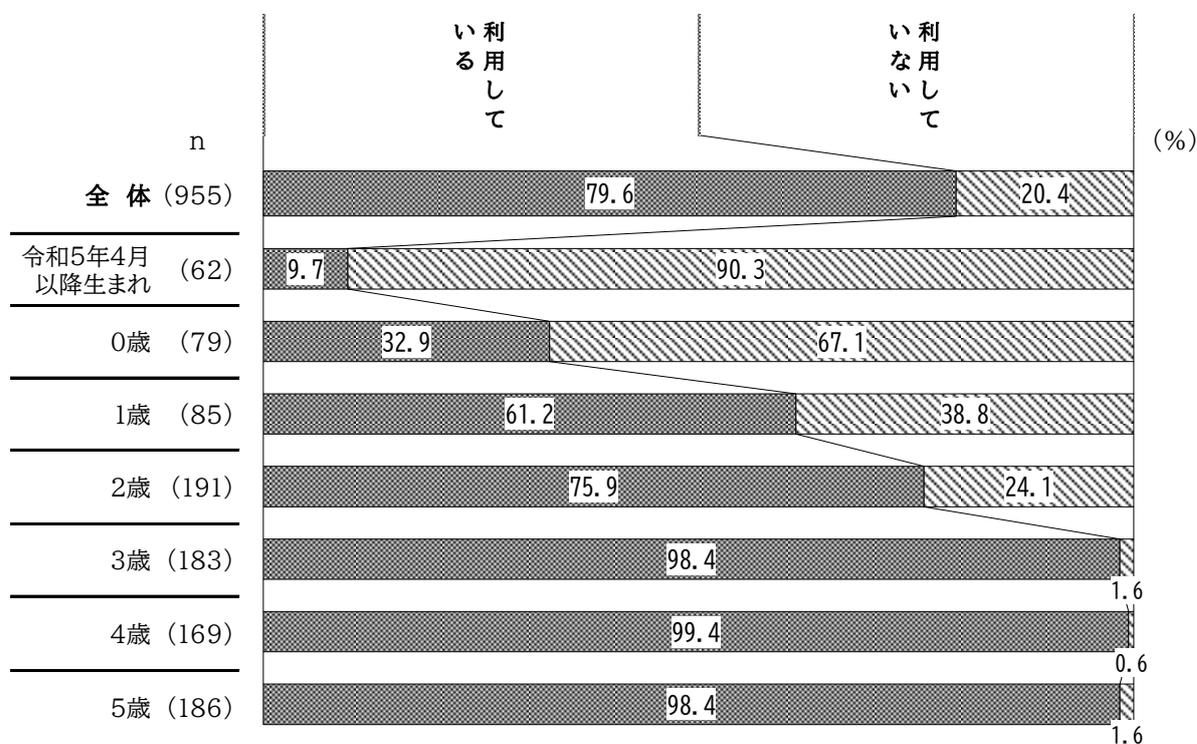
(1) 定期的な教育・保育の事業の利用の有無

問20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまるものを1つ選んでください。



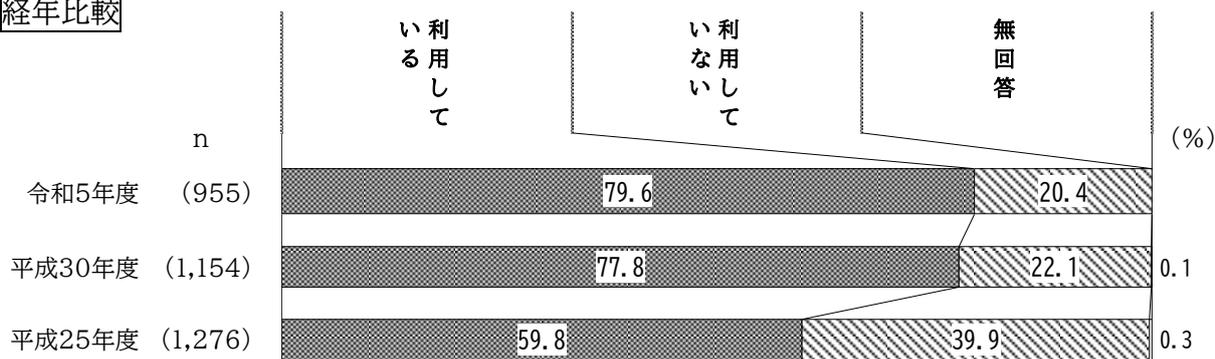
幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業を「利用している」世帯は79.6%となっている。

定期的な教育・保育の事業の利用の有無【年齢別】



定期的な教育・保育の事業の利用の有無を年齢別にみると、3歳以上は「利用している」がほぼ全数となっている。2歳では75.9%、1歳では61.2%、0歳では32.9%となっている。

経年比較



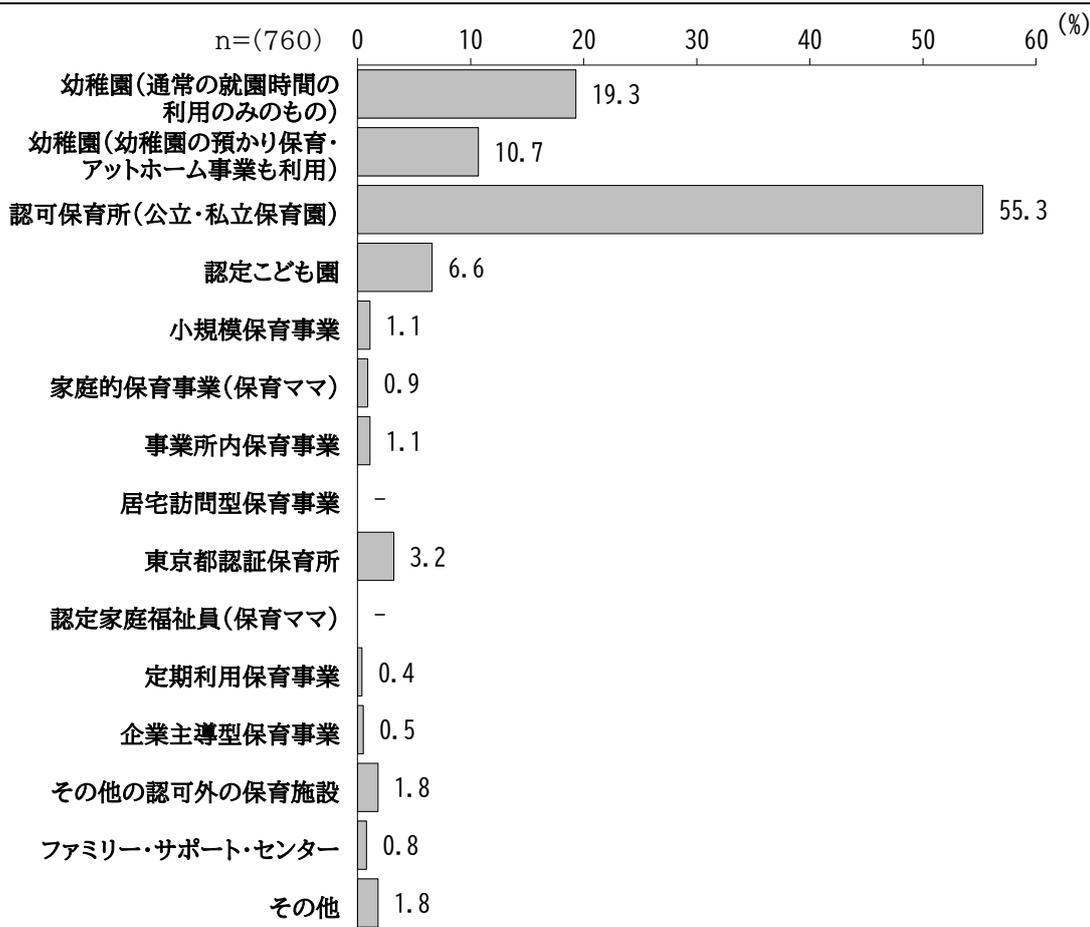
調査結果を経年比較すると、「利用している」が前回から1.8ポイント、前々回から19.8ポイント増加している。

(2) 定期的にご利用している事業

【問20で「利用している」を選ばれた方】

問21 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業について、当てはまるものをすべて選んでください。

【複数回答】



定期的にご利用している教育・保育の事業は、「認可保育所（公立・私立保育園）」が55.3%と高く、これに、「幼稚園（通常の就園時間の利用のみのもの）」(19.3%)、「幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）」(10.7%)、「認定こども園」(6.6%)が続いている。

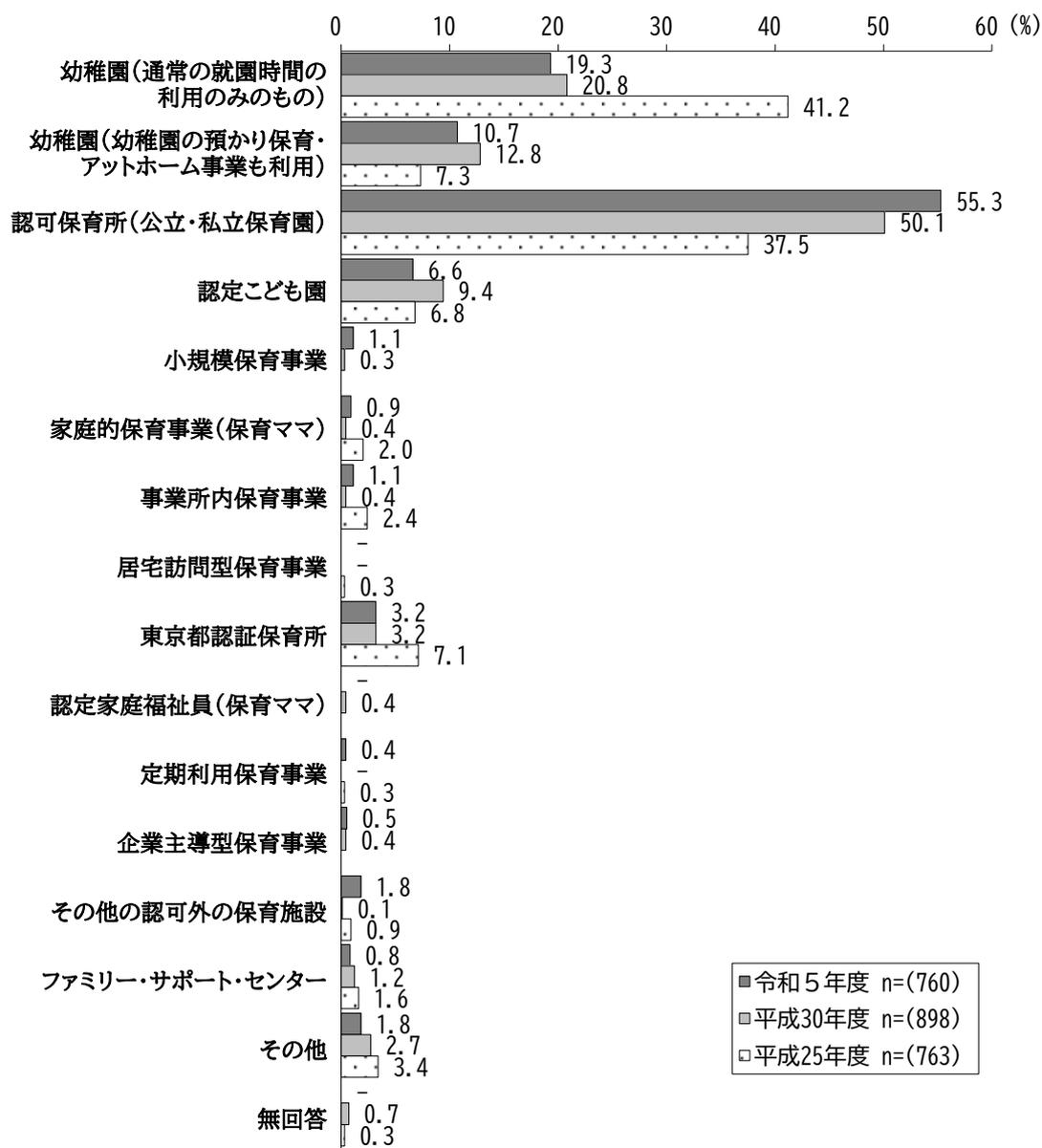
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

定期的に利用している事業【年齢別】

		(%)														
	n	幼稚園（通常の就園時間の利用のみのも の）	幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）	認可保育所（公立・私立保育園）	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業（保育ママ）	事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業	東京都認証保育所	認定家庭福祉員（保育ママ）	定期利用保育事業	企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他
全体	760	19.3	10.7	55.3	6.6	1.1	0.9	1.1	-	3.2	-	0.4	0.5	1.8	0.8	1.8
令和5年4月以降生まれ	6	-	-	83.3	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-
0歳	26	-	-	57.7	-	3.8	-	3.8	-	15.4	-	-	3.8	15.4	3.8	-
1歳	52	-	-	63.5	1.9	5.8	3.8	3.8	-	15.4	-	3.8	-	1.9	-	1.9
2歳	145	6.9	2.8	69.7	2.8	2.8	3.4	-	-	5.5	-	-	1.4	1.4	2.1	4.8
3歳	180	28.9	12.8	45.6	11.1	-	-	-	-	1.1	-	0.6	-	1.1	-	2.8
4歳	168	23.8	17.9	48.8	8.3	-	-	1.8	-	-	-	-	0.6	1.8	1.2	0.6
5歳	183	24.6	13.1	55.7	6.0	-	-	1.1	-	0.5	-	-	-	1.1	-	-

定期的に利用している教育・保育の事業を年齢別にみると、0歳から5歳のいずれの年齢でも「認可保育所（公立・私立保育園）」が高くなっている。また、3歳と4歳は「幼稚園（通常の就園時間の利用のみのも）」、「幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）」及び「認定こども園」を加えた割合が「認可保育所（公立・私立保育園）」を上回っている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、定期的にご利用している教育・保育の事業は「認可保育所（公立・私立保育園）」が前回から5.2ポイント増加している。

※前々回は選択肢の表記が異なるため、直接的な比較は行わず参考として掲載している。

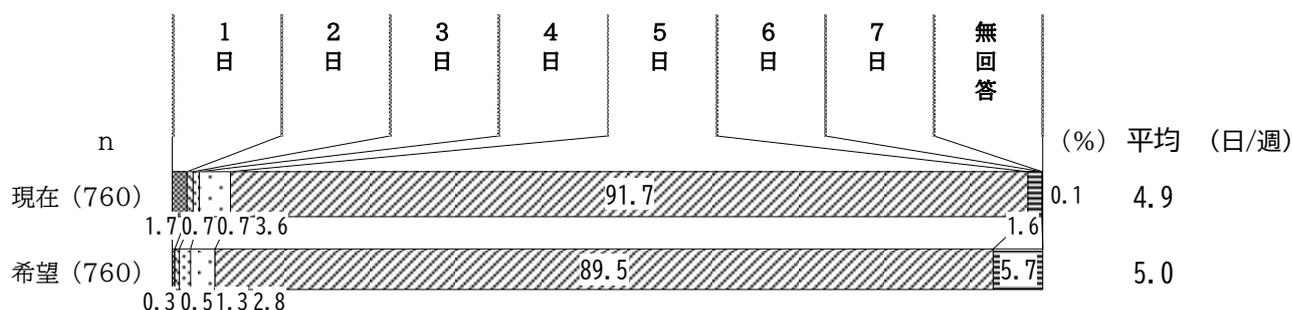
(3) 利用日数、利用時間

【問20で「利用している」を選ばれた方】

問22 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。

※複数利用している方は、合計した時間をご記入ください。

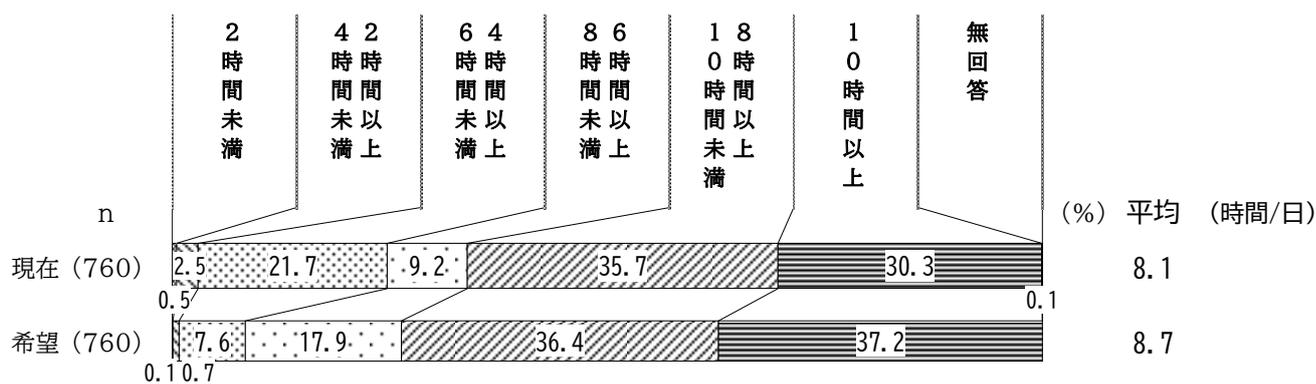
利用日数／1週当たり



平日に定期的に利用している教育・保育の事業の1週当たりの利用日数は、「5日」が91.7%を占め、平均4.9日/週となっている。

利用希望日数も「5日」が89.5%を占め、平均5.0日/週となっている。

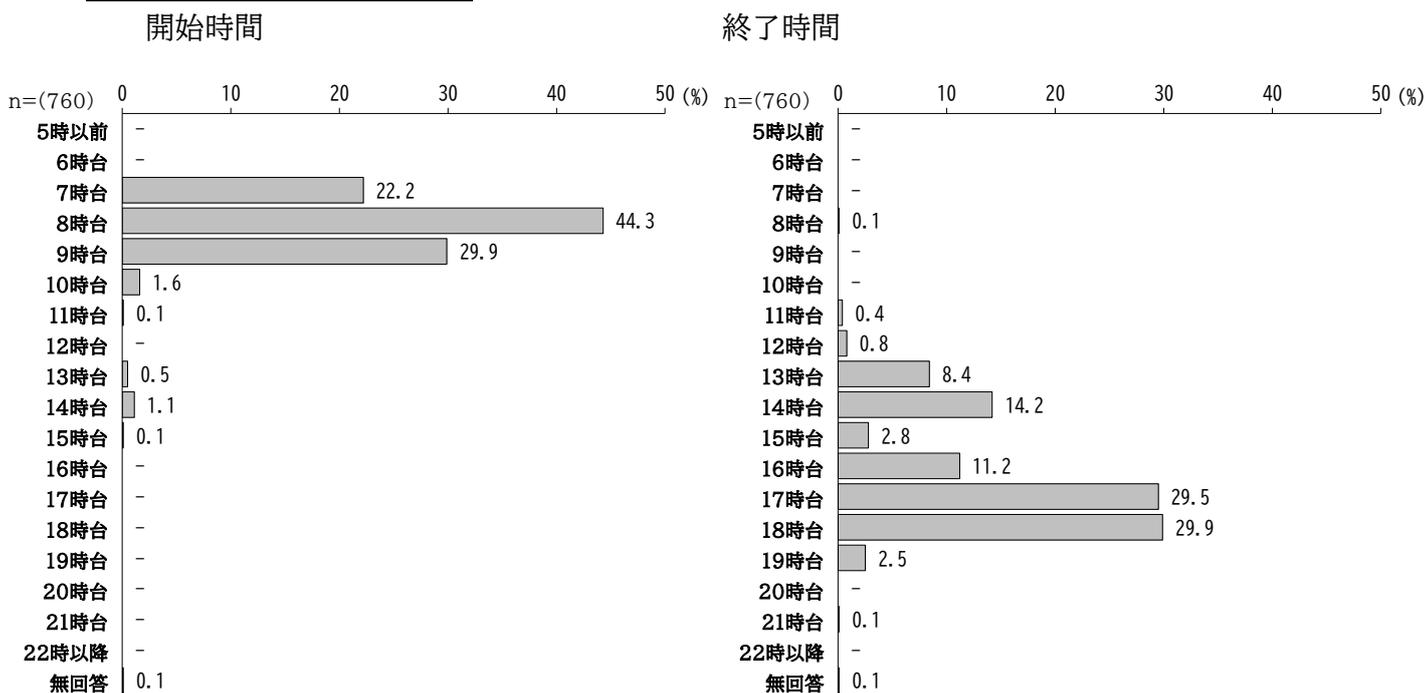
利用時間／1日当たり



平日に定期的に利用している教育・保育の事業の1日当たりの利用時間は、「8時間以上10時間未満」が35.7%、「10時間以上」が30.3%、「4時間以上6時間未満」が21.7%で、平均8.1時間/日となっている。

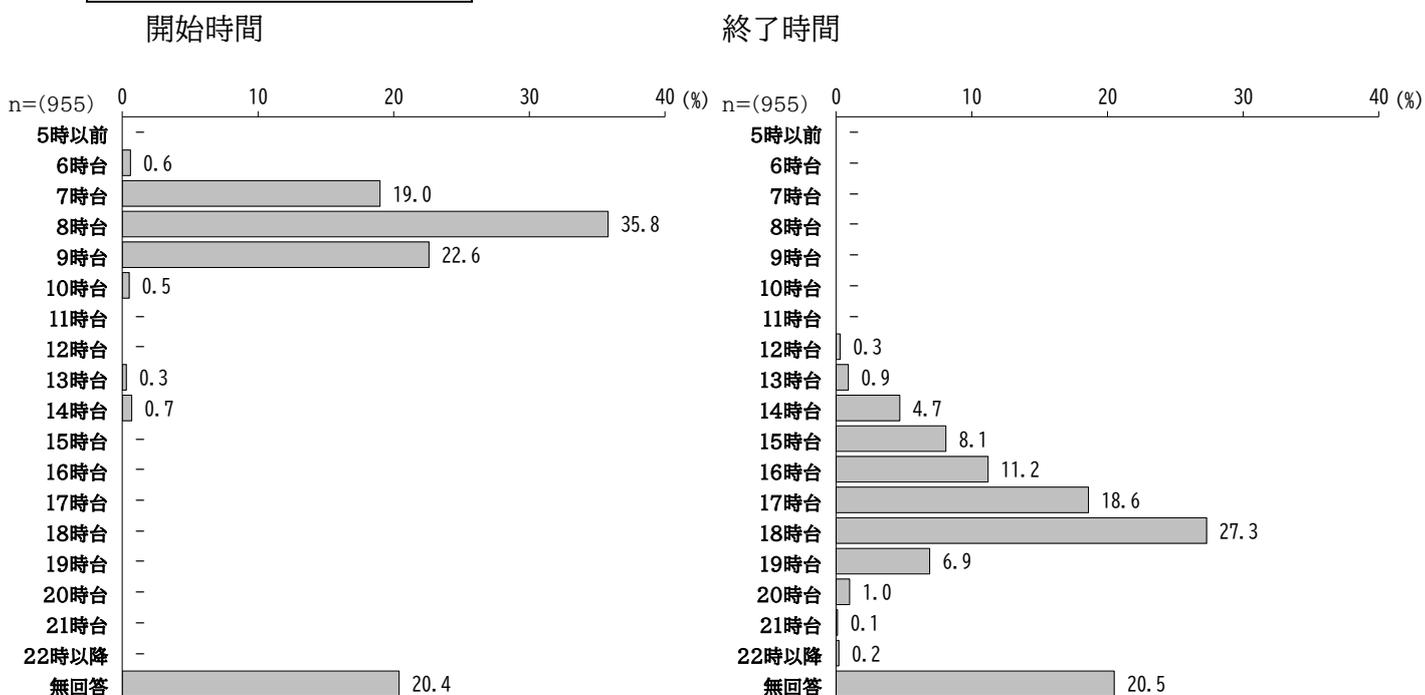
利用希望時間は、「10時間以上」が37.2%、「8時間以上10時間未満」が36.4%、「6時間以上8時間未満」が17.9%で、平均8.7時間/日となっている。

利用している時間帯【現在】



平日に利用している教育・保育の事業の利用開始時間は「8時台」が44.3%、「9時台」が29.9%、「7時台」が22.2%と高く、終了時間は「18時台」が29.9%、「17時台」が29.5%、「14時台」が14.2%と高くなっている。

利用している時間帯【希望】



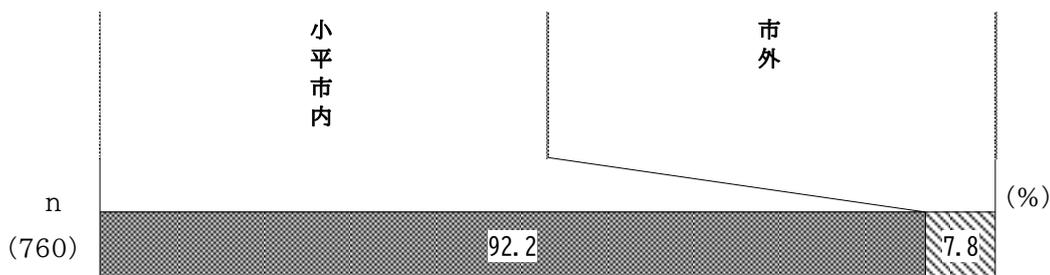
希望開始時間は「8時台」が35.8%、「9時台」が22.6%、「7時台」が19.0%と高く、終了時間は、「18時台」が27.3%、「17時台」が18.6%、「16時台」が11.2%と高くなっている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

（4）利用している教育・保育の事業の実施場所

【問20で「利用している」を選ばれた方】

問23 現在利用している教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

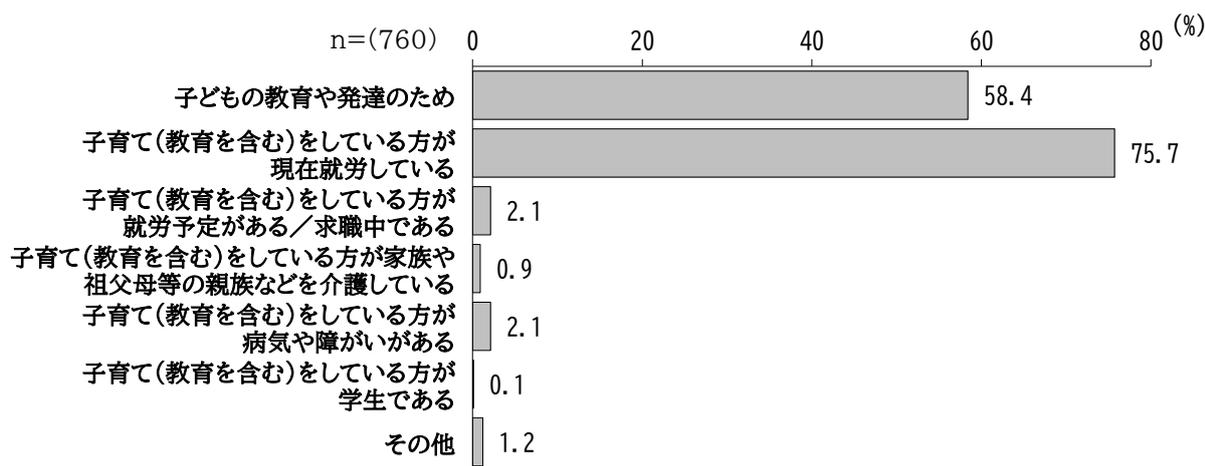


現在利用している教育・保育の事業の実施場所は、「小平市内」が92.2%、「市外」が7.8%となっている。

（5）定期的に教育・保育の事業を利用している理由

【問20で「利用している」を選ばれた方】

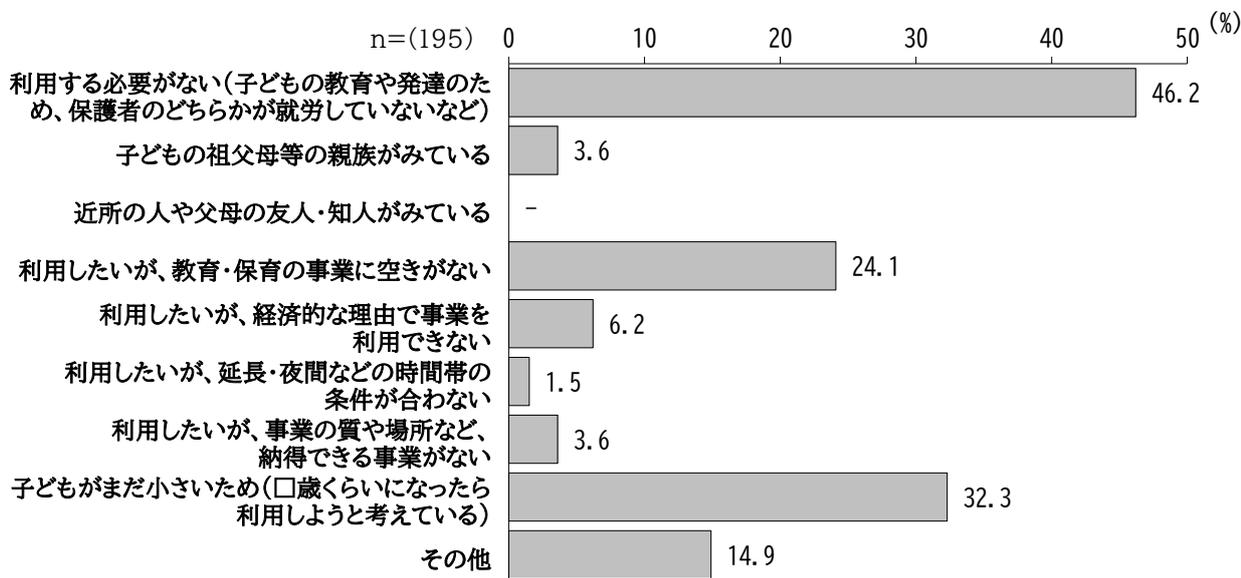
問24 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が75.7%と高く、これに「子どもの教育や発達のため」が58.4%と続いている。

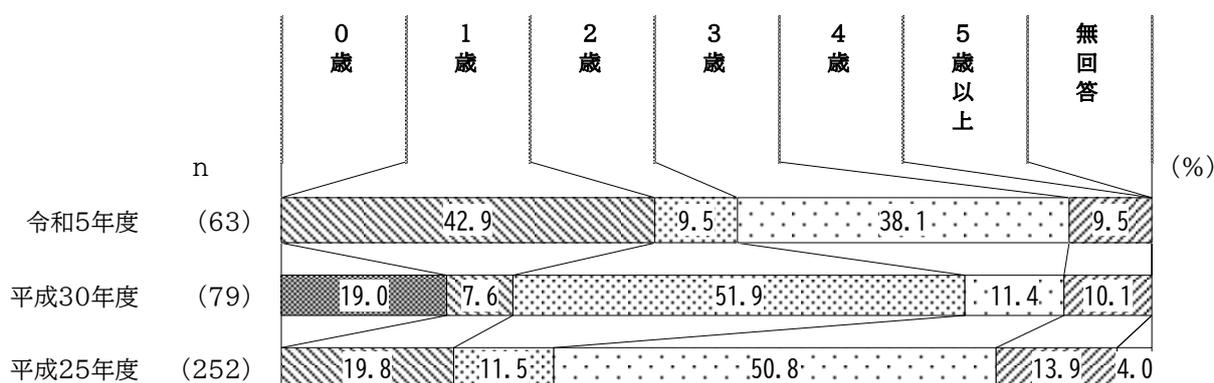
(6) 定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

【問20で定期的な教育・保育の事業を「利用していない」を選ばれた方におたずねします。】
 問25 利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまるものをすべて選んでください。
 【複数回答】



定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、保護者のどちらかが就労していないなど)」が46.2%と高く、これに「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が32.3%と続いている。

利用しようと考えているこどもの年齢・経年比較



定期的な教育・保育の事業を利用していない理由として「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人が教育・保育の事業を利用しようと考えているこどもの年齢は、「1歳」が42.9%、「3歳」が38.1%となっている。

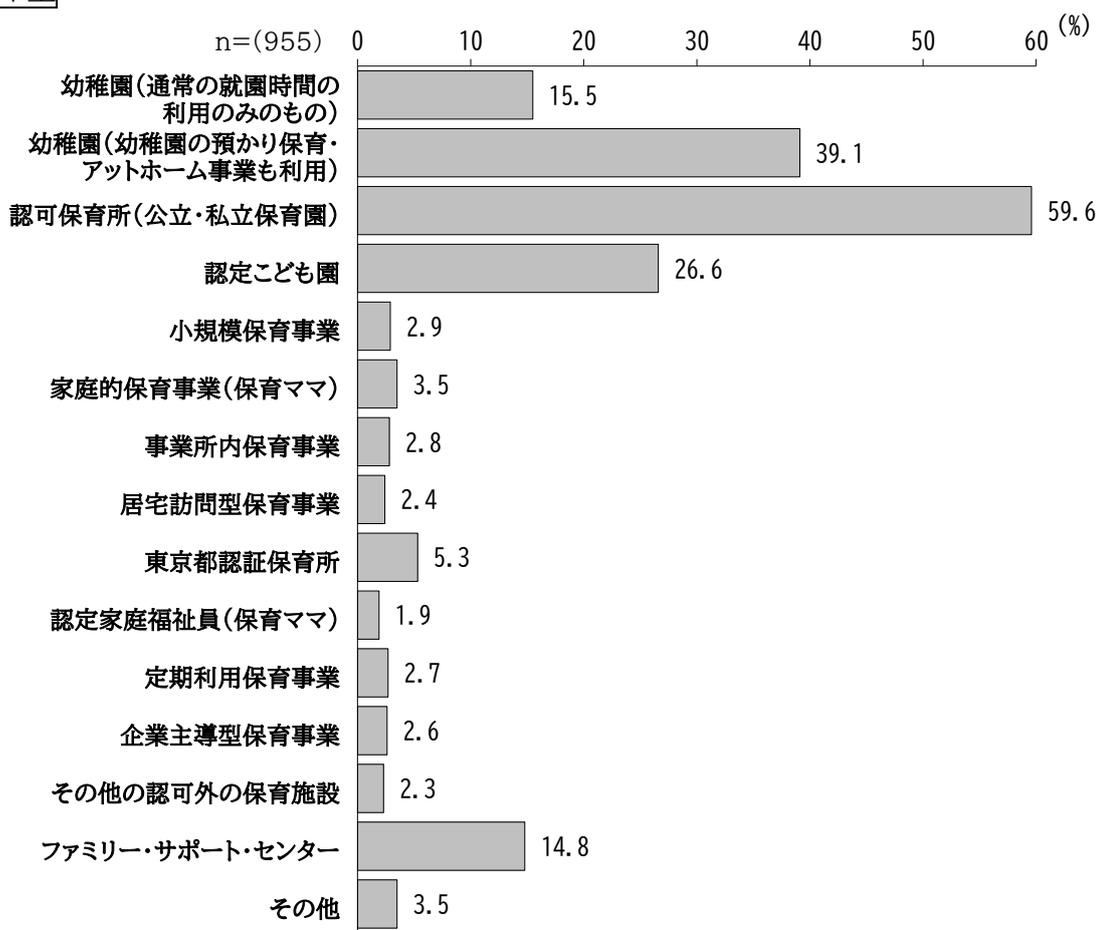
調査結果を経年比較すると、こどもの年齢は「1歳」が前回から35.3ポイント、「3歳」が前回から26.7ポイント増加している。一方で、「2歳」は前回から42.4ポイント減少している。

(7) 定期的に利用したい教育・保育の事業

問26 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について、当てはまる事業をすべて選んでください。【複数回答】

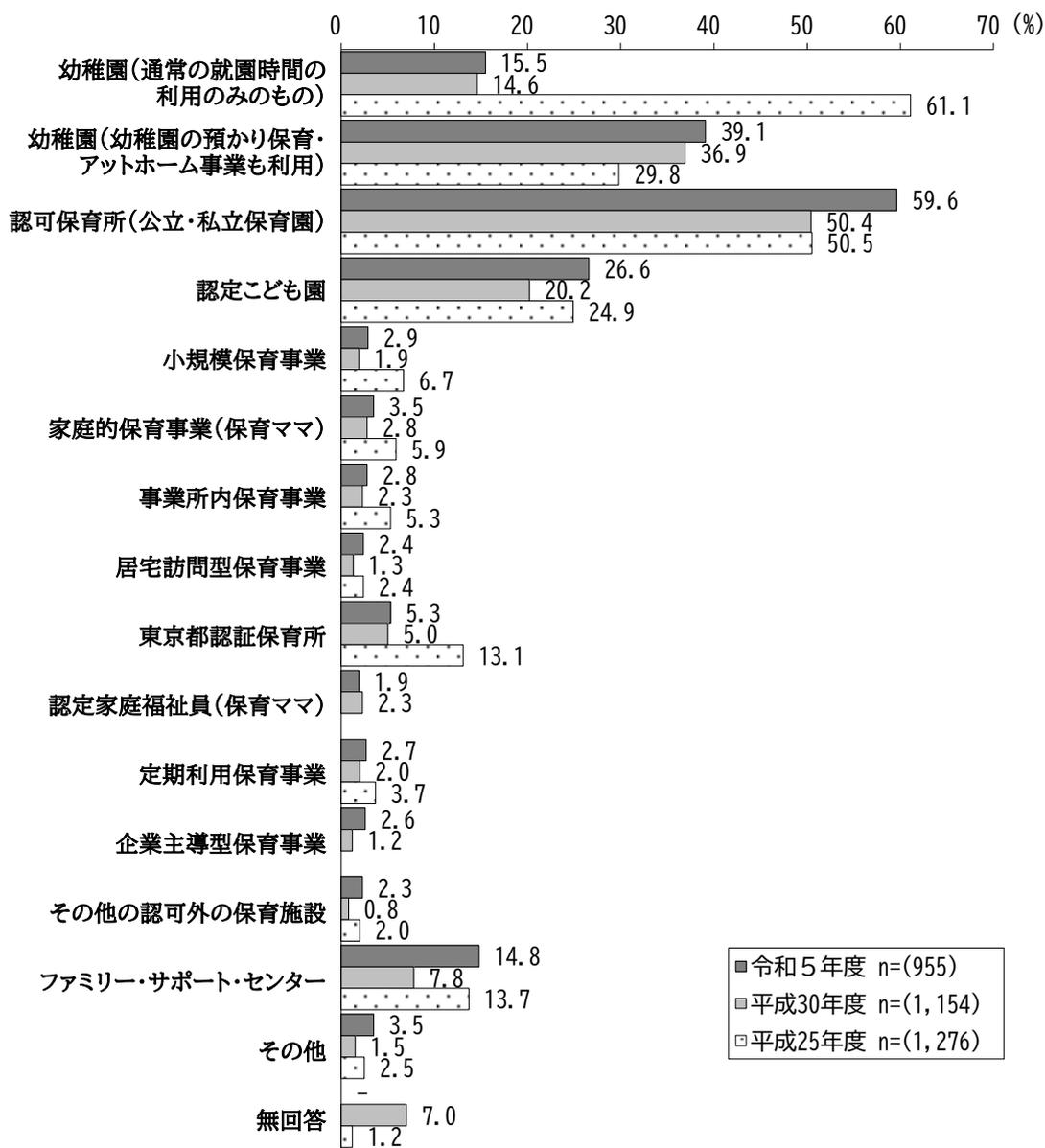
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

現在の希望



平日の教育・保育の事業として定期的に利用したい事業は、「認可保育所（公立・私立保育園）」が59.6%と高く、これに「幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）」（39.1%）、「認定こども園」（26.6%）、「幼稚園（通常の就園時間の利用のみのもの）」（15.5%）、「ファミリー・サポート・センター」（14.8%）が続いている。

経年比較

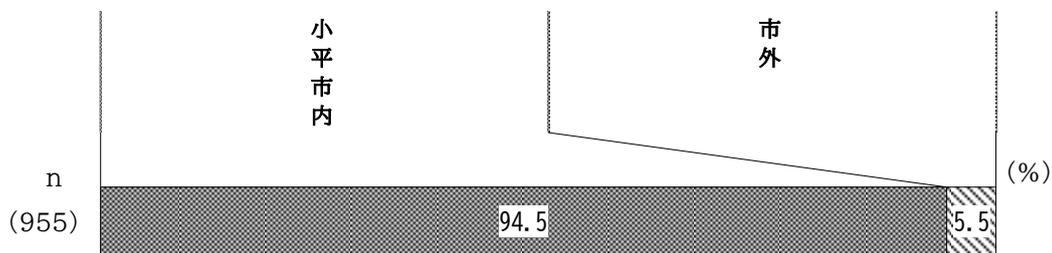


調査結果を経年比較すると、定期的に利用したい教育・保育の事業は、前回から「認可保育所(公立・私立保育園)」が9.2ポイント、「ファミリー・サポート・センター」が7.0ポイント、「認定こども園」が6.4ポイント増加している。

※前々回は選択肢の表記が異なるため、直接的な比較は行わず参考として掲載している。

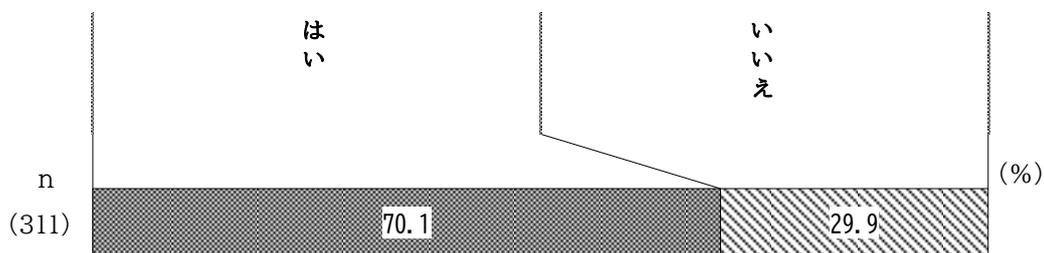
(8) 利用したい実施場所

問27 教育・保育の事業を利用したい場所について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。



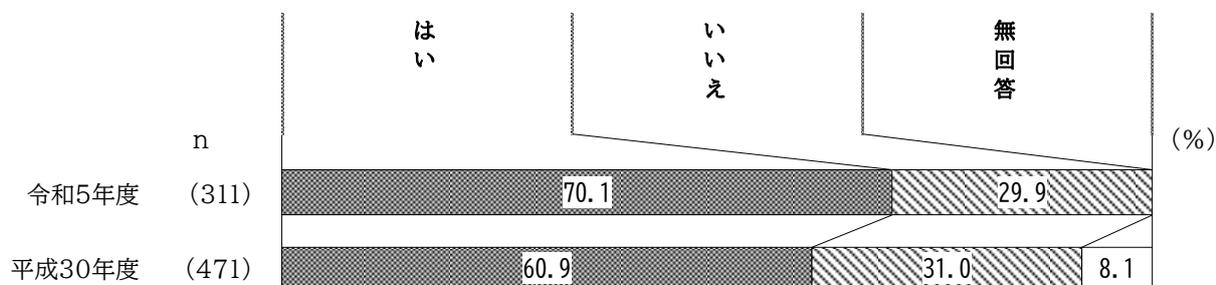
(9) 幼稚園の強い利用希望の有無

【問26で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用」を選び、かつそれら以外の選択肢も選ばれた方にうかがいます。】
 問28 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまるものを1つ選んでください。



平日の教育・保育の事業の利用希望者のうち、「特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望する」という人は、70.1%となっている。

経年比較

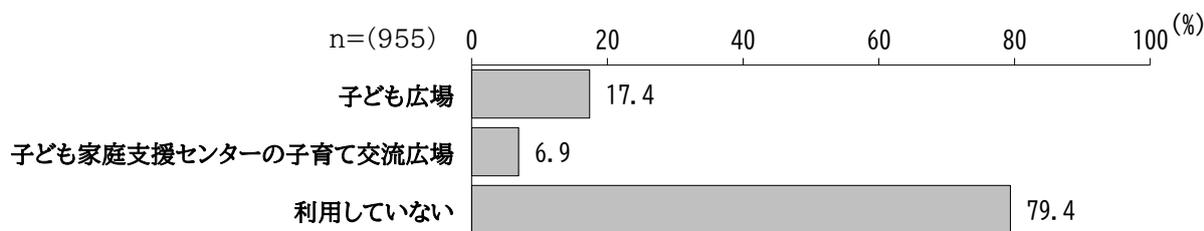


調査結果を経年比較すると、「特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望する」という人が前回から9.2ポイント増加している。

6. こどもの地域子育て支援拠点事業の利用状況と希望について

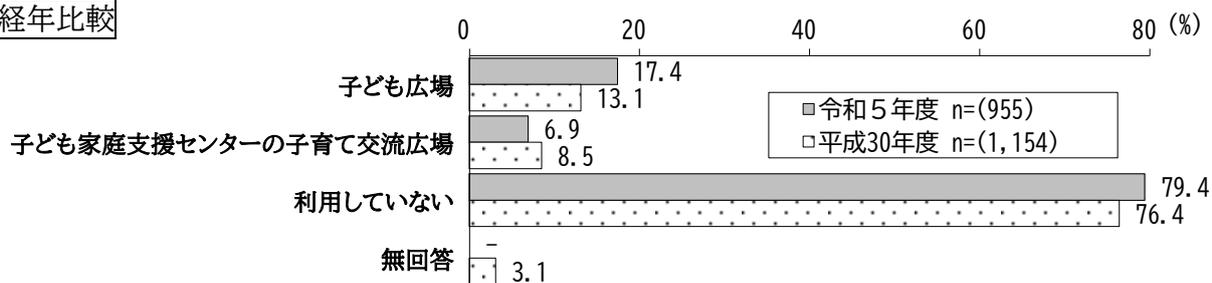
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問29 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子ども広場、子ども家庭支援センター）を利用していますか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。



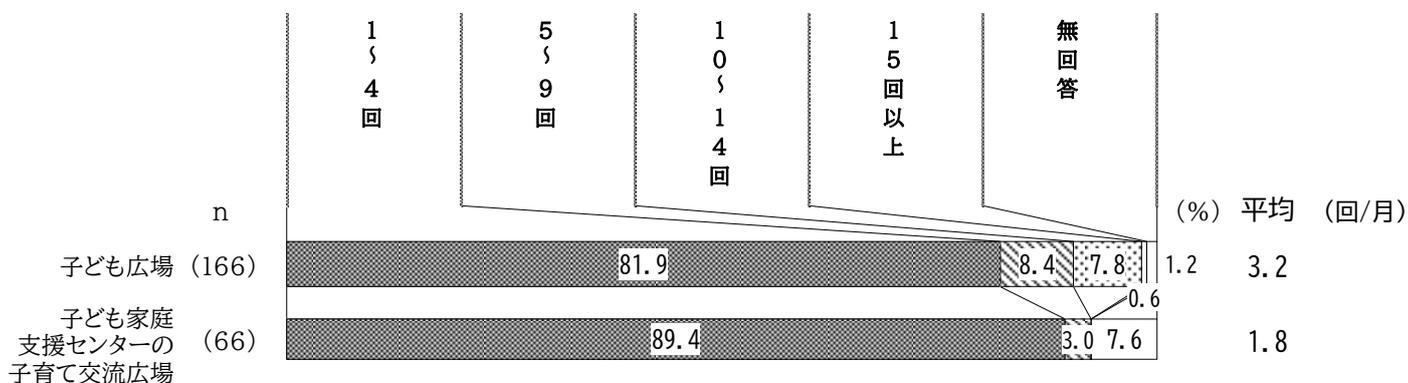
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が79.4%と高く、「子ども広場」が17.4%、「子ども家庭支援センターの子育て交流広場」が6.9%となっている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、利用している地域子育て支援拠点事業は「子ども広場」が前回から4.3ポイント増加している。

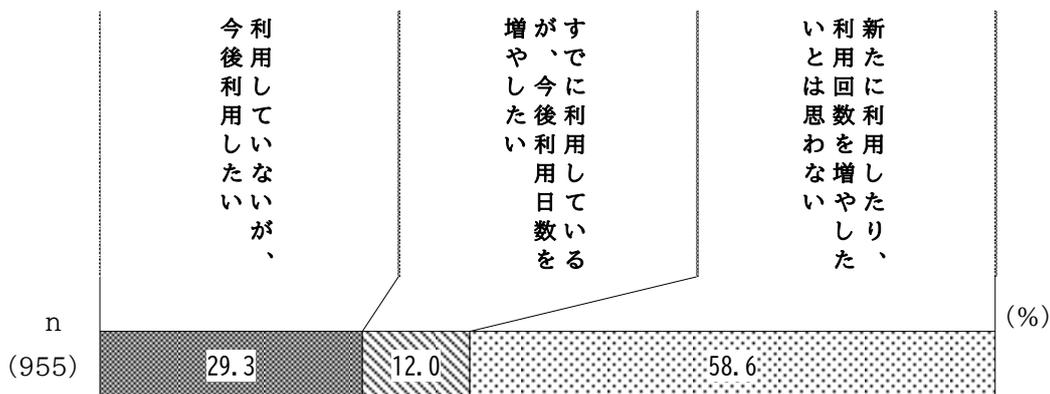
利用回数（1ヶ月あたり）



地域子育て支援拠点事業の1ヶ月あたり平均利用回数は、「子ども広場」が3.2回/月、「子ども家庭支援センターの子育て交流広場」が1.8回/月となっている。

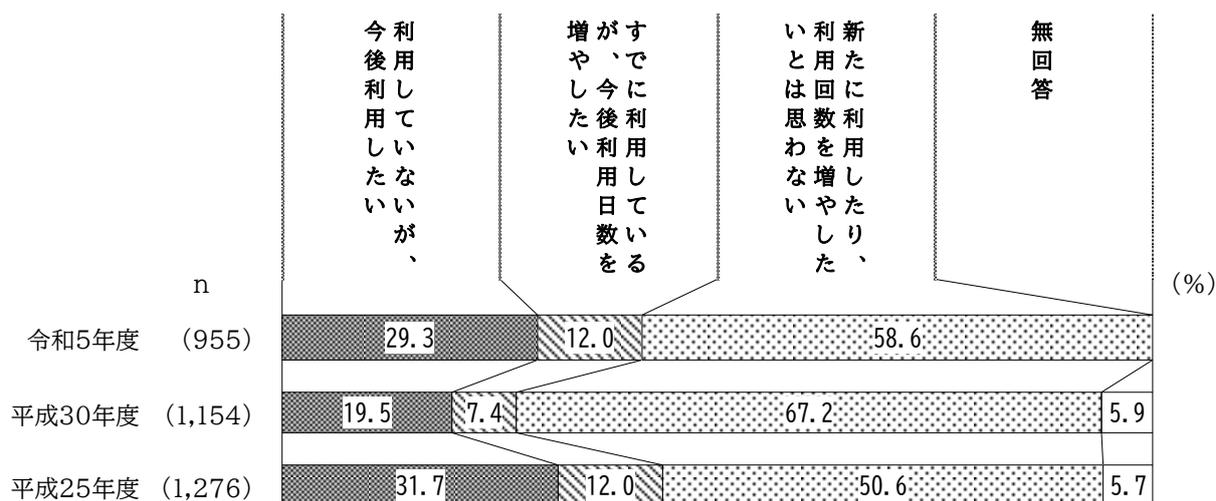
(2) 今後の利用希望と利用したい回数

問30 問29のような地域子育て支援拠点事業（子ども広場、子ども家庭支援センター）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いませんか。当てはまるものを1つ選び、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。



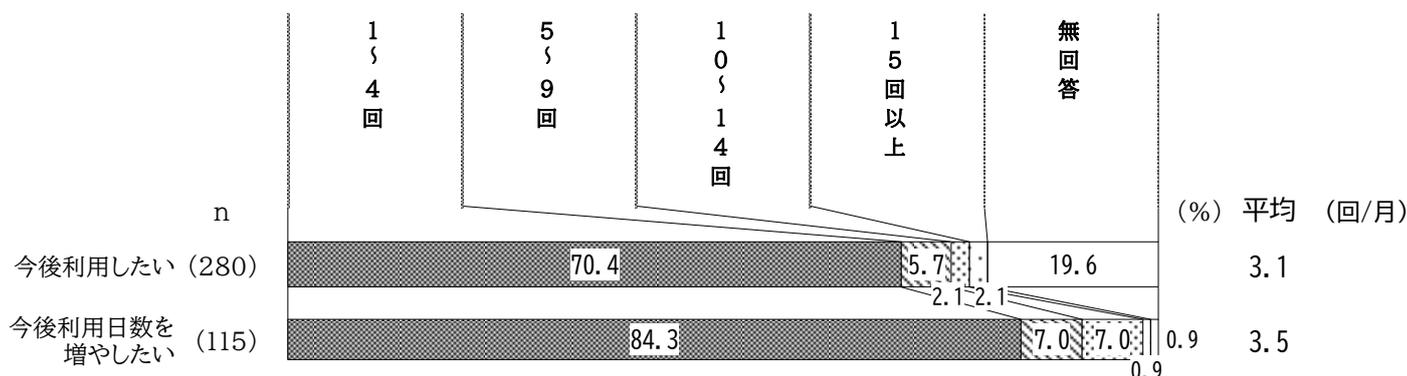
地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(29.3%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(12.0%)合計で41.3%となっている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、地域子育て支援拠点事業の利用希望は、前回から「利用していないが、今後利用したい」が9.8ポイント、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が4.6ポイント増加している。

利用したい回数／1ヶ月当たり



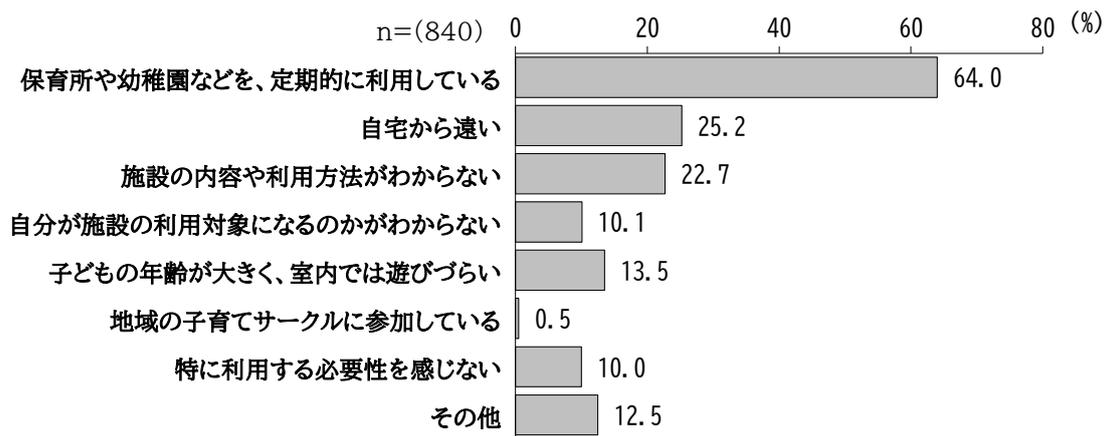
1ヶ月当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で3.1回/月、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、3.5回/月となっている。

(3) 利用しない理由

【問30で「利用していないが、今後利用したい」または「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。】

問30-1 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していない、または今後利用回数を増やしたいとは思わない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

【複数回答】

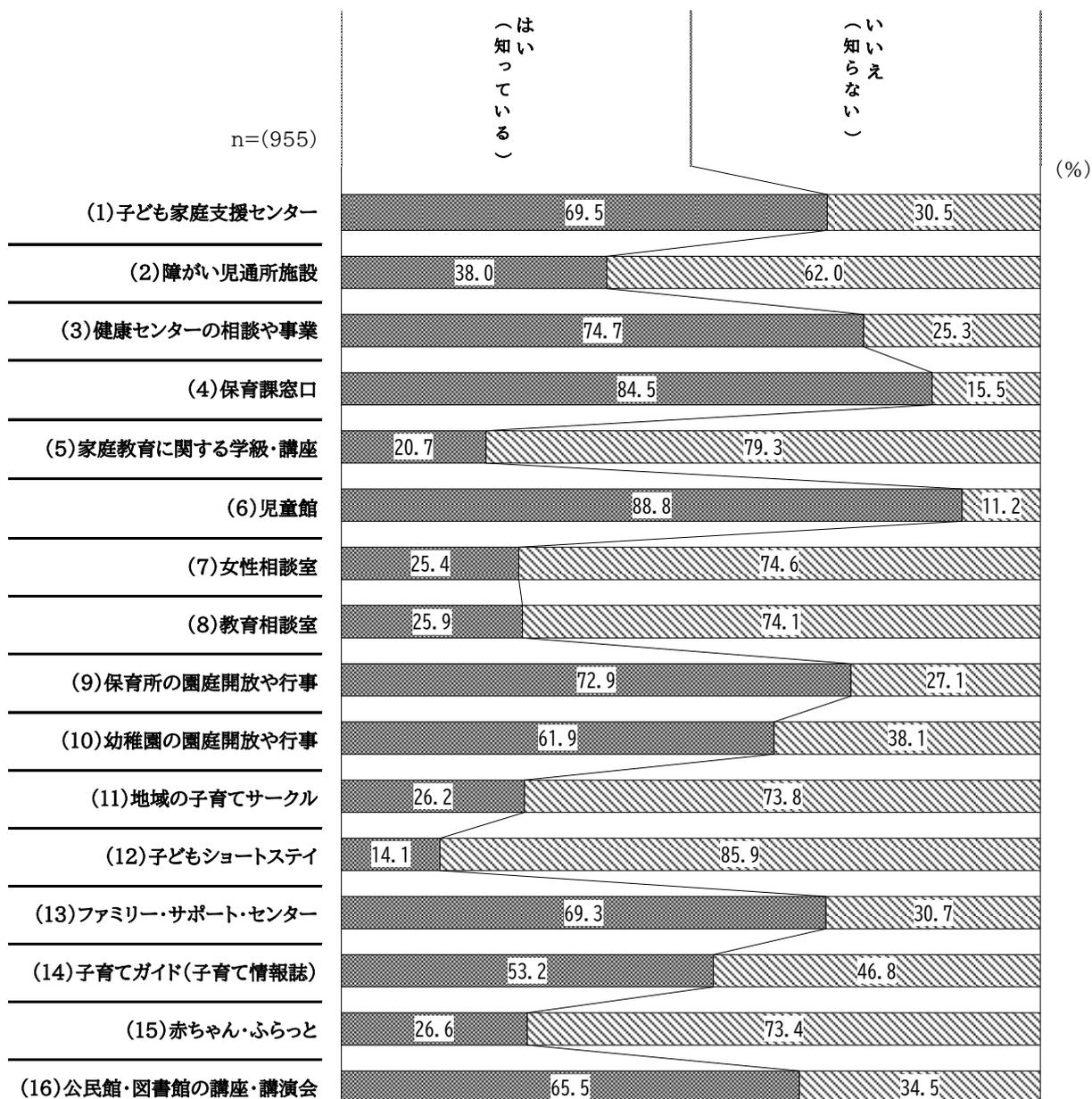


地域子育て支援拠点事業を利用していない、または今後利用回数を増やしたいとは思わない理由は、「保育所や幼稚園などを、定期的に利用している」が64.0%と高く、これに「自宅から遠い」が25.2%、「施設の内容や利用方法がわからない」が22.7%と続いている。

(4) 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望

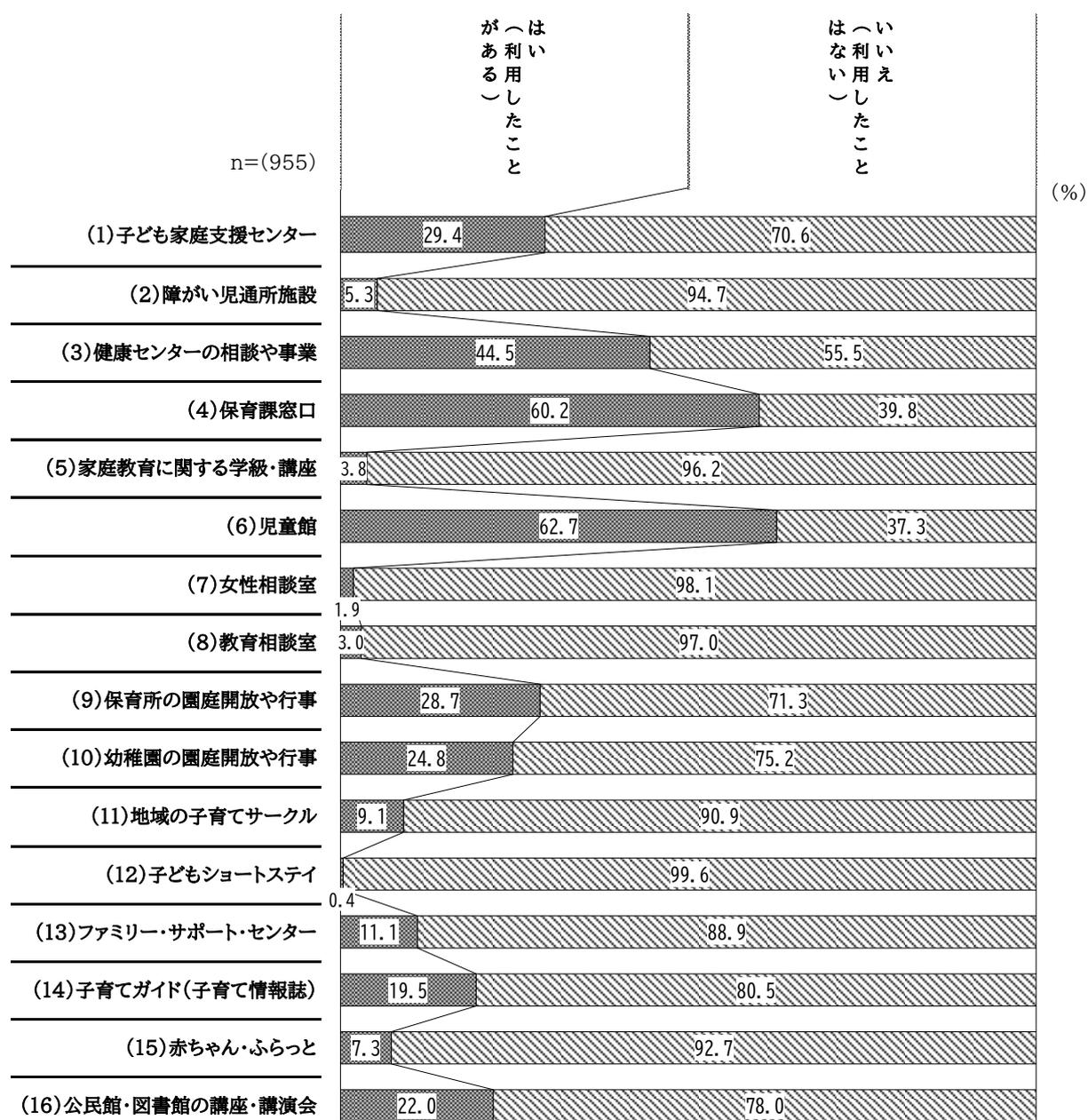
問31 各種支援事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。(1)～(16)のA(認知状況)、B(利用状況)、C(利用希望)について、それぞれ当てはまるものを選んでください。

A 各種支援事業の認知状況



各種支援事業の認知状況（知っている）は、「児童館」（88.8%）と「保育課窓口」（84.5%）が高く、これらに「健康センターの相談や事業」（74.7%）、「保育所の園庭開放や行事」（72.9%）、「子ども家庭支援センター」（69.5%）、「ファミリー・サポート・センター」（69.3%）、「公民館・図書館の講座・講演会」（65.5%）が続いている。

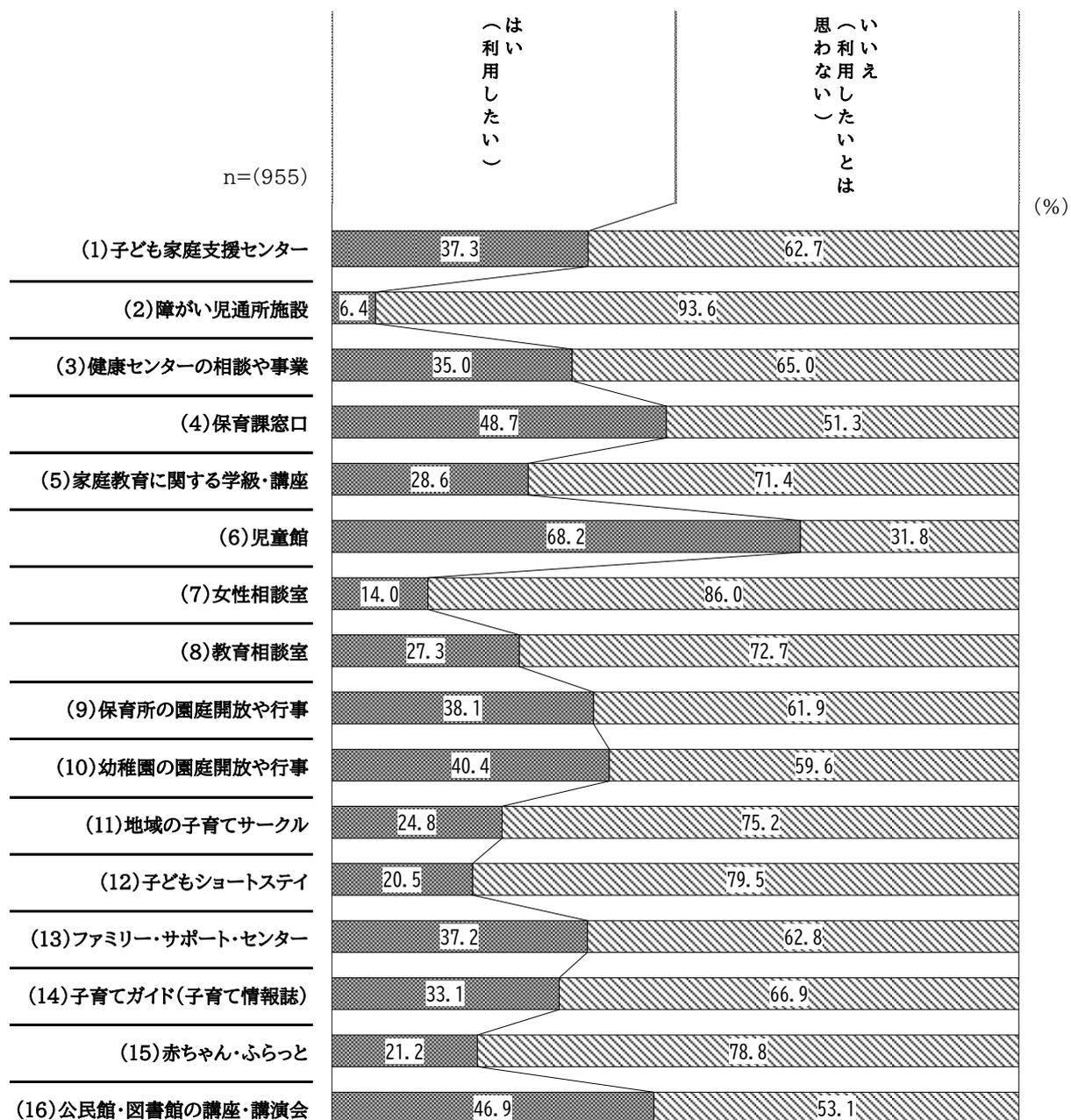
B 各種支援事業のこれまでの利用状況



各種支援事業のこれまでの利用状況（利用したことがある）は、「児童館」（62.7%）と「保育課窓口」（60.2%）が高く、これらに「健康センターの相談や事業」（44.5%）、「子ども家庭支援センター」（29.4%）、「保育所の園庭開放や行事」（28.7%）、「幼稚園の園庭開放や行事」（24.8%）、「公民館・図書館の講座・講演会」（22.0%）、「子育てガイド（子育て情報誌）」（19.5%）が続いている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

C 各種支援事業の今後の利用希望



各種支援事業の利用希望（利用したい）は、「児童館」（68.2%）が高く、これに、「保育課窓口」（48.7%）、「公民館・図書館の講座・講演会」（46.9%）、「幼稚園の園庭開放や行事」（40.4%）、「保育所の園庭開放や行事」（38.1%）、「子ども家庭支援センター」（37.3%）、「ファミリー・サポート・センター」（37.2%）が続いている。

7. こどもの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望について

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

※教育・保育の事業とは、幼稚園、保育所などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯

問32 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。当てはまるものを1つ選び、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

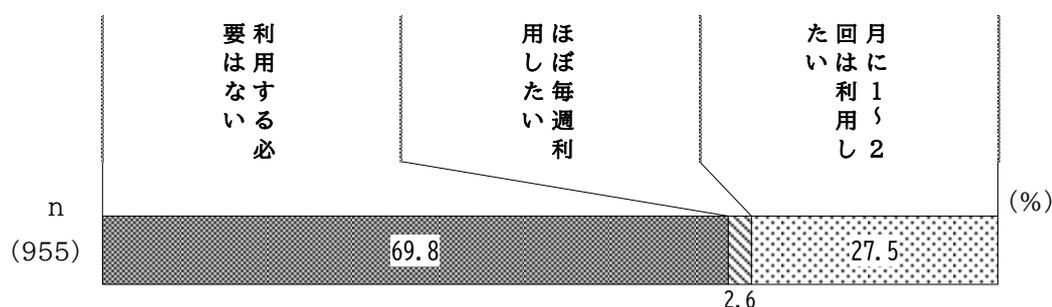
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日



土曜日の教育・保育の事業の利用状況は、「利用する必要はない」が55.6%と高く、「月に1～2回は利用したい」が37.0%、「ほぼ毎週利用したい」が7.4%となっている。

日曜日・祝日

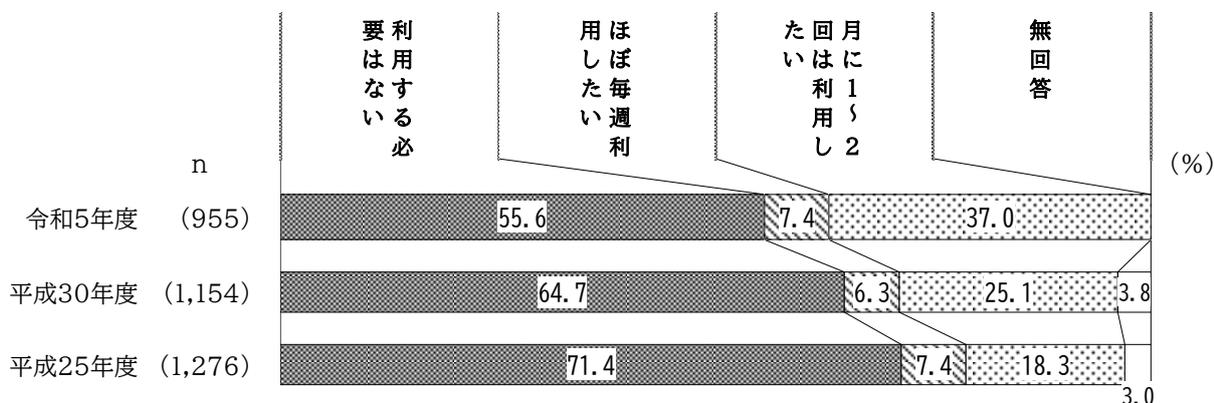


日曜日・祝日は、「利用する必要はない」が69.8%と高く、「月に1～2回は利用したい」が27.5%、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%となっている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

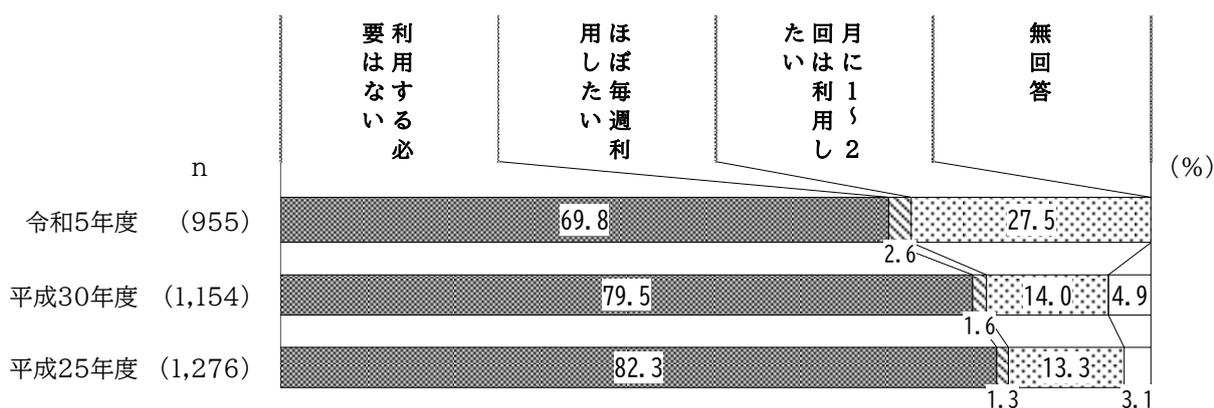
経年比較

土曜日



調査結果を経年比較すると、土曜日の教育・保育の事業の利用状況は「月に1～2回は利用したい」が前回から11.9ポイント、前々回から18.7ポイント増加している。

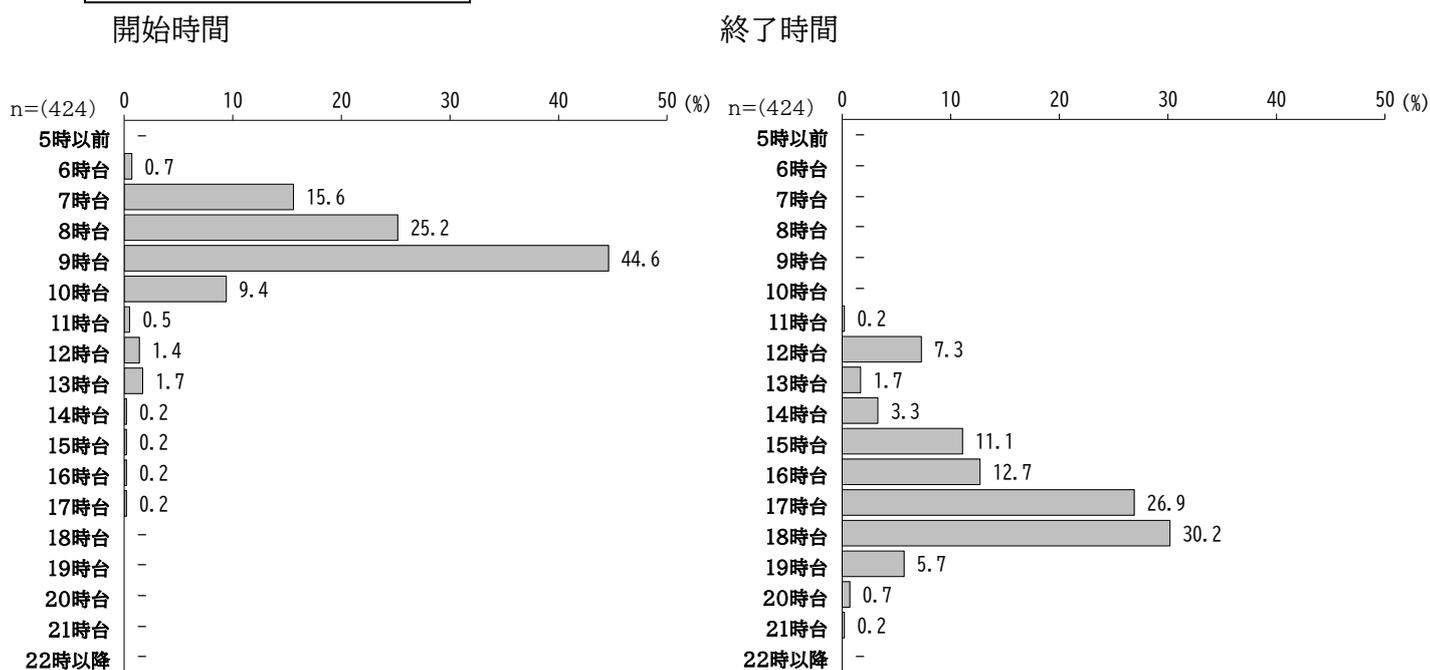
日曜日・祝日



調査結果を経年比較すると、日曜日・祝日の教育・保育の事業の利用状況は「月に1～2回は利用したい」が前回から13.5ポイント、前々回から14.2ポイント増加している。

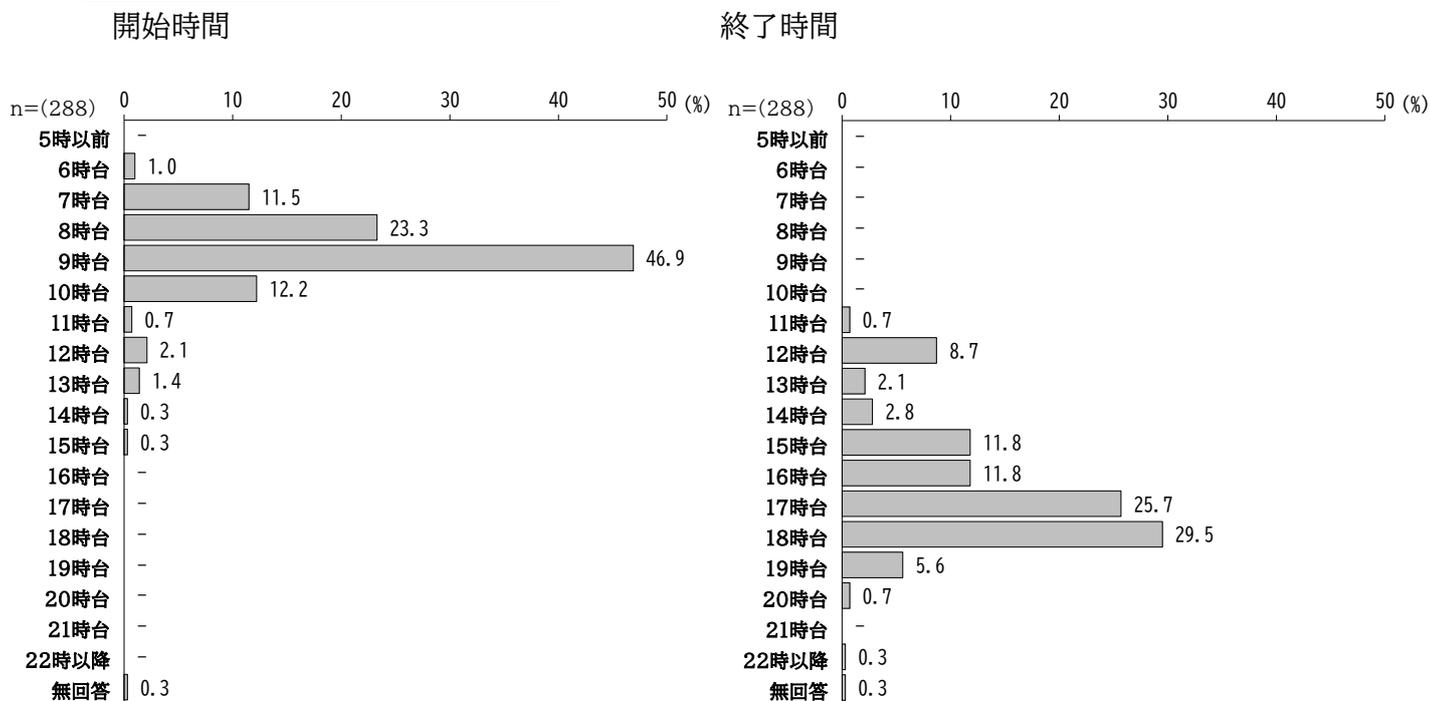
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

利用している時間帯 土曜日



土曜日の利用開始時間は、「9時台」が44.6%、「8時台」が25.2%、「7時台」が15.6%と高く、終了時間は、「18時台」が30.2%、「17時台」が26.9%と高くなっている。

利用している時間帯 日曜日・祝日



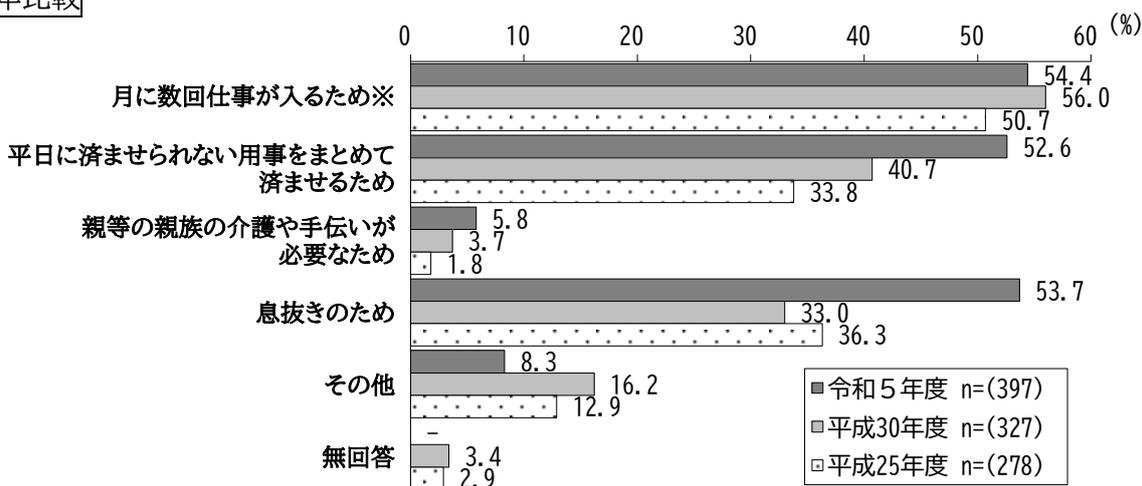
日曜日・祝日の利用開始時間は、「9時台」が46.9%、「8時台」が23.3%と高く、終了時間は、「18時台」が29.5%、「17時台」が25.7%と高くなっている。

(2) たまに利用したい理由

【問32の土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方におたずねします。】

問33 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

経年比較



※前回、前々回は「週に数回仕事が入るため」となっているため、直接的な比較は行わず参考として掲載している

土曜日または日曜日・祝日の教育・保育の事業を月に1～2回は利用したいという理由は、「月に数回仕事が入るため」が54.4%と高く、これに「息抜きのため」が53.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が52.6%と続いている。

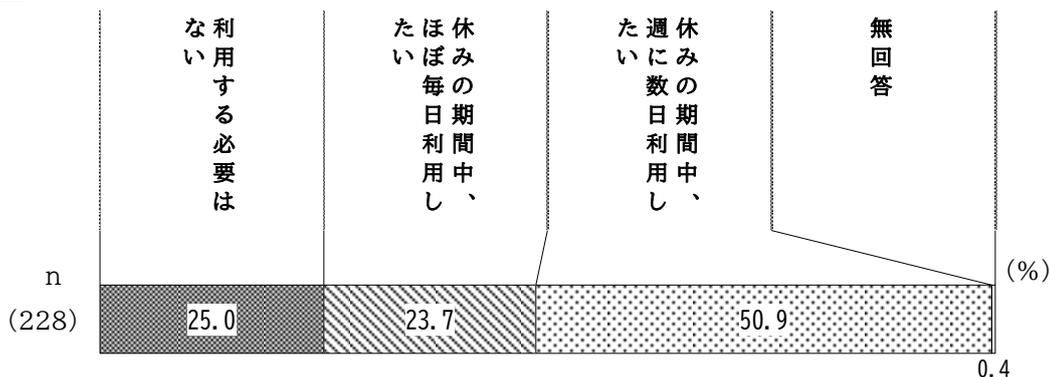
調査結果を経年比較すると、利用したいという理由は「息抜きのため」が前回から20.7ポイント増加している。また、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が前回から11.9ポイント、前々回から18.8ポイント増加している。

(3) 長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯

【幼稚園利用者の方に】

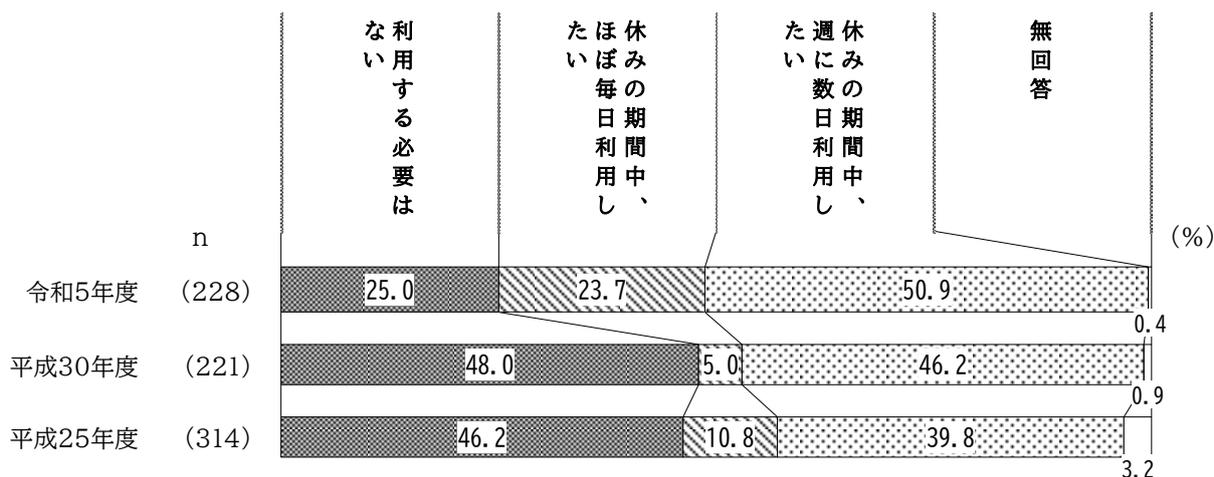
問34 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまるものを1つ選び、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用希望



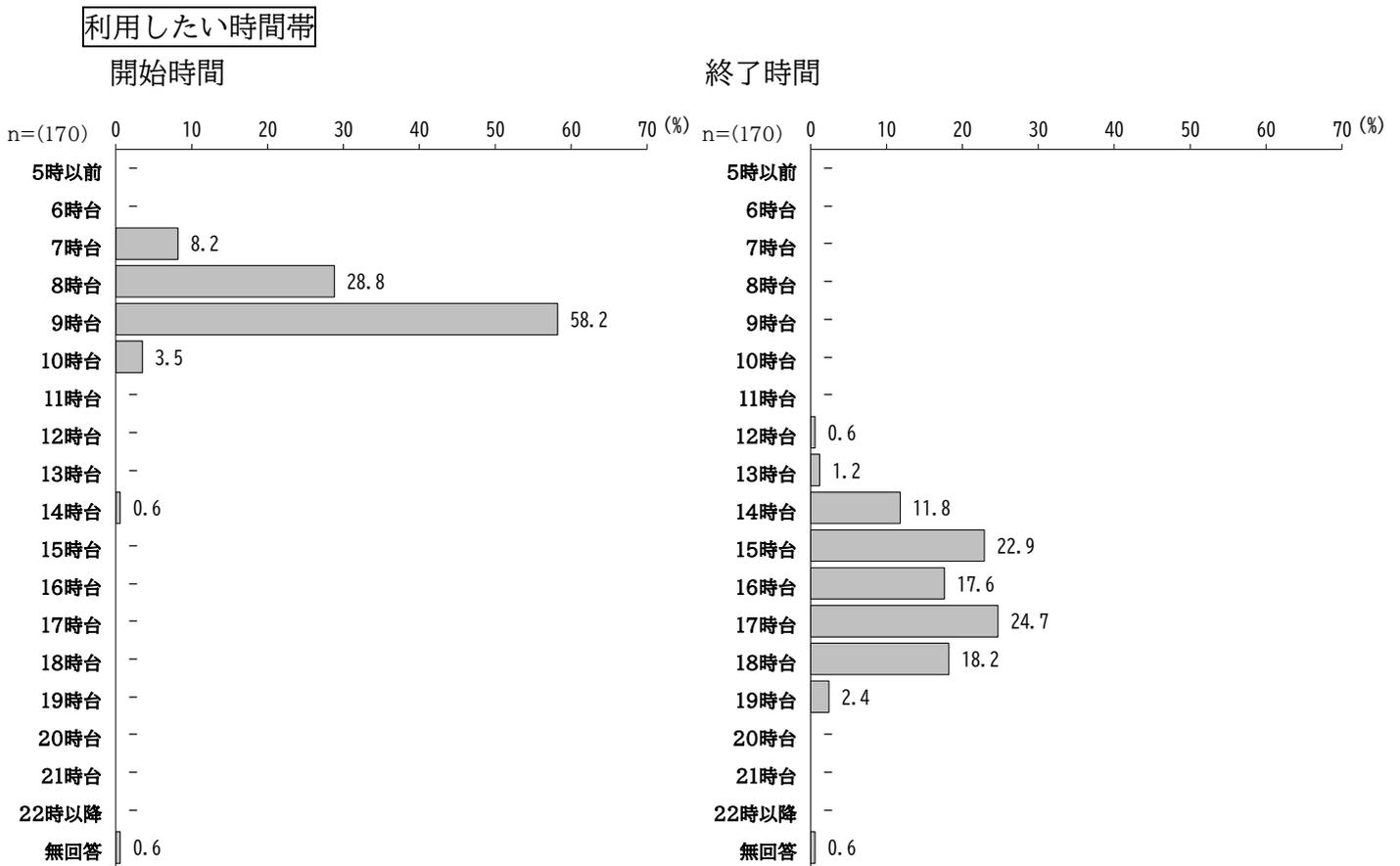
幼稚園利用者の長期休暇中における教育・保育の事業利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が50.9%、「利用する必要はない」が25.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.7%となっている。

利用希望・経年比較



調査結果を経年比較すると、幼稚園利用者の長期休暇中における教育・保育の事業利用希望は「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が前回から18.7ポイント増加している。「休みの期間中、週に数日利用したい」が前回から4.7ポイント、前々回から11.1ポイント増加している。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）



長期休暇中の教育・保育の事業の利用開始時間は、「9時台」が58.2%、「8時台」が28.8%と高く、終了時間は「17時台」が24.7%、「15時台」が22.9%、「18時台」が18.2%、「16時台」が17.6%と高くなっている。

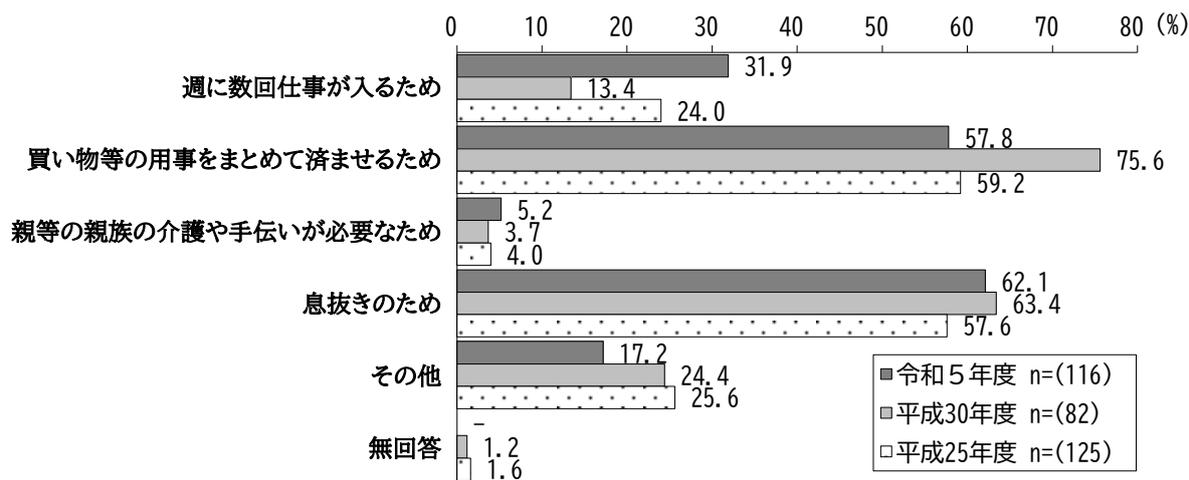
（4）長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由

【幼稚園利用者の方に】

【問34で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方におたずねします。】

問35 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

経年比較



幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由は、「息抜きのため」が62.1%と高く、これに「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が57.8%と続いている。

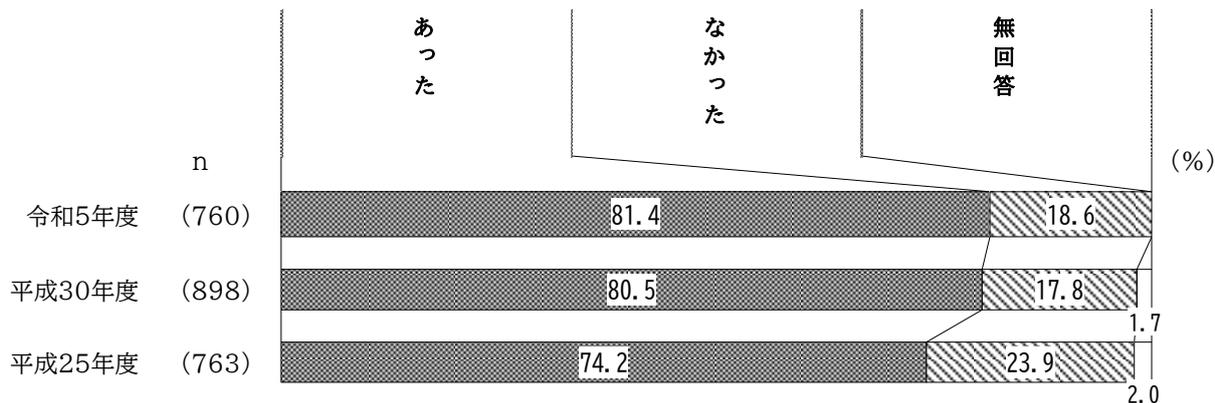
調査結果を経年比較すると、利用したい理由は「週に数回仕事が入るため」が前回から18.5ポイント増加している。一方で、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が前回から17.8ポイント減少している。

8. こどもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用している方のみ）

(1) この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

問36 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

経年比較



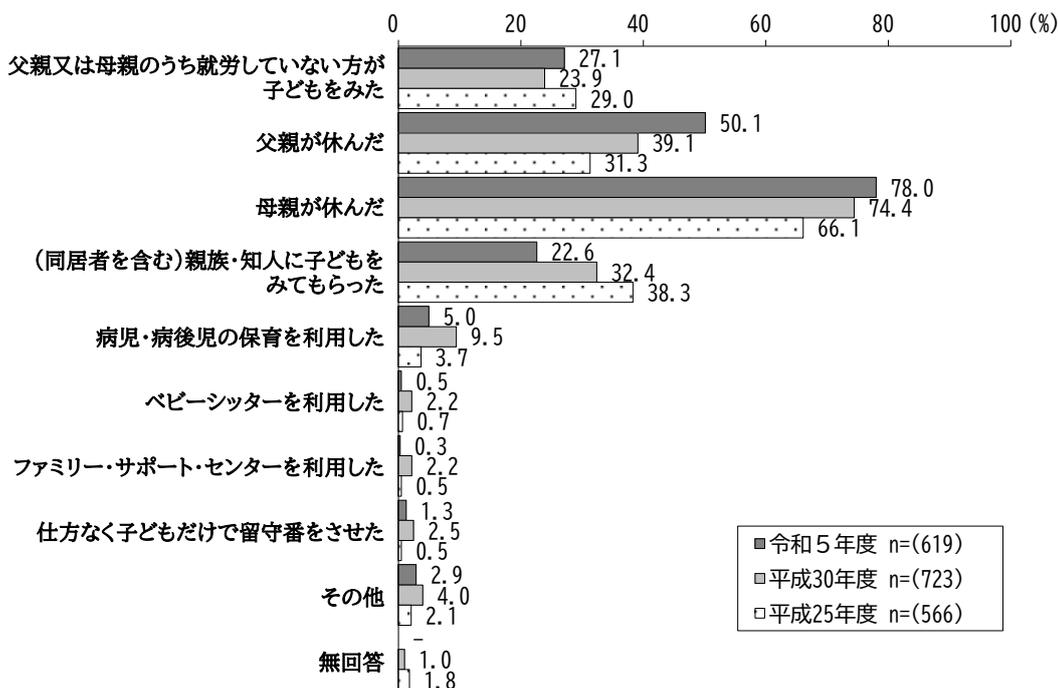
この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが「あった」は81.4%で、経年比較すると、前回から0.9ポイント、前々回から7.2ポイント増加している。

(2) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった際の対処方法と日数

【問36で「あった」を選んだ方におたずねします。】

問37 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号をすべて選び、それぞれの日数もご記入ください（半日程度の対応の場合も1日と計算してください）。【複数回答】

対処方法・経年比較

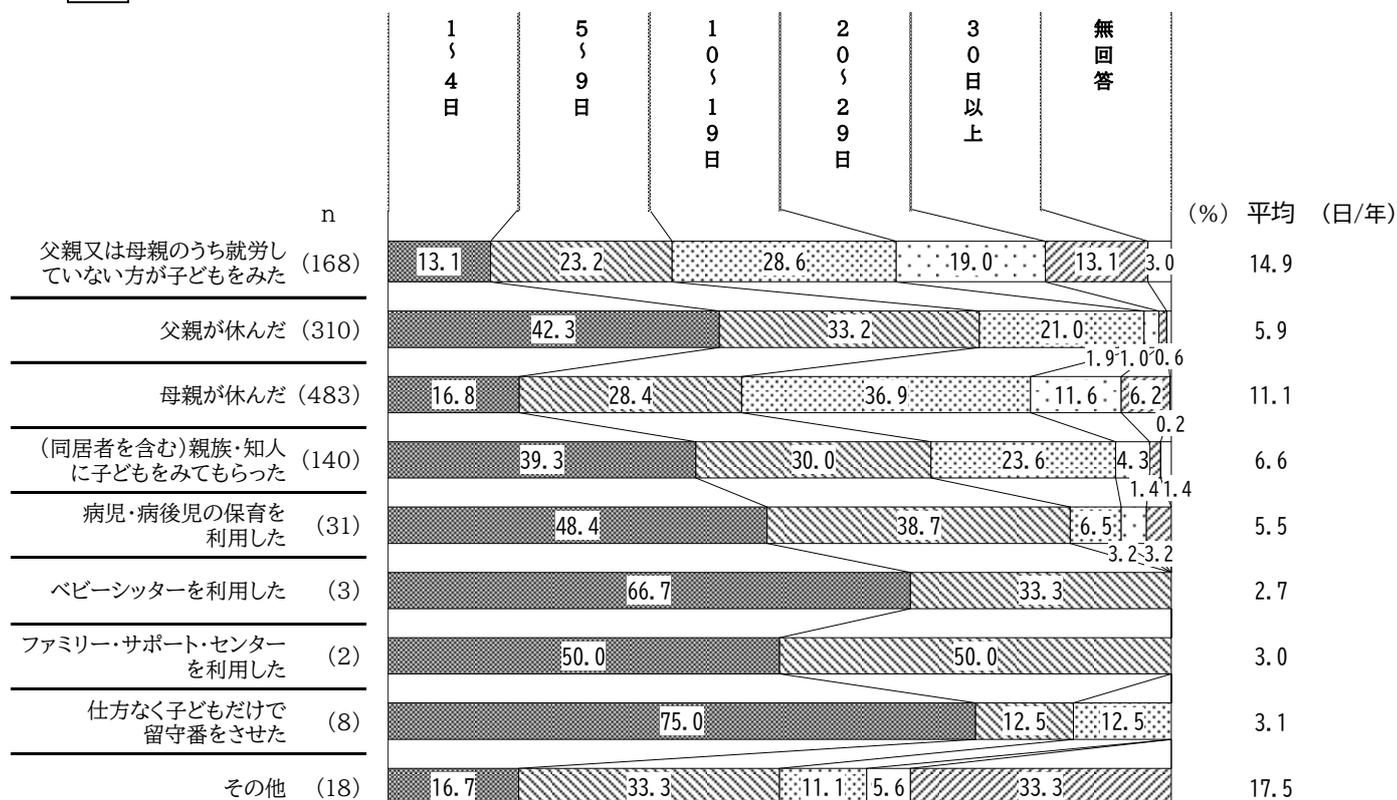


病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が78.0%と高く、これに「父親が休んだ」(50.1%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(27.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(22.6%)が続いている。

調査結果を経年比較すると、対処方法は「父親が休んだ」が前回から11.0ポイント、前々回から18.8ポイント増加している。一方で、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は前回から9.8ポイント、前々回から15.7ポイント減少している。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

日数

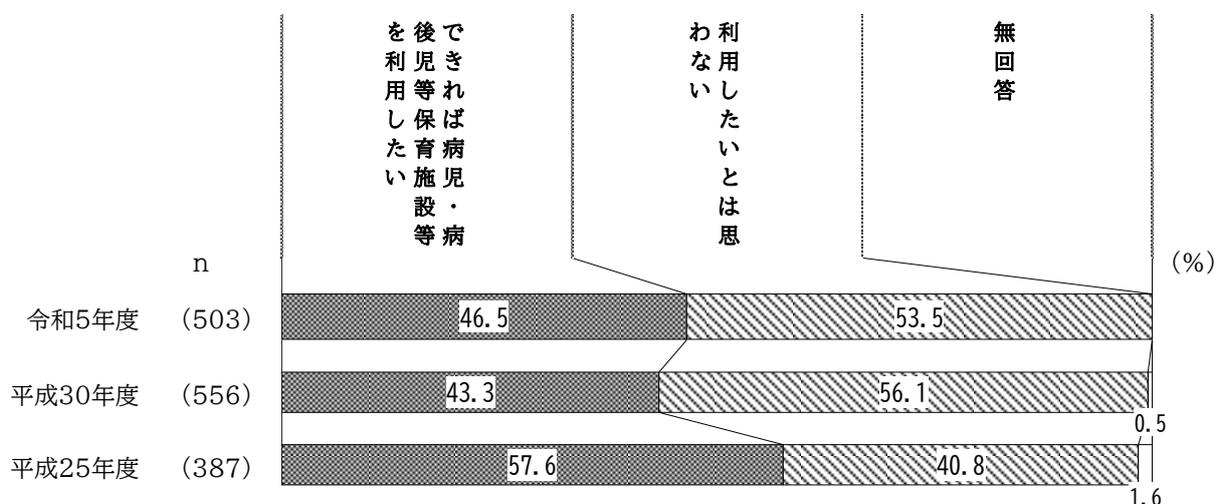


主な対処方法の年間平均日数は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が14.9日／年、「母親が休んだ」が11.1日／年、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が6.6日／年、「父親が休んだ」が5.9日／年となっている。

(3) 父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数

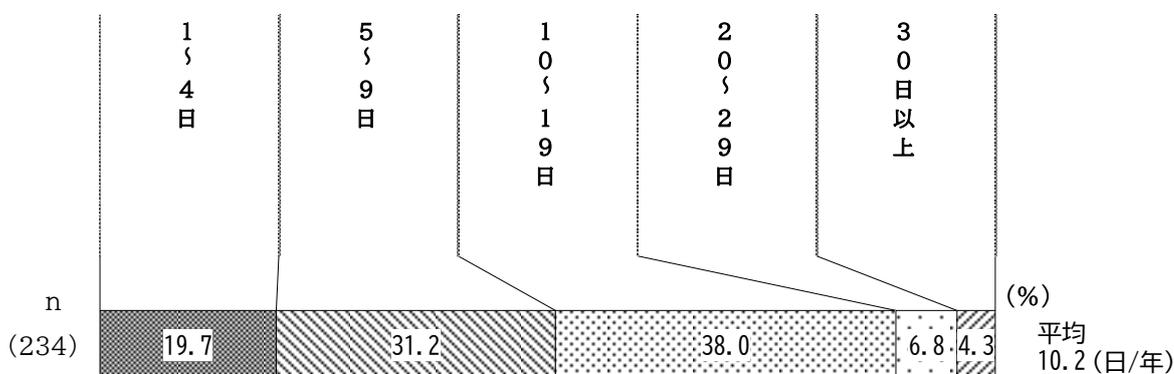
【問37で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかを選んだ方におたずねします。】
 問38 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
 当てはまるものを1つ選び、日数についてもご記入ください。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

利用希望・経年比較



父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望は「できれば病児・病後児等保育施設等を利用したい」が46.5%で、経年比較すると前回から3.2ポイント増加している。

利用したい日数



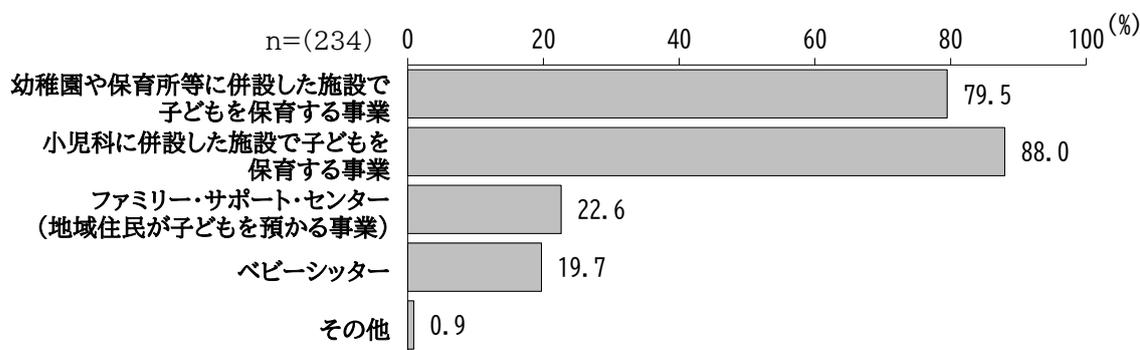
病児・病後児のための保育施設等の年間利用希望日数は、「10～19日」が38.0%、「5～9日」が31.2%、「1～4日」が19.7%で、平均10.2日/年となっている。

(4) 望ましい事業形態

【問38で「できれば病児・病後児等保育施設等を利用したい」を選んだ方におたずねします。】

問39 上記の目的で子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

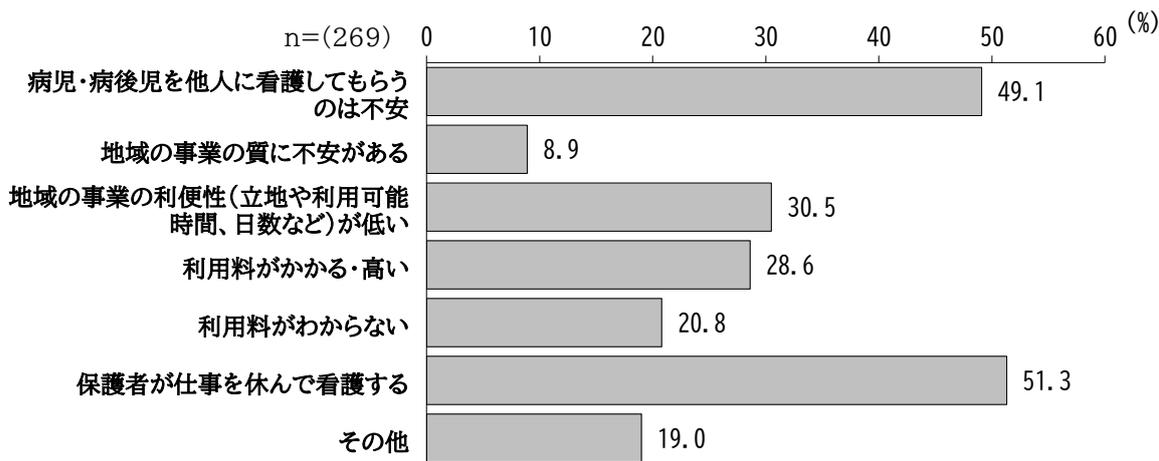


できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと回答した人が希望する事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が88.0%、「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.5%と高くなっている。

(5) 利用したいと思わない理由

【問38で「利用したいとは思わない」を選んだ方におたずねします。】

問40 利用したいと思わない理由について当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



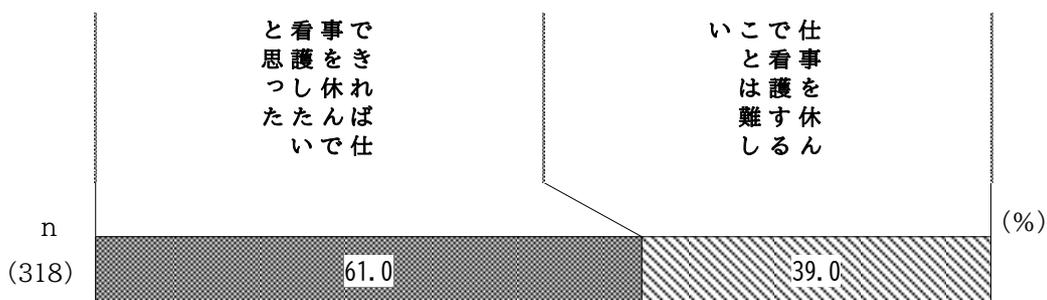
病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「保護者が仕事を休んで看護する」が51.3%と高く、これに「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」（49.1%）、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）が低い」（30.5%）、「利用料がかかる・高い」（28.6%）が続いている。

(6) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したかった日数

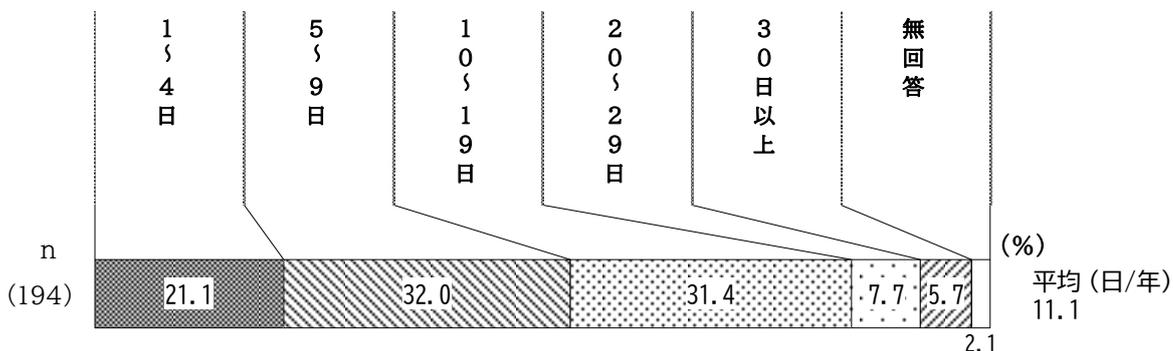
【問37で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」以外のいずれかを選んだ方におたずねします。】

問41 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

当てはまるものを1つ選び、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」以外の対処の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についてもお記入ください。



看護したい日数（年間）



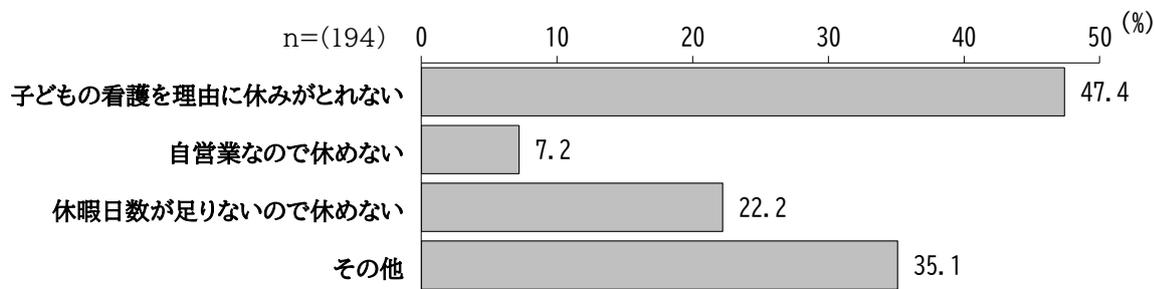
「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思った」人が希望する年間日数は、「5～9日」が32.0%、「10～19日」が31.4%、「1～4日」が21.1%で、平均11.1日/年となっている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

（7）仕事を休んで看護できなかった理由

【問41で「できれば仕事を休んで看護したいと思った」を選んだ方におたずねします。】

問42 父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合に、仕事を休んで看護することは難しいという人の理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が47.4%、「休暇日数が足りないので休めない」が22.2%となっている。

その他（35.1%）の具体的な内容としては、「仕事の内容上休めない」、「タイミングが悪かった」、「職場の人手不足、代わりがない」、「職場、同僚に迷惑がかかる」などとなっている。

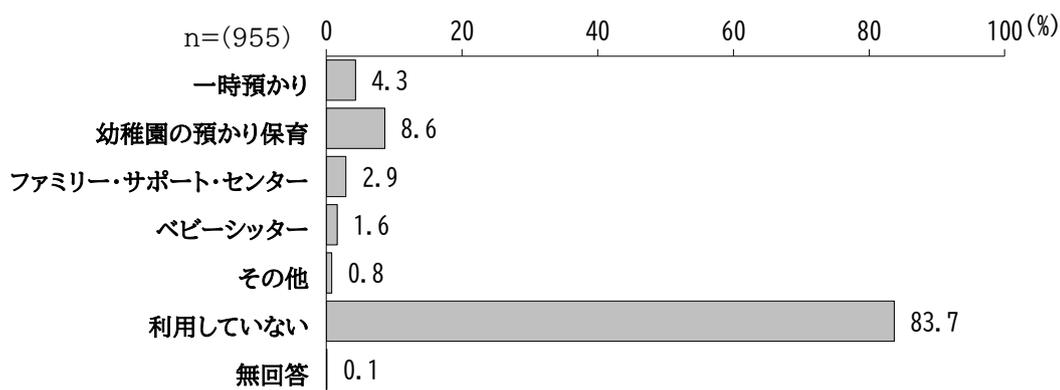
▼その他 (件)

仕事の内容上休めない	13
タイミングが悪かった	12
職場の人手不足、代わりがない	7
職場、同僚に迷惑がかかる	7
仕事が忙しいため	6
連日で休むのは難しい、気が引ける	6
在宅勤務で対応（を活用）	5
家族が対応可能できた	3
どちらかは休める	3
休みづらい、お願いしにくい	1
具合の程度によるので	1
給料が減る	1
その他	14

9. こどもの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

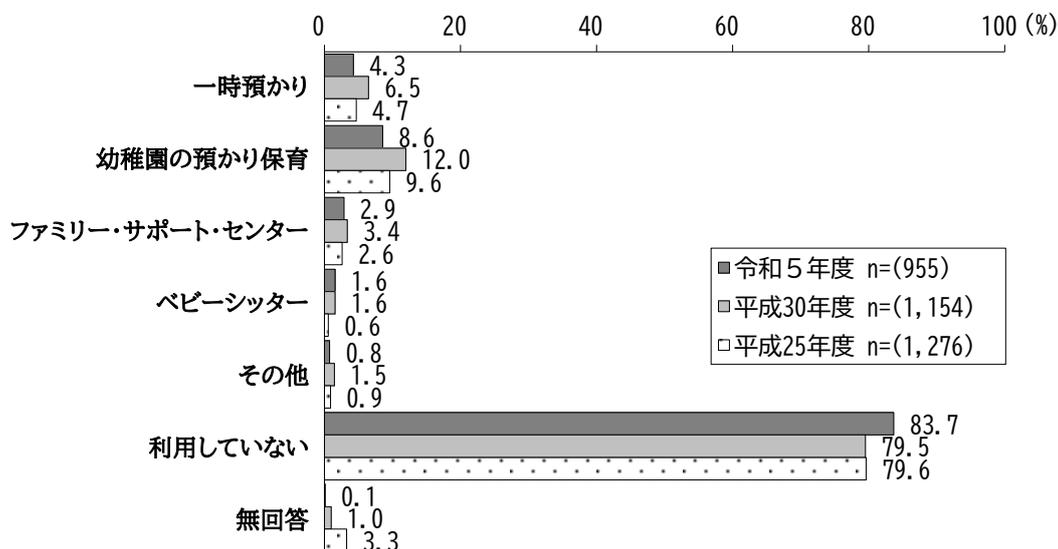
(1) 私用、保護者の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業と日数

問43 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまるものをすべて選び、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。【複数回答】



不特定の教育・保育の事業の利用状況は、「幼稚園の預かり保育」が8.6%、「一時預かり」が4.3%、「ファミリー・サポート・センター」が2.9%となっている。

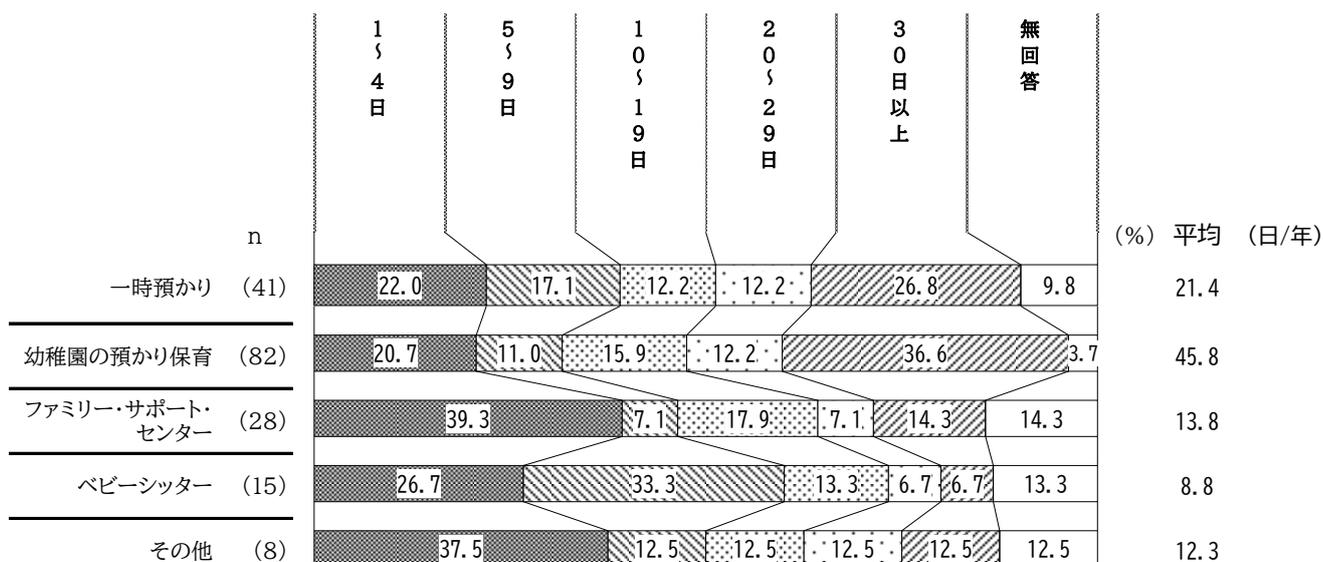
経年比較



調査結果を経年比較すると、事業の利用状況は、前回から「幼稚園の預かり保育」が3.4ポイント、「一時預かり」が2.2ポイント減少している。一方で、「利用していない」が前回から4.2ポイント増加している。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

利用日数



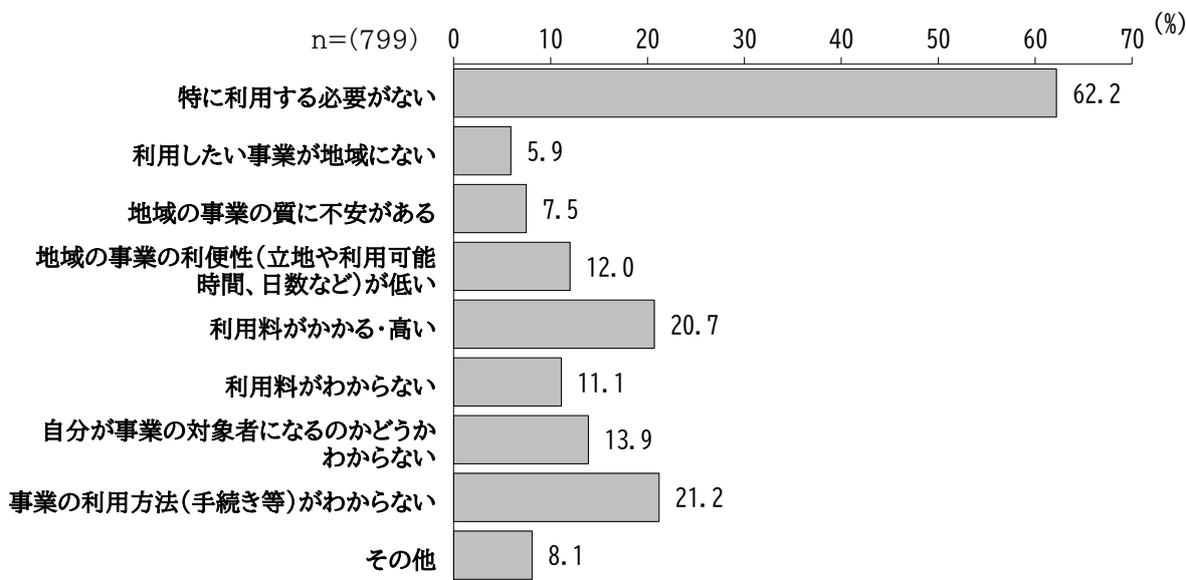
不定期の教育・保育の事業の年間平均利用日数は、「幼稚園の預かり保育」が45.8日／年、「一時預かり」が21.4日／年、「ファミリー・サポート・センター」が13.8日／年となっている。

(2) 利用していない理由

【問43で「利用していない」を選んだ方におたずねします。】

問44 現在利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

【複数回答】

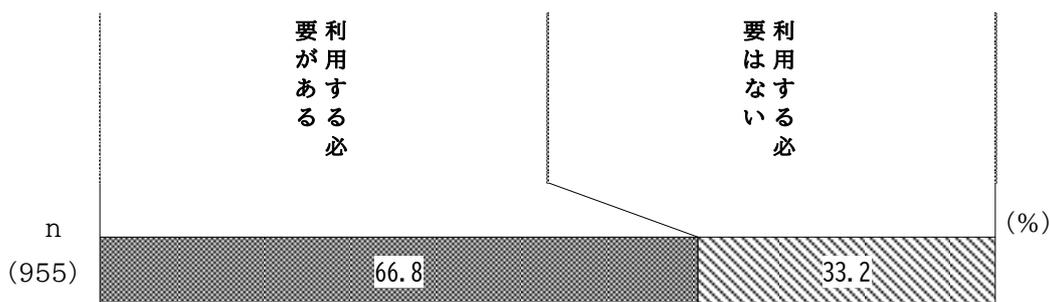


不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が62.2%と高く、これに「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が21.2%、「利用料がかかる・高い」が20.7%と続いている。

(3) 今後の利用希望と利用したい日数

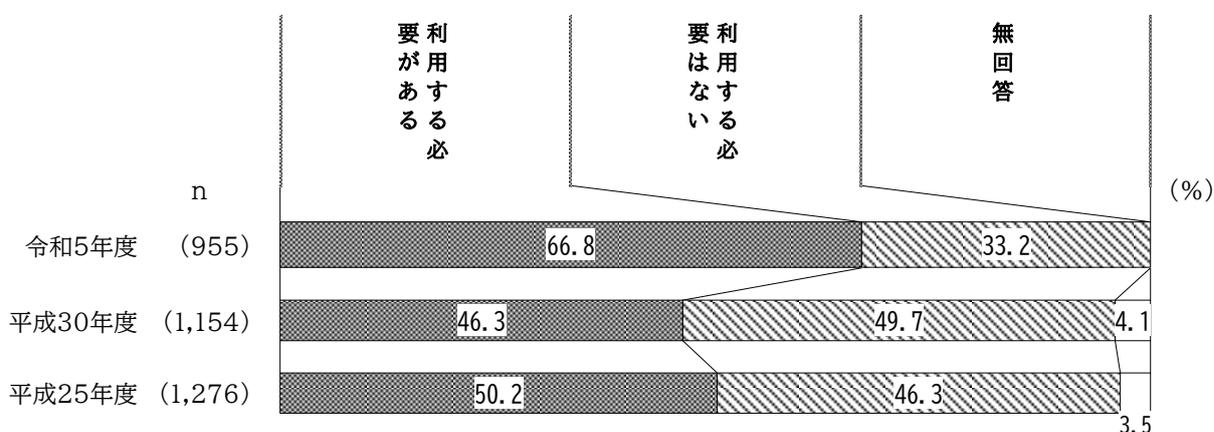
問45 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問43であげたような一時預かりの事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用する必要がある場合は、当てはまる記号をすべて選び、それぞれの日数もご記入ください。【複数回答】

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



不定期の教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要がある」が66.8%、「利用する必要がない」が33.2%となっている。

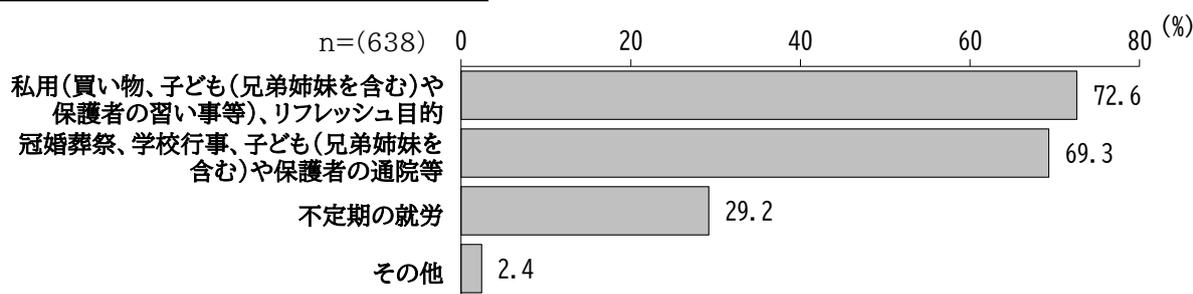
経年比較



調査結果を経年比較すると、事業の利用希望は「利用する必要がある」が前回から20.5ポイント増加している。

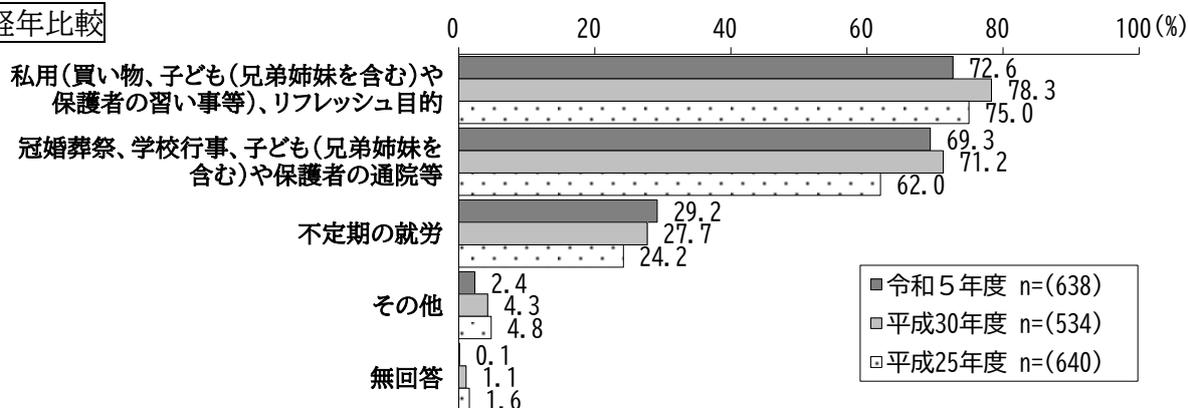
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

不定期の教育・保育の事業の利用目的



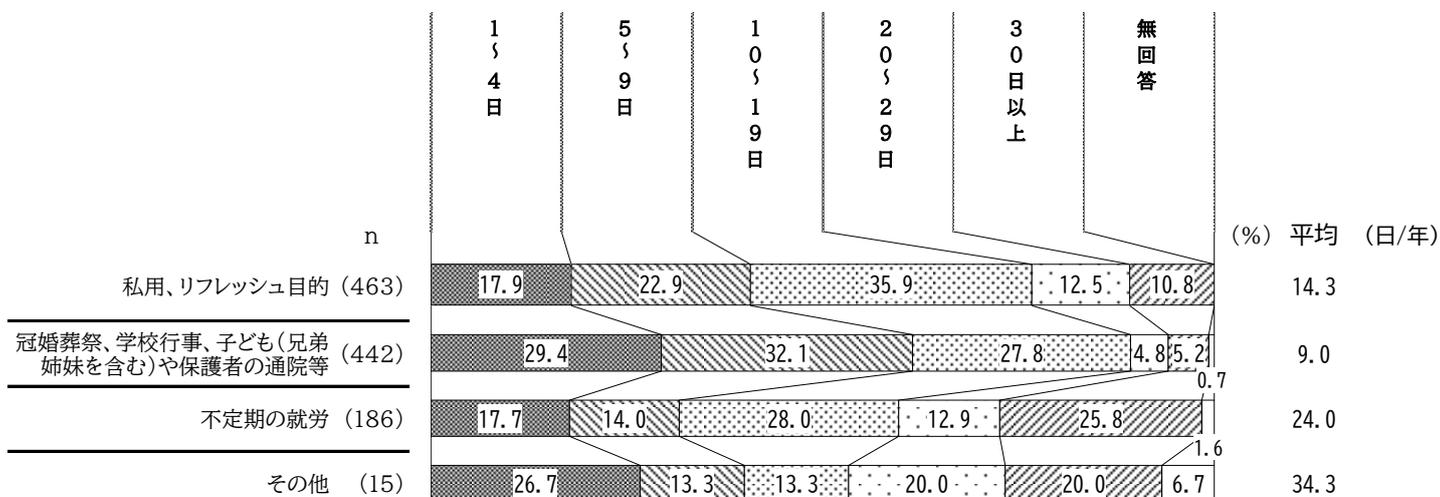
不定期の教育・保育の事業の利用目的は、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が72.6%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が69.3%と高くなっている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、事業の利用目的は「私用、リフレッシュ目的」が前回から5.7ポイント減少している。一方で、「不定期の就労」が前回から1.5ポイント、前々回から5.0ポイント増加している。

不定期の教育・保育の事業の利用希望日数

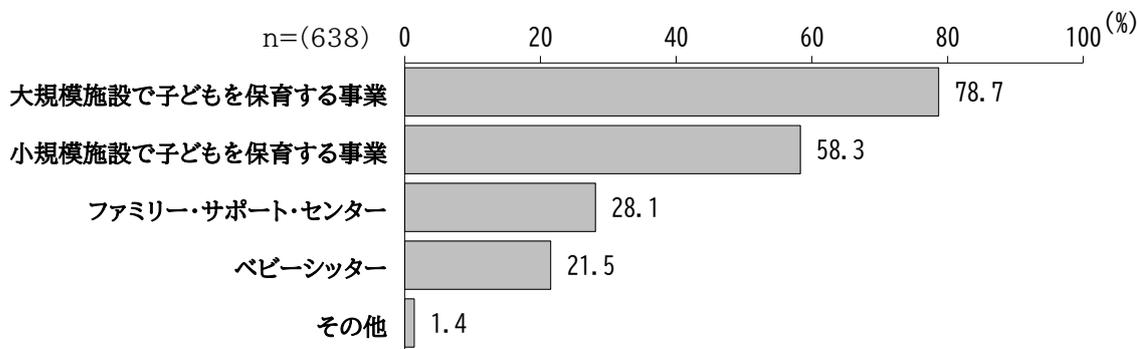


不定期の教育・保育の事業の平均利用希望日数は、「不定期の就労」が24.0日/年、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が14.3日/年、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が9.0日/年となっている。

(4) 望ましい事業形態

【問45で「利用する必要がある」を選んだ方におたずねします。】

問46 問45の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。
当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

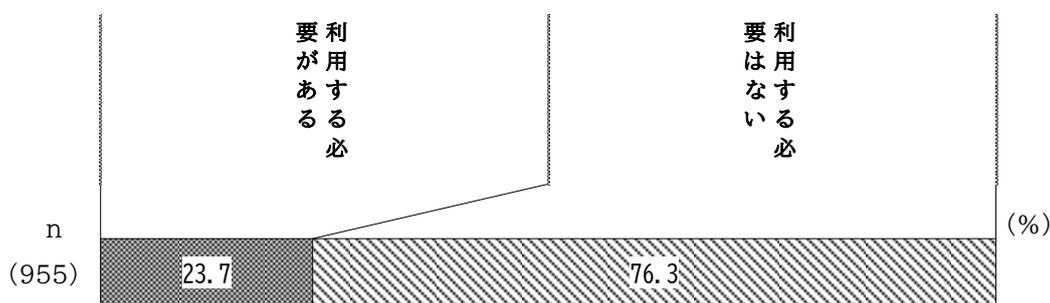


不定期の教育・保育の事業の望ましい事業形態としては、「大規模施設で子どもを保育する事業」が78.7%と高く、これに「小規模施設で子どもを保育する事業」(58.3%)、「ファミリー・サポート・センター」(28.1%)、「ベビーシッター」(21.5%)が続いている。

(5) 保護者の用事により泊りがけでショートステイを利用する必要、利用目的、宿泊数

問47 小平市では、保護者の用事（保護者・家族（兄弟姉妹含む）の病気、育児疲れや育児不安、冠婚葬祭など）により、家庭での療育が困難となった子どもを、児童養護施設等で一定期間保護する短期入所生活援助事業（ショートステイ）を実施しています。

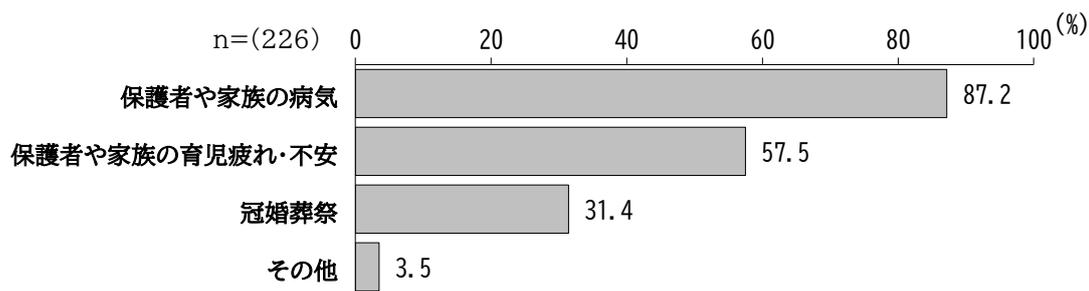
あて名のお子さんについて、保護者の用事により短期入所生活援助事業（ショートステイ）を泊りがけで利用する必要があると思いますか。また、利用する必要がある場合は目的別の内訳の日数をご記入ください。



保護者の用事により短期入所生活援助事業（ショートステイ）を泊りがけで「利用する必要がある」が23.7%、「利用する必要がある」が76.3%となっている。

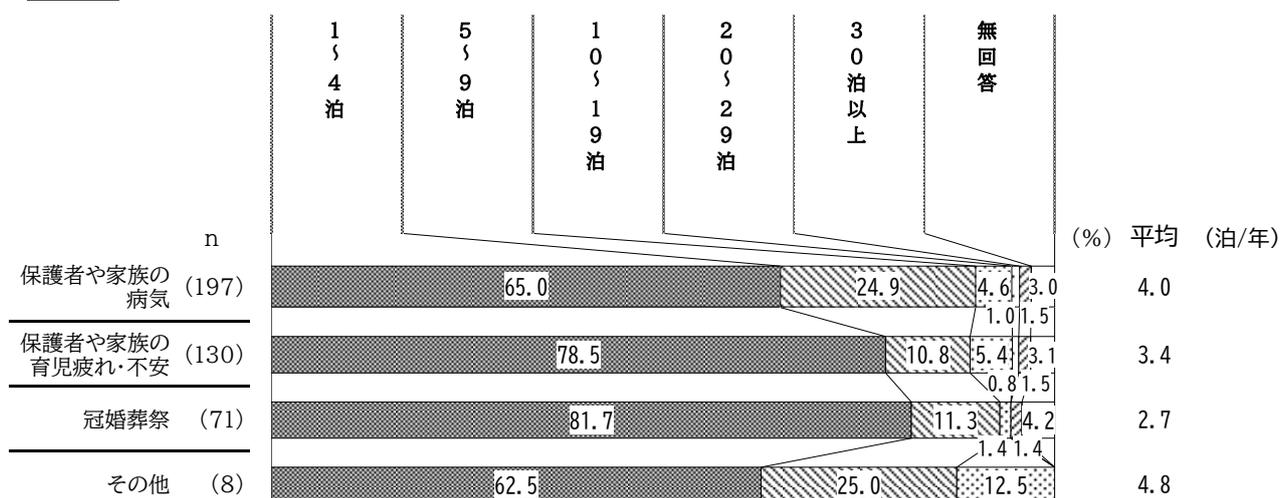
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

利用目的



短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的としては、「保護者や家族の病気」が87.2%と高く、これに「保護者や家族の育児疲れ・不安」が57.5%、「冠婚葬祭」が31.4%と続いている。

宿泊数



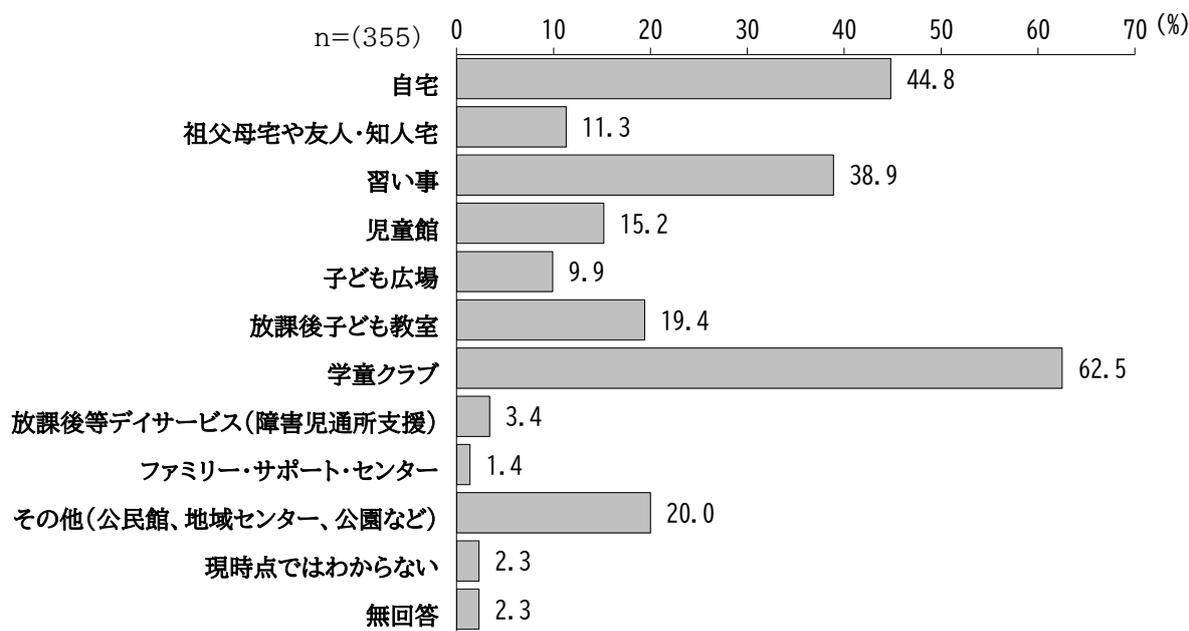
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する際の平均宿泊数は、「保護者や家族の病気」が4.0泊/年、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が3.4泊/年、「冠婚葬祭」が2.7泊/年となっている。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（こどもが4歳以上である方）

（1）小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数

問48 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻もご記入ください。【複数回答】

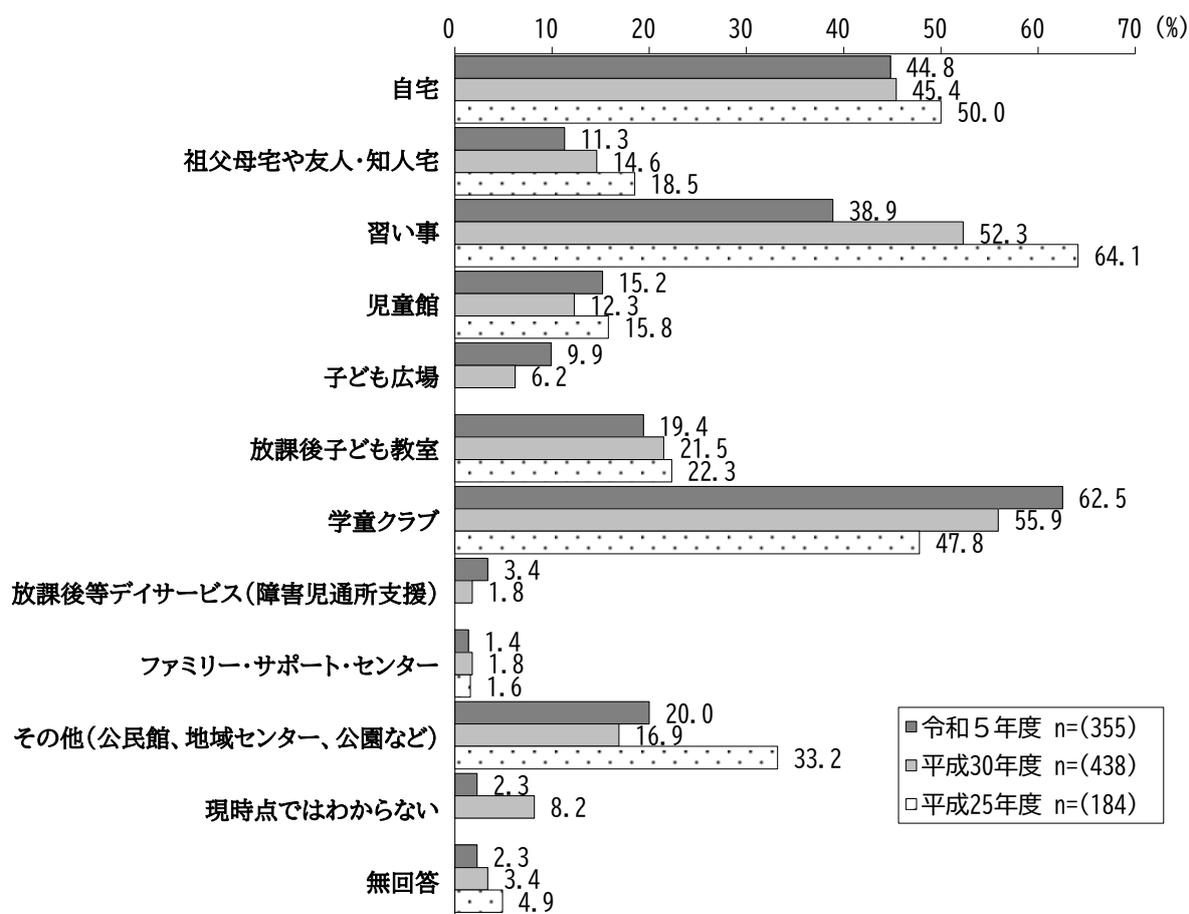
放課後を過ごさせたい場所



小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所は、「学童クラブ」（62.5%）、「自宅」（44.8%）、「習い事」（38.9%）が高く、これらに「放課後子ども教室」（19.4%）が続いている。

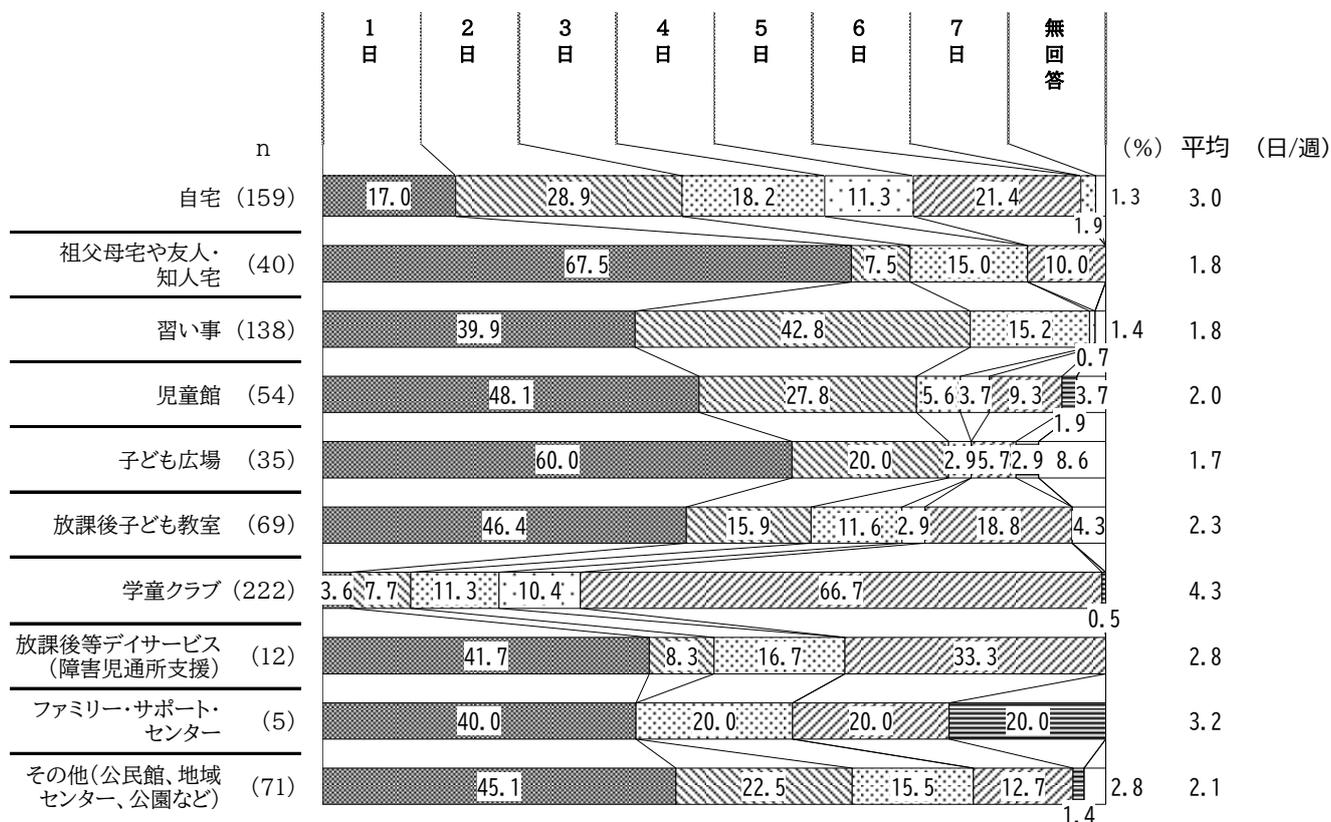
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

放課後を過ごさせたい場所・経年比較



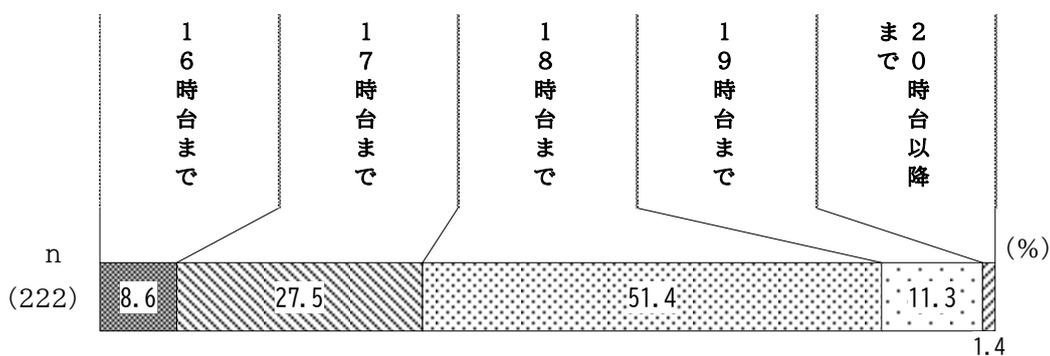
調査結果を経年比較すると、放課後を過ごさせたい場所では、「学童クラブ」が前回から6.6ポイント、前々回から14.7ポイント増加している。「子ども広場」が前回から3.7ポイント増加している。一方で、「習い事」が前回から13.4ポイント、前々回から25.2ポイント減少している。

小学校低学年の間、放課後を過ごさせたい場所の日数（1週当たり）



過ごさせたい主な場所の1週当たりの平均日数は、「学童クラブ」が4.3日/週、「自宅」が3.0日/週、「放課後子ども教室」が2.3日/週、「児童館」が2.0日/週となっている。

学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



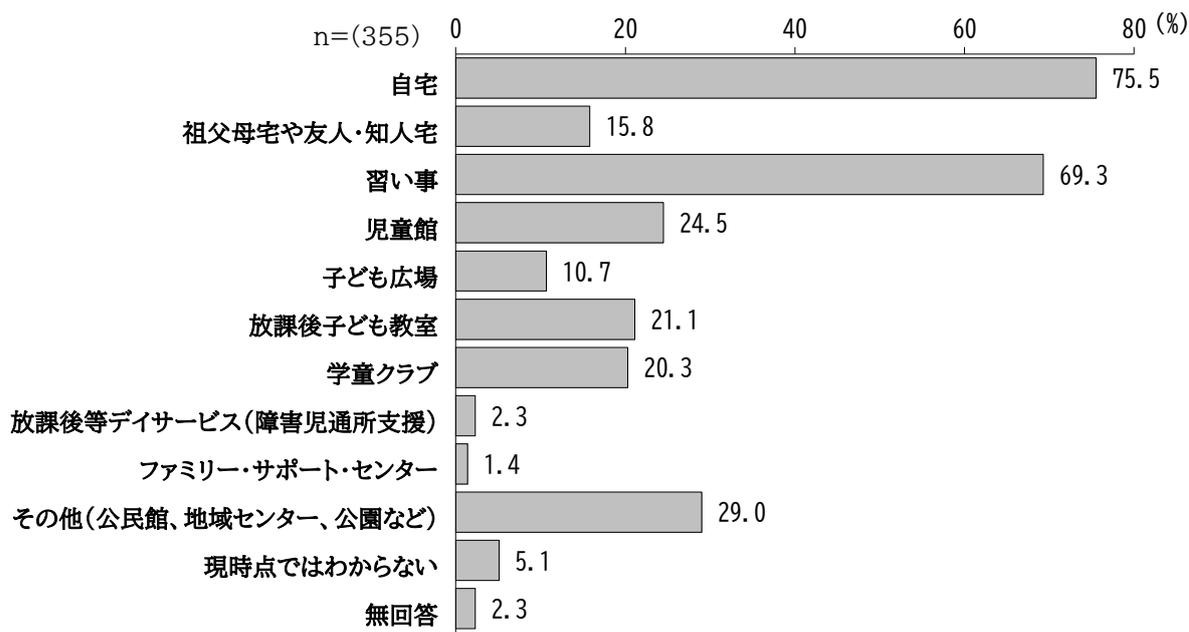
学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が51.4%、「17時台まで」が27.5%、「19時台まで」が11.3%となっている。

(2) 小学校高学年（4～6年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数

問49 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻もご記入ください。

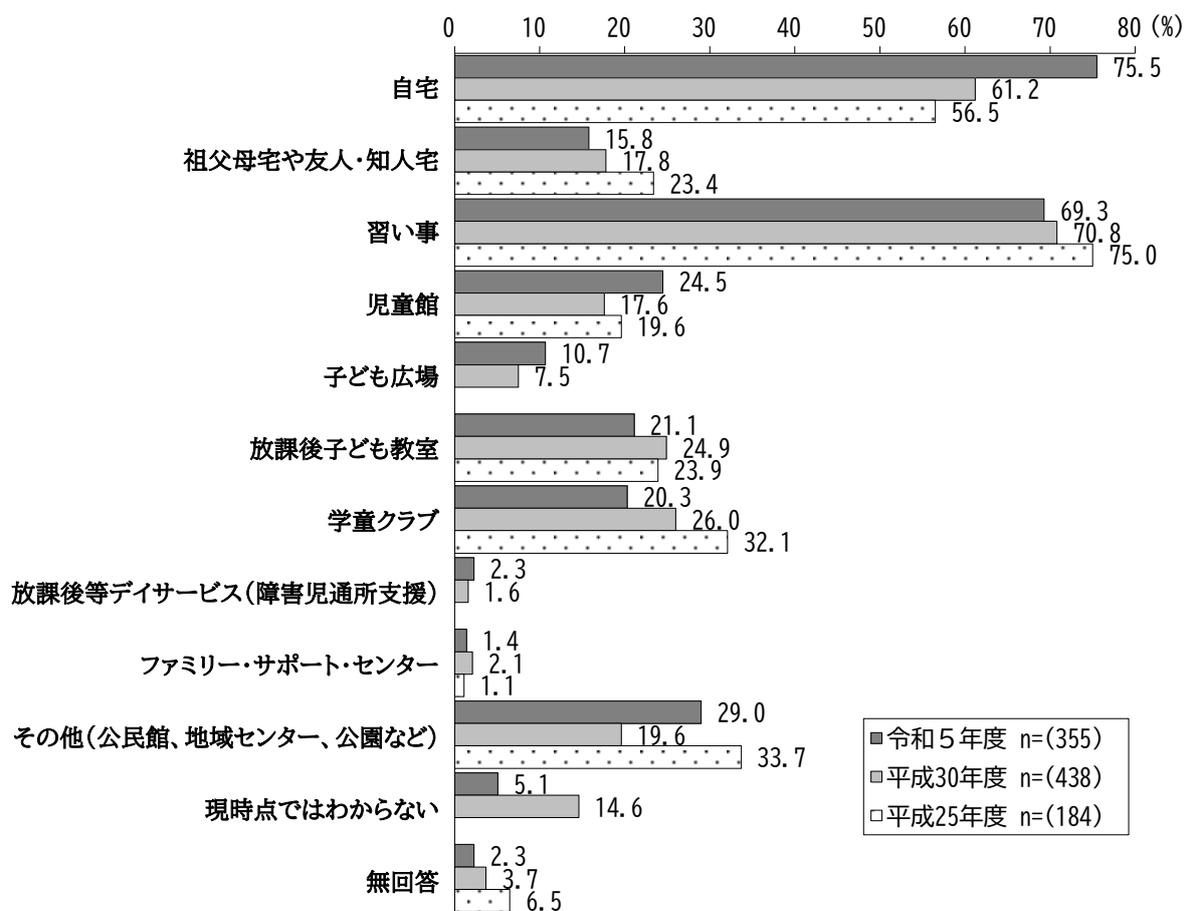
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

放課後を過ごさせたい場所



小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後に過ごさせたい場所は、「自宅」（75.5%）、「習い事」（69.3%）が高く、これらに「児童館」（24.5%）、「放課後子ども教室」（21.1%）、「学童クラブ」（20.3%）が続いている。

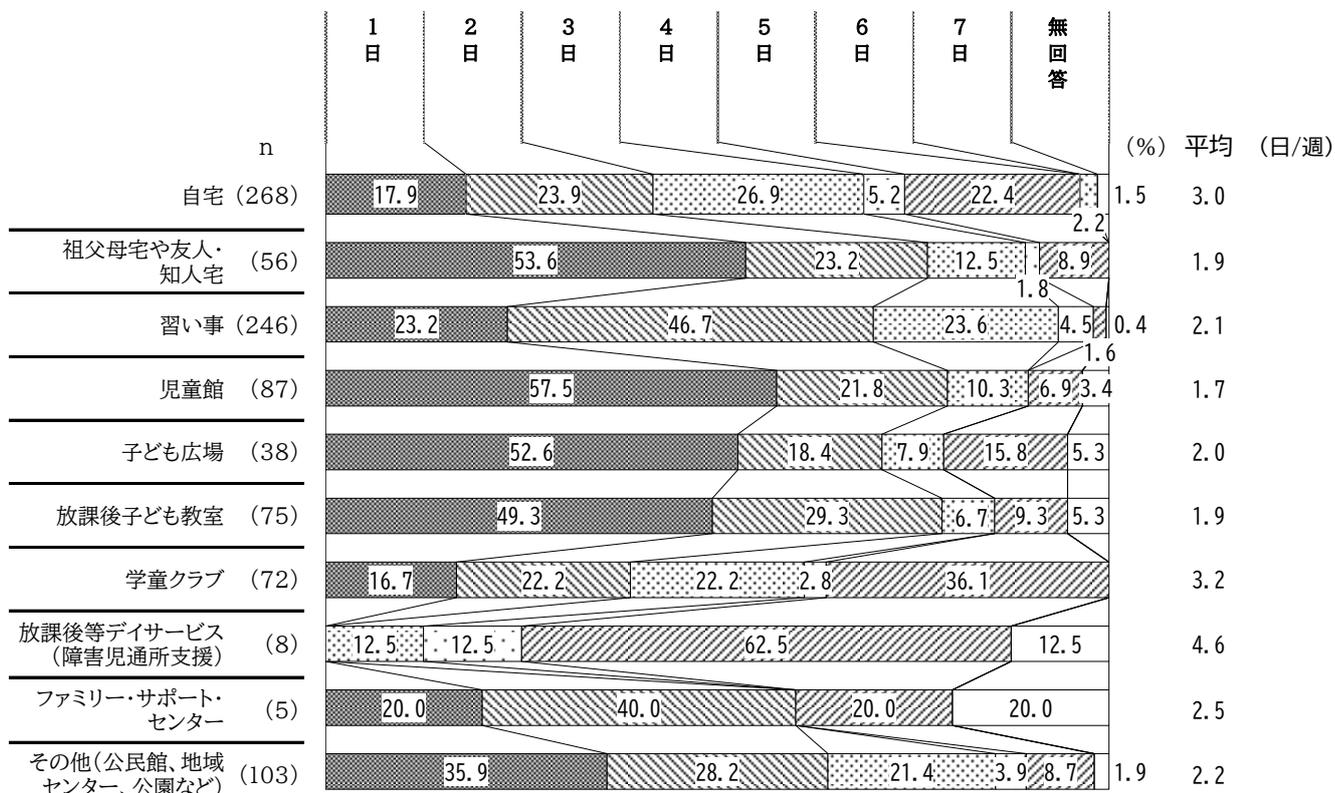
放課後を過ごさせたい場所・経年比較



調査結果を経年比較すると、放課後を過ごさせたい場所では「自宅」が前回から14.3ポイント、前々回から19.0ポイント増加している。「児童館」が前回から6.9ポイント増加している。一方で、「学童クラブ」が前回から5.7ポイント、前々回から11.8ポイント減少している。

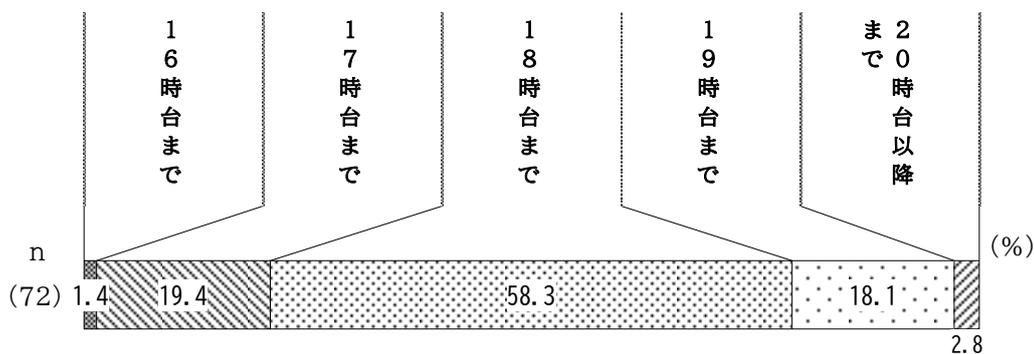
第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

小学校高学年の間、放課後を過ごさせたい場所の日数（1週当たり）



主に過ごさせたい場所の1週当たりの平均日数は、「学童クラブ」が3.2日/週、「自宅」が3.0日/週、「習い事」が2.1日/週、「子ども広場」が2.0日/週となっている。

学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



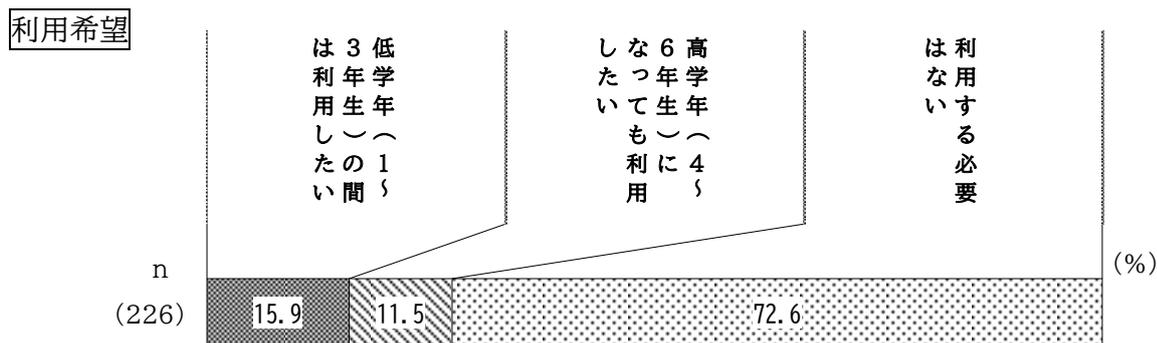
学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が58.3%、「17時台まで」が19.4%、「19時台まで」が18.1%となっている。

(3) 学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯

【問48（小学校低学年）または問49（小学校高学年）で「学童クラブ（で過ごさせたい）」を選んだ方におたずねします。】

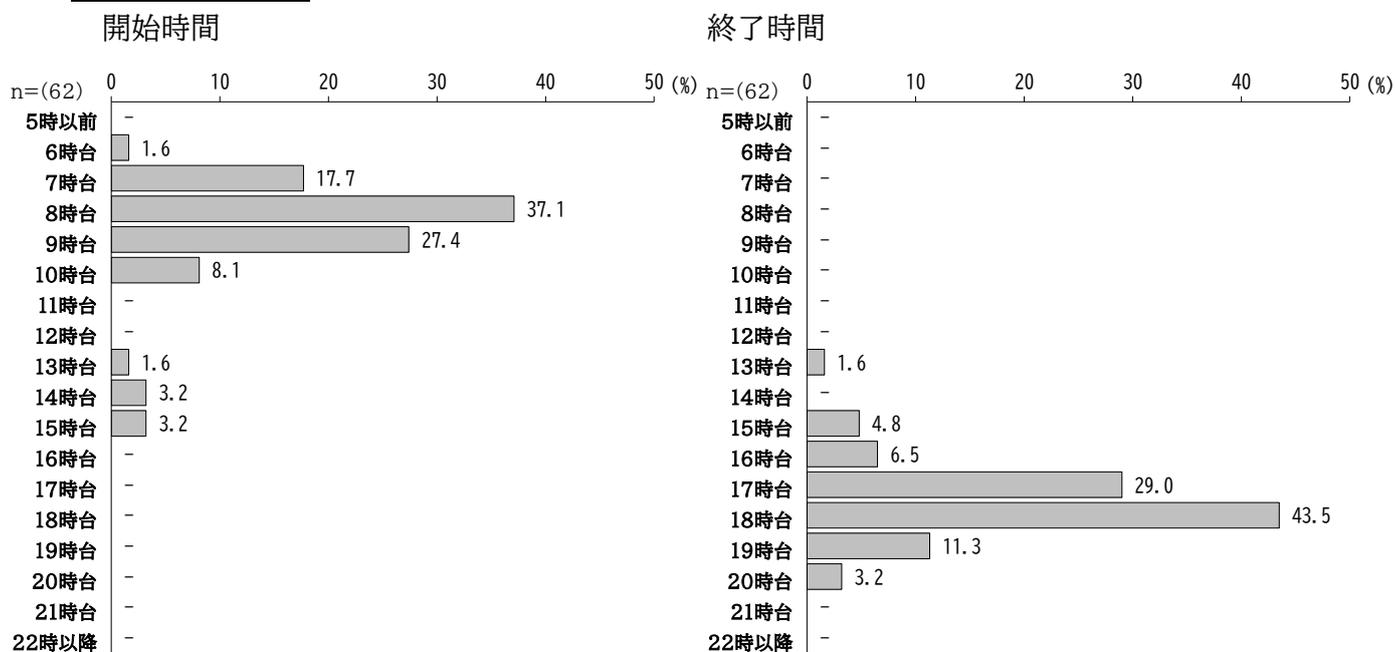
問50 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に学童クラブの利用を希望しますか。当てはまるものを1つ選んでください。また利用したい場合は、その時間帯をご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



学童クラブの日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が72.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が11.5%となっている。

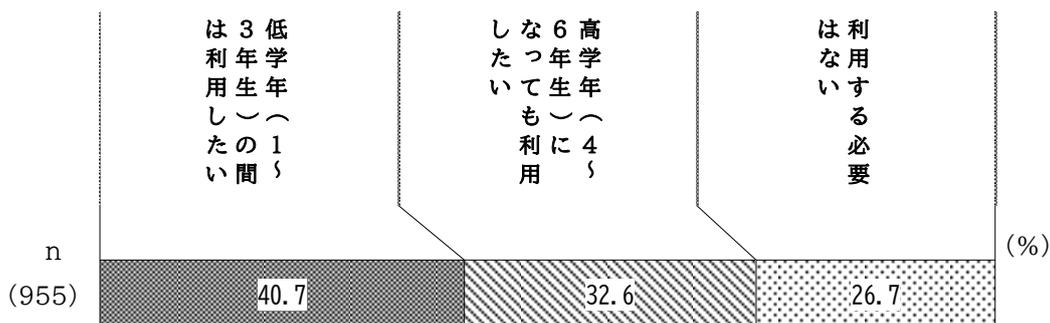
利用したい時間帯



日曜日・祝日の学童クラブ利用希望開始時間は「8時台」が37.1%、「9時台」が27.4%、「7時台」が17.7%と高くなっている。利用希望終了時間は「18時台」が43.5%、「17時台」が29.0%、「19時台」が11.3%と高くなっている。

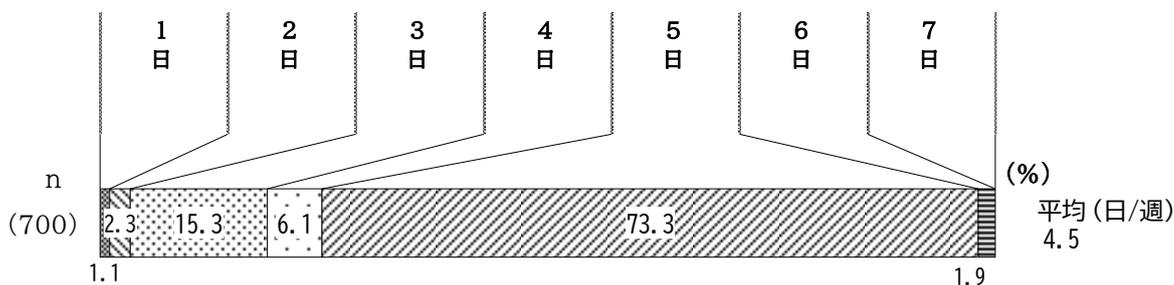
（4）小学校の長期休暇中の過ごし方の希望

問51 あて名のお子さんについて、お子さんの小学校の夏休み・冬休み期間中に学童クラブの利用を希望しますか。当てはまるものを1つ選んでください。また利用したい場合は、希望する日数と時間帯をご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



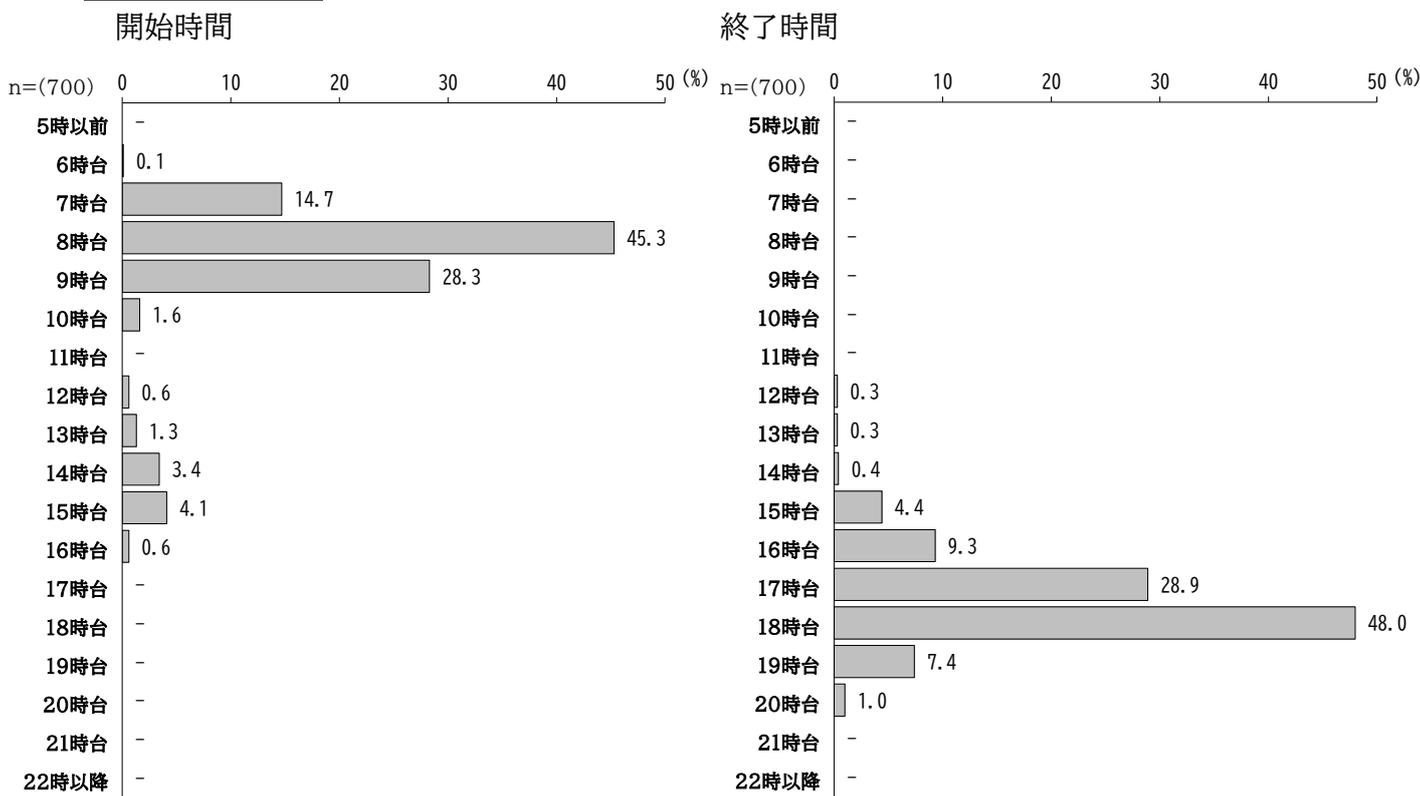
小学校長期休暇中の学童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が40.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が32.6%、「利用する必要はない」が26.7%となっている。

小学校の夏休み・冬休み期間中、過ごさせたい日数（1週当たり）



小学校長期休暇中に学童クラブで過ごさせたい日数は、「5日」が73.3%、「3日」が15.3%で、平均4.5日/週となっている。

利用したい時間帯



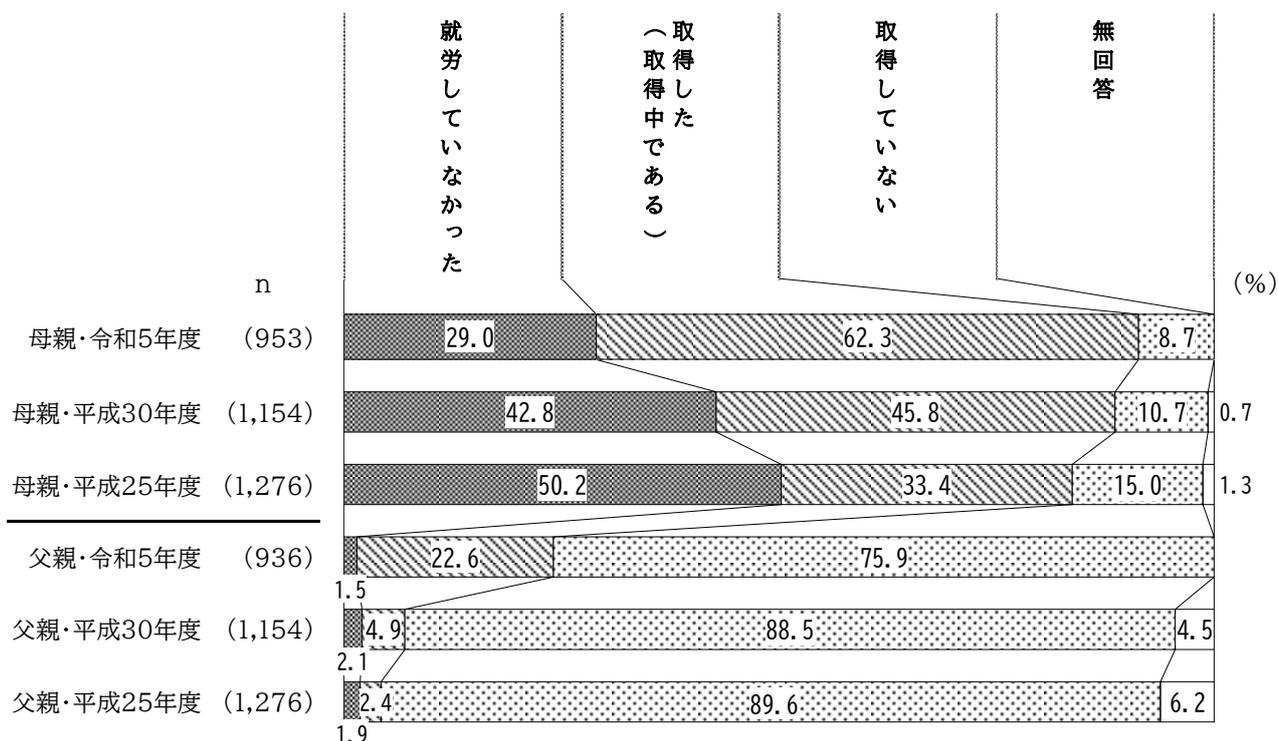
長期休暇中の学童クラブの利用希望開始時間は「8時台」が45.3%、「9時台」が28.3%、「7時台」が14.7%と高くなっている。利用希望終了時間は「18時台」が48.0%、「17時台」が28.9%と高くなっている。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業取得の有無と取得しなかった理由

問52 あて名のお子さんが生まれた時、母親、父親のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまるものを1つ選んでください。また、取得していない方は該当する理由をお選びください。

取得の有無・経年比較



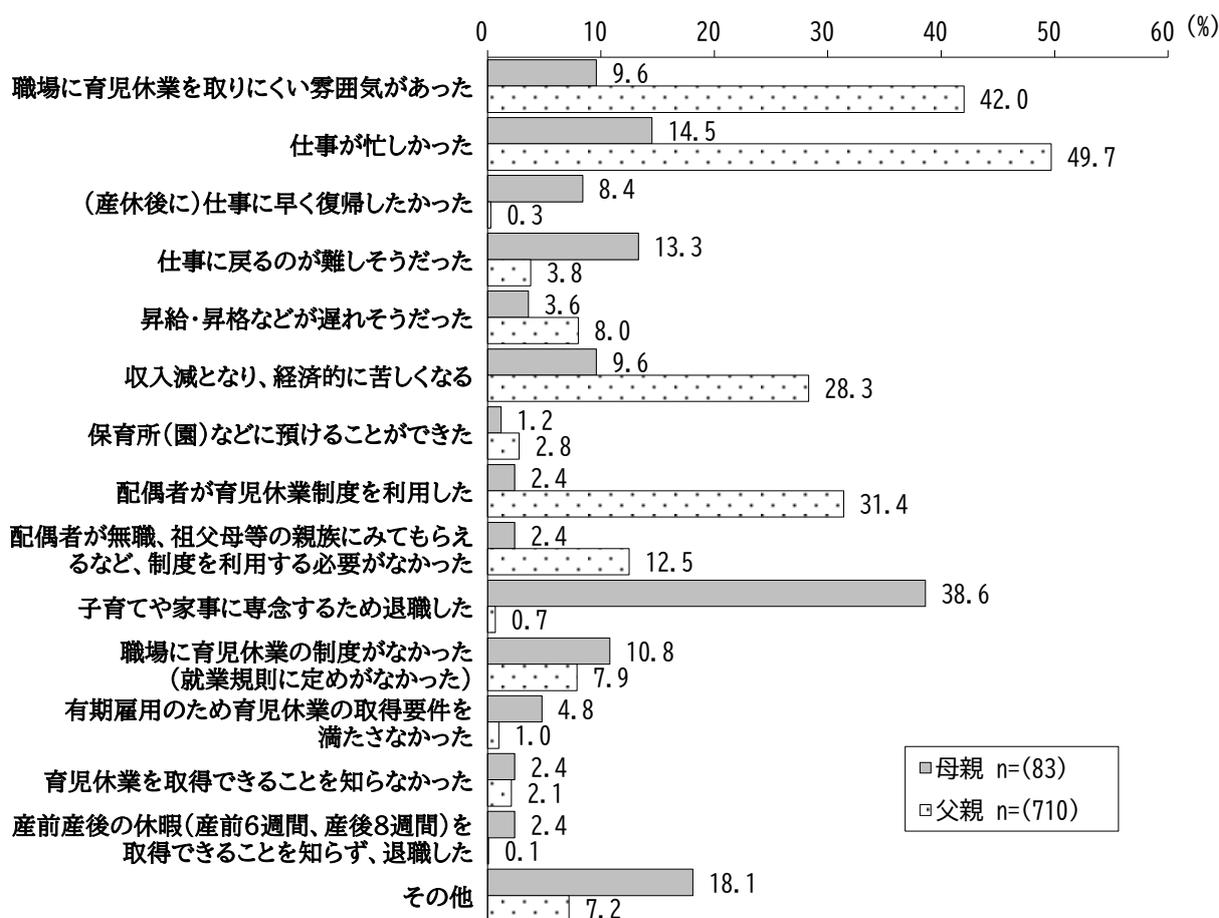
母親の育児休業取得状況は、「取得した（取得中である）」が62.3%、「就労していなかった」が29.0%、「取得していない」が8.7%となっている。

父親は、「取得していない」が75.9%と高く、「取得した（取得中である）」が22.6%となっている。

調査結果を経年比較すると、母親では「取得した（取得中である）」が前回から16.5ポイント、前々回から28.9ポイント増加している。一方で、「就労していなかった」は前回から13.8ポイント、前々回から21.2ポイント減少している。

男性では「取得した（取得中である）」が前回から17.7ポイント、前々回から20.2ポイント増加している。一方で、「取得していない」は前回から12.6ポイント、前々回から13.7ポイント減少している。

育児休業を取得していない理由



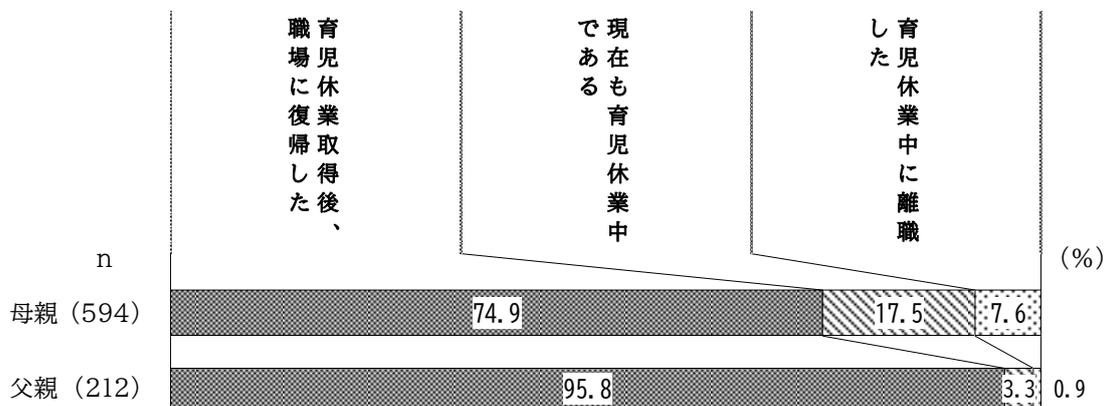
母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が38.6%と高く、これに、「仕事が忙しかった」が14.5%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が13.3%と続いている。

父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が49.7%と高く、これに、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(42.0%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(31.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(28.3%)が続いている。

(2) 育児休業取得後の職場復帰

【問52で育児休業を「取得した（取得中である）」を選んだ方に】

問53 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親・父親の状況について、それぞれの当てはまるものを1つ選んでください。



母親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.9%、「現在も育児休業中である」が17.5%、「育児休業中に離職した」が7.6%となっている。

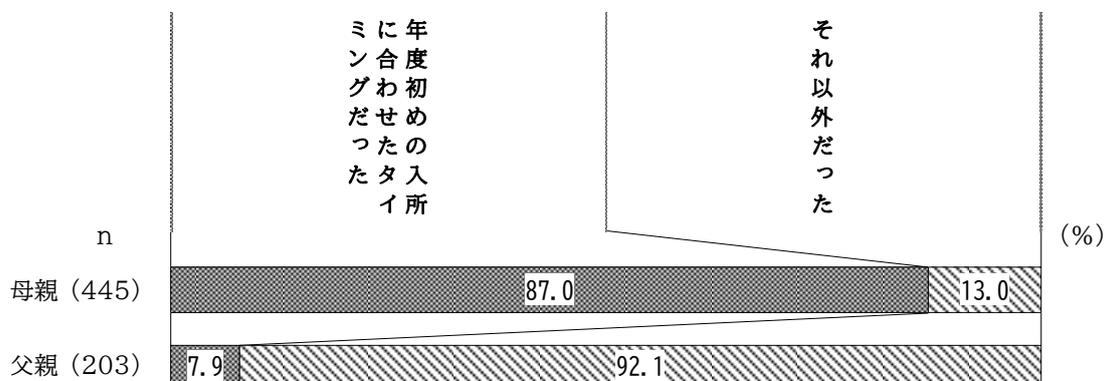
父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が95.8%と高くなっている。

(3) 復帰のタイミング

【問52で育児休業を「取得した（取得中である）」を選んだ方に】

【問53で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におたずねします。】

問54 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまるものどちらか1つを選んでください。



母親が育児休業取得後、職場に復帰したタイミングは、「年度初めからの入所に合わせたタイミングだった」が87.0%、「それ以外だった」が13.0%となっている。

父親は、「それ以外だった」が92.1%と高くなっている。

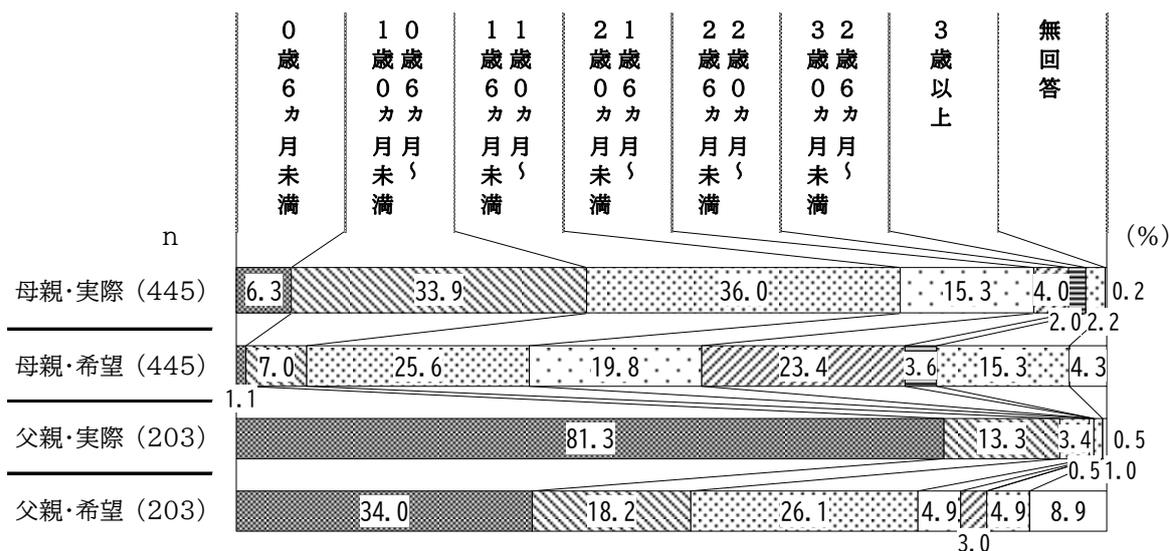
(4) 実際の取得期間と希望

【問52で育児休業を「取得した（取得中である）」を選んだ方に】

【問53で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におたずねします。】

問55 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

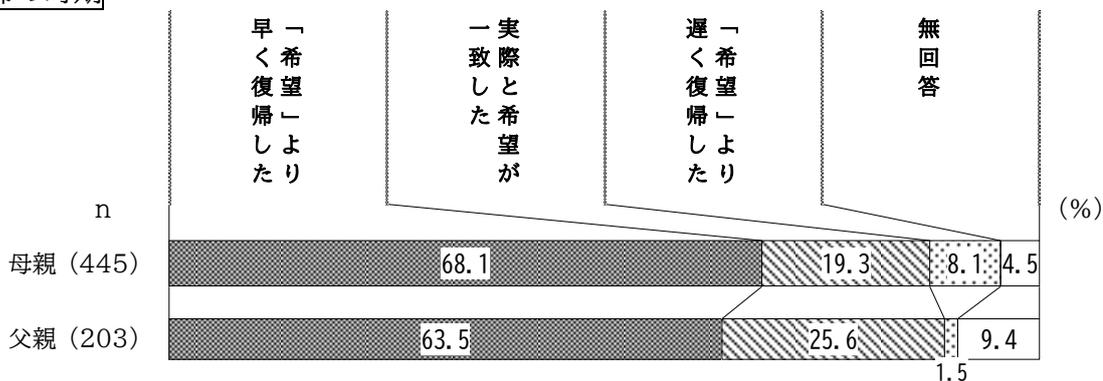
また、勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。



母親が実際に職場復帰した時期のこどもの年齢は、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が36.0%、「0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満」が33.9%と高くなっている。これに対し、希望の時期は「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月」が25.6%、「2歳0ヶ月～2歳6ヶ月未満」が23.4%と高くなっている。

父親が実際に職場復帰した時期のこどもの年齢は、「0歳6ヶ月未満」が81.3%と高くなっている。希望の時期も「0歳6ヶ月未満」が34.0%と高くなっている。

職場復帰の時期



職場復帰の時期について、母親は「『希望』より早く復帰した」が68.1%、「実際と希望が一致した」が19.3%、「『希望』より遅く復帰した」が8.1%となっている。

父親は、「『希望』より早く復帰した」が63.5%、「実際と希望が一致した」が25.6%となっている。

(5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

【問55で実際の取得期間と希望が異なる方におたずねします。】

問56 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。

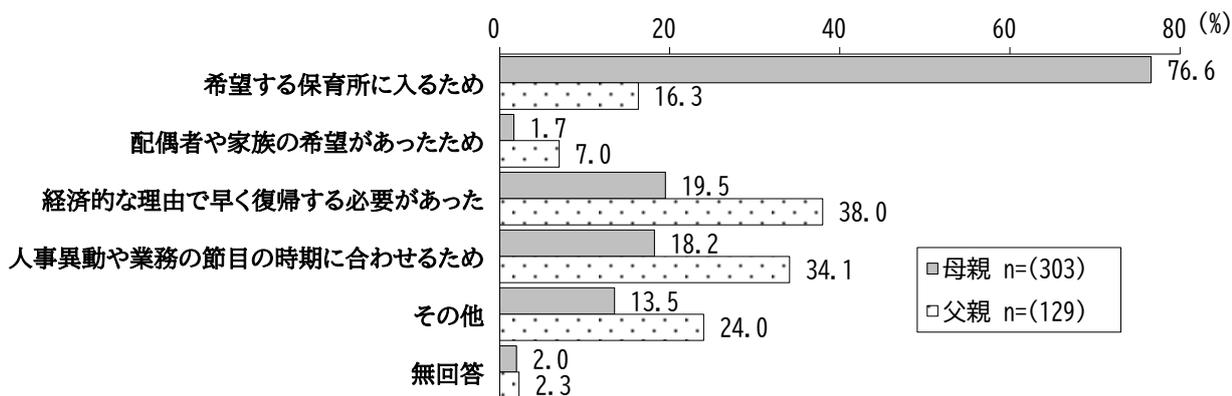
(1) 「希望」より早く復帰した方

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※母親・父親の状況について、それぞれ当てはまるものをすべて選んでください。

【複数回答】

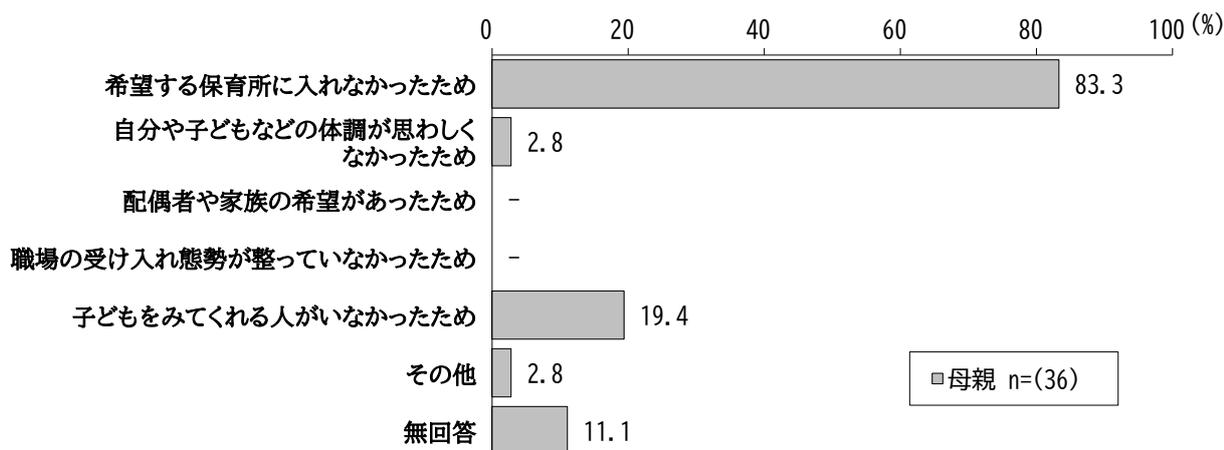
【1】「希望」より早く復帰した方



希望よりも早く職場復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入るため」が76.6%と高くなっている。

父親の理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が38.0%と高くなっている。

【2】「希望」より遅く復帰した方



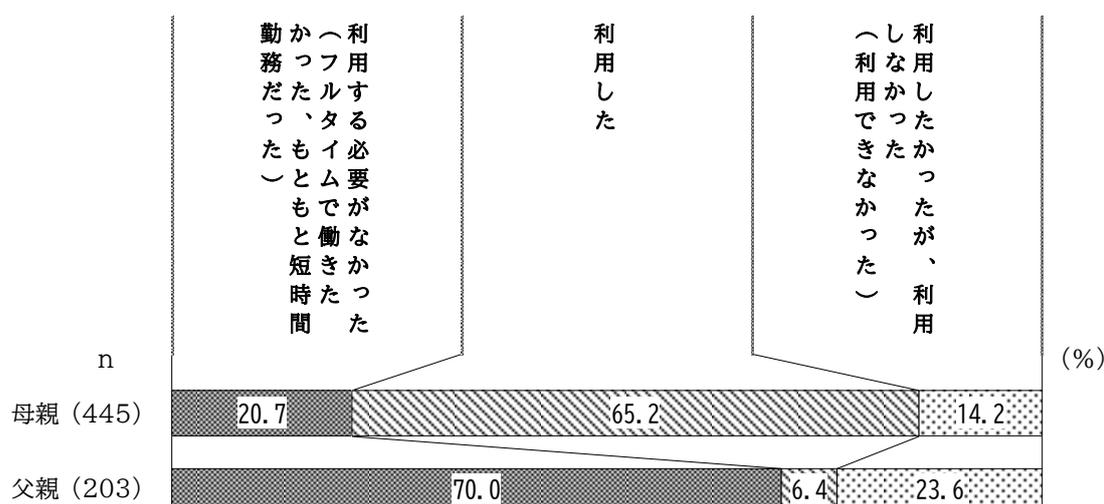
希望よりも遅く職場復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が83.3%と高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が19.4%となっている。

※父親は回答者が少ないため、掲載していない。

(6) 短時間勤務制度利用の有無

【問53で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におたずねします。】

問57 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親・父親の状況について、それぞれの当てはまるものを1つ選んでください。



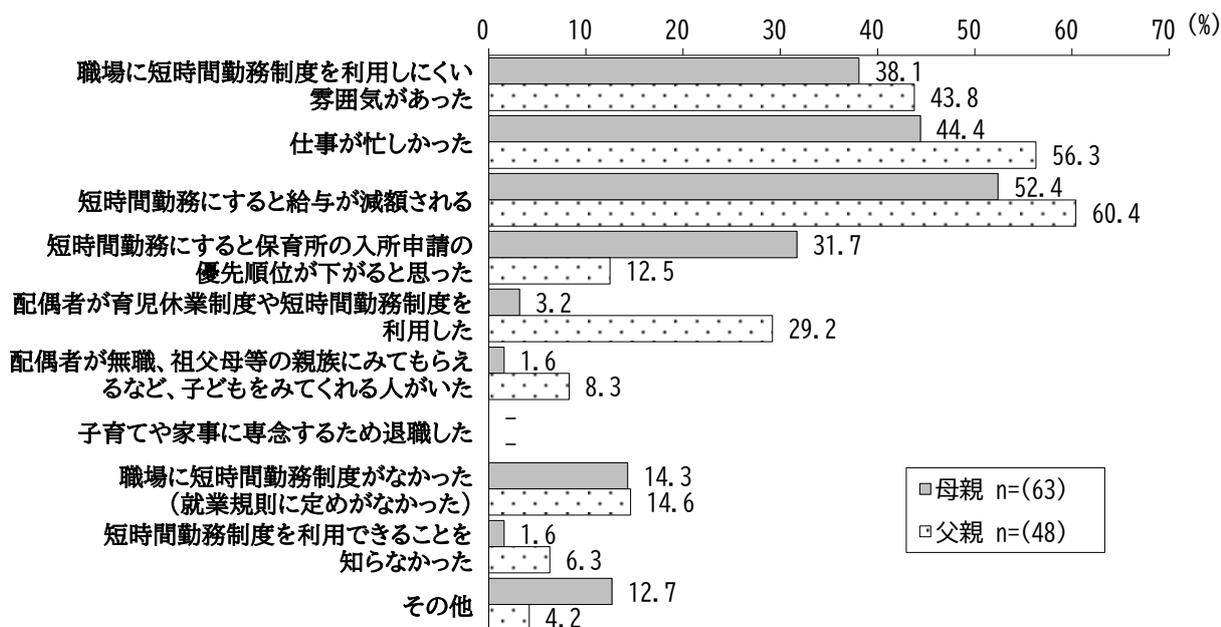
育児休業取得後、職場に復帰した母親の短時間勤務制度の利用状況は、「利用した」が65.2%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が20.7%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が14.2%となっている。

父親は、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が70.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.6%、「利用した」が6.4%となっている。

(7) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

【問57で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方におたずねします。】

問58 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
 母親・父親の状況について、それぞれ当てはまる理由をすべて選んでください。
 【複数回答】



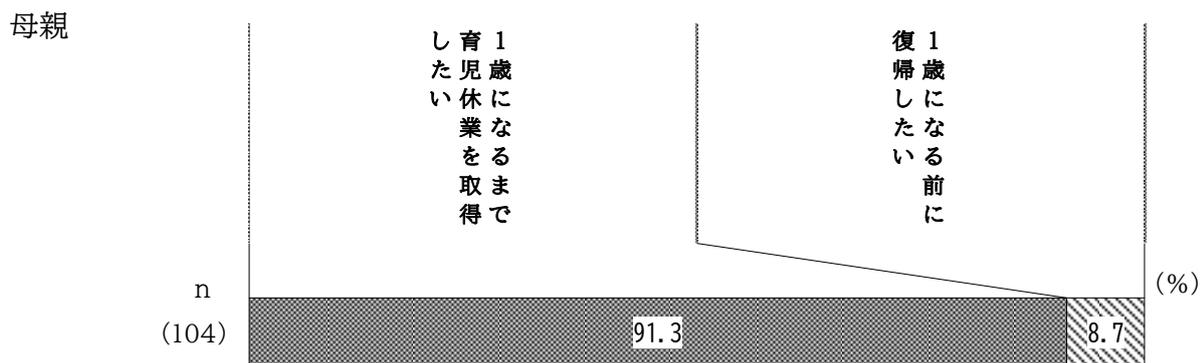
育児休業取得後、職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しなかった母親の理由は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が52.4%と高く、これに「仕事が忙しかった」が44.4%、「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」が38.1%と続いている。

父親の理由は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が60.4%と高く、これに「仕事が忙しかった」が56.3%、「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」が43.8%と続いている。

(8) 1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望

【問53で「現在も育児休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問59 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親・父親のそれぞれの状況について、当てはまるものを1つ選んでください。

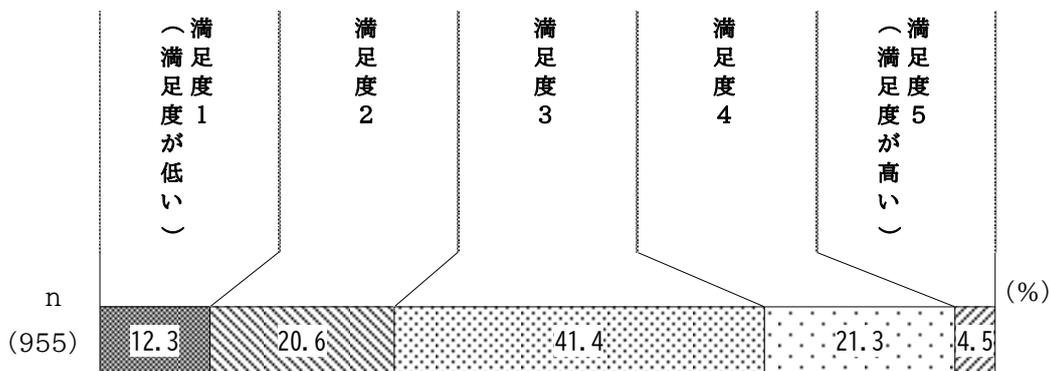


育児休業中の母親について、1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の育児休業取得希望をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.3%と高くなっている。
 ※父親は回答数が少ないため、掲載していない。

12. 子育て全般について

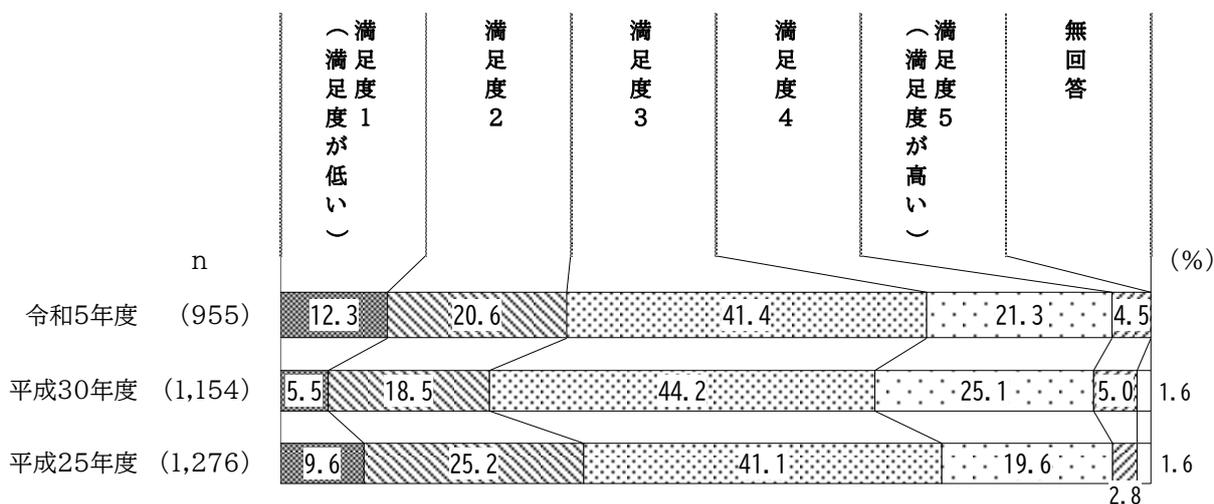
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度

問60 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまるものを1つ選んでください。



住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度3」が41.4%と高く、これに「満足度4」が21.3%、「満足度2」が20.6%と続いている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、子育ての環境や支援の満足度は「満足度1（満足度が低い）」が前回から6.8ポイント増加している。一方で、「満足度4」が前回から3.8ポイント減少している。

(2) 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）

最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、473人から765件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

定期的・不定期の保育事業	178
保育園（所）、幼稚園の充実・増設、制度の改善	85
一時預かり事業の充実、ベビーシッターの安全性向上	57
病児・病後児保育の充実	25
入園（所）のための就業条件の緩和	10
親子で泊まれる赤ちゃんホテルがほしい	1
子育てに関わる支援	153
子育て・教育にかかる各種費用の支援・無償化、手当・医療費助成	66
（全般的な）子育て支援の充実	26
こどもの数やきょうだいの年齢差で差をつけないでほしい	11
所得制限の撤廃	10
仕事と子育て（介護）の両立支援の実現に取り組んでほしい	10
産後ケアの充実	8
障がい児、不登校児の支援	8
子育て応援券、クーポン券等の充実、現金で支給	7
ひとり親家庭の支援	4
どんな家庭にも平等な支援	3
学童クラブ等	59
学童クラブ、放課後子ども教室の内容充実、利用要件緩和、食事提供	48
長期休暇中の利用	11
こどもの居場所	96
公園（ボール遊び可）、広場の遊び場やこどもが集まれる施設の充実	66
児童館、地域センターの整備・充実	20
図書館、公民館等の充実	5
小学校1年生の壁への不安	4
学校の校庭開放	1

第3章 調査結果の詳細（就学前児童の保護者）

幼稚園・学校、教育・教職員	60
保育士、教師の負担軽減、増員、賃上げ	18
保育園（所）、学校設備の充実、改善、駐車場設置	9
保護者会、PTA活動が負担、廃止	9
給食の充実、継続	3
保育園、学校との連絡手段の改善	3
送迎付きの習い事があるとよい	3
I C T教育の適切な運用と充実	2
教職員のモラル向上	2
近い未来の小中学校のキャパオーバーへの懸念	2
保育園での慣らし保育、未就学児向け支援の充実	2
保育園での教育機会提供	2
その他（感染症対策、開校時間を早める、支払い方法の改善、学区の撤廃）	5
医療・健康・衛生	27
医療機関、制度の充実	11
歯科検診、定期健診の利便性向上、情報の拡充	7
インフルエンザ予防接種費用補助	4
公園の衛生環境、維持、啓発	4
医療費補助の見直し	1
情報・相談	26
積極的な子育て支援の情報提供、P R	21
相談体制の充実、窓口の明確化	4
保育園の内定通知はもっと早く知らせてほしい	1
行政の取りくみと評価	144
支援が不足、他市と比べて子育てしにくい、古い慣習の見直し、職員の対応が悪い	36
防犯・防災、事故防止対策	26
市の取組、子育て関連施設への感謝	22
企業への働きかけ、社会の子育てに対する考え方の醸成	14
サービスや施設の地域格差是正	12
講座・イベント、習い事、交流の充実、再開	10
住みよい、安心して子育てできる	8
子育て世代、経験者等の交流機会や、不要となった子育て用品のリサイクル	7
施設予約、書類提出などのI T化を進めてほしい	6
その他（認証保育所への補助金の周辺自治体での均一化、近隣他市との資源共用、スキマ時間就労支援）	3

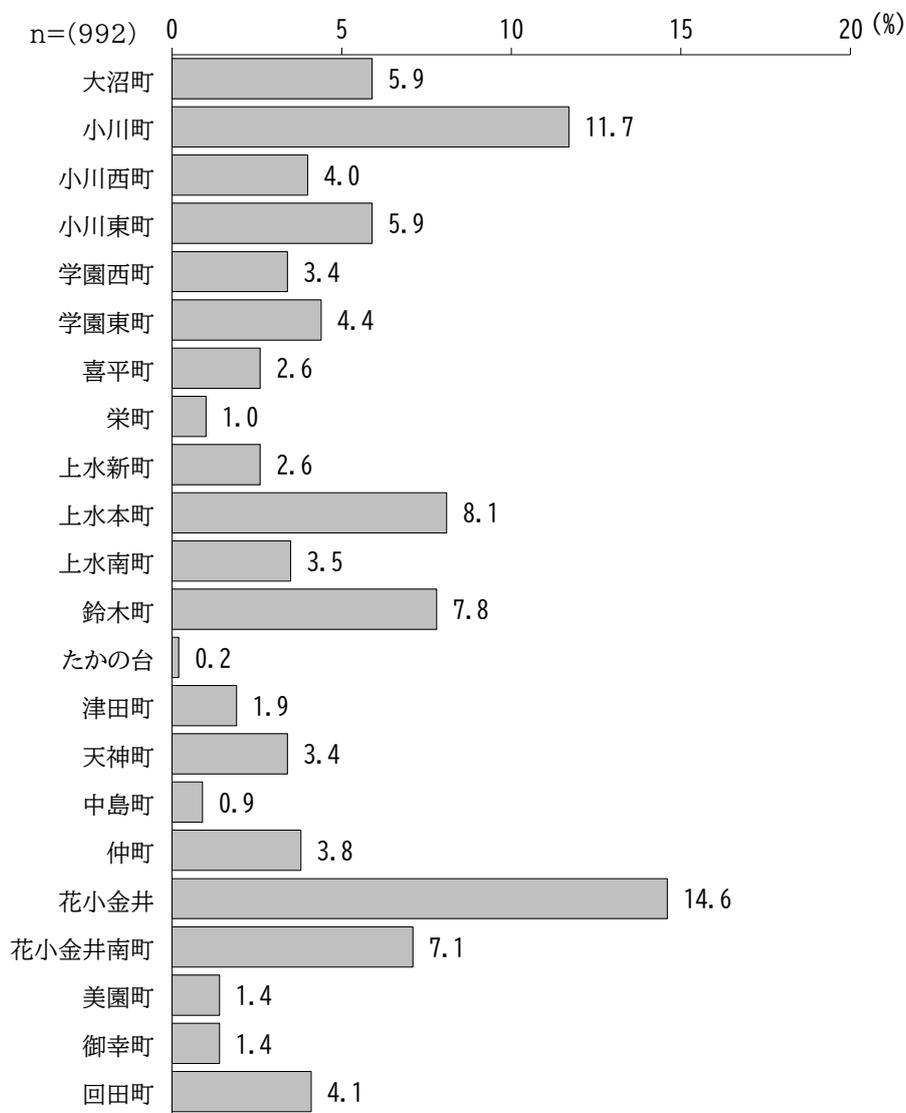
今回のアンケート	16
否定的意見（設問が多い、紙で実施、子育て全世帯にすべきなど）	8
肯定的意見（有効な調査なので対象世代を拡大、声を聴いてもらえてありがたい、来年も実施を、いろいろなことを知る機会となったなど）	8
その他	6

第3章 就学児童調査の結果 (就学児童1年生～6年生の保護者)

1. 住まいの地域

(1) 住まいの地域

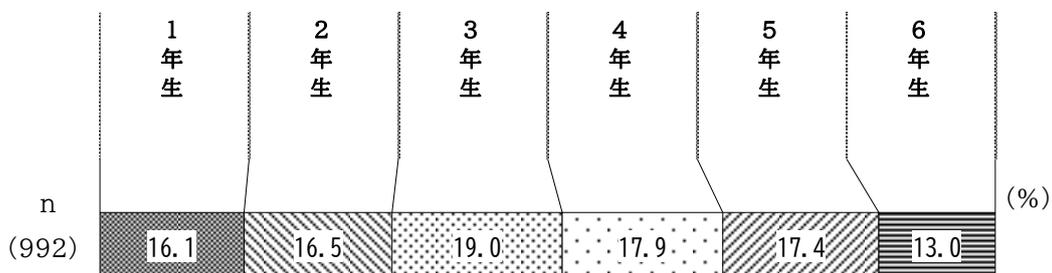
問1 お住まいの地域として当てはまるもの1つを選び、丁目があればご記入ください。



2. こどもと家族の状況

(1) こどもの学年

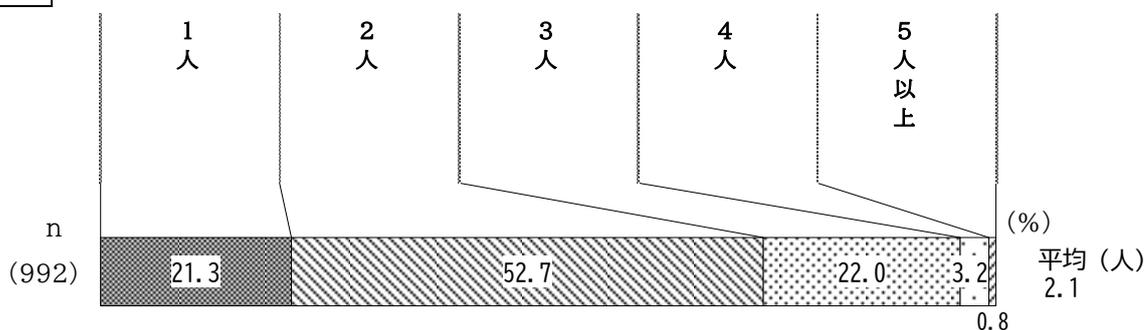
問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。



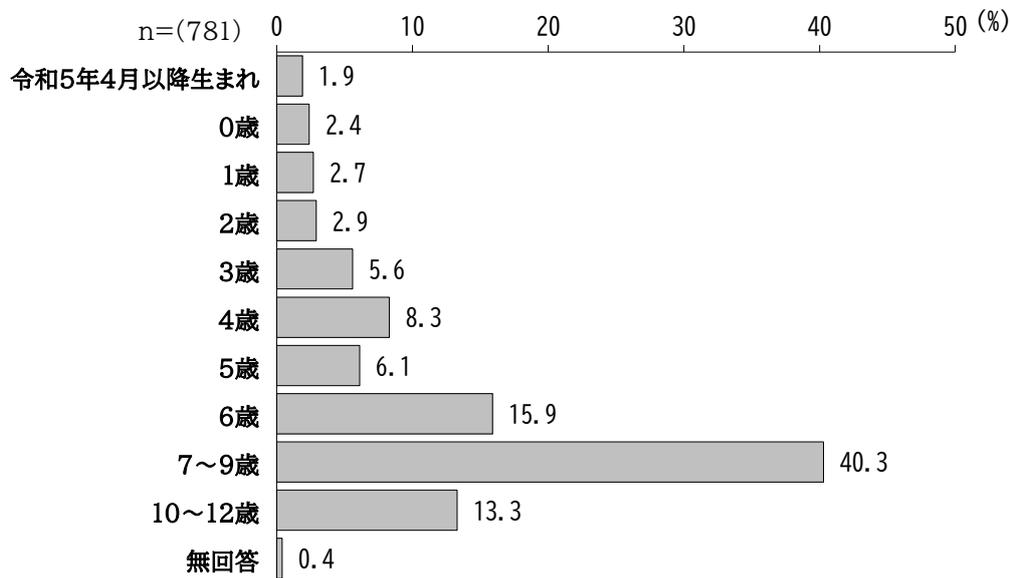
(2) こどもの数、末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

こどもの数

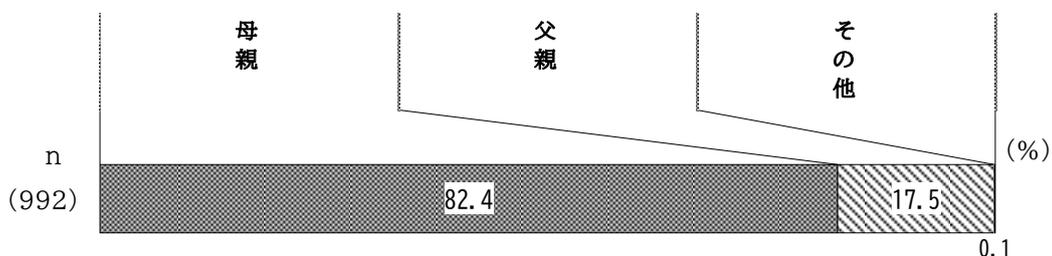


末子の年齢



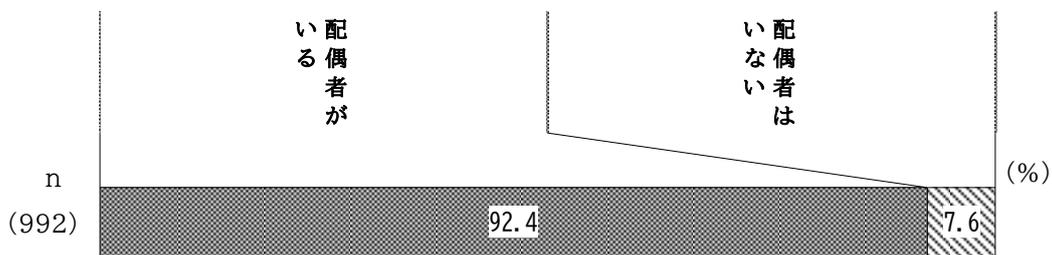
(3) 調査票回答者

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるものを1つ選んでください。



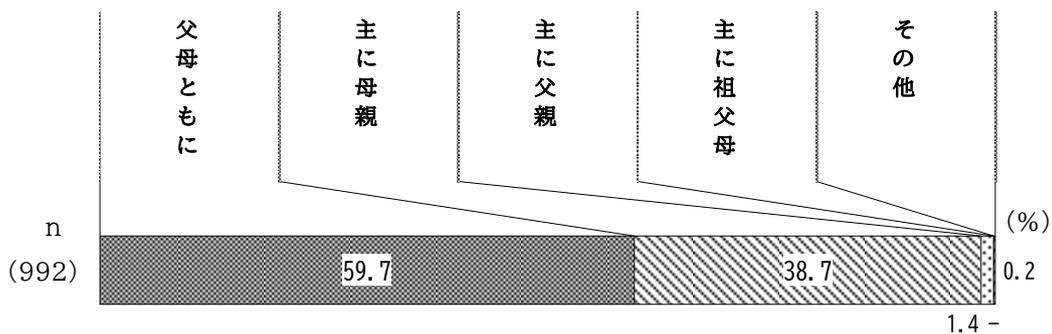
(4) 回答者の配偶関係

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまるものを1つ選んでください。



(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人

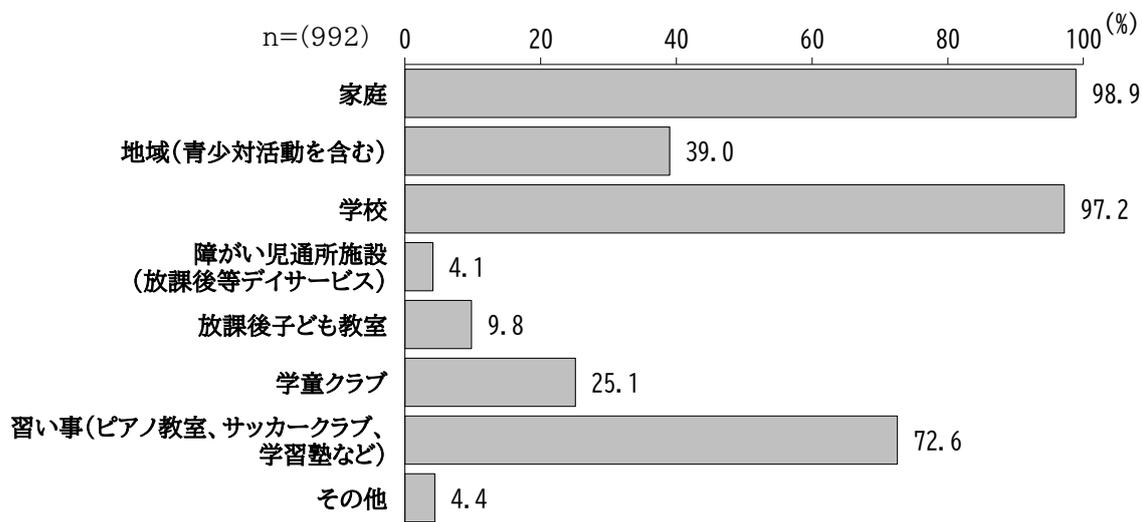
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるものを1つ選んでください。



3. こどもの育ちを取りまく環境について

(1) 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境をすべて選んでください。【複数回答】

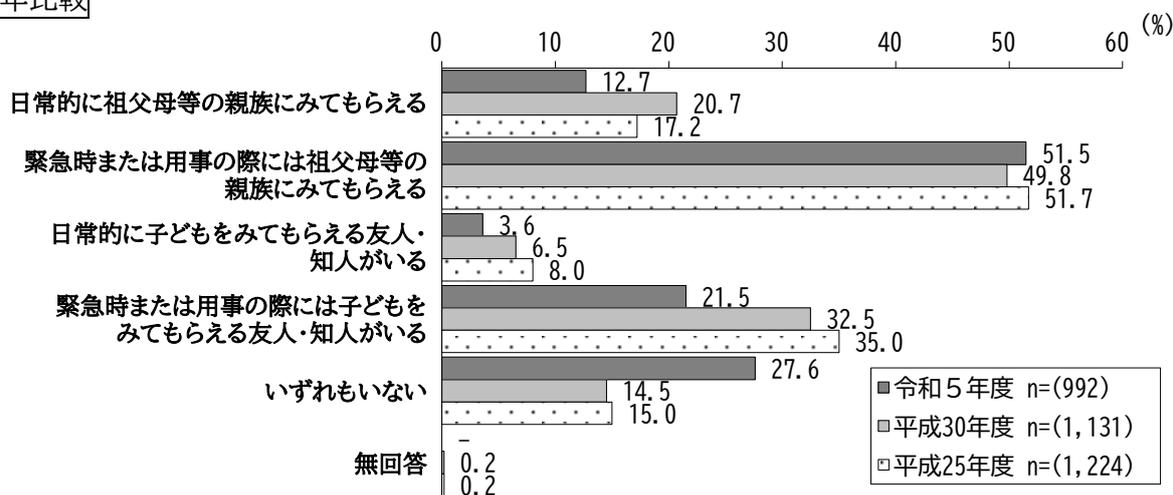


子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境は、「家庭」（98.9%）と「学校」（97.2%）が高く、これらに「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が72.6%と続いている。

(2) こどもをみてもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

経年比較



お子さんをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.5%と高く、これに「いずれもない」が27.6%、「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が21.5%と続いている。

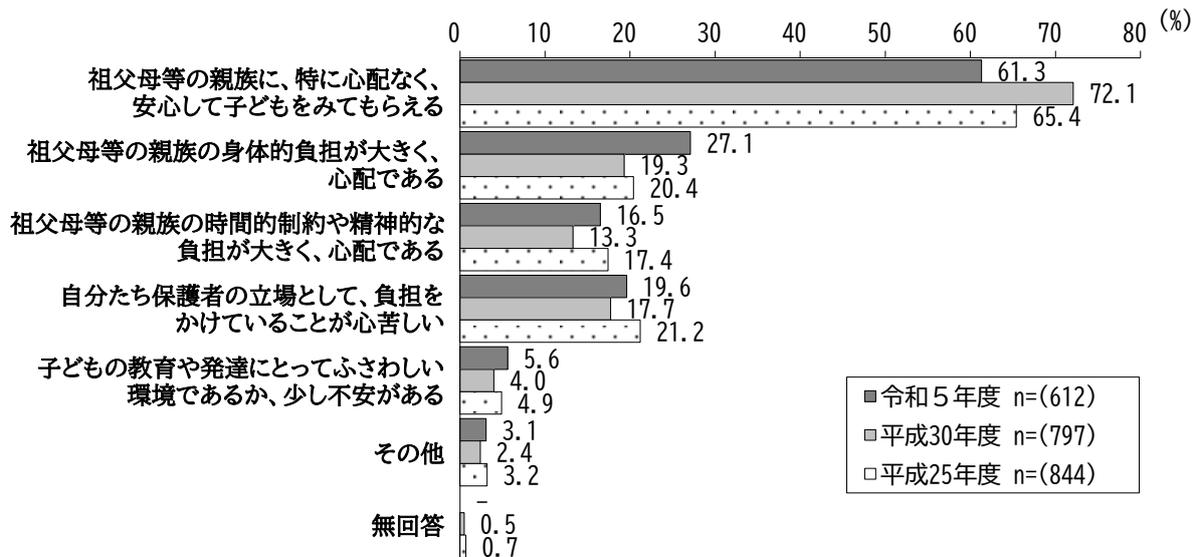
調査結果を経年比較すると、「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が前回から11.0ポイント、前々回から13.5ポイント減少している。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が前回から8.0ポイント減少している。一方で、「いずれもない」は前回から13.1ポイント増加している。

(3) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

【問8で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方におたずねします。】

問9 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

経年比較

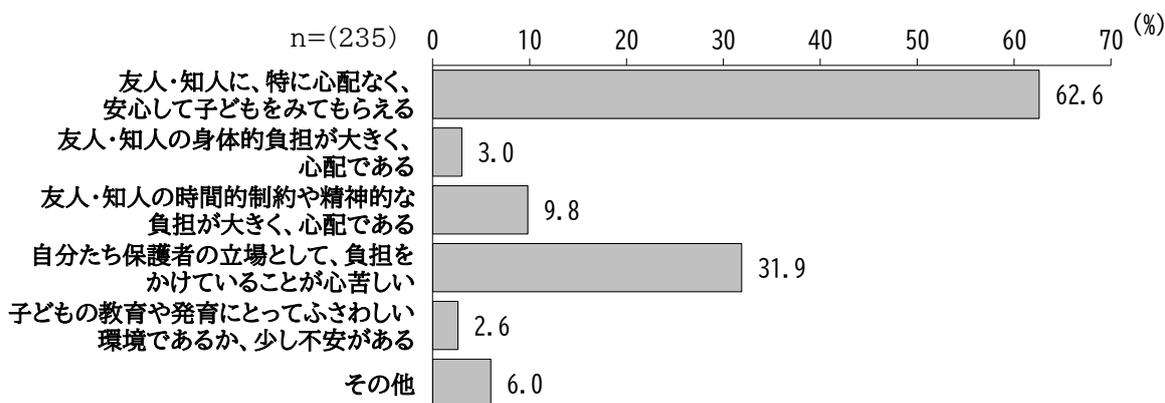


祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が61.3%と高いが、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が27.1%、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が19.6%となっている。

調査結果を経年比較すると、「祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が前回から10.8ポイント減少している。一方で、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」は前回から7.8ポイント増加している。

(4) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

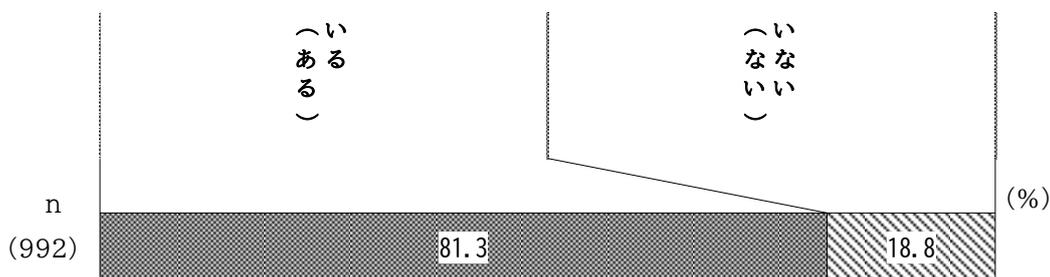
【問8で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方におたずねします。】
 問10 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が62.6%と高いが、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」との意識も31.9%となっている。

(5) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無

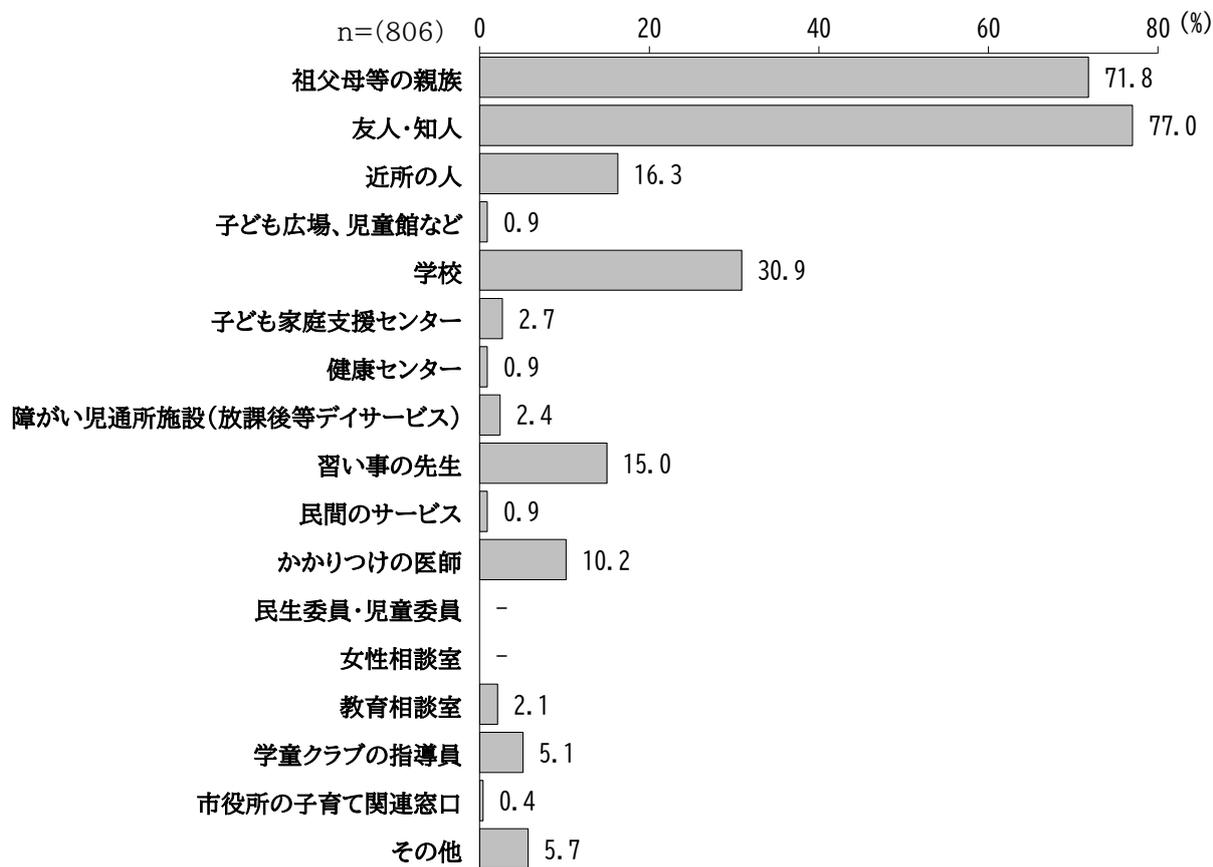
問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無は、「いる(ある)」が81.3%、「いない(ない)」が18.8%となっている。

(6) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先

【問11で「いる（ある）」を選んだ方におたずねします。】
 問12 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号をすべて選んでください。【複数回答】



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先は、「友人・知人」（77.0%）と「祖父母等の親族」（71.8%）が高く、これらに「学校」が30.9%と続いている。

(7) 子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート（自由記述）

問13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポートとして、577人から714件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

(件)

保育事業の支援	274
不定期の様々な預かり事業の充実	88
各種の経済的支援、支出抑制、割引券等のサポート	80
家事育児代行、送迎サポート	26
土日祝、長期休暇、早朝・夜間サポート	25
子育て関連施設の増設、拡充	23
定期的な預かり事業の充実	16
市全体としてこどもを預けやすい環境づくり	16
遊び場、居場所、放課後の支援	123
学童クラブの拡充	42
遊び場、居場所	36
学習や遊びのサポート	32
放課後学校内（学童以外）で過ごせるように	11
放課後子ども教室の充実	2
医療・健康・福祉の支援	84
病児・病後児保育サポート、体調不良時の対応	42
障がい児、不登校児の支援	33
小児科等医療機関の充実、増設、健康維持のバックアップ	5
子ども食堂の設置	4
情報相談体制	68
行政での相談、学校でのカウンセリング等、話を聞く機会	54
子育てサービスや関連施設の情報提供	14
地域、社会、家族の支援	38
働き方改革促進、社会、家族の理解	19
地域や親族等のサポート	19

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

保護者のケア	21
保護者のリフレッシュサポート	9
保護者の会、PTA活動の見直しと代替サポート	7
ひとり親家庭支援	3
子育て中の母親の孤立防止支援	2
教育、教育機関	14
学校設備改善、校庭やプール・体育館の開放	8
教員の質、増員	6
その他の支援	92
イベント、講座、交流、習い事	29
学校の見守り、通学路の防犯、防災、事故防止	27
ICTを活用した施設予約、相談や交流等	10
行政からの働きかけ・リーチアウトサービス	4
移動支援	2
その他（各1件の内容）	20
	714

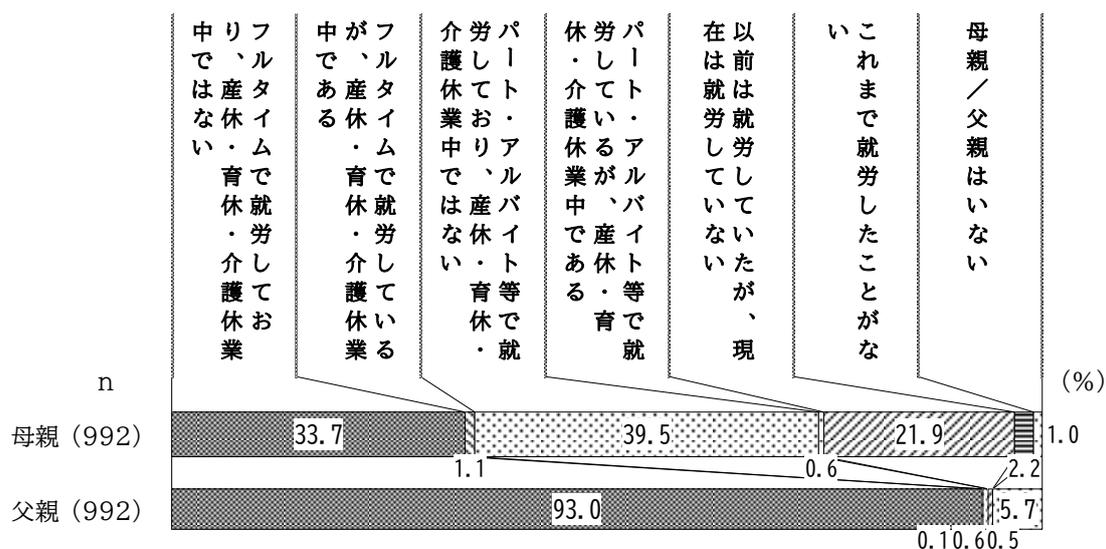
4. 保護者の就労状況

（1）保護者の就労状況

問14 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をおたずねします。

（1）母親 当てはまる番号を1つ選んでください。

（2）父親 当てはまる番号を1つ選んでください。

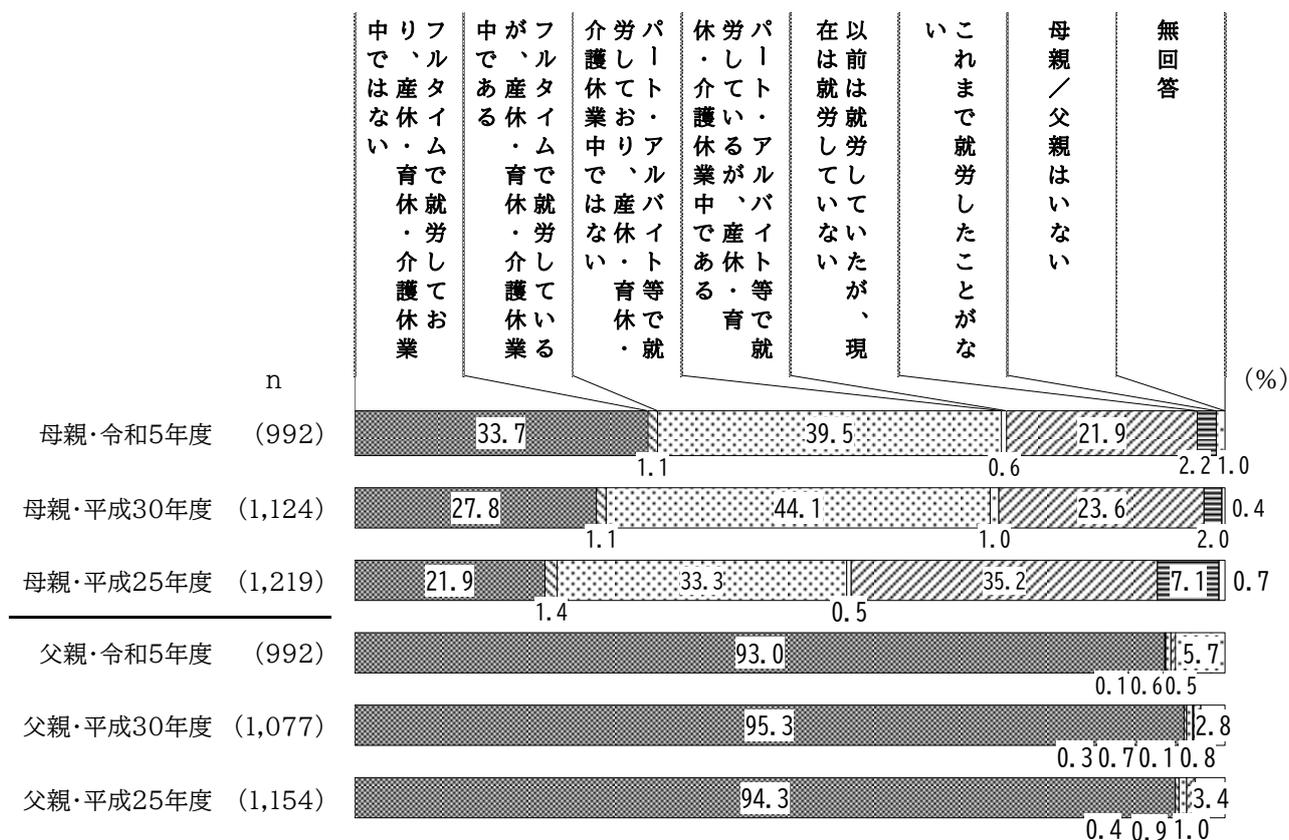


母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.5%で高く、これに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(33.7%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(21.9%)が続いている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.0%となっている。

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

経年比較



調査結果を経年比較すると、母親の就労状況では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が前回から5.9ポイント、前々回から11.8ポイント増加している。一方で、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は前回から4.6ポイント減少している。

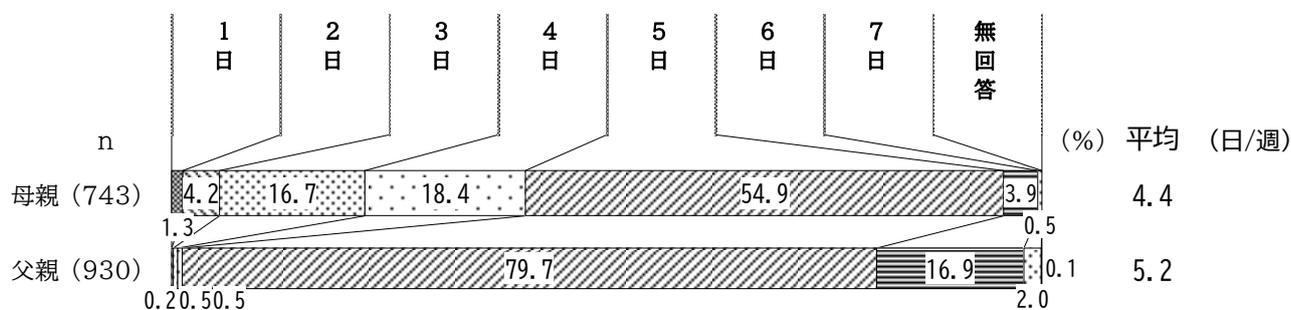
(2) 就労日数、就労時間

【問14の(1)(2)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問15 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

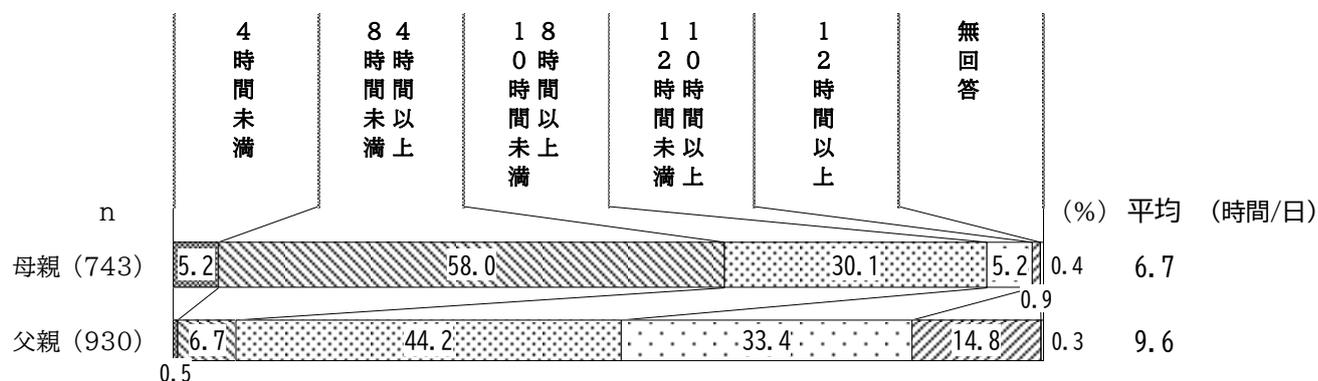
就労日数／1週当たり



母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が54.9%、「4日」が18.4%、「3日」が16.7%で、平均4.4日/週となっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が79.7%、「6日」が16.9%で、平均5.2日/週となっている。なお、「1日」の該当者はいなかった。

就労時間／1日当たり



母親の1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が58.0%、「8時間以上10時間未満」が30.1%で、平均6.7時間/日となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が44.2%、「10時間以上12時間未満」が33.4%、「12時間以上」が14.8%で、平均9.6時間/日となっている。

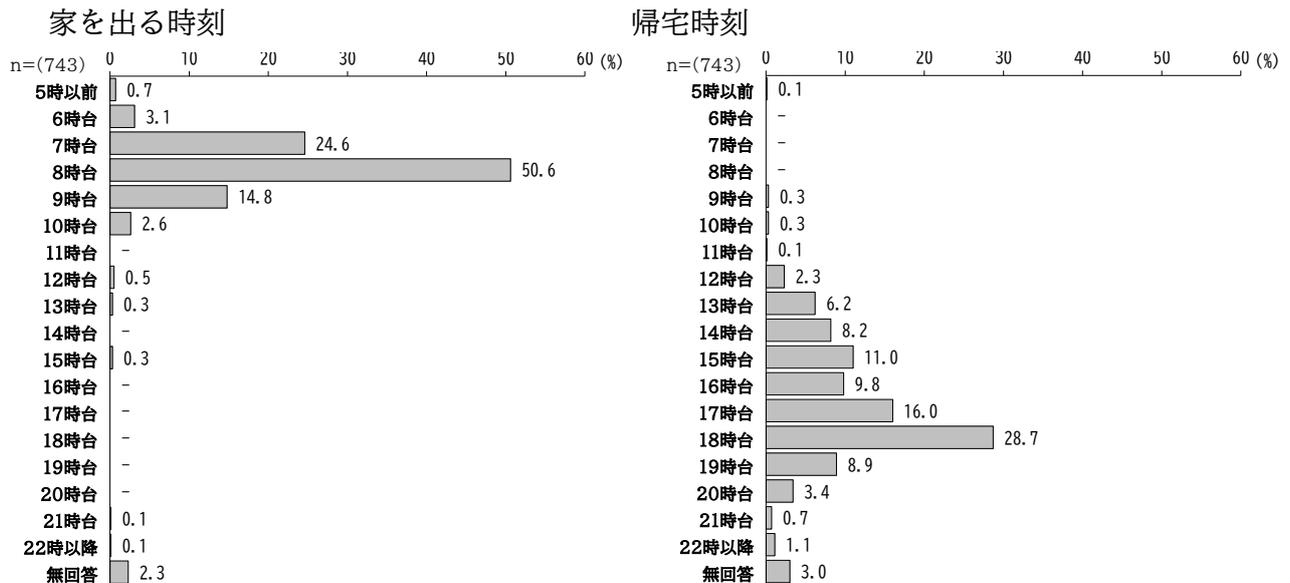
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻

【問14の(1)(2)で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方におたずねします。】

問16 家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

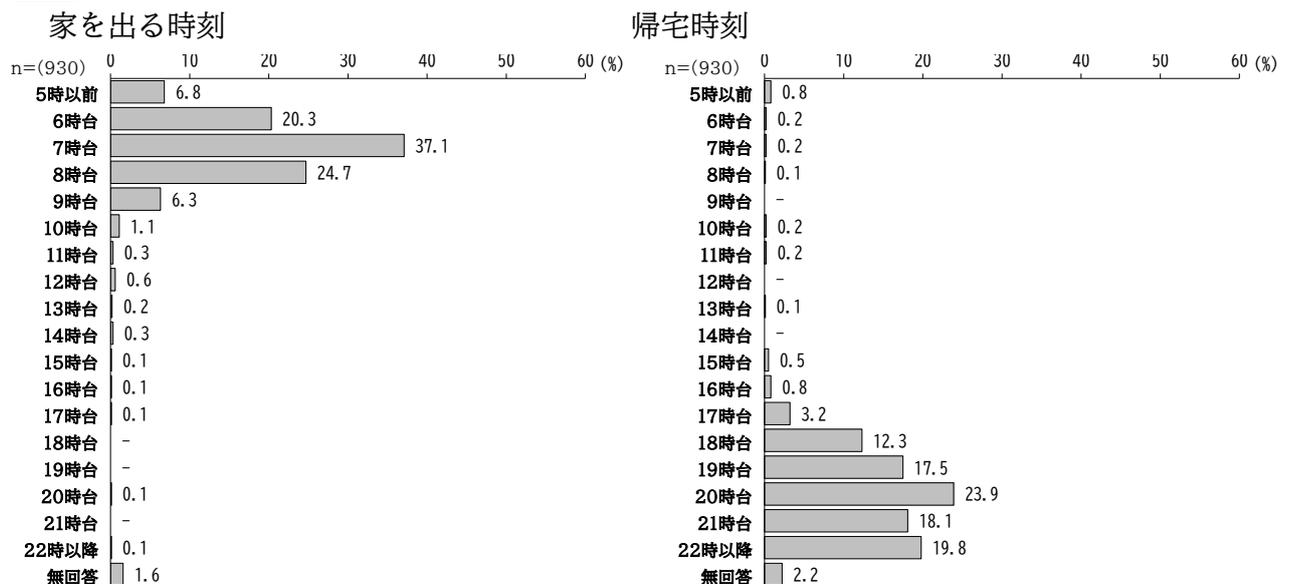
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

母親



母親が家を出る時刻は、「8時台」が50.6%、「7時台」が24.6%と高くなっている。帰宅時刻は、「18時台」が28.7%、「17時台」が16.0%と高くなっている。

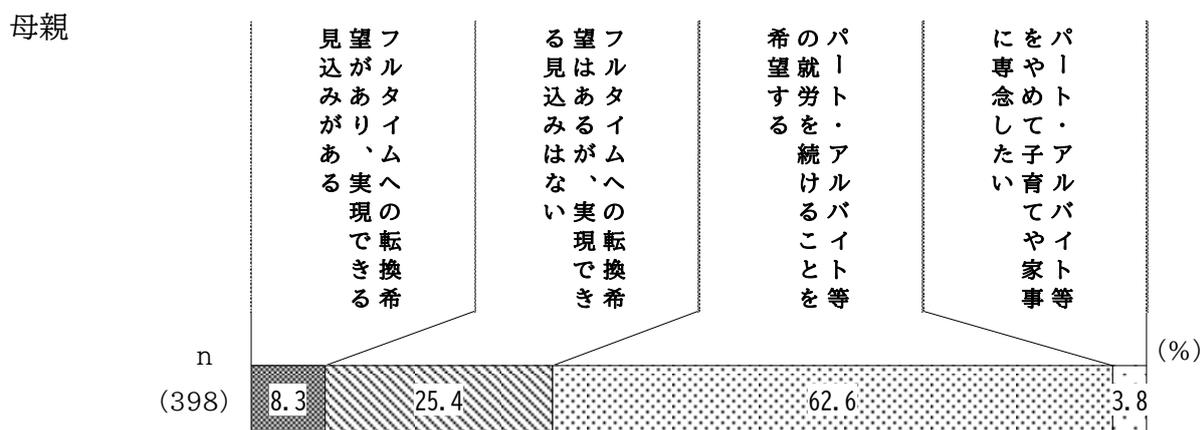
父親



父親が家を出る時刻は、「7時台」が37.1%、「8時台」が24.7%、「6時台」が20.3%と高くなっている。帰宅時刻は、「20時台」が23.9%、「22時以降」が19.8%、「21時台」が18.1%、「19時台」が17.5%と高くなっている。

(4) フルタイムへの転換希望

【問14の(1)(2)で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である」を選ばれた方におたずねします。】
 問17 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

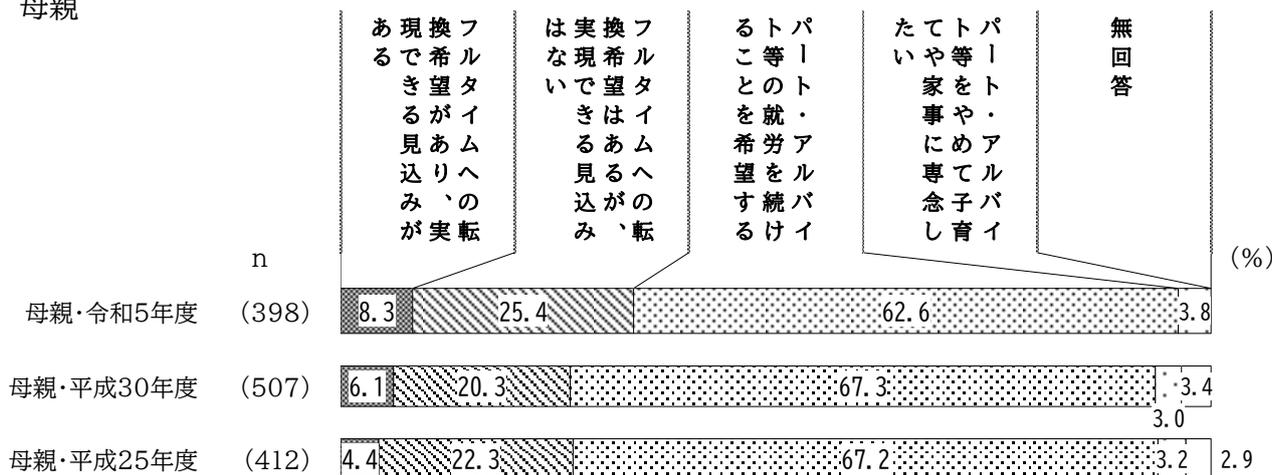


「パート・アルバイト等で就労している」人のフルタイムへの転換希望は、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が62.6%と高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.4%と続いている。

※父親は回答数が少ないため、掲載していない。

経年比較

母親



調査結果を経年比較すると、母親の転換希望では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が前回から5.1ポイント増加している。一方で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は前回から4.7ポイント減少している。

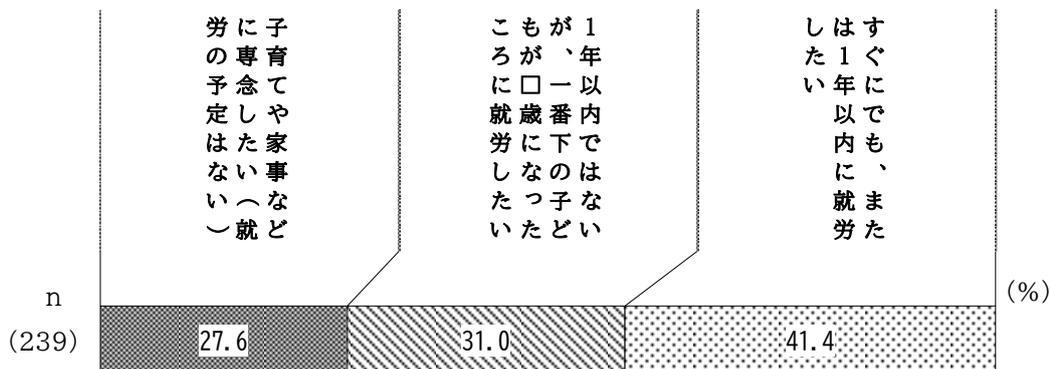
※父親は回答数が少ないため、掲載していない。

(5) 就労希望

【問14で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」を選んだ方におたずねします。】
 問18 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの、記号それぞれを1つ選び、該当する箇所に数字でご記入ください。

就労希望

母親

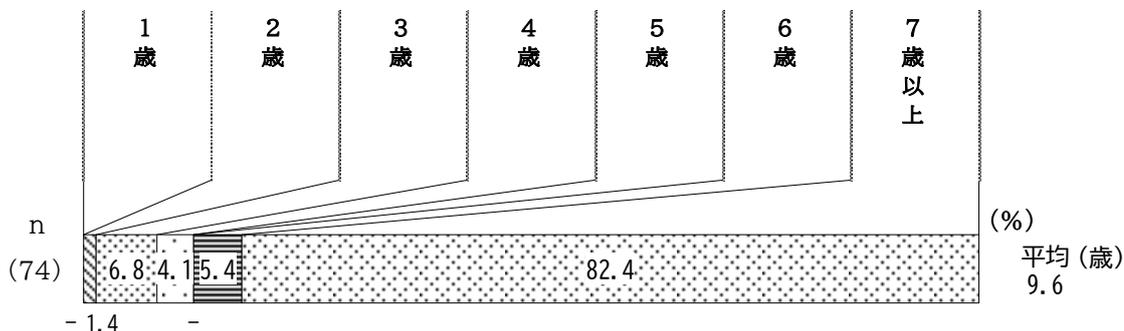


「就労していない、したことがない」母親の就労希望は、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が41.4%と高く、これに「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったときに就労したい」が31.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が27.6%と続いている。

※父親は回答数が少ないため、掲載していない。

就労を希望する時期（就労したいと思う末子のこどもの年齢）

母親

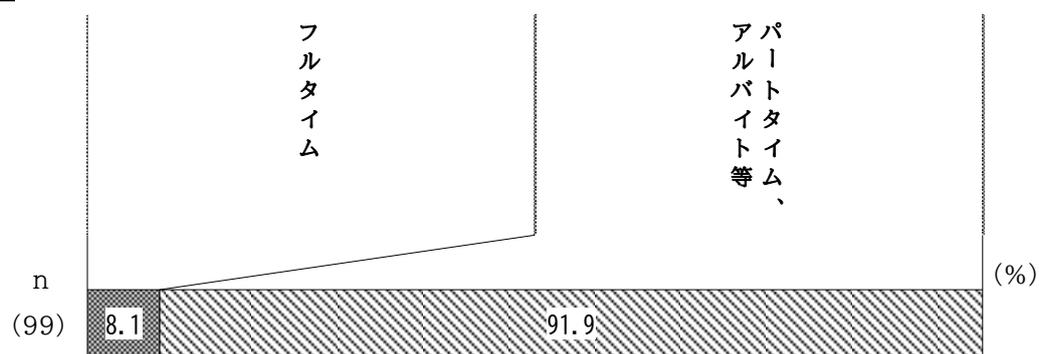


「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったときに就労したい」という母親が就労を希望する時期は、一番下のこどもが「7歳以上」が82.4%と高く、平均9.6歳となっている。

※父親は回答数がないため、掲載していない。

希望する就労形態

母親

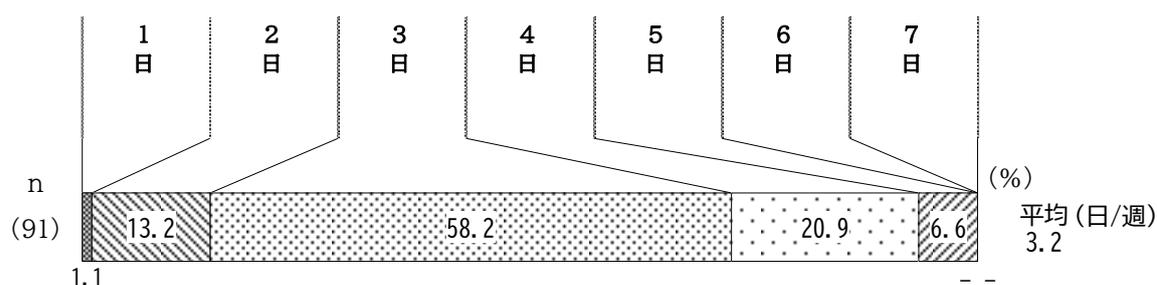


「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が91.9%となっている。

※父親は回答数が少ないため、掲載していない。

パート・アルバイト等で希望する就労日数／1週当たり

母親

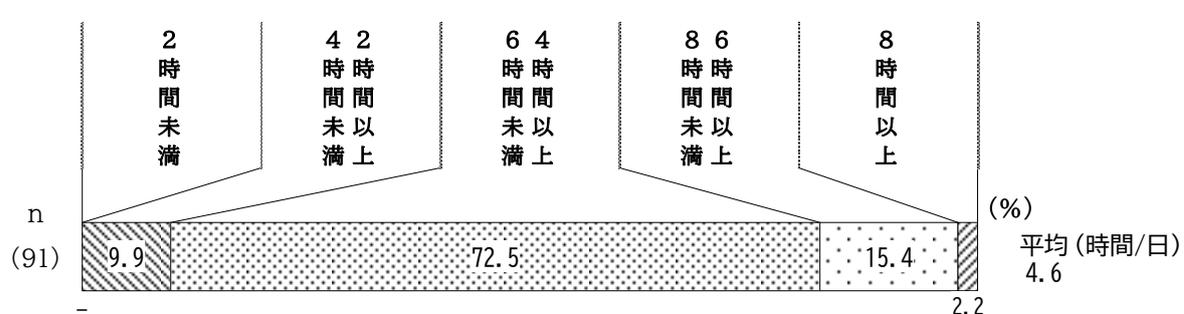


「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が58.2%、「4日」が20.9%で、平均3.2日/週となっている。

※父親は回答数がないため、掲載していない。

パート・アルバイト等で希望する就労時間／1日当たり

母親

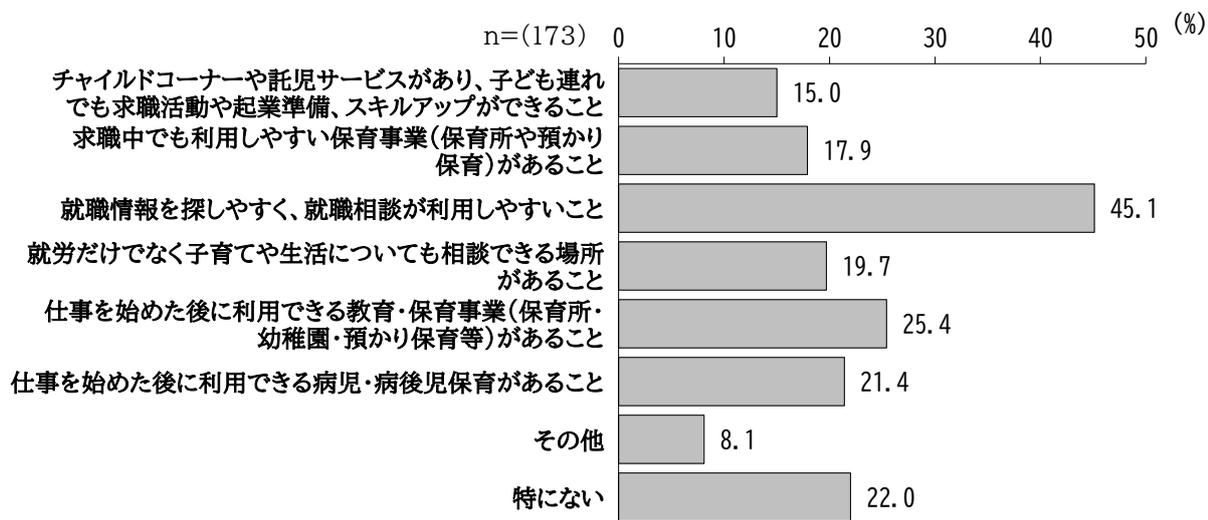


「すぐにでも、または1年以内に就労したい」という母親が希望する1日当たりの就労時間は、「4時間以上6時間未満」が72.5%と高く、平均4.6時間/日となっている。

※父親は回答数がないため、掲載していない。

(6) 就労の準備に必要な支援

【問18の(1)(2)で「1年以内ではないが、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」「すぐにでも、または1年以内に就労したい」のいずれかを選んだ方におたずねします。】
 問19 今後、就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまるものを3つまで選んでください。【複数回答】

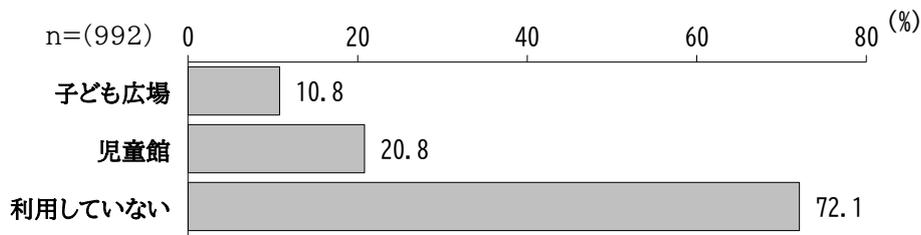


就労を希望している保護者が就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援としては、「就職情報を探しやすく、就職相談が利用しやすいこと」が45.1%と高く、これに「仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業（保育所・幼稚園・預かり保育等）があること」が25.4%、「仕事を始めた後に利用できる病児・病後児保育があること」が21.4%と続いている。

5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望

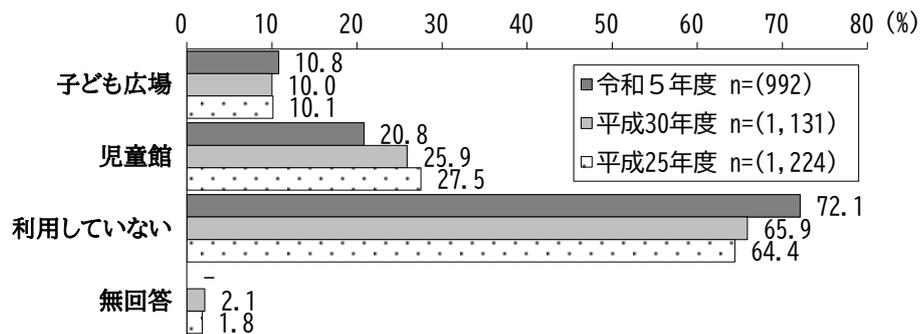
(1) 子ども広場や児童館の利用状況

問20 あて名のお子さんは、現在、子ども広場や児童館を利用していますか。当てはまるものをすべて選び、利用している場合には、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。
【複数回答】



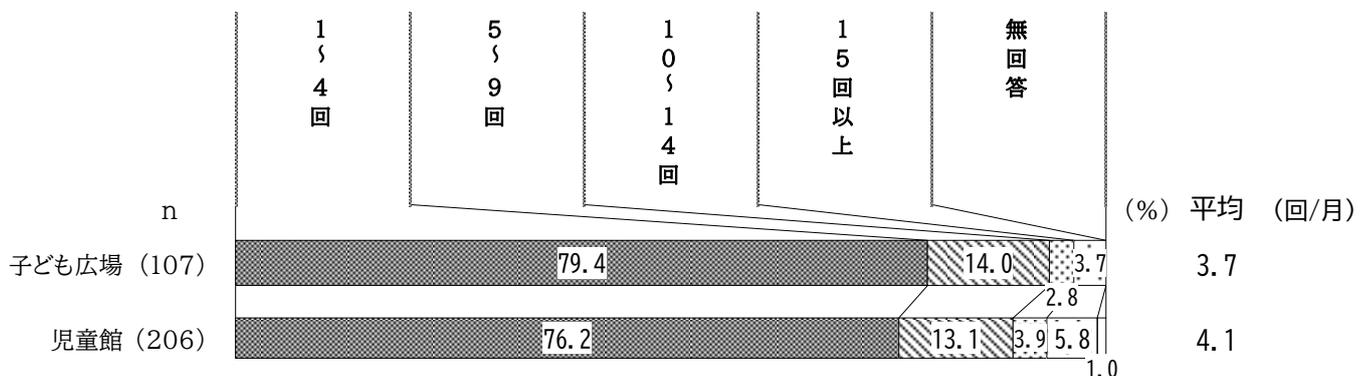
子ども広場や児童館の利用状況は、「児童館」が20.8%、「子ども広場」が10.8%となっている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、子ども広場や児童館の利用状況は「児童館」が前回から5.1ポイント、前々回から6.7ポイント減少している。一方で、「利用していない」が前回から6.2ポイント、前々回から7.7ポイント増加している。

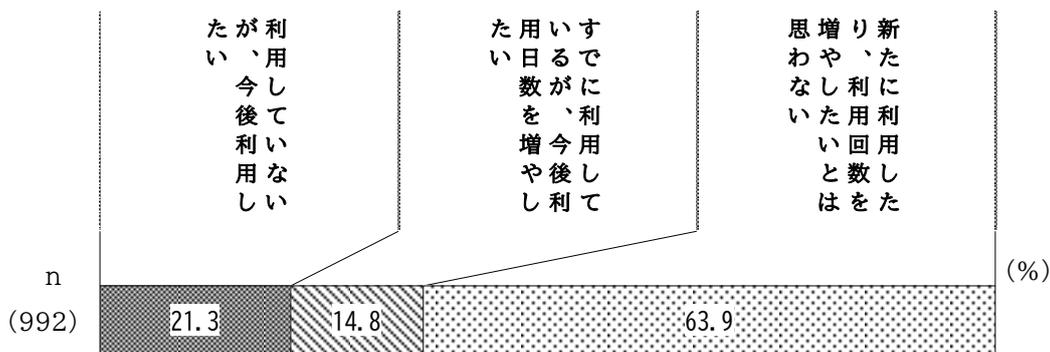
利用回数／1ヶ月当たり



1ヶ月当たりの平均利用回数は、「児童館」が4.1回/月、「子ども広場」が3.7回/月となっている。

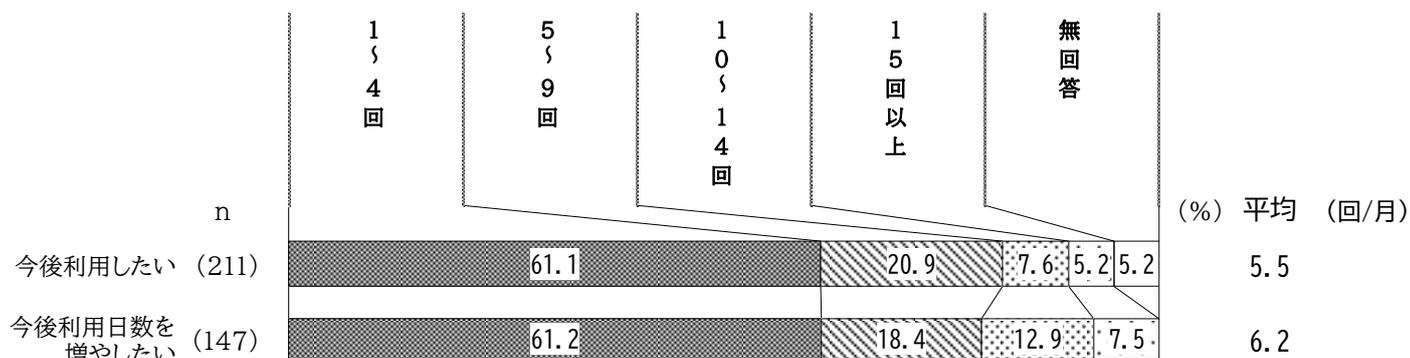
(2) 今後の利用希望と利用回数

問21 子ども広場や児童館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いますか。当てはまるものを1つ選び、おおよその利用希望回数をご記入ください。



子ども広場や児童館の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(21.3%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(14.8%)が合計で36.1%となっている。

利用したい回数／1ヶ月当たり



1ヶ月当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で5.5回/月、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、6.2回/月となっている。

(3) 子育て支援事業・こどもの居場所についての意見（自由記述）

問22 子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業やこどもの居場所についてどのようにお感じになっていますか。ご自由にお書きください。

子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業やこどもの居場所に関するご意見として、626人から787件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

(件)

利用している・満足している	214
満足、ありがたい、助かる、必要な場、お世話になった	110
大人の目があるなど、こどもたちが安心して過ごせる場	38
親の良い交流場でもあり、こどもの協調性の育みにもなる	29
職員が親切、こどもやその親への関わり方が良い	17
楽しい、こどもが楽しそう	15
（重要な施設なので）今後も維持・継続を	5
利用していない・利用しにくい	58
魅力がない、古い、使い勝手が悪い	18
常連、グループが多く、雰囲気馴染めない	16
就学児童がたむろしている、素行の良くない中高生をみかける	7
職員、スタッフの対応がよくない	7
こども同士のトラブルが心配	7
共働き世帯には利用しにくい	3
それ以外の意見	72
子育て広場や児童館は幼いこどものための施設という印象	44
子ども広場の存在を知らない	12
小学校4年生以降に利用したい	10
これから利用してみたい、利用したことがないので不安	6

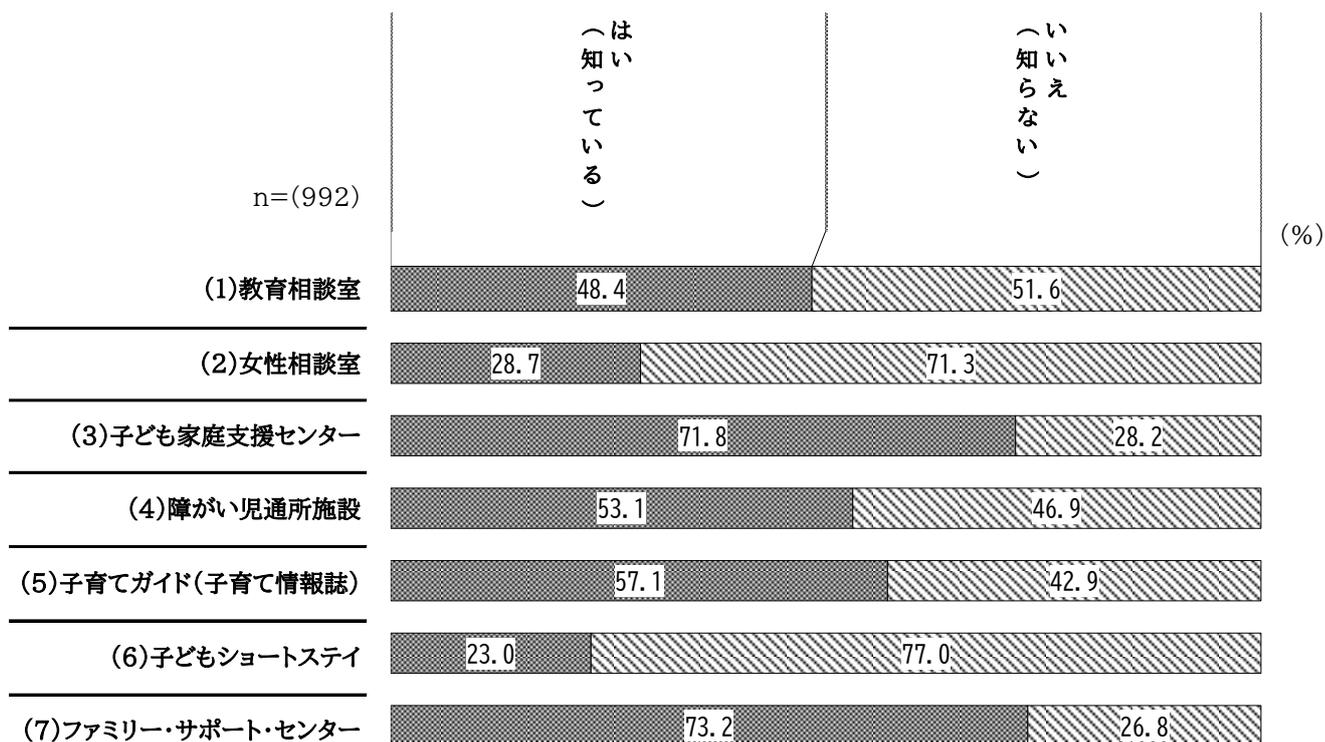
第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

その他の要望	418
施設が近辺にない（こどもだけで行かせられる距離にない）、増設してほしい	148
校庭開放やボール遊び可能な屋外の遊び場がほしい	33
情報提供（場所・内容）や事業のPR、相談窓口の充実	32
行く機会、時間がない、こどもが興味を持たない	31
もう少し広くしてほしい、混雑している	27
高学年の子も楽しめる場・居場所の増加	19
防犯、交通事故防止の強化	18
企画、イベントの充実	17
勉強や遊びができるスペースがあるとよい	16
障がい児や、不登校児にも利用しやすい場所であってほしい	16
利用時間延長や土日でも利用できるところがほしい	10
誰もが気軽に行きやすい場が多くほしい	9
施設内や周囲に駐車場やお店、公共施設があるといい	8
小学校4年生からの居場所が必要（児童館、子ども広場以外）	7
学童クラブの充実、利用学年延長をしてほしい	5
出張子ども広場の開催日を増やしてほしい	5
図書館、公民館を活用してこどもの居場所づくりをしてほしい	4
設備や人員不足の解消	3
施設周囲の住民の理解・啓発が必要	3
学校の近くにそうした施設があるとよい	3
世代間交流できる場があるとよい	2
年代で区分したスペースがあるとよい	2
その他	25
その他（各1件のみ）	25

（4）各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望

問23 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。（1）～（7）のA（認知状況）、B（利用状況）、C（利用希望）について、それぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

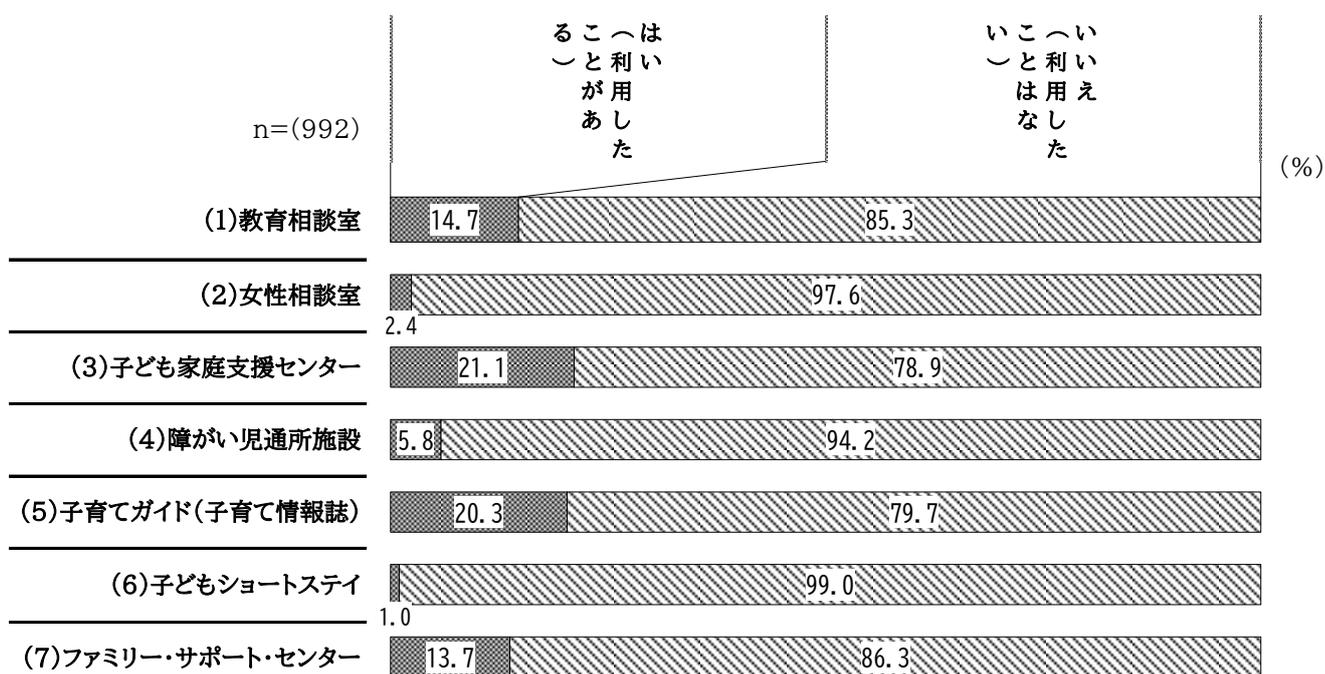
A 各種支援事業の認知状況



各種支援事業の認知状況（知っている）は、「ファミリー・サポート・センター」（73.2%）と「子ども家庭支援センター」（71.8%）が高く、これらに「子育てガイド（子育て情報誌）」（57.1%）、「障がい児通所施設」（53.1%）、「教育相談室」（48.4%）が続いている。

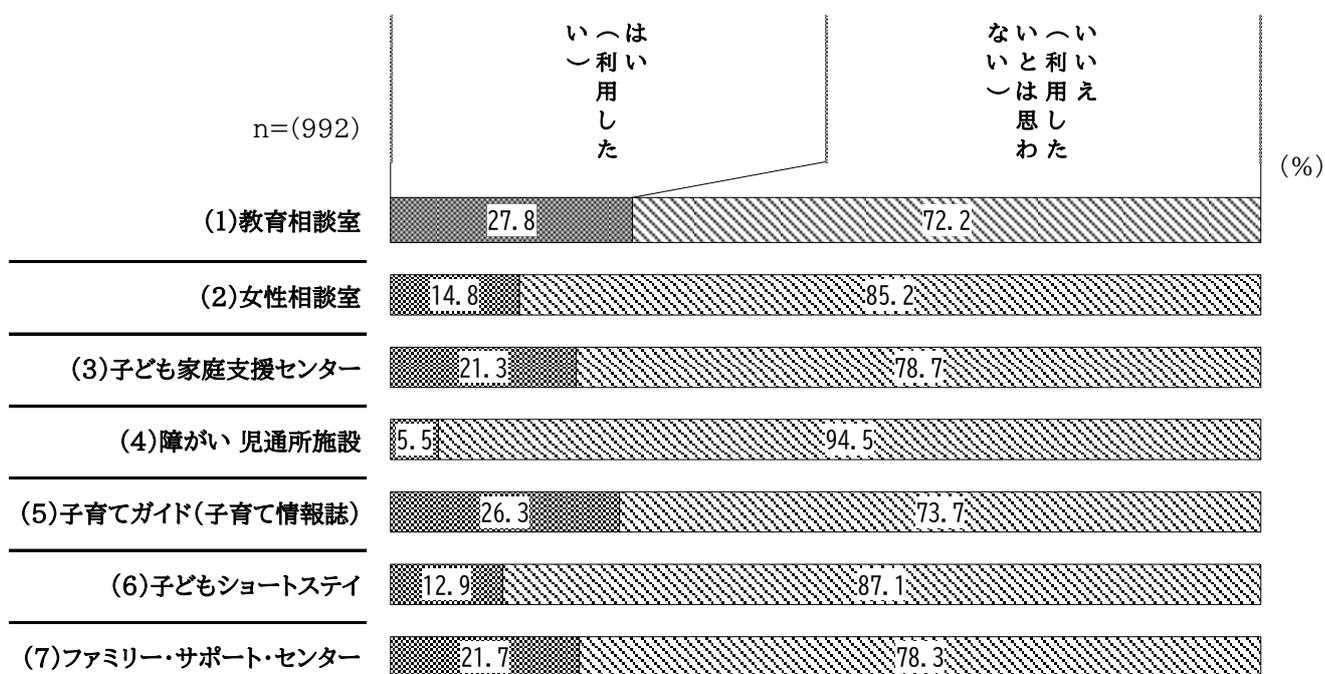
第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

B 各種支援事業のこれまでの利用状況



各種支援事業のこれまでの利用状況（利用したことがある）は、「子ども家庭支援センター」（21.1%）と「子育てガイド（子育て情報誌）」（20.3%）が高く、これに「教育相談室」（14.7%）、「ファミリー・サポート・センター」（13.7%）が続いている。

C 各種支援事業の今後の利用希望

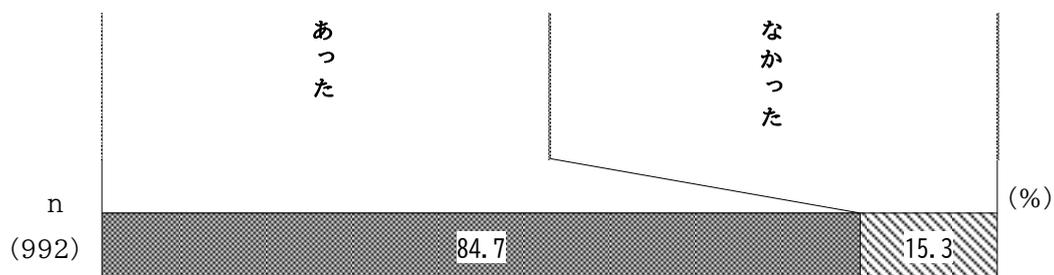


各種支援事業の今後の利用希望（利用したい）は、「教育相談室」（27.8%）と「子育てガイド（子育て情報誌）」（26.3%）が高く、これに「ファミリー・サポート・センター」（21.7%）、「子ども家庭支援センター」（21.3%）が続いている。

6. こどもが病気の際の対応について

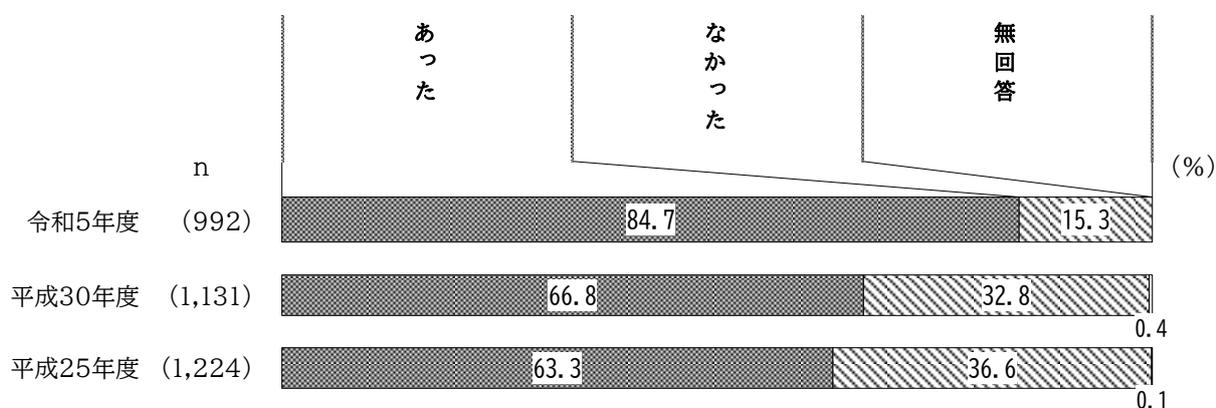
(1) この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。



この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことは「あった」が84.7%、「なかった」が15.3%となっている。

経年比較



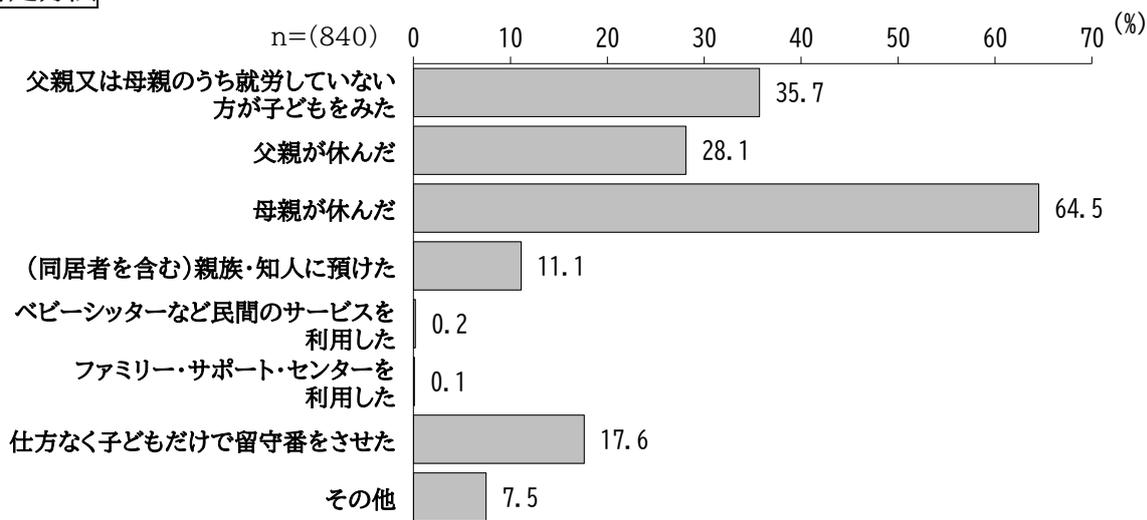
調査結果を経年比較すると、この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは「あった」が前回から17.9ポイント、前々回から21.4ポイント増加している。

(2) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数

【問24で「あった」を選んだ方におたずねします。】

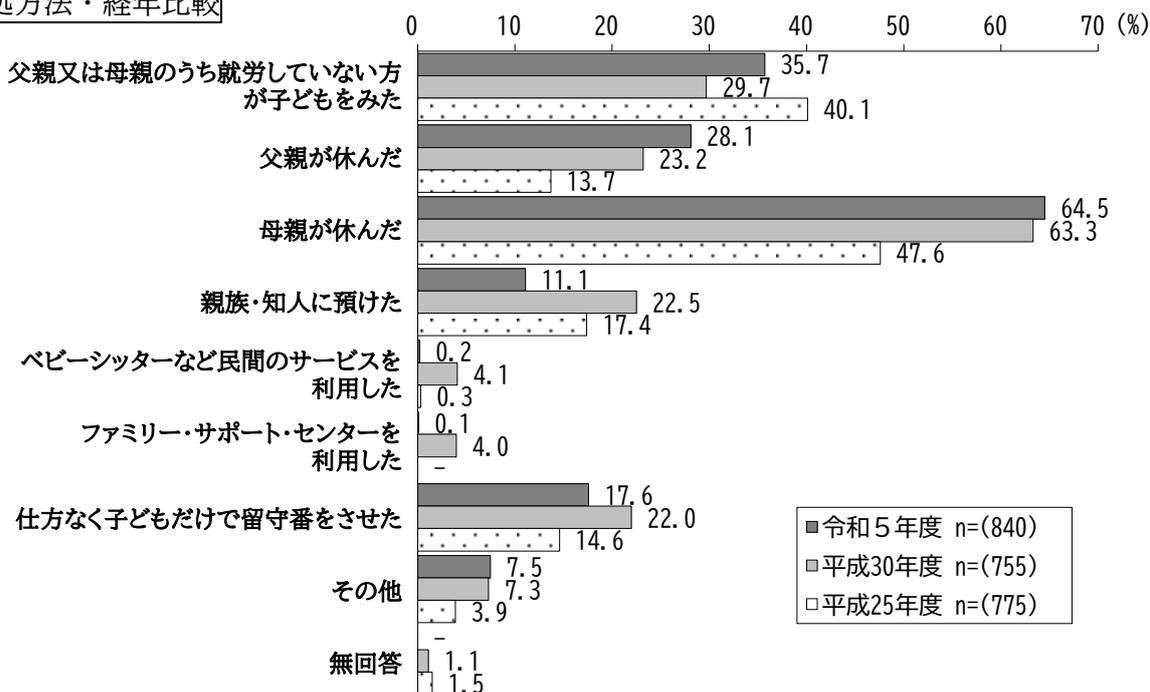
問25 あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものをすべて選び、それぞれの日数をご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日と計算してください)。【複数回答】

対処方法



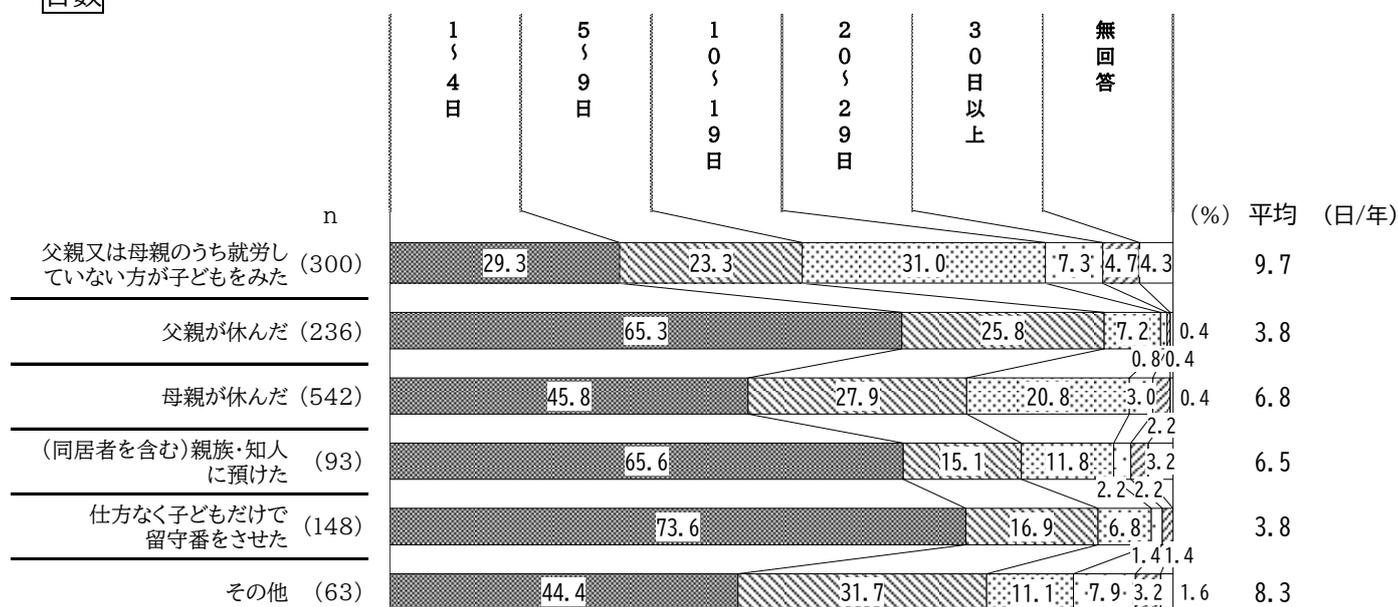
病気やケガで学校を休まなければならなかった際の対応としては、「母親が休んだ」が64.5%と高く、これに「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(35.7%)、「父親が休んだ」(28.1%)が続いている。

対処方法・経年比較



調査結果を経年比較すると、対処方法は「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が前回から6.0ポイント、「父親が休んだ」が前回から4.9ポイント、前々回から14.4ポイント増加している。一方で、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」は前回から11.4ポイント減少している。

日数

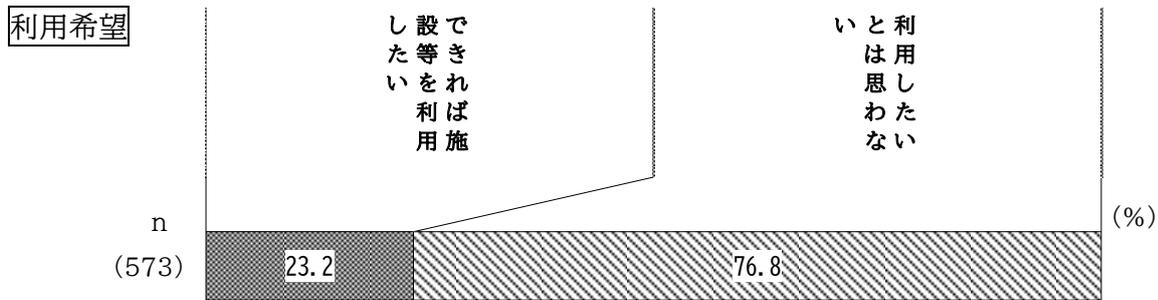


主な対処方法の年間平均日数は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が9.7日/年、「母親が休んだ」が6.8日/年、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が6.5日/年、「父親が休んだ」と「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が3.8日/年となっている。

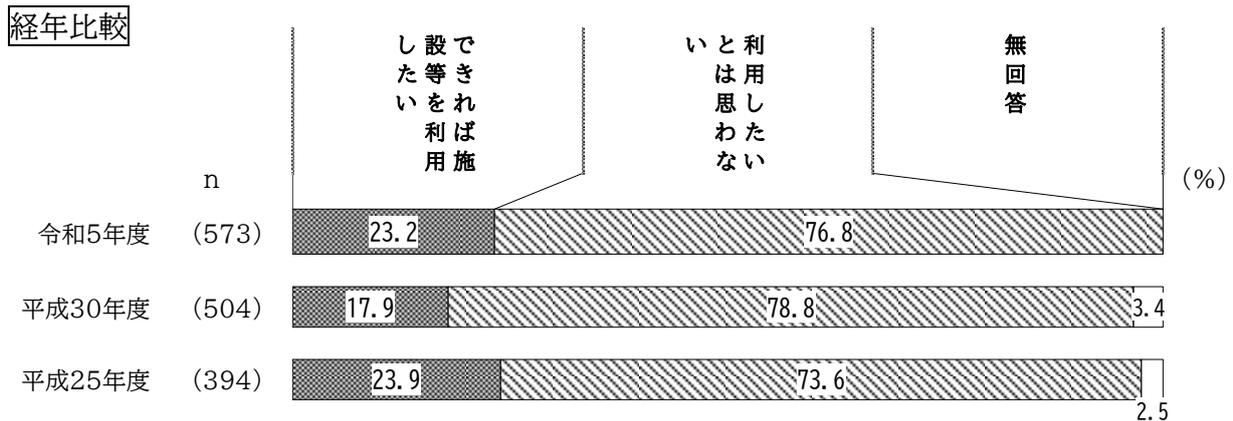
※「ベビーシッターなど民間のサービスを利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」は回答者が少ないため、掲載していない。

(3) 父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数

【問25で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」のいずれかを選んだ方におたずねします。】
 問26 その際、「できれば施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまるものを1つ選び、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の日数のうち施設等を利用したかった日数を数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

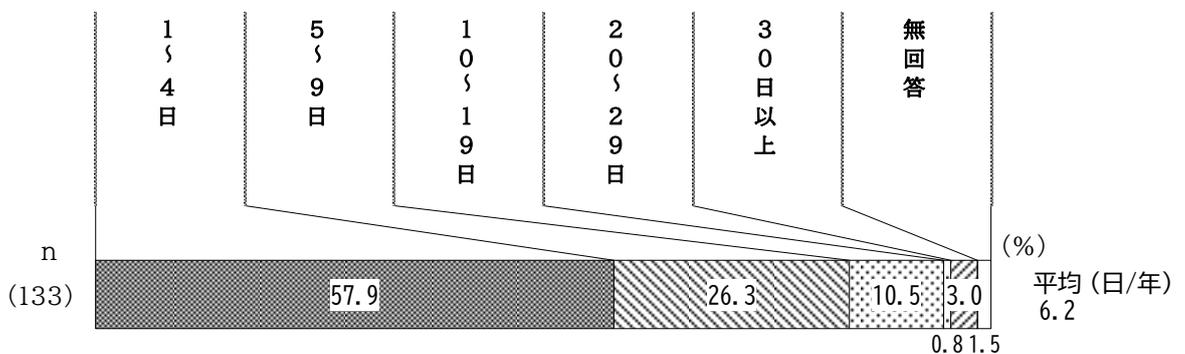


父母が休んで対処した場合に、施設等を「利用したいとは思わない」が76.8%、「できれば施設等を利用したい」が23.2%となっている。



調査結果を経年比較すると、施設の利用希望は「できれば施設等を利用したい」が前回から5.3ポイント増加している。

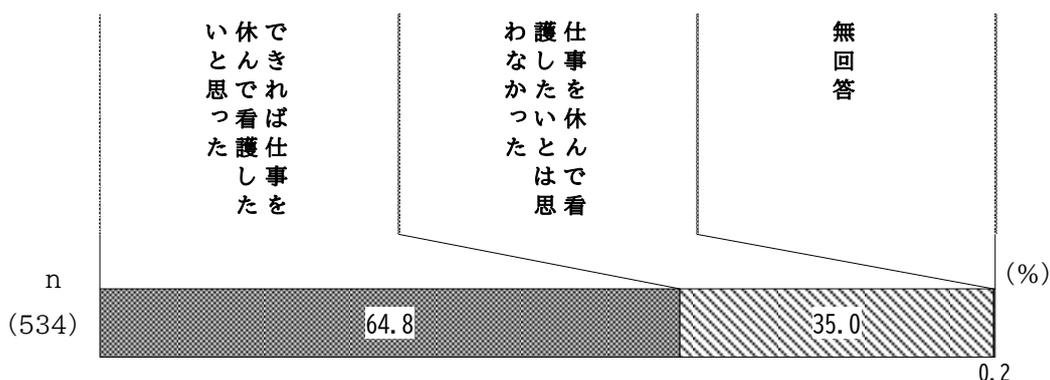
利用したい日数



施設等の年間利用希望日数は、「1～4日」が57.9%、「5～9日」が26.3%で、平均6.2日/年となっている。

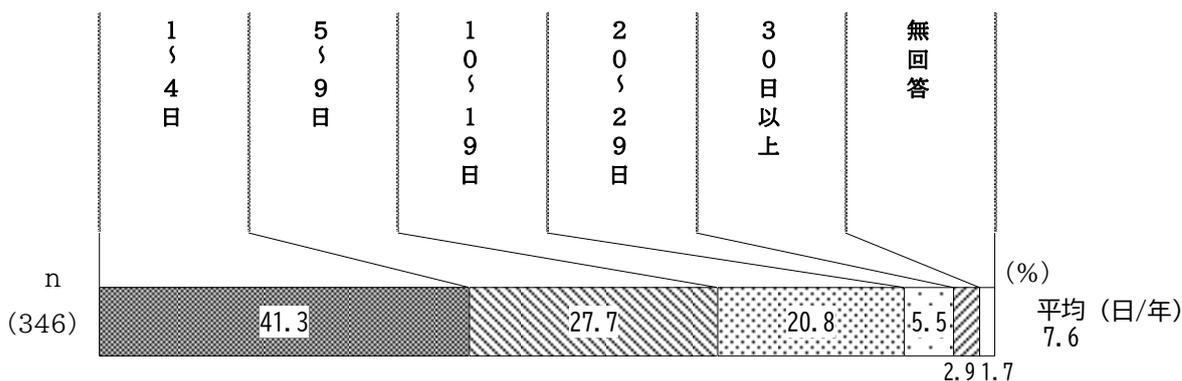
(4) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したかった日数

【問25で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」以外のいずれを選んだ方におたずねします。】
 問27 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。
 当てはまるものを1つ選び、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」以外の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についてもご記入ください。



病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合に、「母親が休んだ」「父親が休んだ」以外の方法で対応した際、「できれば仕事を休んで看護したいと思った」が64.8%となっている。これに対し、「仕事を休んで看護したいとは思わなかった」が35.0%となっている。

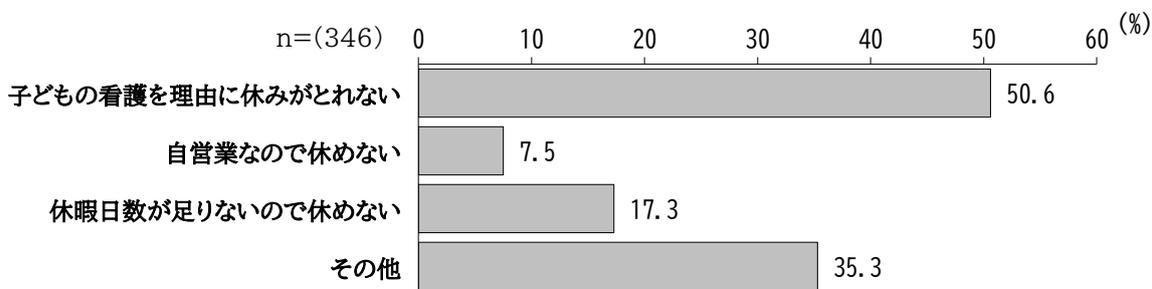
看護したかった日数（年間）



「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思った」人が希望する年間日数は、「1～4日」が41.3%、「5～9日」が27.7%、「10～19日」が20.8%で、平均7.6日/年となっている。

(5) 仕事を休んで看護できなかった理由

【問27で「できれば仕事を休んで看護したいと思った」を選んだ方におたずねします。】
 問28 父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



病気やけがで学校を休まなければならなかった場合、父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が50.6%、「休暇日数が足りないので休めない」が17.3%となっている。

また、「その他」(35.3%)の具体的な内容は、「仕事の内容上休めない」、「職場の人手不足、代わりがいない」、「タイミングが悪かった」、「仕事が忙しいため」などとなっている。

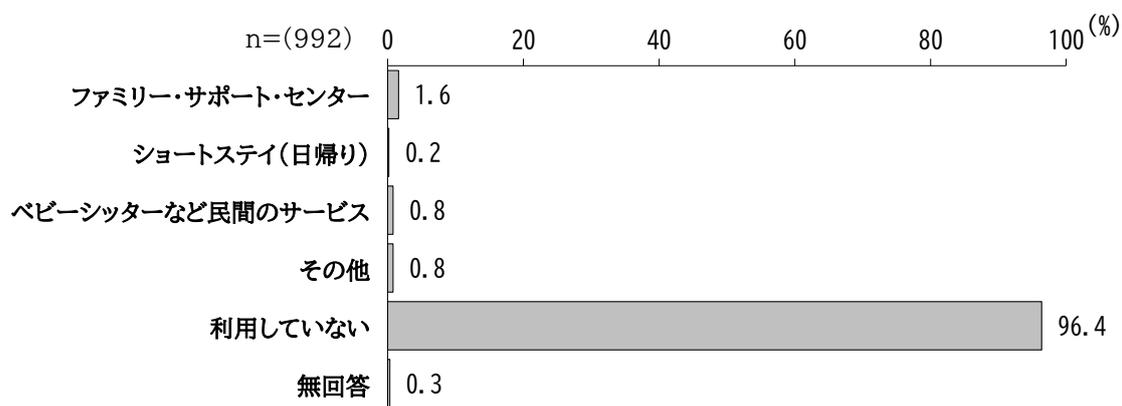
▼その他 (件)

仕事の内容上休めない	22
職場の人手不足、代わりがいない	16
タイミングが悪かった	11
仕事が忙しいため	10
休みづらい、お願いしにくい	9
なんとかひとり（留守番）でやり過ごせた	9
家族の誰かに対応できた	9
どちらかは休める	8
在宅勤務に対応（を活用）した	7
職場に迷惑がかかる	6
連日で休むのは難しい、気が引ける	4
給料が減る	4
その他	15

7. こどもの一時預かり等の利用

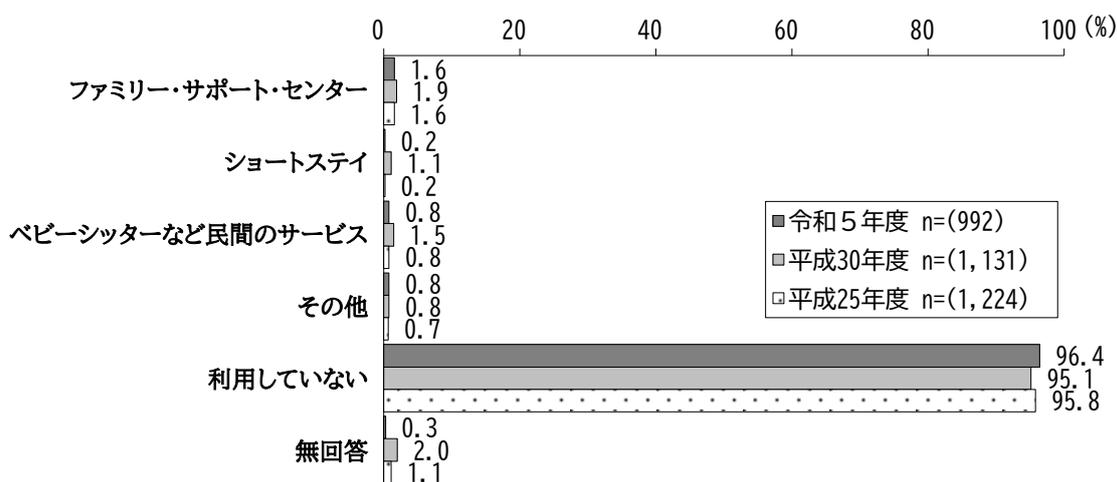
（1）私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数

問29 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。当てはまるものをすべて選び、1年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。【複数回答】



不定期の一時預かり等の事業の利用状況は、「ファミリー・サポート・センター」が1.6%、「ベビーシッターなど民間のサービス」が0.8%、「ショートステイ」が0.2%となっている。

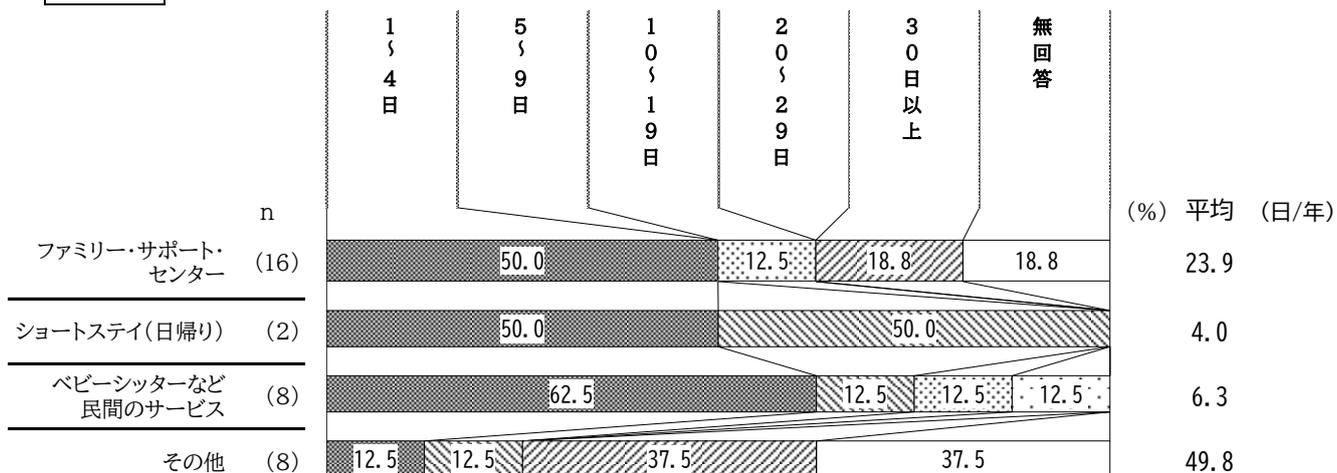
経年比較



調査結果を経年比較すると、事業の利用状況は「利用していない」が前回から1.3ポイント増加している。

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

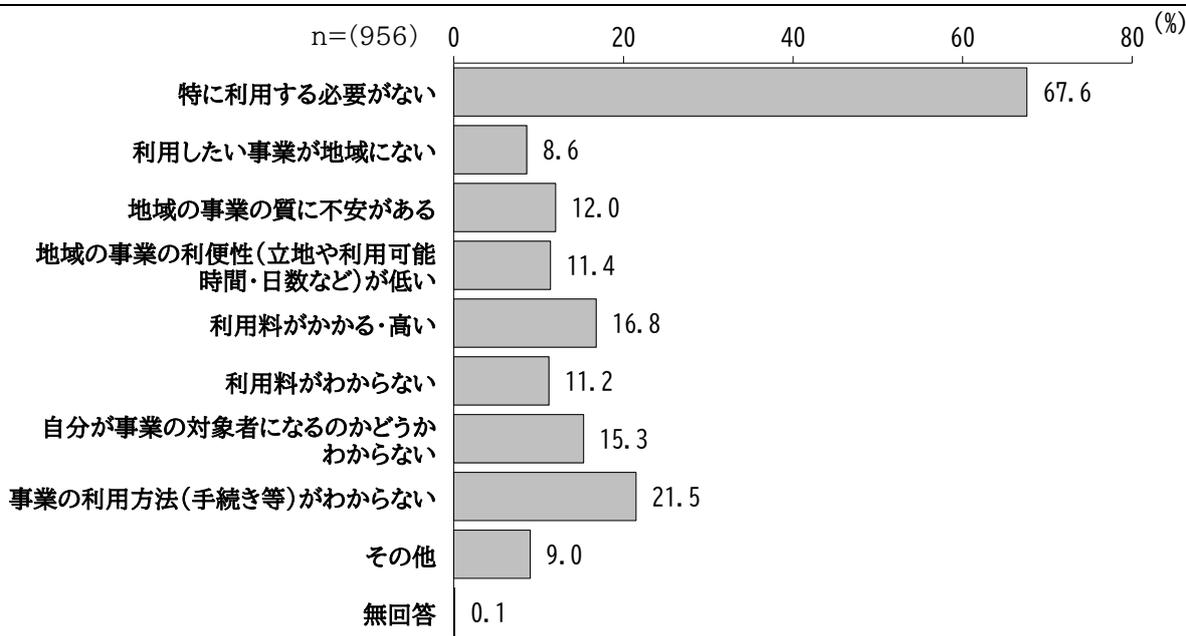
利用日数



不定期の一時預かり等の事業の年間平均利用日数は、「ファミリー・サポート・センター」が23.9日／年、「ベビーシッターなど民間のサービス」が6.3日／年、「ショートステイ」が4.0日／年となっている。

(2) 利用していない理由

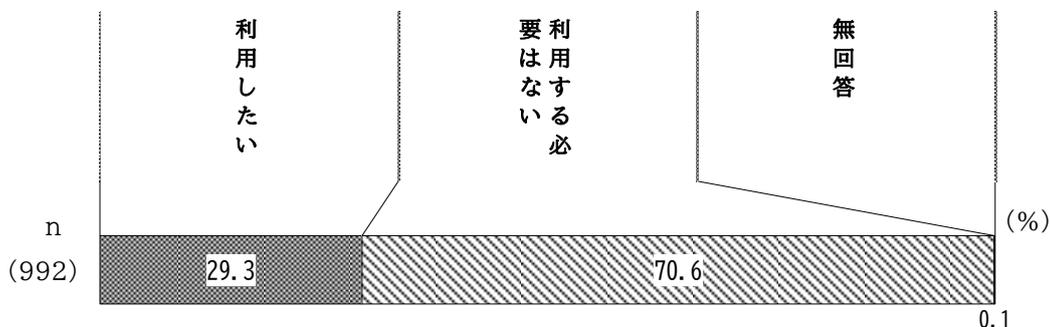
【問29で「利用していない」を選んだ方におたずねします。】
 問30 現在利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】



不定期の一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が67.6%と高く、これに「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が21.5%、「利用料がかかる・高い」が16.8%と続いている。

(3) 今後の利用希望と利用したい日数

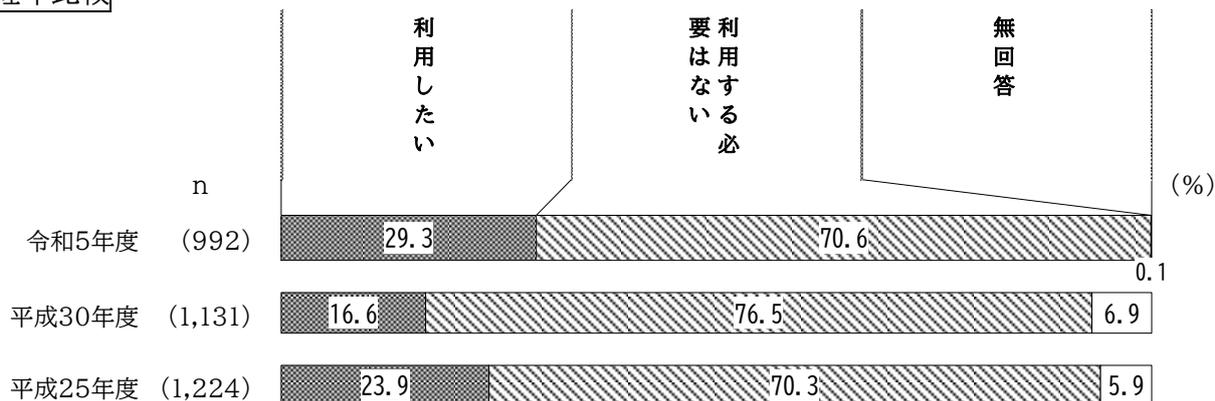
問31 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問29にあげた事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。当てはまるもの、記号すべてを選び、利用する必要がある場合は、それぞれの日数もご記入ください。【複数回答】
 なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



不定期の一時預かり等の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が70.6%、「利用したい」が29.3%となっている。

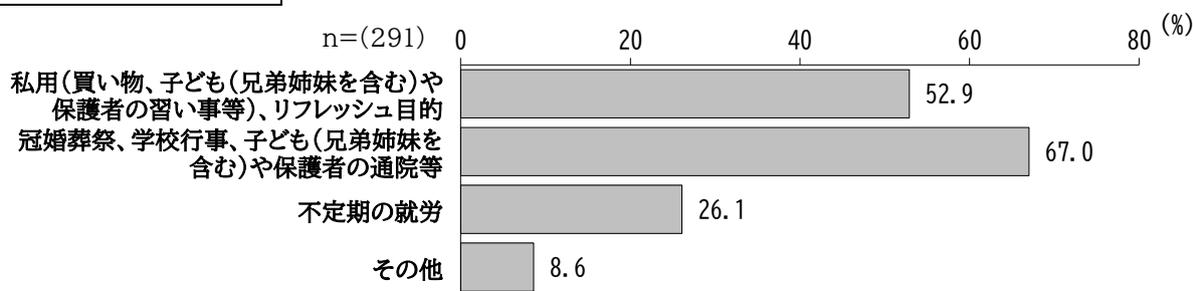
第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

経年比較



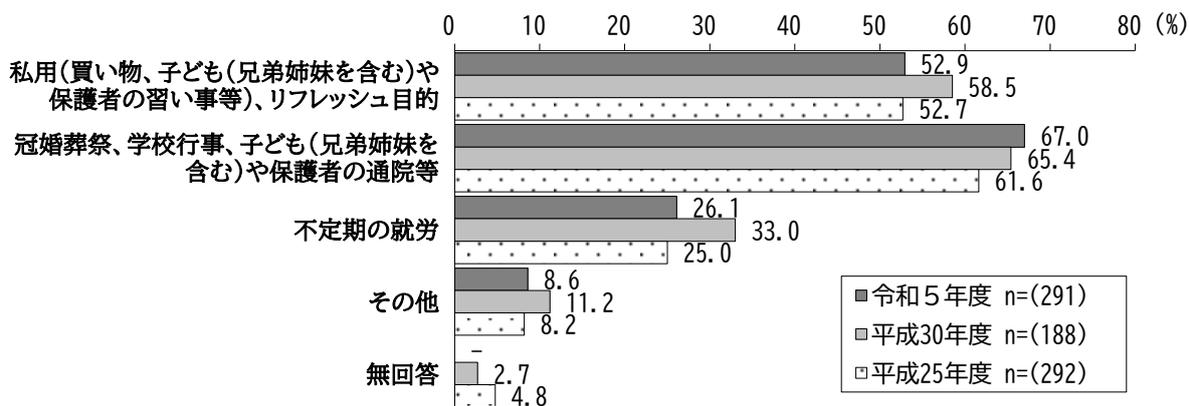
調査結果を経年比較すると、事業の利用希望は「利用したい」が前回から12.7ポイント増加している。

一時預かり等の利用目的



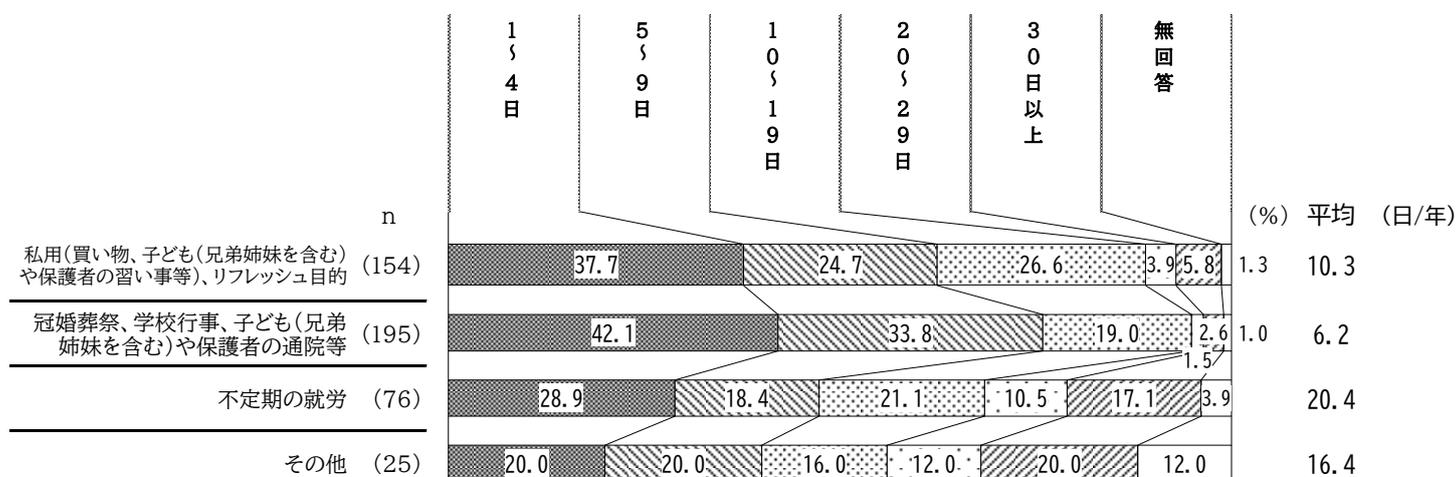
不定期の一時預かり等の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」(67.0%)と「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」(52.9%)が高く、これらに「不定期の就労」が26.1%と続いている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、事業の利用目的は、前回から「不定期の就労」が6.9ポイント、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が5.6ポイント減少している。一方で、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が前回から1.6ポイント、前々回から5.4ポイント増加している。

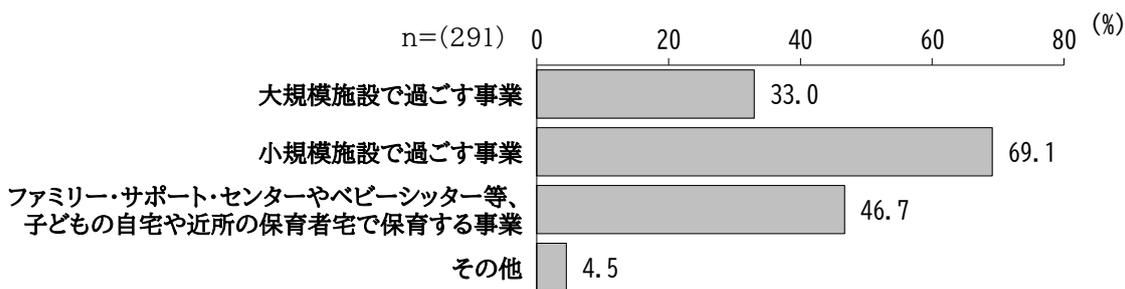
一時預かり等を利用したい日数（年間）



不定期の一時預かり等の年間平均利用希望日数は、「不定期の就労」が20.4日／年、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が10.3日／年、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が6.2日／年となっている。

(4) 望ましい事業形態

【問31で「利用したい」を選んだ方におたずねします。】
 問32 問31の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。
 当てはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

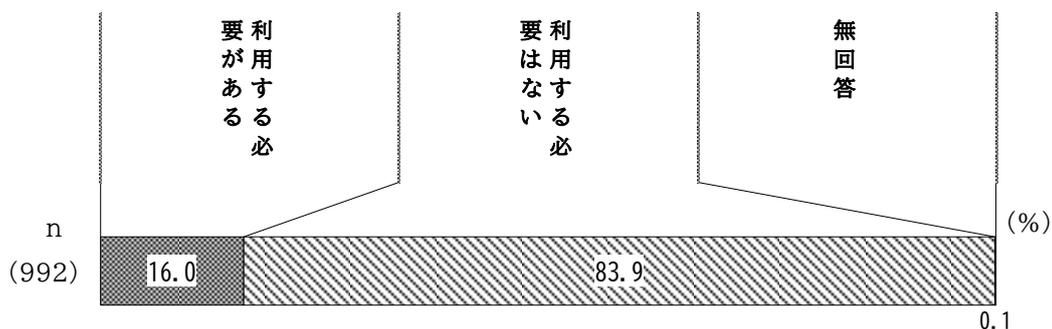


不定期の一時預かり等の事業の望ましい事業形態としては、「小規模施設で過ごす事業」が69.1%と高く、これに「ファミリー・サポート・センターやベビーシッター等、子どもの自宅や近所の保育者宅で保育する事業」が46.7%、「大規模施設で過ごす事業」が33.0%と続いている。

(5) 保護者の用事により泊りがけでショートステイを利用する必要、利用目的、宿泊数

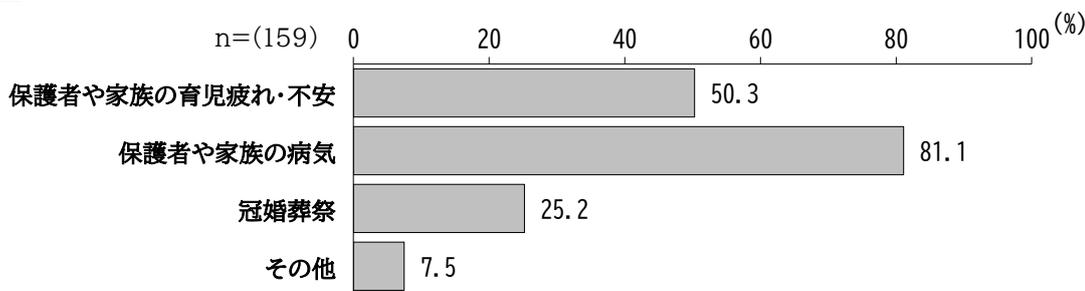
問33 小平市では、保護者の用事（保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、冠婚葬祭など）により、家庭での療育が困難となった子どもを、児童養護施設等で一定期間保護する短期入所生活援助事業（ショートステイ）を実施しています。

あて名のお子さんについて、保護者の用事により短期入所生活援助事業（ショートステイ）を泊りがけで利用する必要があると思いますか。また、利用する必要がある場合は目的別の内訳の日数をご記入ください。



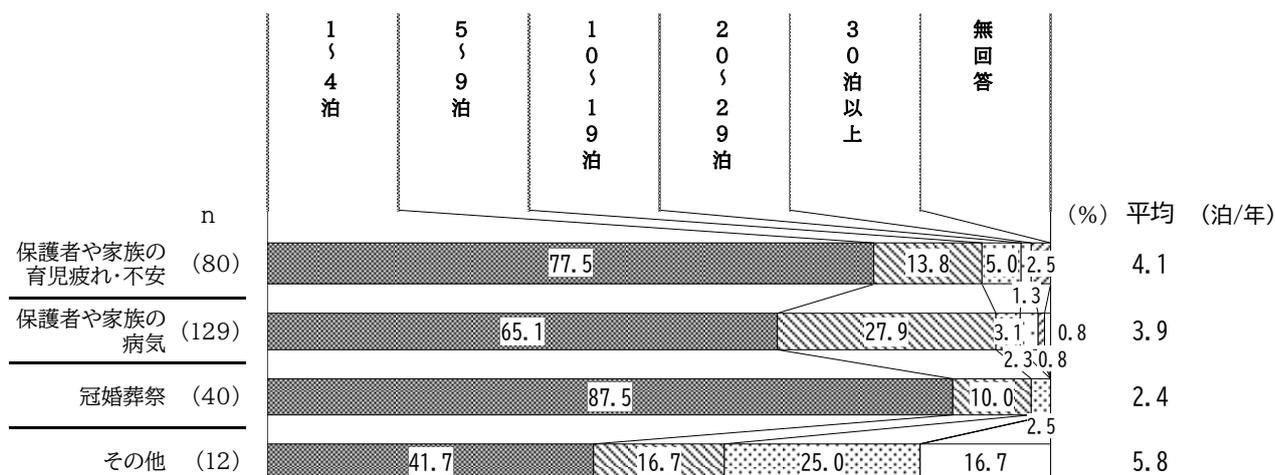
保護者の用事により短期入所生活援助事業（ショートステイ）を泊りがけで「利用する必要はない」が83.9%、「利用する必要がある」が16.0%となっている。

利用目的



短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的としては、「保護者や家族の病気」が81.1%と高く、これに「保護者や家族の育児疲れ・不安」が50.3%、「冠婚葬祭」が25.2%と続いている。

宿泊数



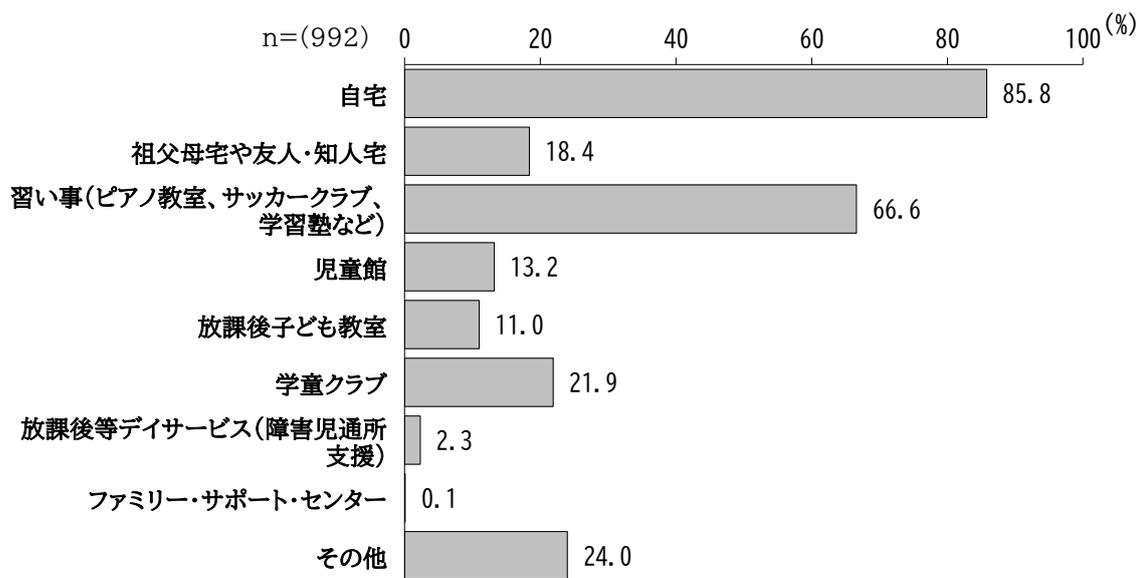
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する際の平均宿泊数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が4.1泊／年、「保護者や家族の病気」が3.9泊／年、「冠婚葬祭」が2.4泊／年となっている。

8. こどもの放課後の過ごし方

（1）放課後を過ごしている場所と日数

問34 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまるものをすべて選び、それぞれ週当たりの日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用する時刻もご記入ください。【複数回答】

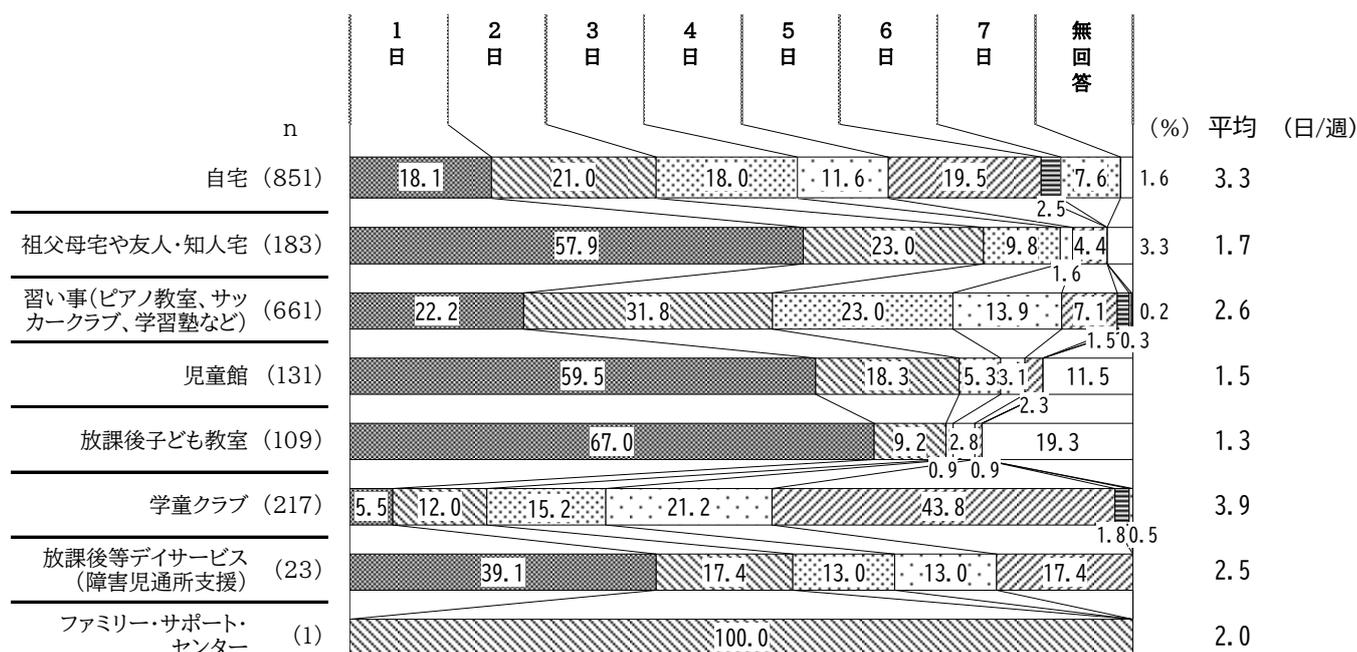
放課後を過ごしている場所



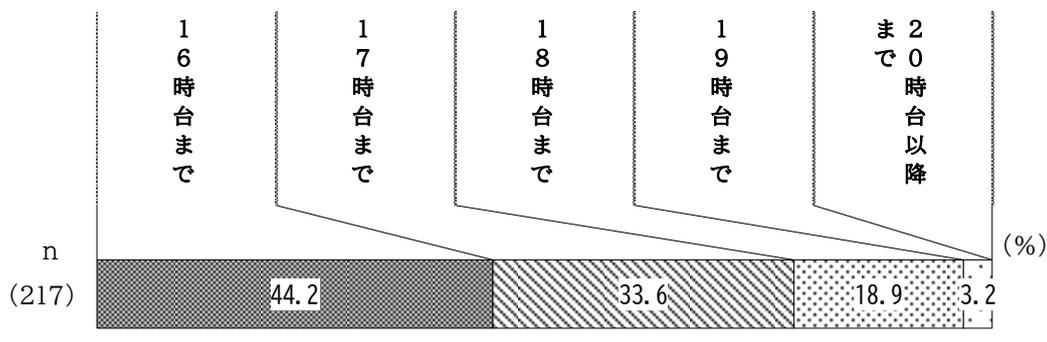
放課後を過ごしている場所は、「自宅」（85.8％）と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（66.6％）が高く、これらに「学童クラブ」（21.9％）、「祖父母宅や友人・知人宅」（18.4％）、「児童館」（13.2％）が続いている。

また、「その他」（24.0％）の具体的な内容は、「公園」が最も多く、「校庭（校庭開放）」、「地域センター、子ども広場」も多くなっている。

放課後過ごしている場所の日数／1週当たり

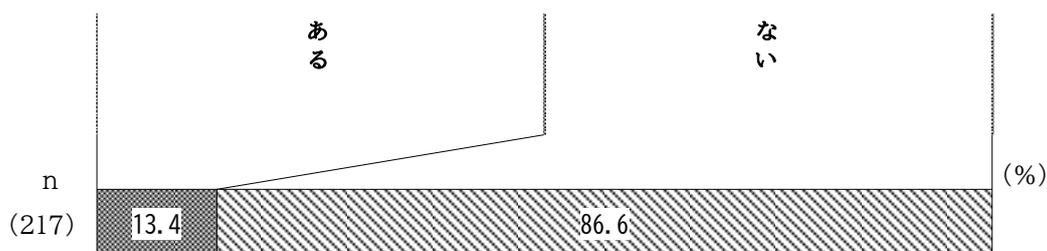


学童クラブの利用時刻（下校時から）



学童クラブの利用時刻は、「16時台まで」が44.2%、「17時台まで」が33.6%、「18時台まで」が18.9%となっている。

土曜日の学童クラブの利用の有無



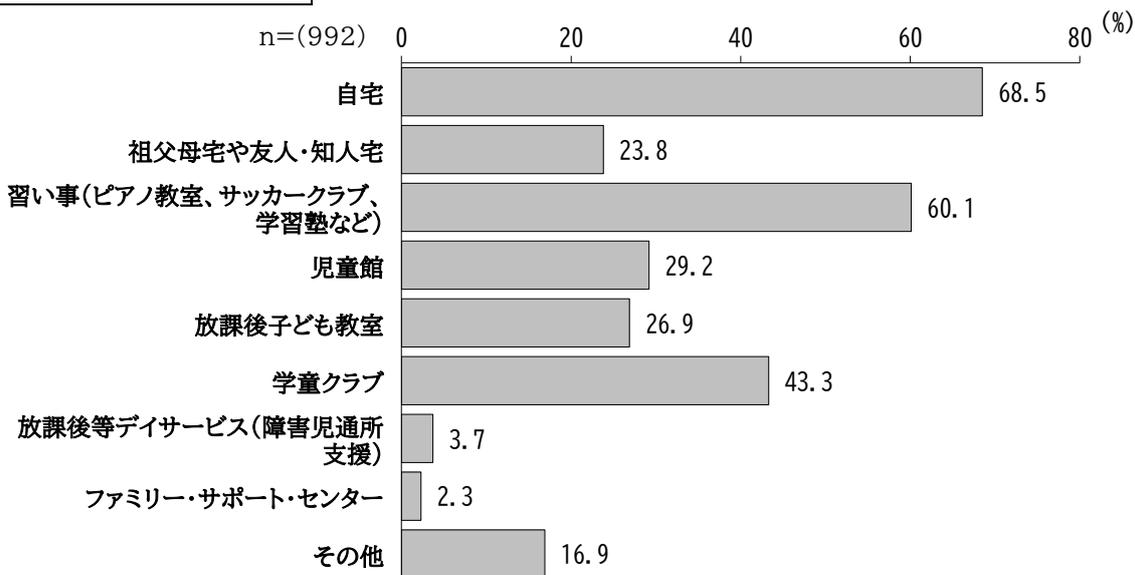
土曜日の学童クラブの利用は、「ない」が86.6%、「ある」が13.4%となっている。

(2) 放課後の過ごし方の希望

問35 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまるものすべてを選び、それぞれ週当たりの日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用する時刻もご記入ください。【複数回答】

■小学校低学年（1～3年生）のとき

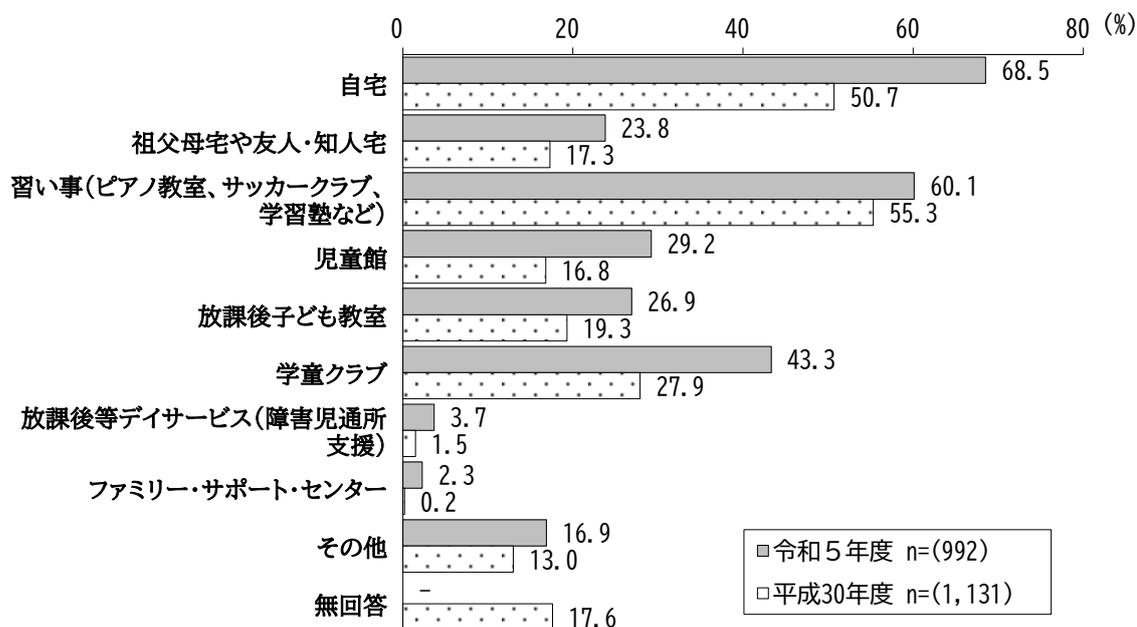
放課後を過ごさせたい場所



小学校低学年（1～3年生）のとき、放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」（68.5%）と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（60.1%）が高く、これらに「学童クラブ」（43.3%）、「児童館」（29.2%）、「放課後子ども教室」（26.9%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（23.8%）が続いている。

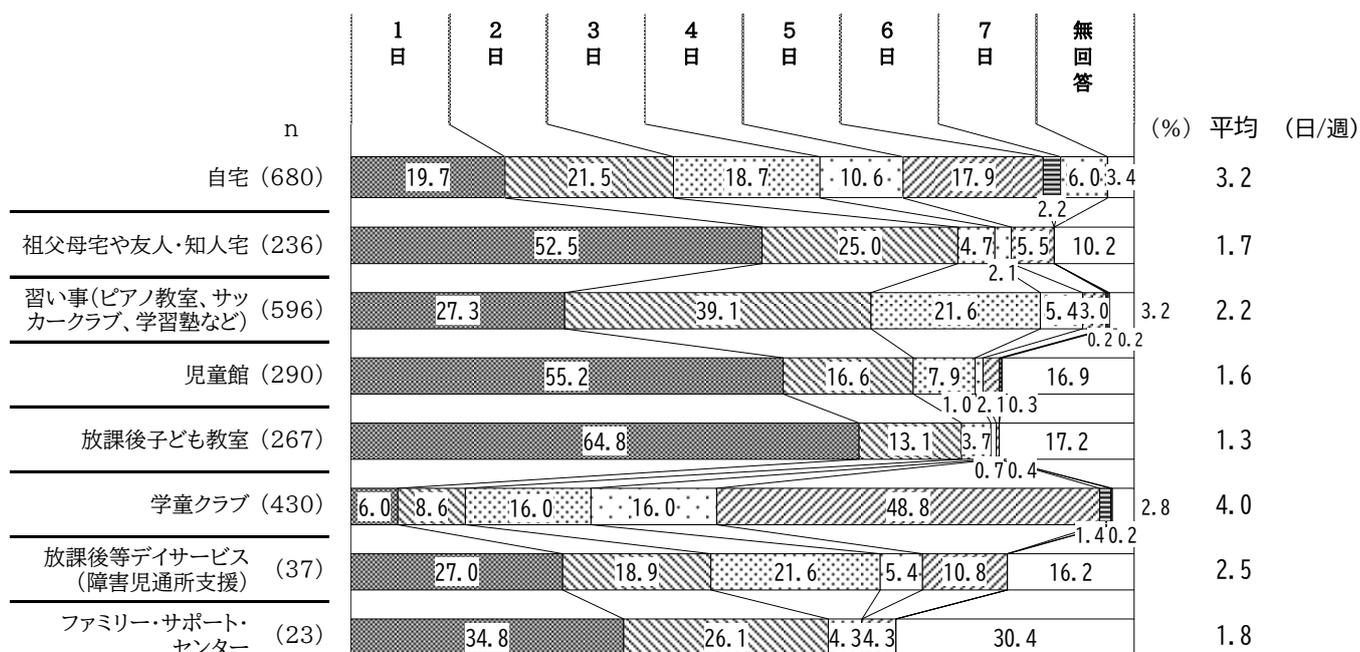
また、「その他」（16.9%）の具体的な内容は、「公園」が最も多く、「校庭（校庭開放）」、「地域センター、子ども広場」も多くなっている。

放課後を過ごさせたい場所・経年比較



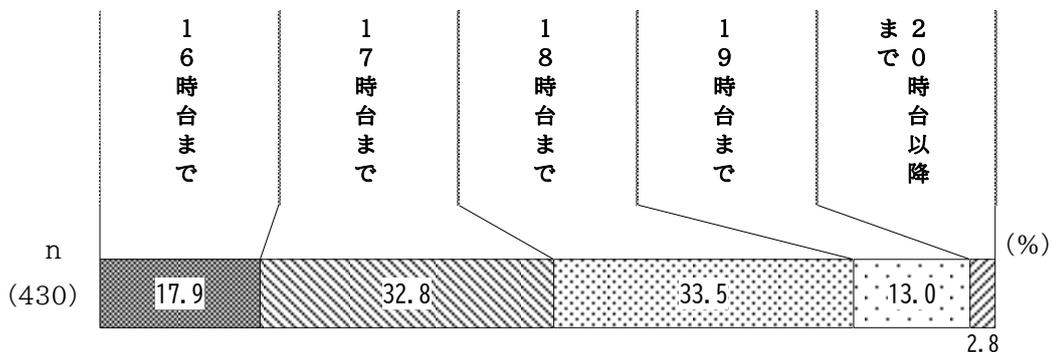
調査結果を経年比較すると、放課後を過ごさせたい場所では、前回から「自宅」が17.8ポイント、「学童クラブ」が15.4ポイント、「児童館」が12.4ポイント増加している。

放課後過ごさせたい場所の日数／1週当たり



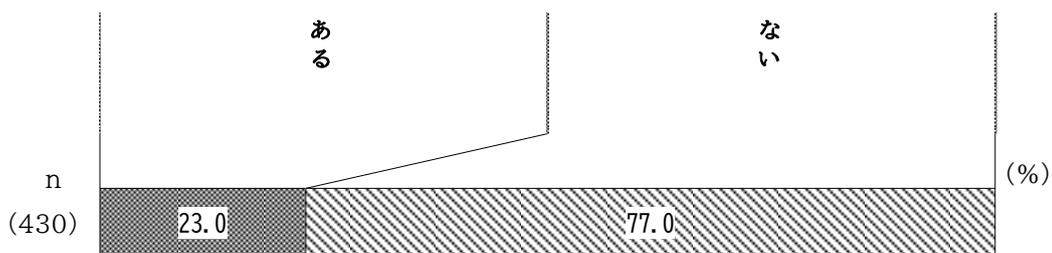
第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が33.5%、「17時台まで」が32.8%、「16時台まで」が17.9%となっている。

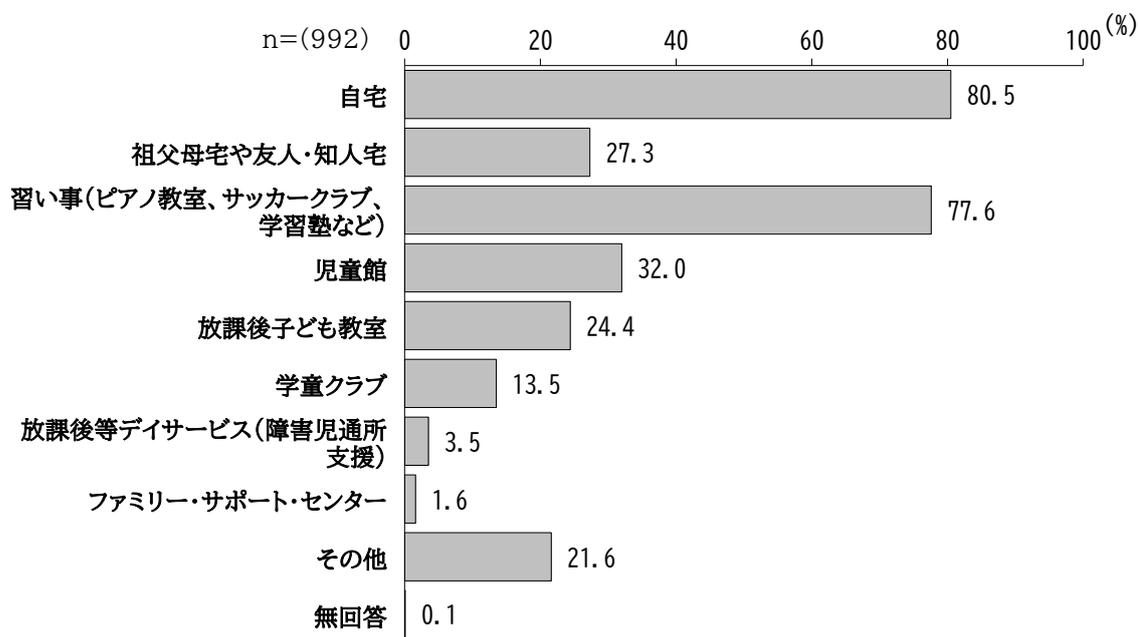
土曜日の学童クラブの利用意向



土曜日の学童クラブの利用意向は、「ない」が77.0%、「ある」が23.0%となっている。

■小学校高学年（4～6年生）のとき

放課後を過ごさせたい場所

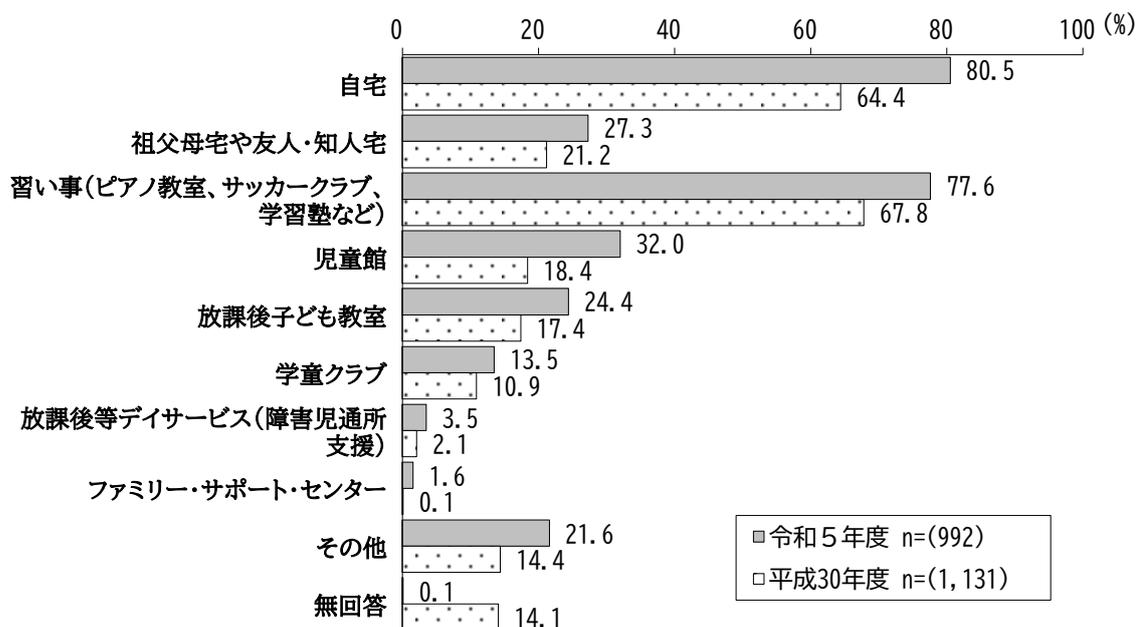


小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」（80.5％）と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（77.6％）が高く、これらに「児童館」（32.0％）、「祖父母宅や友人・知人宅」（27.3％）、「放課後子ども教室」（24.4％）、「学童クラブ」（13.5％）が続いている。

また、「その他」（21.6％）の具体的な内容は、「公園」が最も多く、「校庭（校庭開放）」、「地域センター、子ども広場」も多くなっている。

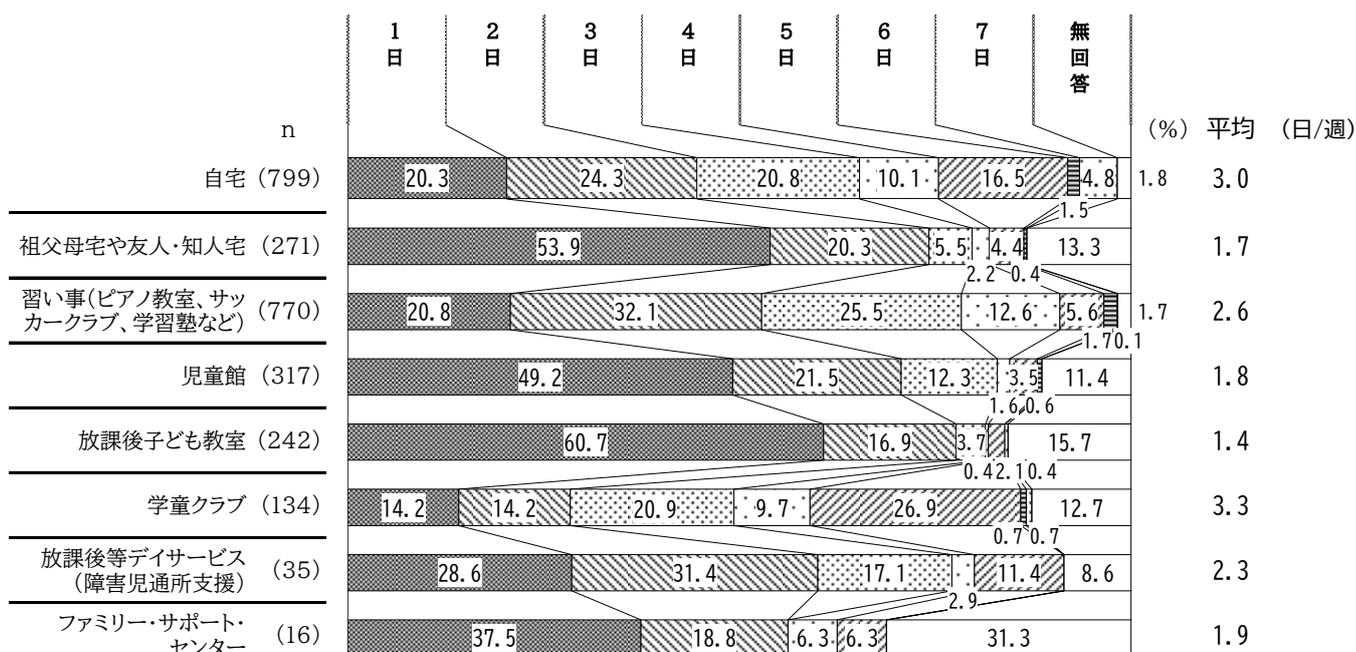
第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

放課後を過ごさせたい場所・経年比較

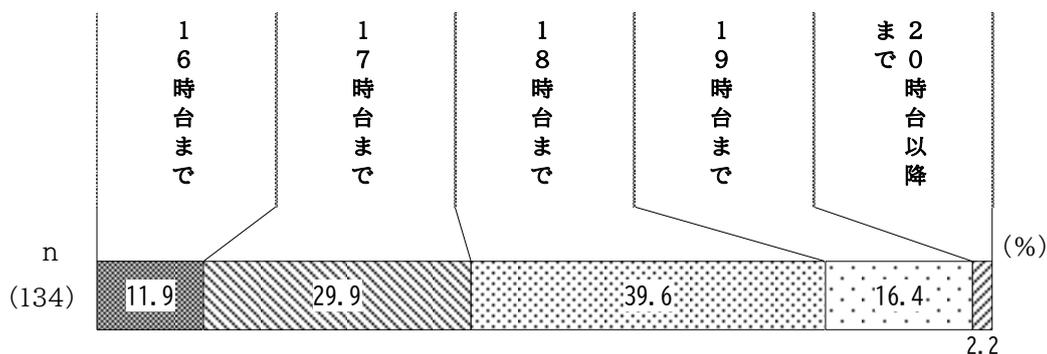


調査結果を経年比較すると、放課後を過ごさせたい場所では、前回から「自宅」が16.1ポイント、「児童館」が13.6ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が9.8ポイント増加している。

放課後過ごさせたい場所の日数／1週当たり

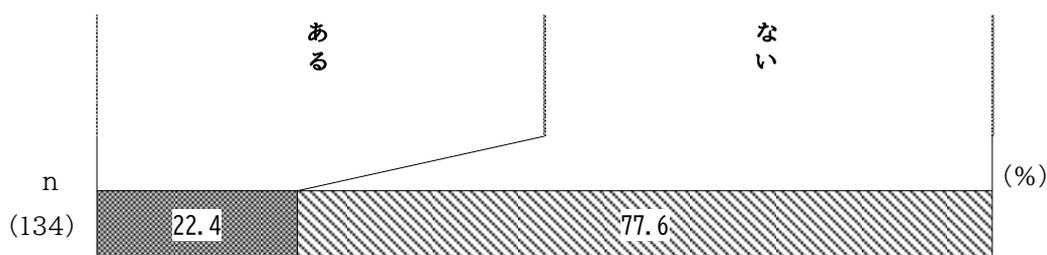


学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が39.6%、「17時台まで」が29.9%、「19時台まで」が16.4%となっている。

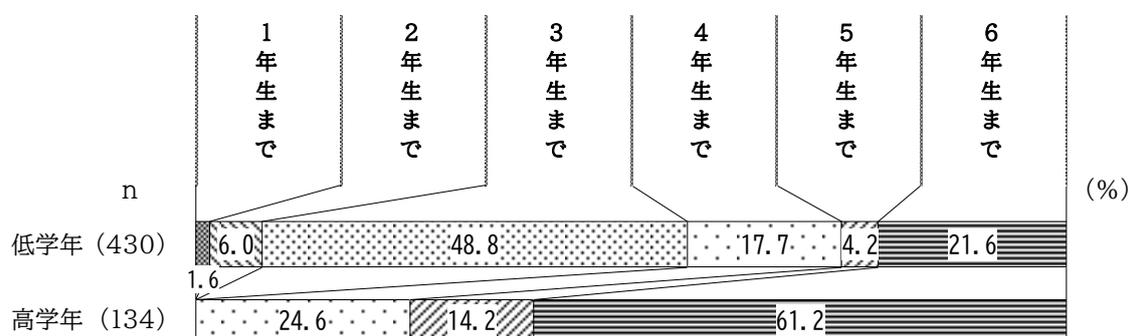
土曜日の学童クラブの利用意向



土曜日の学童クラブの利用意向は、「ない」が77.6%、「ある」が22.4%となっている。

■全学年

学童クラブの利用希望学年



学童クラブの利用希望学年は、低学年では、「3年生まで」が48.8%、「6年生まで」が21.6%となっている。

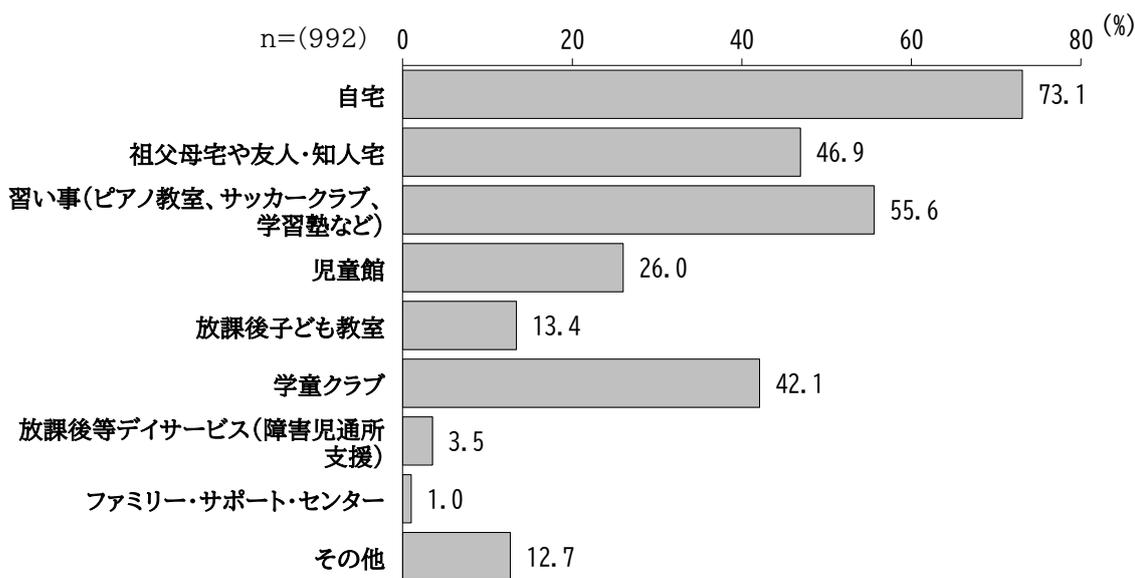
高学年では、「6年生まで」が61.2%、「4年生まで」が24.6%となっている。

(3) 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望

問36 あて名のお子さんについて、小学校の夏休み・冬休み期間中はどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、それぞれ週当たりの日数をご記入ください。【複数回答】

■小学校低学年（1～3年生）のとき

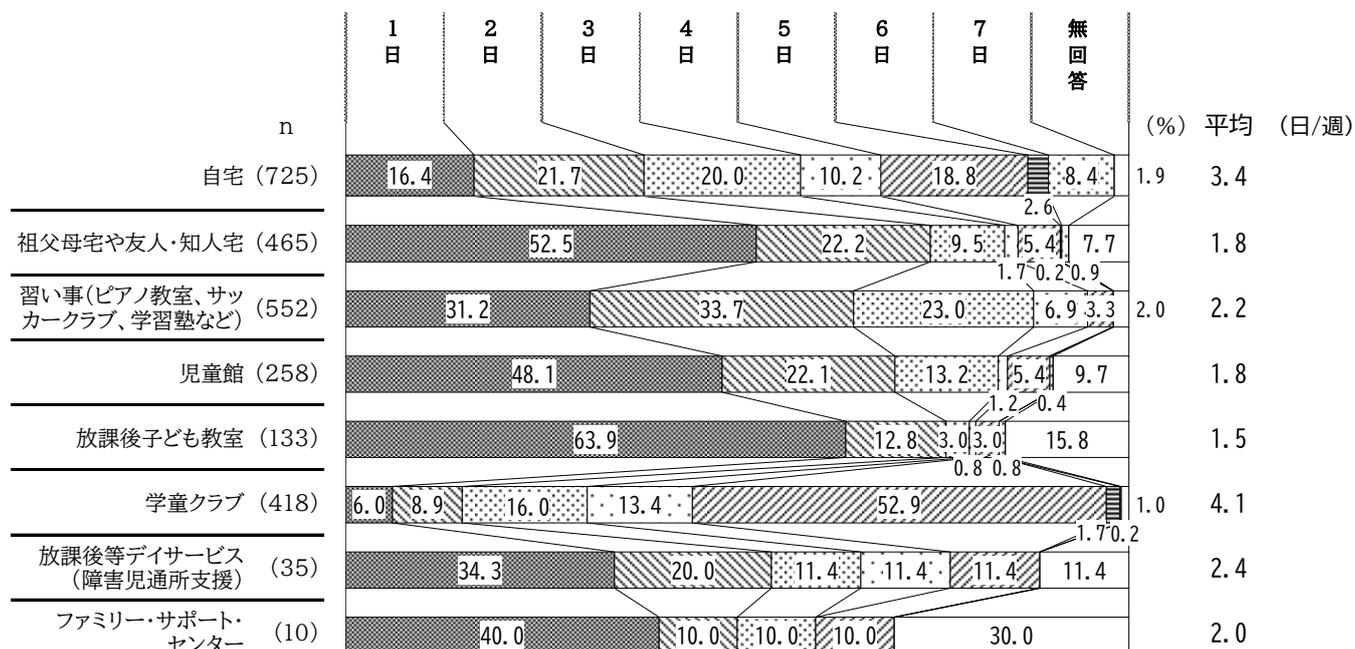
長期休暇中に過ごさせたい場所



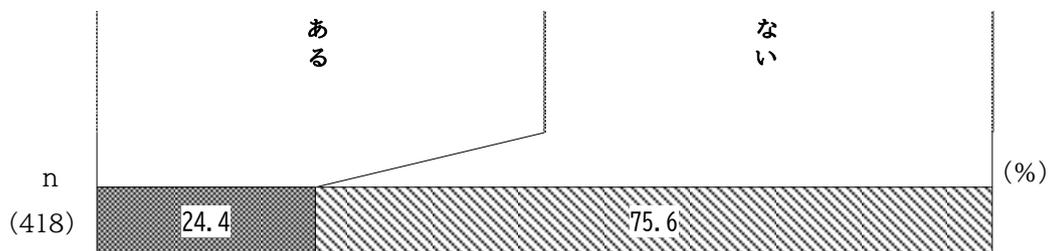
小学校低学年（1～3年生）のとき、長期休暇中に過ごさせたい場所は、「自宅」が73.1%と高く、これに「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（55.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（46.9%）、「学童クラブ」（42.1%）、「児童館」（26.0%）が続いている。

また、「その他」（12.7%）の具体的な内容は、「公園」が最も多く、「校庭（校庭開放）」、「地域センター、子ども広場」も多くなっている。

長期休暇中に過ごさせたい場所の日数／1週当たり



長期休暇中の土曜日の学童クラブの利用意向

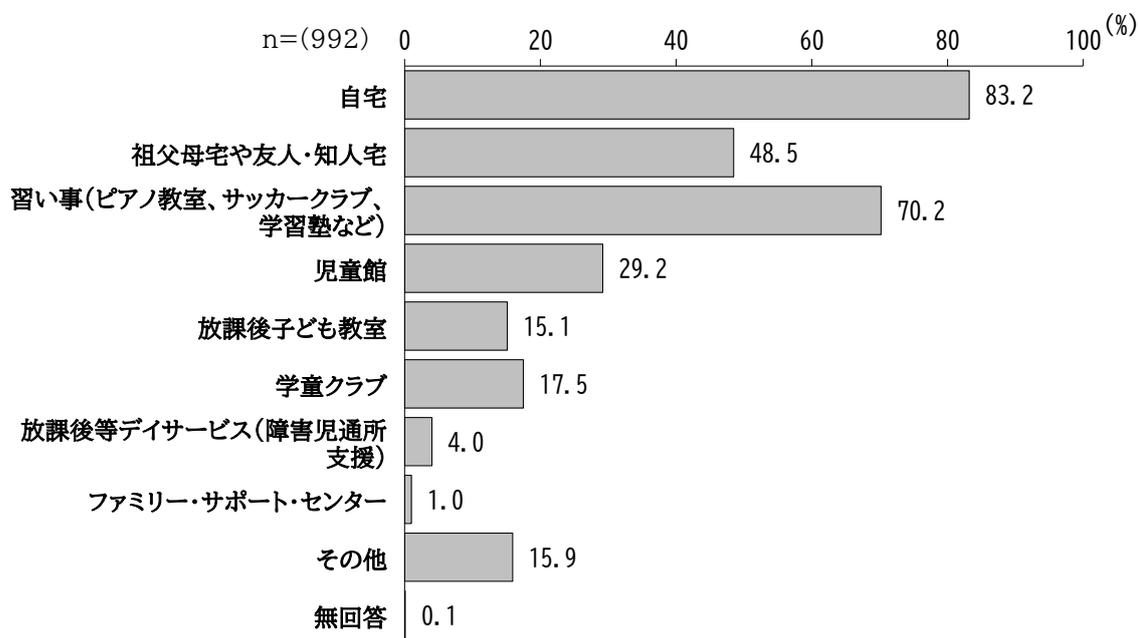


長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用意向は、「ない」が75.6%、「ある」が24.4%となっている。

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

■小学校高学年（4～6年生）のとき

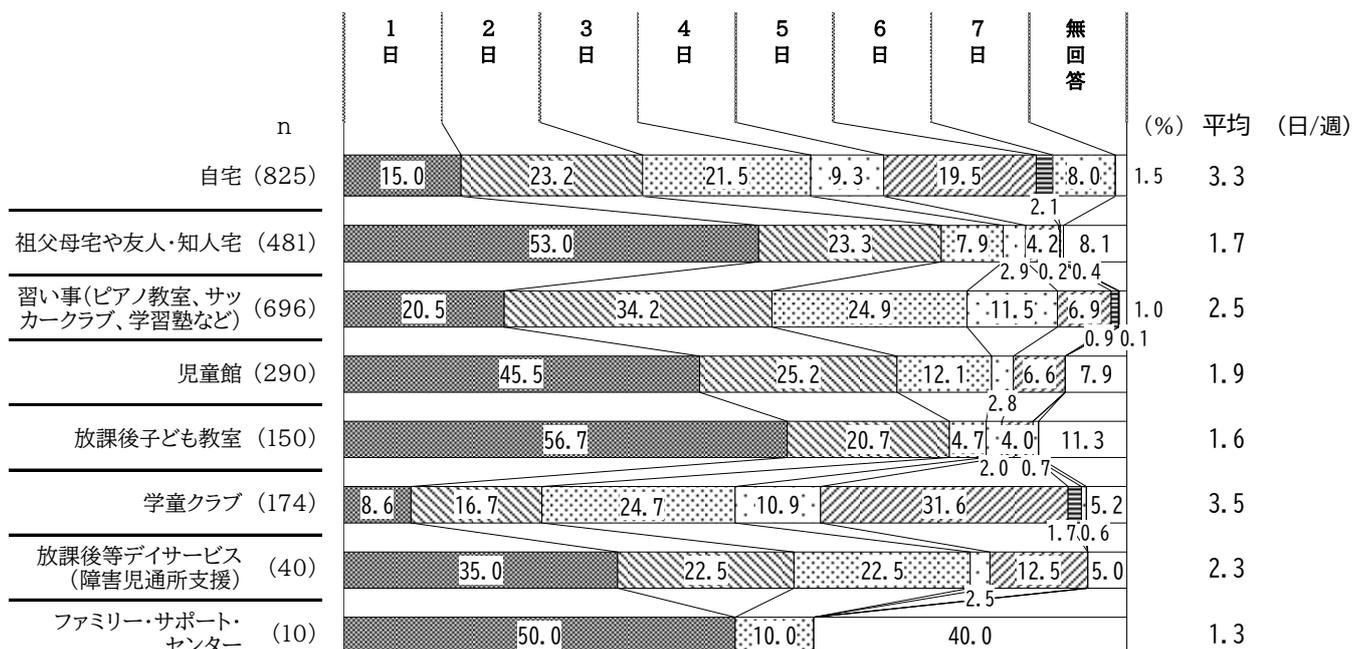
長期休暇中に過ごさせたい場所



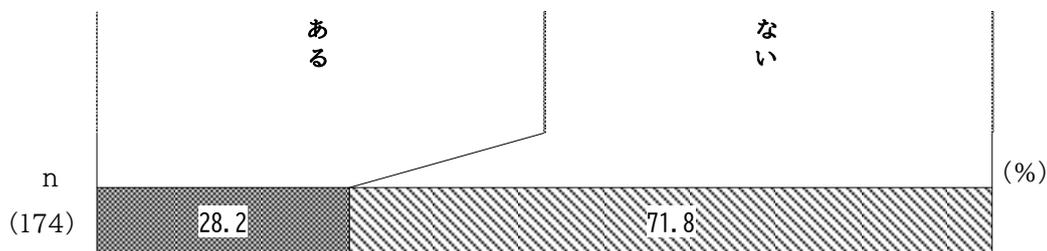
小学校高学年（4～6年生）のとき、長期休暇中に過ごさせたい場所も「自宅」（83.2%）と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（70.2%）が高く、これらに「祖父母宅や友人・知人宅」（48.5%）、「児童館」（29.2%）、「学童クラブ」（17.5%）が続いている。

また、「その他」（15.9%）の具体的な内容は、「公園」が最も多く、「校庭（校庭開放）」、「地域センター、子ども広場」も多くなっている。

長期休暇中に過ごさせたい場所の日数／1週当たり



長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用意向

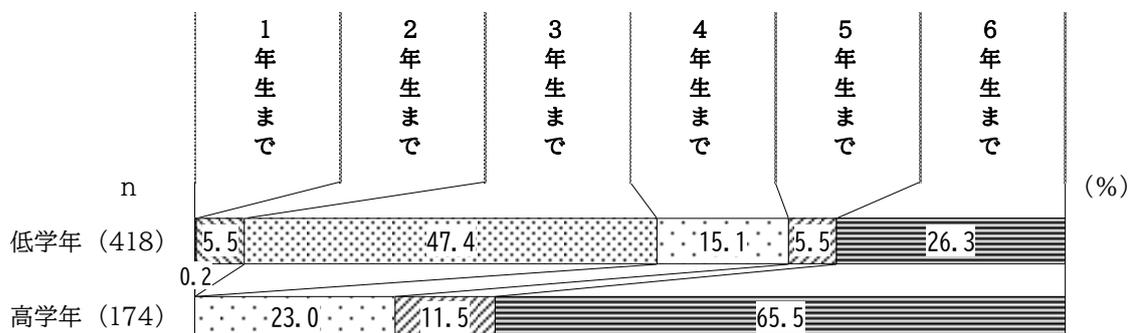


長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用意向は、「ない」が71.8%、「ある」が28.2%となっている。

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

■全学年

長期休暇中の学童クラブ利用希望学年



長期休暇中の学童クラブの利用希望学年は、低学年では、「3年生まで」が47.4%、「6年生まで」が26.3%となっている。

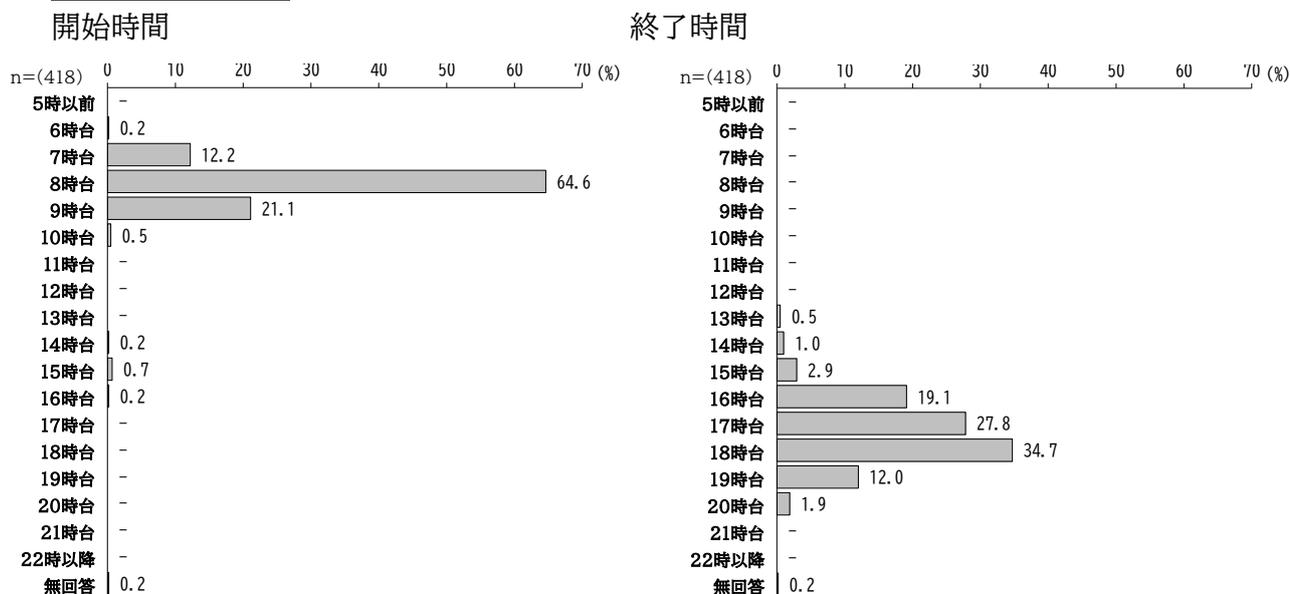
高学年では、「6年生まで」が65.5%、「4年生まで」が23.0%となっている。

(4) 学童クラブ利用者の長期休暇期間中の利用希望

【問36で「学童クラブ」を選んだ方におたずねします。】
 問37 夏休み・冬休み期間中に学童クラブを利用したい時間帯を低学年・高学年それぞれ
 ご記入ください。

■低学年（1～3年生）のとき

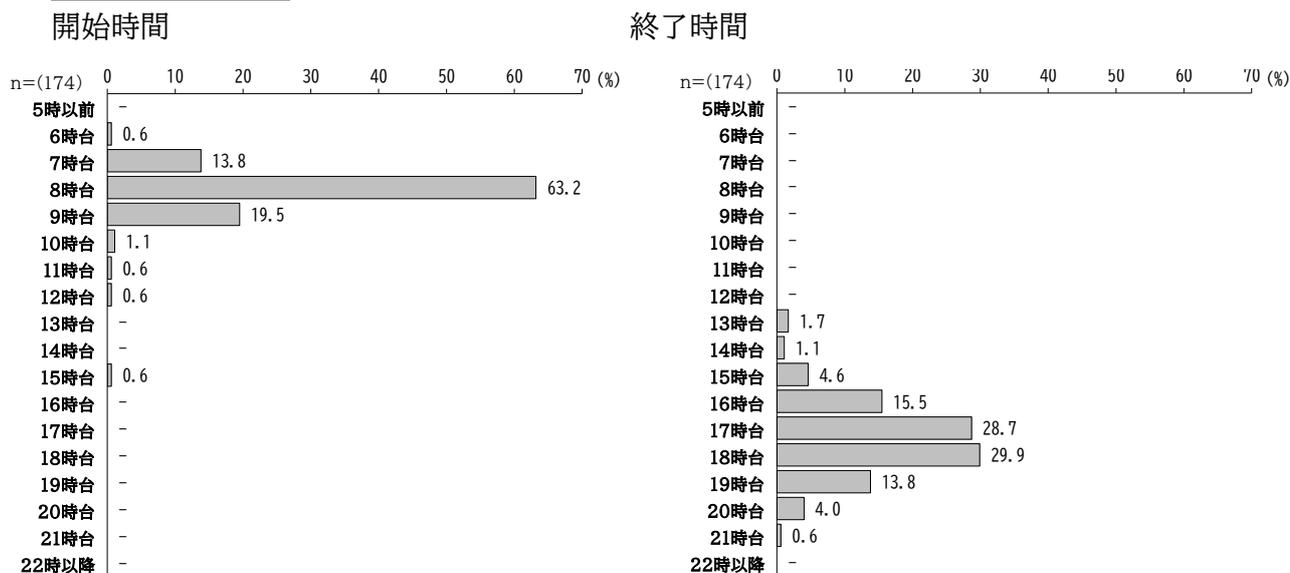
利用したい時間帯



利用希望開始時間は、「8時台」が64.6%、「9時台」が21.1%と高くなっている。利用希望終了時間は、「18時台」が34.7%、「17時台」が27.8%、「16時台」が19.1%と高くなっている。

■高学年（4～6年生）のとき

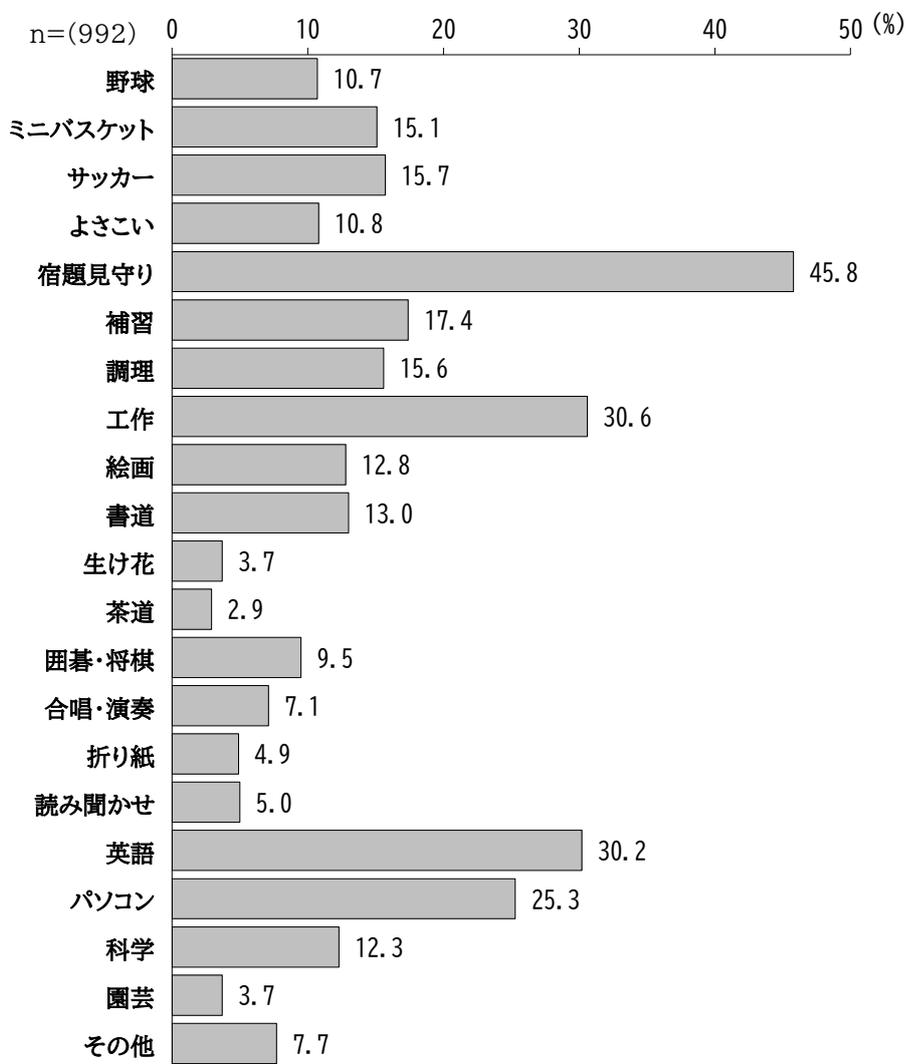
利用したい時間帯



利用希望開始時間は、「8時台」が63.2%、「9時台」が19.5%と高くなっている。利用希望終了時間は、「18時台」が29.9%、「17時台」が28.7%、「16時台」が15.5%と高くなっている。

(5) 放課後子ども教室の利用希望

問38 放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動内容がありますか。当てはまるものを3つ選んでください。【複数回答】



放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動は、「宿題見守り」が45.8%と高く、これに「工作」(30.6%)、「英語」(30.2%)、「パソコン」(25.3%)が続いている。

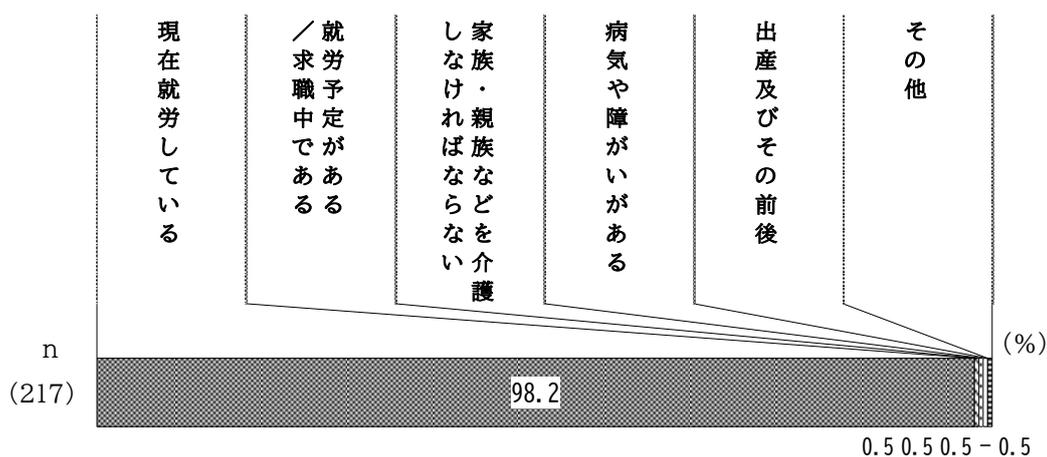
9. 学童クラブの利用について

(1) 学童クラブを利用している理由

【問34（放課後）で「学童クラブ」を選んだ方におたずねします。】

問39 利用している理由について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

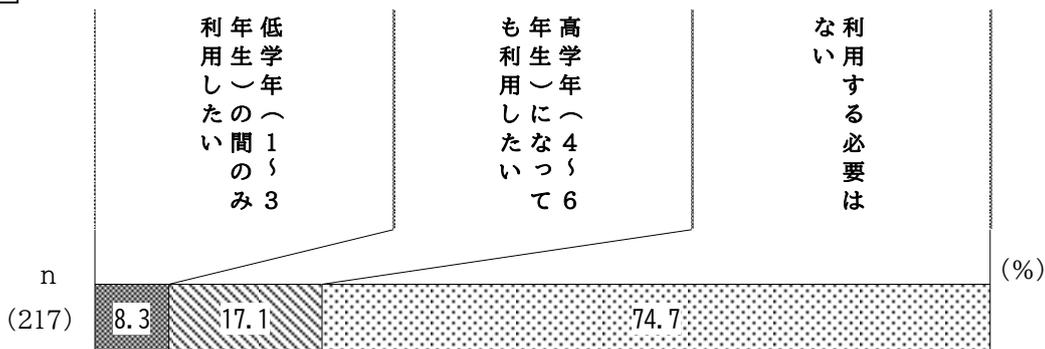


放課後に学童クラブを利用している理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている人が「現在就労している」が98.2%と高くなっている。

(2) 学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望

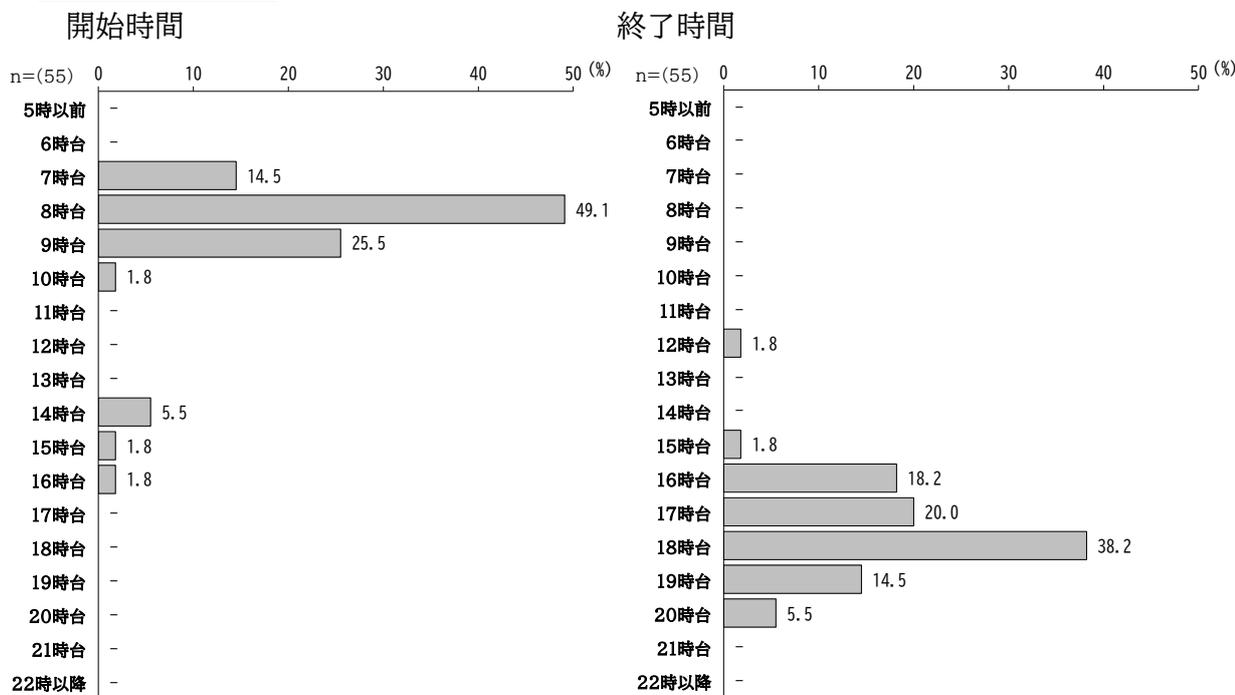
【問34（放課後）で「学童クラブ」を選んだ方におたずねします。】
 問40 日曜日・祝日の学童クラブの利用を希望しますか。当てはまるものを1つ選んでください。
 また利用したい場合は、その時間帯をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用希望



放課後に学童クラブを利用している世帯の日曜日・祝日の学童クラブ利用希望は、「利用する必要はない」が74.7%と高くなっている。「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（17.1%）、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」（8.3%）を合わせて25.4%となっている。

利用したい時間帯

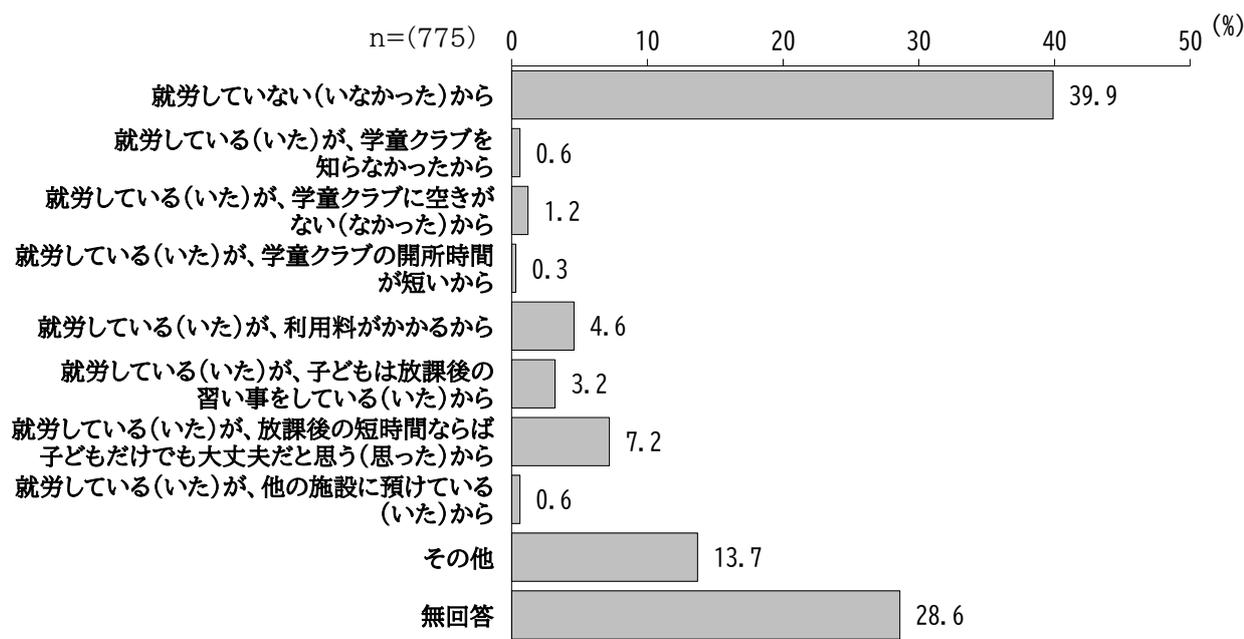


利用希望開始時間は、「8時台」が49.1%、「9時台」が25.5%と高くなっている。利用希望終了時間は、「18時台」が38.2%、「17時台」が20.0%、「16時台」が18.2%と高くなっている。

(3) 利用していない（していなかった）理由

【学童クラブを利用していない（いなかった）方におたずねします。】
 問41 利用していない（していなかった）理由について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、



学童クラブを利用していない（していなかった）理由は、「就労していない(いなかった)から」が39.9%と高く、これに「就労している(いた)が、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思う(思った)から」が7.2%と続いている。

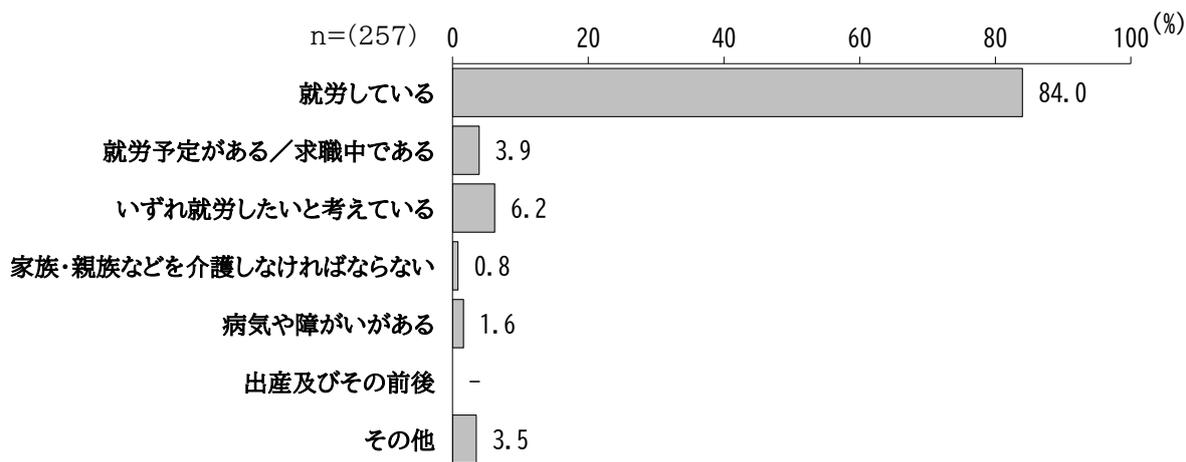
その他（13.7%）の具体的な内容は、「在宅就労やこどもより早く帰宅、祖父母がいるなどで対応できたから」、「本人が行きたがらないから」、「条件を満たしていない、小学4年生になったから」などが多くなっている。

▼その他	(件)
在宅就労やこどもより早く帰宅、祖父母がいるなどで対応できたから	30
本人が行きたがらないから	16
条件を満たしていないから、小学校4年生になったから	13
通わせたいと思わない設備や職員がいたから	8
必要としないから	6
障がい、病気があるから	3
利用料がたかい	3
今は利用していないが、以前は利用していた	3
その他（各1件）	8

(4) 今後利用したい理由

【問35（放課後）または問36（夏休み・冬休み期間中）で「学童クラブ」を選んだにおたずねします。】
問42 学童クラブを利用したい理由について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、



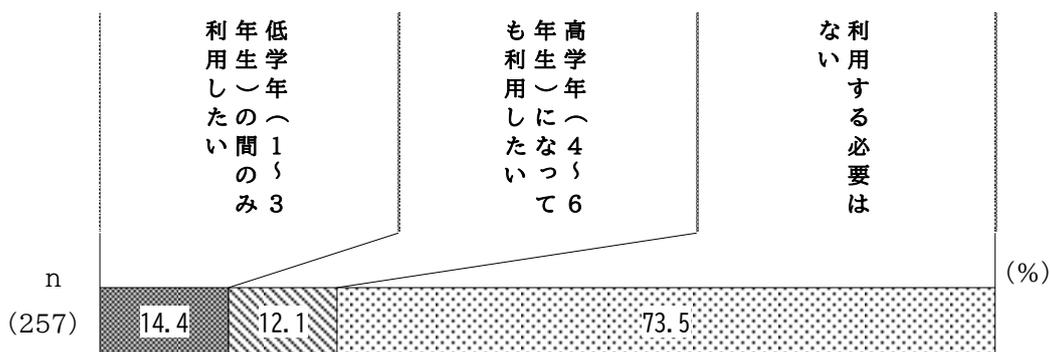
放課後、または長期休暇中に学童クラブを利用したい理由は、「就労している」が84.0%と高くなっている。

(5) 日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯

【問35（放課後）または問36（夏休み・冬休み期間中）で低学年、あるいは高学年のとき、「学童クラブ（で過ごさせたい）」を選んで方におたずねします。】

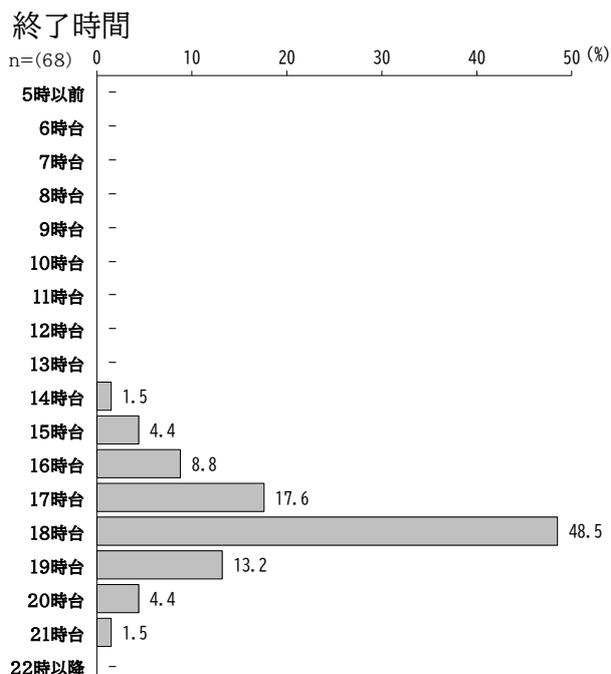
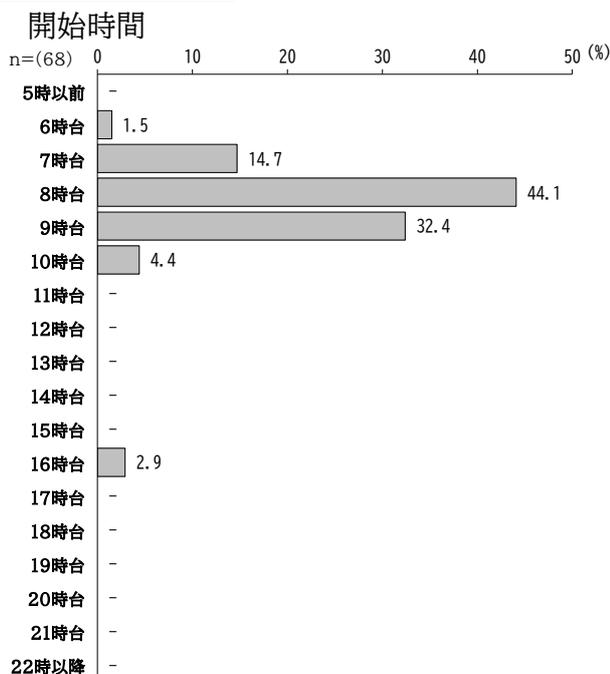
問43 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日の学童クラブを利用したいと思いませんか。当てはまるものを1つ選んでください。また利用したい場合は、その時間帯をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用希望



放課後または夏休み・冬休み期間中に学童クラブを利用したい世帯の日曜日・祝日の学童クラブ利用希望は、「利用する必要はない」が73.5%と高くなっている。「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」（14.4%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（12.1%）を合わせて26.5%となっている。

利用したい時間帯

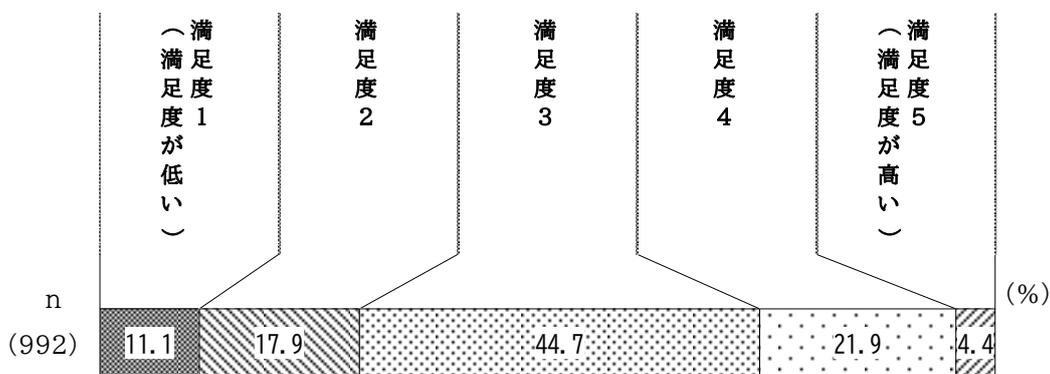


利用希望開始時間は、「8時台」が44.1%、「9時台」が32.4%と高くなっている。終了希望終了時間は、「18時台」が48.5%、「17時台」が17.6%、「19時台」が13.2%と高くなっている。

10. 子育て全般について

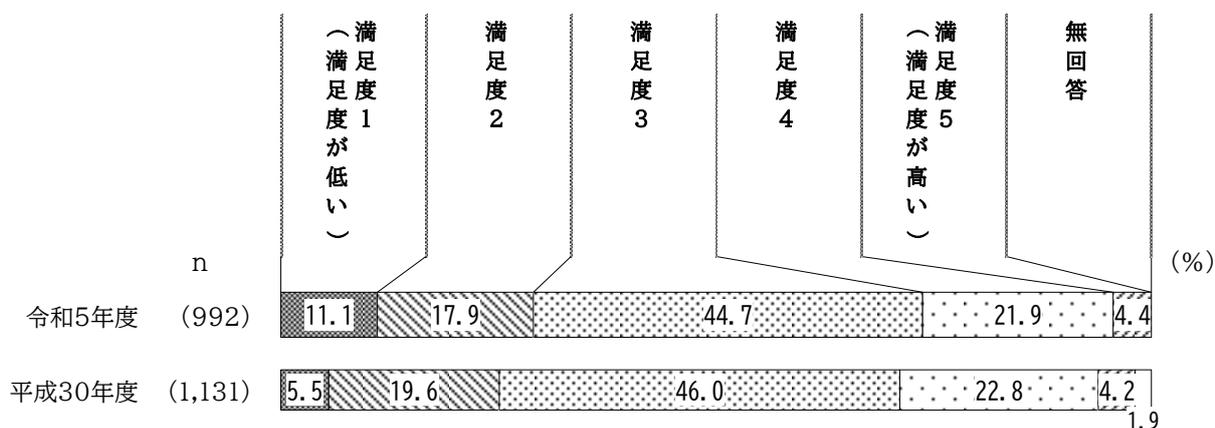
（1）地域における子育ての環境や支援への満足度

問44 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまるものを1つ選んでください。



住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度3」が44.7%と高く、これに「満足度4」が21.9%、「満足度2」が17.9%と続いている。

経年比較



調査結果を経年比較すると、子育ての環境や支援の満足度は「満足度1（満足度が低い）」が前回から5.6ポイント増加している。

（2）教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）

最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

子育ての環境や支援に関してのご意見として、473人から651件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

保育事業	48
一時預かり可能な施設やファミリー・サポート・センターの充実	23
保育園（所）の充実・増設	12
病児・病後児保育の充実	11
入園（所）のための就業条件の緩和	2
子育てに関わる支援	162
子育て・教育にかかる各種費用の支援・無料化	54
所得制限の撤廃	38
障がい児の支援、社会の理解	28
（全般的な）子育て支援の充実	18
どんな家庭にも平等な支援	12
こどもの数やきょうだいの年齢差で差をつけないでほしい	7
不登校児支援	5
学童クラブ・放課後子ども教室	85
学童クラブ、放課後子ども教室の内容充実、利用要件緩和	61
長期休暇中の利用	21
時間延長は、一方でこどもの心の負担になることも考慮する	2
市境世帯が気軽に越境利用できるしくみの構築	1
こどもの居場所	97
公園（ボール遊び可）、広場の遊び場やこどもが集まれる施設の充実	70
児童館の整備・充実	17
図書館、公民館等の充実	5
学校の校庭開放、使用条件の緩和	4
放課後、長期休暇に誰でも利用できる居場所を制度としてつくってほしい	1

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

教育・保育サービス	79
ICT教育の適切な運用と充実	11
教師の負担軽減、手当の充実	9
教育機会の平等化と合理的な教育の検討	8
部活動やこどもの活動充実、指導者の採用	8
役員等地域・社会活動が負担である	6
保育士、教員の資質向上	6
学校設備の充実、改善	6
その他（高校義務教育化、感染症対策、補講授業、近接教育機関との連携、開校時間前の安全な待機場）	6
給食の充実	5
いじめ等への対処	4
親やこどもの声を聴くアンケートを行ってほしい	3
学校行事等の実行	3
柔軟性のある学区の見直し	2
授業内容の工夫、探求学習の採り入れ	2
医療・健康	29
医療費助成の条件緩和、無料の実施	17
医療機関、制度の充実	8
インフルエンザ予防接種費用補助、予約の取りやすさ	4
情報・相談	17
積極的な子育て支援の情報提供、PR	10
相談体制の充実、窓口の明確化	7
その他行政サービス	107
防犯・防災、事故防止対策	26
サービスや施設の地域、周辺自治体との格差是正	18
市の取組に感謝	14
講座・イベント、習い事、交流の充実、再開	12
支援が不足、他市と比べて子育てしにくい	12
住みよい、安心して子育てできる	7
その他（役所の対応が親身でない、大人が良い影響を与えられるようになるなど）	6
親や社会の子育てに対する考え方の醸成	5
申請書類が多い、デジタル化を進めてほしい	3
地域の方の協力を頼りすぎないこと	2
親と子どもと一緒に過ごせる時間の確保策	2

第3章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生の保護者）

今回のアンケート	11
否定的意見（選択肢が限定的、該当がなくてもとばせない、分量が多すぎる、わかりづらいなど）	7
肯定的意見（こどもたちのためにありがたい、市のサービスを知るきっかけとなった、声を聴いてもらえてありがたいなど）	4
その他	16

第4章 調査票

1. 就学前児童調査票（就学前児童の保護者）

小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就学前児童

調査ご協力のお願い

日頃より、市政の推進につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、小平市では子ども・子育て支援法に基づき市町村子ども・子育て支援事業計画として、平成27年3月に「小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各種の子育て支援策を実施しております。

このたび、令和2年度から5年間を一期とする「第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度末に終了することに伴い、令和7年度から令和11年度までの5年間の対象とする「第三期小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための「現在の利用状況」（今後の利用希望）や子育て支援に対する市民の皆様のご意見・ご意見を把握するために行うものです。

ご多忙のこと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小平市長 小林 洋子

【 記入にあたってのお願い 】

- ・ 調査のご協力は、令和6年1月29日時点の住民基本台帳（住民票）をもとに、就学前のお子さん（無作為に約2,000人抽出し、お呼びするものです）。
- ・ ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、市の子ども・子育て支援事業計画の検討以外に利用されたりすることは一切ございません。
- ・ 調査票や返信用封筒にお名前・ご住所を記入いただく必要はございませんので、率直なご意見、ご希望等をお書きください。
- ・ 小平市で行われている事業や施策の総称は、別紙の「調査票記入のてびき」をご覧ください。

3月13日（水）までに回答してください。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

よりしくお願いします。



小平市 子ども家庭部 子育て支援課 担当：熊谷・新田

電話 042 (346) 9621 (直通)

封筒のあて名をお子さんとご家族の状況についておたずねします。

問1 お住まいの地域の番号1つに○をつけ、__丁目に数字をご記入ください。
 ※「小川東町」「学園東町」にお住まいの方は、丁目がない場合は、「4. 小川東町」「7. 学園東町」に○をつけてください。

1. 大沼町 __丁目	2. 小川町 __丁目	3. 小川西町 __丁目
4. 小川東町	5. 小川東町 __丁目	6. 学園西町 __丁目
7. 学園東町	8. 学園東町 __丁目	9. 豊平町 __丁目
10. 栄町 __丁目	11. 上水新町 __丁目	12. 上水本町 __丁目
13. 上水南町 __丁目	14. 鈴木町 __丁目	15. たかの台
16. 津田町 __丁目	17. 天神町 __丁目	18. 中島町
19. 仲町	20. 花小倉井 __丁目	21. 花小倉井南町 __丁目
22. 美園町 __丁目	23. 徳幸町	24. 回田町

問2 あて名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

※ 内に数字をご記入ください。数字は一位に一字。

西暦 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、おさんは何人いらっしゃいますか。

お2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、一番下のおさんの生まれた年と月をご記入ください。
 ※ 内に数字をご記入ください。数字は一位に一字。

子どもの数 人
 一番下のおさんの生年月日 西暦 年 月 生まれ

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のおさんからみた関係をお書きください。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親
 3. 主に父親 4. 主に拒父母
 5. その他()

お子さんの育ちを取りまく環境についておたずねします。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はだなた(複数)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 父と母に | 2. 母親 |
| 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 幼稚園 |
| 7. 保育園 | 8. 認定こども園 |
| 9. 障がい児通所施設等 | 10. その他 () |

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 |
| 3. 幼稚園 | 4. 保育園 |
| 5. 認定こども園 | 6. 障がい児通所施設等 |
| 7. その他 () | |

問9 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてる | ⇒ 【問10・11へ】 |
| 2. 緊急時または用事の時に祖父母等の親族にみてる | |
| 3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時または用事の時には子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 【問12へ】 | |

問10 問9で「1」「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的負担が大きく、心配である | |
| 4. 自分たちが保護者の立場として、負担をかけていることが心ざしい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある | |
| 6. その他 () | |

問11 問9で「3」「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である | |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きく、心配である | |
| 4. 自分たちが保護者の立場として、負担をかけていることが心ざしい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある | |
| 6. その他 () | |

問12 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|------------|---------|
| 1. いる(ある) | ⇒【問13へ】 | 2. いない(ない) | ⇒【問14へ】 |
|-----------|---------|------------|---------|

問13 問12で「1」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる方は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子ども広場、児童館など |
| 5. 子ども家庭支援センター | 6. 児童センター |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 |
| 9. 障がい児通所施設等 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. かかりつけの医師 | 12. 女性相談室 |
| 13. 教育相談室 | 14. 市役所の子育て関連窓口 |
| 15. その他 () | (欄) ペーパージャケット、NPO |

問14 子育て(教育を含む)をする上で、周里からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....



あて名のお子さんの保護者の就労状況についておたずねします。

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をおたずねします。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 母親はいない

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 父親はいない



問19で、母親、父親ともに「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方は問18へ、「7」(母親/父親はいない)に○をつけた方は問20へお進みください。

問16 問15の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

1週あたりの「就労日数」1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多い「ターン」についてご記入ください。 ※ 数字は一件に一字 ※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

		就労日数		就労時間(就業時間含む)	
母親	1週当たり	日	1日当たり	日	時間
父親	1週当たり	日	1日当たり	日	時間

問17 問15の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多い「ターン」についてご記入ください。 ※ 時間は、(例) 0.9時台～1.8時台のように、2.4時間単位でご記入ください。 ※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

		家を出る時刻		帰宅時刻	
母親		時	分	時	分
父親		時	分	時	分

問18 問15の(1)(2)で「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外への就労を続けることを希望する
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい
- (2) 父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外への就労を続けることを希望する
 4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外をやめて子育てや家事に専念したい

問19 問15の(1)(2)で「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方におたずねします。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐでも、または1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり □□日 1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 3. すぐでも、または1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり □□日 1日当たり □□時間

問19-1 問19の(1)(2)で「5」「6」(就労を希望する)に○をつけた方におたずねします。

今後、就業活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますが、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. チャイルドコーナーや託児サービスがあり、子ども連れでも就業活動や就業準備、スキルアップができること
2. 求職中でも利用しやすい求職事業(求職所や職かり保育)があること
3. 就業情報を探しやすく、就業相談が利用しやすいこと
4. 就労だけでなく子育てや生活についても相談できる場所があること
5. 仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業(保育所・幼稚園・預かり保育等)があること
6. 仕事を始めた後に利用できる育児・育児後援保育があること
7. その他(具体的に)
8. 特になし

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と希望についておたずねします。

※ここでの「定期的な教育・保育の事業」とは、且単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問21に示している事業が含まれます。

問20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している 2. 利用していない → [問20へ]



問20で「1. 利用している」に○をつけた方は、次の問21～24をお答えください。

問21 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の幼稚園期間の利用のみのもの）
 2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）
 3. 認可保育所（公立・私立保育園）
 4. 認定こども園
 5. 小規模保育事業
 6. 家庭的保育事業（保母ママ）
 7. 事業所内保育事業
 8. 匿名訪問型保育事業
 9. 東京都認証保育所
 10. 認定家庭福祉員（保母ママ）
 11. 定額利用保育事業
 12. 企業主導型保育事業
 13. その他の認可外の保育施設
 14. ファミリー・サポート・センター
 15. その他（具体的に： _____)

※ 各事業の詳しい内容については、別紙「調査票記入のてびき」をご覧ください。

問22 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。 ※複数利用している方は、合計した時間をご記入ください。

(1) 現在 ※時間：(例) 0.9時～1.8時のように、2.4時間制でご記入ください。

1週当たり □日・1日当たり □時間 □分 (□) 時 □分 □分

(2) 希望
 1週当たり □日・1日当たり □時間 □分 (□) 時 □分 □分

問23 現在利用している教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小平市内 2. 市外

問24 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族や祖父母等の関係などを介している
 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
 7. その他 (_____)

問25 問20で定期的な教育・保育の事業を「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、保護者のどちらかが就労していないなど）
 2. 子どもの祖父母等の関係が分かれている
 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
 4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
 6. 利用したいが、並夜・夜間などの時間帯の条件が合わない
 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
 8. 子どもがまだ小さいため (_____) 歳くらいになったら利用しようと考えている
 9. その他 (_____)

問26 すべての方におたずねします。

現在利用している、利用していないにもかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園（通常の幼稚園期間の利用のみのもの）
 2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）
 3. 認可保育所（公立・私立保育園）
 4. 認定こども園
 5. 小規模保育事業
 6. 家庭的保育事業（保母ママ）
 7. 事業所内保育事業
 8. 匿名訪問型保育事業
 9. 東京都認証保育所
 10. 認定家庭福祉員（保母ママ）
 11. 定額利用保育事業
 12. 企業主導型保育事業
 13. その他の認可外の保育施設
 14. ファミリー・サポート・センター
 15. その他（具体的に： _____)

※ 各事業の詳しい内容については、別紙「調査票記入のてびき」をご覧ください。

問41は、問37で「ア」、「エ」～「ケ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問41 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いますが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ア」、「エ」、「ケ」のいずれかの日数をうち仕事を休んで看護したかった日数に○も数字まで記入ください。

希望する日数（この1年間）	
1. できれば仕事を休んで看護したいと思った	⇒ <input type="text"/> 日
2. 仕事を休んで看護することは難しい	⇒【問43へ】

問42 問41で「1」に○をつけた方におたずねします。

父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

あてるお子さんの不定期の療育・保育の事や施設を付与一時預かり等の利用についておたずねします。

問43 あてるお子さんについて、日中の定期的な保育や療育のため以外に、私用・保護者の通院、不定期の療育等の目的で（不定期）に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字まで記入ください。

利用している事業	年間の利用日数
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を超えて園から不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> 日
4. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
5. その他（ ）	<input type="text"/> 日
6. 利用していない	⇒【問44へ】

問44 問43で「6. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。

現在利用していない理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が悪い
5. 利用料がわかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからぬ
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問45 あてるお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の療育等の目的で、問43であげたような一時預かりの事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用する必要がある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字まで記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の条件や負担が発生します。

利用する必要がある	年間利用希望日数
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の旅行等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
イ. 習い事、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等	<input type="text"/> 日
ウ. 不定期の療育	<input type="text"/> 日
エ. その他（ ）	<input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない	⇒【問47へ】

問46 問45で「1」に○をつけた方におたずねします。

問45の目的でお子さんを利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所など）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業・家庭的保育事業など）
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
4. ベビーシッター
5. その他（ ）

図47 小平市では、保護者の同意(保護者・家族(兄弟姉妹含む)の同意、育児疲れや育児不安、習熟差など)により、家庭での教育が困難となった子どもを、児童養護施設等で一定期間保護する短期入所生活支援事業(ショートステイ)を実施しています。

あて名のお子さんについて、保護者の同意により短期入所生活支援事業(ショートステイ)を泊りがけで利用する必要があると思いますか。また、利用する必要がある場合は目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

※ 数字は一桁に一字

1. 利用する必要がある →【目的別内訳】	【宿泊数】
ア. 保護者や家族の病気	□ □ □ □ 泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ □ □ 泊
ウ. 習熟差	□ □ □ □ 泊
エ. その他()	□ □ □ □ 泊
2. 利用する必要はない	

あて名のお子さんが4歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします。

図48 図49～50はあて名のお子さん(4歳未満)の方におたずねします。あて名のお子さんが4歳未満の方は、図51へお読みください。

図48 あて名のお子さんについて、小学校就学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間帯も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 □ □ □ □ 日
2. 祖父母や友人・知人宅	週 □ □ □ □ 日
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ □ □ □ 日
4. 児童館	週 □ □ □ □ 日
5. 子ども広場	週 □ □ □ □ 日
6. 放課後子ども教室	週 □ □ □ □ 日
7. 学童クラブ ※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください	週 □ □ □ □ 日
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	→ 下校時から □ □ □ □ 時台まで
9. ファミリー・サポート・センター	週 □ □ □ □ 日
10. その他(公民館、地域センター、公園など)	週 □ □ □ □ 日
11. 時間帯はわかりません	週 □ □ □ □ 日

図49 あて名のお子さんについて、小学校就学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間帯も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 □ □ □ □ 日
2. 祖父母や友人・知人宅	週 □ □ □ □ 日
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ □ □ □ 日
4. 児童館	週 □ □ □ □ 日
5. 子ども広場	週 □ □ □ □ 日
6. 放課後子ども教室	週 □ □ □ □ 日
7. 学童クラブ ※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください	週 □ □ □ □ 日
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	→ 下校時から □ □ □ □ 時台まで
9. ファミリー・サポート・センター	週 □ □ □ □ 日
10. その他(公民館、地域センター、公園など)	週 □ □ □ □ 日
11. 時間帯はわかりません	週 □ □ □ □ 日

図49 (小学校就学年) または問48 (小学校就学年) で「7. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。

図50 あて名のお子さんについて、日曜日・夜日に学童クラブの利用を希望しますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

□内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※時間、(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→ 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	→ □ □ □ □ 時台から □ □ □ □ 時台まで
3. 利用する必要はない	

図51 あて名のお子さんについて、お子さんの小学校の夏休み・冬休み期間中に学童クラブの利用を希望しますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、希望する日数と時間帯を□内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※時間、(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→ □ □ □ □ 時台から □ □ □ □ 時台まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	→ 週 □ □ □ □ 日
3. 利用する必要はない	→ 利用したい時間帯

すべての方に、育児休業取得制度など職場の労務支援制度についておたずねします。

問52 あて名のお子さんが生まれた時、母親、父親のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は該当する理由の番号をご記入ください。

母親 (いづれかに○)	父親 (いづれかに○)
1. 取得していない 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 下から番号を選んで記入ください(いくつでも)	1. 取得していない 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 下から番号を選んで記入ください(いくつでも)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が増えた 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが遅れそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらええるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため返願した 10. 子届にて育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 育児休業を政府で取得できることを知らなかった 13. 育児休業を政府で取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休職(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()	



問53～59は、該当で育児休業を「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方におたずねします。それ以外に○をつけた方は質問へお答えください。

問53 育児休業取得後、職場に復帰したか、母親・父親の状況を、それぞれの太特内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 1
2. 現在も育児休業中である	2. 2
3. 育児休業中に退職した	3. 3

問54 問53で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、母親・父親の状況を、それぞれの太特内の当てはまる番号どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合は、11. 年度初めの入所に合わせたタイミングに当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合は「1. 年度初めに」と選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 1
2. それ以外だった	2. 2

問55 問53で「1」に○をつけた方におたずねします。

育児休業からは、「実務」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか、また、勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで復帰したかどうか、□内に数字をご記入ください。

実務の取得期間	母親		父親	
希望	歳	ヶ月	歳	ヶ月
	歳	ヶ月	歳	ヶ月



問55で実際の取得期間と希望が異なる方におたずねします。

問56 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。

(1) 「希望」より早く復帰した方
 ※母親・父親の状況を、それぞれの太特内の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	3
4. 人事異動や業務の担当の時期に合わせるため	4	4
5. その他()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※母親・父親の状況を、それぞれの太特内の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入らなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 調子の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
6. その他()	6	6

問57 問59で「1」。育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 利用する必要があるがなかった(フルタイムで働き続けた、もともと短時間勤務だった)	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用したがなかった(利用できなかった)	3	3

問58 問57で「3」に○をつけた方におたずねします。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる理由すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が多かった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
4. 短時間勤務にするとは勤務所の入社申請の受付順位が下がると思った	4	4
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6. 配偶者が祖父母、祖父母等の関係にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	8
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
10. その他()	10	10



問59は、問53で「2。現在も育児休業中である」に○をつけた方におたずねします。

問58 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2. 1歳になる前に復帰したい	2	2

すべての方に、子育て全般についておたずねします。

問60 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

2. 就学児童調査（就学児童小学校1年生～6年生の保護者）調査

小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 就学児童(小学校1年生～6年生)

調査ご協力のお願い

自項より、市政の推進につきましてご理解とご協力をなまわり、誠にありがとうございます。
さて、小平市では子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として、平成27年3月に「小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各健の子育て支援施策を実施しております。

このたび、令和2年度から5年間を一期とする「第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度末に終了することに伴い、令和7年度から令和11年度までの5年間を対象とする「第三期小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

本調査は、この計画で確立を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための「現在の利用状況」「今後の利用希望」が子育て支援に対する市民の皆様のご意見・ご要望を把握するために行うものです。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小平市長 小林 洋子

【記入にあたってのお願い】

- ・ 調査のご協力には、令和6年1月29日時点の住民基本台帳（住民票）をもとに、小学生のお子さん全員を対象に約2,000人抽出し、お願いするものです。
- ・ ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、部々の回答内容が他に開かれたり、市の子ども・子育て支援事業計画の機密以外に利用されたりすることは一切ございません。
- ・ 調査票や返信用封筒に氏名・住所を記入いただく必要はございませんので、事柄なご郵局、ご郵局等をお選びください。

3月13日（水）までに回答してください。

ご回答いただくうえで不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせいたします。

小平市 子ども家庭部 子育て支援課 担当：野台・新田 よろしくお願ひします。

電話 042 (346) 9821 (直通)



お住まいの地域についておたずねします。

問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけ、__丁目に数字をご記入ください。

※「小川東町」「学園東町」にお住まいの方で、丁目がない場合は、「4. 小川東町」「7. 学園東町」に○をつけてください。

1. 大沼町	__丁目	2. 小川町	__丁目	3. 小川西町	__丁目
4. 小川東町	__丁目	5. 小川南町	__丁目	6. 学園西町	__丁目
7. 学園東町	__丁目	8. 学園東町	__丁目	9. 藤平町	__丁目
10. 家町	__丁目	11. 上水新町	__丁目	12. 上水本町	__丁目
13. 上水橋町	__丁目	14. 鈴木町	__丁目	15. たかの台	
16. 津田町	__丁目	17. 天神町	__丁目	18. 中島町	
19. 柳町	__丁目	20. 花小金井	__丁目	21. 花小金井南町	__丁目
22. 美園町	__丁目	23. 榎幸町		24. 回田町	

封筒のあて名をお子さんとご家族の状況についておたずねします。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

※ □内は数字でご記入ください。数字は一律に一桁。

西暦 □□□□年 □□月 生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

お2人以上のお子さんいらっしゃる場合は、お子の方の生年月月をご記入ください。

※ □内は数字でご記入ください。数字は一律に一桁。

子どもの数 □人

未子の生年月 西暦 □□□□年 □□月 生まれ

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか、お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他() | |

お子さんの育ちを取りまく環境についておたずねします。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域(青少年活動など) |
| 3. 学校 | 4. 障がい児通所施設(放課後等デイサービス) |
| 5. 放課後子ども教室 | 6. 学童クラブ |
| 7. 思い事(ピアノ教室、サッカークラブ、習字など) | 8. その他() |

問8 日頃、あて名のお子さんをもてもらえる親族・知人はいいますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族のみもらえる |
| 2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族のみもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない ⇒ 【問11へ】 |

問9 問6で「1」「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他() |

言葉の説明

青少年 青少年対策○○小地区委員会」の親族で、青少年の通やかな成長を助けて活動する地域住民による行政協力団体です。小中学校ごとに、18の地区委員会が活動しています。
障がい児通所施設…通所による療育等が可能な児童に対し、各種支援を行います。
放課後等デイサービス…放課後等において、生活能力向上のための訓練等を積極的に提供いたします。

問10 問6で「3」「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他() |

問11 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか、また、相談できる場所はありますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|------------|---------|
| 1. いる(ある) | ⇒【問12へ】 | 2. いない(ない) | ⇒【問13へ】 |
|-----------|---------|------------|---------|

問12 問11で「1」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子ども広場、児童館など |
| 5. 学校 | 6. 子ども家庭支援センター |
| 7. 児童センター | 8. 障がい児通所施設(放課後等デイサービス) |
| 9. 思い事の先生 | 10. 同僚のサービス |
| 11. かかりつけの医師 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 女性相談室 | 14. 教育相談室 |
| 15. 学童クラブの指導員 | 16. 市役所の子育て関連窓口 |
| 17. その他() | |

問13 子育て(教育を含む)をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか、ご自由にお書きください。

--



あてるのお子さんの保護者の就業状況についておたずねします。

問14 あてるのお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者を含む)をおたずねします。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、専休・専休・介護休業中ではない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、専休・専休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 母親はいない

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、専休・専休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、専休・専休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 父親はいない



問14で母親、父親ともに「5」または「6」(就労していない)をしたことがない)に○をつけた方は問18へ、「7」(母親/父親はいない)に○をつけた方は問20へお進みください。

問15 問14の(1)(2)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を□内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多い日数についてご記入ください。

※ 数字は一位に一字
※ 専休・専休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

	就労日数		就労時間(就業時間を含む)	
母親	1週当たり	□ 日	1日当たり	□ 時間 □ □ 分
父親	1週当たり	□ 日	1日当たり	□ 時間 □ □ 分

問16 問14の(1)(2)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。家を出る時刻と帰宅時刻を□内に数字でご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多い1ターンのについてご記入ください。

※ 時間は、(例) 08時台~18時台のように、24時間制でご記入ください。
※ 専休・専休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

	家を出る時刻		帰宅時刻	
母親	□ □ 時	□ □ 時	□ □ 時	□ □ 時
父親	□ □ 時	□ □ 時	□ □ 時	□ □ 時

問17 問14の(1)(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みは無い
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で専業主婦や専業主夫を希望する

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みは無い
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で専業主婦や専業主夫を希望する

問18 問14で「5」「6」(就労していない)をしたことがない)に○をつけた方におたずねします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
 3. すぐでも、または1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労
- イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
 3. すぐでも、または1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労
- イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

問19 問18の(1)(2)で「2」「3」(就労を希望する)に○をつけた方におたずねします。今後、就業活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. チャイルドコーンや託児サービスがあり、子ども連れでも就業活動や就業準備、スキルアップができること
2. 求職中でも利用しやすい求職支援(求職所や預かり保育)があること
3. 就業情報を探しやすく、就職相談が利用しやすいこと
4. 就労だけでなく子育てや生活についても相談できる場所があること
5. 仕事を始めた後に利用できる育児・保育事業(保育所・認可園・預かり保育等)があること
6. 仕事を始めた後に利用できる育児・病後ケア事業があること
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況と希望についておたずねします。

問20 あて名のお子さんは、現在、子ども広場や児童館を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合には、おおよその利用回数(回数)を□内に数字でご記入ください。

1. 子ども広場 1週当たり 回 または1ヶ月当たり 回 回数

2. 児童館 1週当たり 回 または1ヶ月当たり 回 回数

3. 利用していない

問21 子ども広場や児童館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いませんか。

当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用希望回数を□内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい 回 または1ヶ月当たり 回 回数

2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 回 または1ヶ月当たり 回 回数

3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問22 子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業や子どもの居場所についてどのように感じていますか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

問23 下記で書いているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。(1)～(7)のA～Cの項目について、「はい」「いいえ」どちらかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
(1) 子育て相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(2) 女性相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(3) 子ども家庭支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(4) 障がい児通所施設	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(5) 子育てガイド(子育て情報誌)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(6) 子どもショートステイ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(7) ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

事業の説明



子育てガイド(子育て情報誌).....赤ちゃんがでると色からの手紙や、遊び場、相談場所など子育て中の方にとって必要な情報をまとめた冊子で発行している情報誌です。

子どもショートステイ.....保護者の疾病・出産・結婚等への参加・仕事による出張などで家庭において養育が難しい児童を一時的に市が指定する施設で養育します。

ファミリー・サポート・センター.....育児の援助を行いたい方<御世帯員>と育児の援助を受けたい方<利用会員>が、協議の場でお互いに助け合いながら子育てをする、各団体の事業です。 → 800円/時間

2(1)以外の期間 3日曜日・休日・年末年始の全時間 } 1,000円/時間

あて名のお子さんの病気の療育の対応についておたずねします。

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病氣やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ⇒【問25へ】 2. なかった ⇒【問29へ】

問25 問24で「J」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日と計算してください。）

1年間の対応方法		お休みの日数	
ア、父親又は母親のうち留守していない方が子どもをみた		□	□
イ、父親が休んだ		□	□
ウ、母親が休んだ		□	□
エ、(同居者を含む)親類・知人に頼った		□	□
オ、ベビーシッターなど民間のサービスを利用した		□	□
カ、ファミリー・サポート・センターを利用した		□	□
キ、仕方なく子どもだけで留守番させた		□	□
ク、その他（ ）		□	□

問26 問25で「イ」「ウ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。その際、「できれば施設等を利用したい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ア」「イ」の日数のうち施設等を利用したかった日数を□内に数字でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. できれば施設等を利用したい ⇒ □ □ □ □ 日

2. 利用したいとは思わない



問25で「ア」、「エ」～「ク」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問27 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ア」、「エ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても□内に数字でご記入ください。

看護する日数（この1年間）

1. できれば仕事を休んで看護したいと思った ⇒ □ □ □ □ 日

2. 仕事を休んで看護したいとは思わなかった ⇒【問29へ】

問28 問27で「J」に○をつけた方におたずねします。父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない

2. 自費的なので体めない

3. 休日日数が足りないのでは体めない

4. その他（ ）

あて名のお子さんの一時預かり等の利用についておたずねします。

問29 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）									
2. ショートステイ（日帰り） （児童養護施設等で一時的に児童を保護する事業）									
3. ベビーシッターなど民間のサービス									
4. その他（ ）									
5. 利用していない ⇒【問30へ】									

問30 問29で「5」に○をつけた方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない

2. 利用したい事業が地域にない

3. 地域の事業の質に不安がある

4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が悪い

5. 利用料がかかると高い

6. 利用料がわからない

7. 自分が事業の対象者になるのがわからない

8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない

9. その他（ ）

問31 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問29にあげた事業を生涯利用日数に利用する必要はありますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用する必要のある場合は、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい

→【目的別日数】

ア、私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の緊急時、リフレッシュ目的）

イ、通院時、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等

ウ、不定期の就労

エ、その他（ ）

2. 利用する必要はない ⇒【問33へ】

年間利用希望日数

□ □ □ □ 日

□ □ □ □ 日

□ □ □ □ 日

□ □ □ □ 日

問32 問31で「1」に○をつけた方におたずねします。問31の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 大規模施設で過ごす事業
- 2. 小規模施設で過ごす事業
- 3. ファミリー・サポート・センターやベビーシッター等、子どもの自宅や近所の保母宅で保育する事業
- 4. その他（ ）

問33 小平市では、保護者の用事(保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気、認知症など)により、家庭での保育が困難となった子どもを、児童養護施設等で一定期間保護する短期入所生活援助事業(ショートステイ)を実施しています。あてのお子さんについて、保護者の用事により短期入所生活援助事業(ショートステイ)を呼びかけで利用する必要があると思いますか。また、利用する必要がある場合は目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。
※ 数字は一位に一字

1. 利用する必要がある ↳【目的別内訳】		【暫 拍 数】
ア、保護者や家族の育児疲れ・不安		□ □ □ □ 拍
イ、保護者や家族の病気		□ □ □ □ 拍
ウ、認知症等		□ □ □ □ 拍
エ、その他（ ）		□ □ □ □ 拍
2. 利用する必要はない		

あてのお子さんの放課後の過ごし方についておたずねします。

問34 あてのお子さんは放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ該当の日数を□内に数字でご記入ください。また、「B. 学童クラブ」の場合には、利用する時刻も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
4. 児童館	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
5. 放課後子ども教室	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
6. 学童クラブ ※利用は(8時)18時のように24時間でご記入ください →下校時から →土曜日の利用	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □ □ □ 所台まで 1. ある 2. ない
7. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
8. ファミリー・サポート・センター	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
9. その他① ()	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
その他② ()	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
その他③ ()	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □

児童の説明



放課後子ども教室…放課後や週末等に学校施設等を活用し、地域の様々な事業者を通じて、全ての子どもたちに安全・安心な通所所を提供するとともに、学びや体験、地域住民との交流等の活動の機会を提供する取組を実施しています。
学童クラブ…学校から帰宅しても、保護者が働いているため、何故かという理由で、児童をみられない小学校低学年児童のため、放課後の一定の時間帯のみ、保護者にかわって集団的な保育を行います。利用料は、月額7,000円で、延長保育を利用する場合は、別途の利用料があります。
対象は小学校1年生～3年生(障がい児は6年生まで)

問35 あて名のお子さんは放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選出た日の数を□内に数字でご記入ください。また、「0. 学習クラブの場合には、利用する頻度も□内に数字でご記入ください。

	低学年(1~3年生)のとき	高学年(4~6年生)のとき
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
6. 学習クラブ ※時間は(例)18時のように24時間制でご記入ください	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
→利用時間帯 <input type="checkbox"/> 年生まで	<input type="checkbox"/> 時台まで	<input type="checkbox"/> 時台まで
→土曜日の利用	1. ある <input type="checkbox"/> 2. ない <input type="checkbox"/>	1. ある <input type="checkbox"/> 2. ない <input type="checkbox"/>
7. 放課後等デイサービス(障がい児通所支援)	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
9. その他①()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
その他②()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
その他③()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日

問36 あて名のお子さんについて、小学校の夏休み・冬休み期間中ほどのような場所でご過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選出た日の数を□内に数字でご記入ください。

	低学年(1~3年生)のとき	高学年(4~6年生)のとき
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
6. 学習クラブ →利用時間帯 <input type="checkbox"/> 年生まで	<input type="checkbox"/> 時台まで	<input type="checkbox"/> 時台まで
→土曜日の利用	1. ある <input type="checkbox"/> 2. ない <input type="checkbox"/>	1. ある <input type="checkbox"/> 2. ない <input type="checkbox"/>
7. 放課後等デイサービス(障がい児通所支援)	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
9. その他①()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
その他②()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日
その他③()	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日	週 <input type="checkbox"/> 日<5日 週 <input type="checkbox"/> 日<5日

問37 問36で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。夏休み・冬休み期間中に学習クラブを利用したい時間帯を低学年・高学年それぞれご記入ください。※時間帯は、(例)09時~18時のように、24時間制でご記入ください。

低学年(1~3年生)のとき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時台から	<input type="checkbox"/>	時台まで
高学年(4~6年生)のとき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時台から	<input type="checkbox"/>	時台まで

問38 放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動内容はありますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 野球
2. ミニバスケット
3. サッカー
4. よさこい
5. 街頭演習
6. 補綴
7. 調理
8. 工作
9. 絵画
10. 書道
11. 生け花
12. 茶道
13. 囲碁・将棋
14. 合唱・演劇
15. 折り紙
16. 読み聞かせ
17. 英語
18. パソコン
19. 科学
20. 園芸
21. その他()

学習クラブの利用についておたずねします。

問39 問34(放課後)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。利用している理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主に行っている方が、
1. 現在就労している
 2. 就労予定がある/求職中である
 3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
 4. 病気や障がいがある
 5. 出度及びその前後
 6. その他()

問40 問34(放課後)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。日曜日・夜日の学習クラブの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

日曜日・夜日 ※時間は、(例)09時~18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の曜のみ利用したい	<input type="checkbox"/>	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	→	<input type="checkbox"/>	時台から	<input type="checkbox"/>	時台まで
2. 高学年(4~6年生)にのみ利用したい	<input type="checkbox"/>	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	→	<input type="checkbox"/>	時台から	<input type="checkbox"/>	時台まで
3. 利用する必要はない	<input type="checkbox"/>							

小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発 行：小平市

編 集：小平市 こども家庭部 子育て支援課

住 所：〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話番号：042-346-9821

F A X：042-346-9200

電子メール：kosodateshien@city.kodaira.lg.jp

発行年月：令和6年8月